EPSON

LP-V500

ユーザーズガイド

機能・操作方法など、本機を使用していく上で必要となる情報を詳しく説明しています。

また、各種トラブルの解決方法や、お客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明

しています。目的に応じて必要な章をお読みください。

NPD0842-00

ご注意

①本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
②本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
③本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
④運用した結果の影響については、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
⑤本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
⑥エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

もくじ

Mac OS 9 をお使いの方へ

Mac OS X をお使いの方へ

操作パネルからの設定

使用可能な用紙と給紙 / 排紙

添付されているフォントについて

オプションと消耗品について

プリンタのメンテナンス

困ったときは

付録

本書中のマーク、画面、表記について

マークについて

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。これらのマークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注 意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷したり、プリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

参 考 補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

用語 *1 用語の説明を記載していることを示しています。

☞ 関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面について

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載するWindowsの画面は、特に指定がない限りWindows XP の画面を使用しています。
- 本書に掲載するMac OS Xの画面は、特に指定がない限りMac OS X v10.2の画面を使用しています。

ハガキについて

本書では、日本郵政公社製のハガキを郵便ハガキと記載しています。

Windows の表記について

Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows NT® Operating System Version 4.0 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 2003, Standard Edition（32 ビットバージョン）
Microsoft® Windows® 2003, Enterprise Edition（32 ビットバージョン）
Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版
本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ「Windows 98」、「Windows Me」、「Windows NT4.0」、「Windows 2000」、「Windows XP」、「Windows Server 2003」と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 98/Me」のように Windows の表記を省略することがあります。

Mac OS/Macintosh の表記について

本製品が対応している Mac OS のバージョンと、本書内での表記について

- 本製品が対応している Mac OS のバージョンは以下の通りです。
  Mac OS 9.1 ～ 9.2.x
  Mac OS X v10.2、v10.3
  本書中では、上記各オペレーティングシステムをまとめて、それぞれ「Mac OS 9」、「Mac OS X」と表記していることがあります。
- アップルコンピュータ社製のコンピュータを総称して「Macintosh」と表記していることがあります。

Windows をお使いの方へ

プリンタドライバの詳細説明と、Windows でお使いの際に関係する情報について説明しています。

印刷を始める前に

「セットアップガイド」（紙マニュアル）の説明に従って、EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からプリンタソフトウェアのインストールは終了していますか。また、プリンタ接続先の設定は正しいですか。ご利用の接続方法によって、設定が異なります。以下の説明をお読みください。

パラレルケーブルで接続している場合

プリンタとコンピュータをパラレルインターフェイスケーブルで接続している場合は、「セットアップガイド」（紙マニュアル）の説明に従ってください。EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からプリンタソフトウェアを正しくインストールしていれば問題なく印刷を始めていただけます。

本書 15 ページ「印刷の手順」

USB ケーブルで接続している場合

プリンタとコンピュータを USB インターフェイスケーブルで接続している場合は、「セットアップガイド」（紙マニュアル）の説明に従ってください。EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からプリンタソフトウェアを正しくインストールしていれば問題なく印刷を始めていただけます。

本書 15 ページ「印刷の手順」

万一印刷できない場合は、以下のページを参照してください。

本書 475 ページ「USB 接続時のトラブル」

ネットワークケーブルで接続している場合

本機のネットワークインターフェイスを介してプリンタをネットワークに接続している場合は、「ネットワーク簡単セットアップガイド（Windows）」（紙マニュアル）の説明に従ってEPSON プリンタソフトウェアCD-ROM からプリンタソフトウェアを正しくインストールしていれば、問題なく印刷を始めていただけます。

本書 15 ページ「印刷の手順」

オプションの無線プリントアダプタを介してプリンタをネットワークに接続している場合は、「ネットワーク設定ガイド」（PDF）に従ってネットワークプリンタのセットアップを行ってください。

印刷できない場合は以下のページを参照してください。

本書 112 ページ「プリンタ接続先の変更」

参考

ネットワーク上のプリンタを共有する場合は、以下のページを参照してください。

本書 88 ページ「プリンタを共有するには」

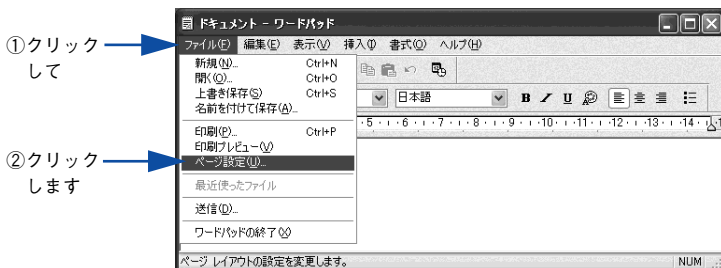
印刷の手順

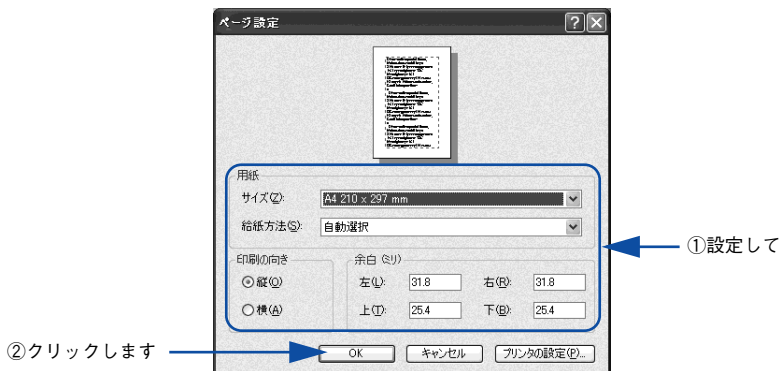
ここでは、Windows XP に添付の「ワードパッド」を例に、基本的な印刷手順について説明します。印刷手順はお使いのアプリケーションソフトによって異なりますので、詳細は各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1 ［ワードパッド］を起動します。

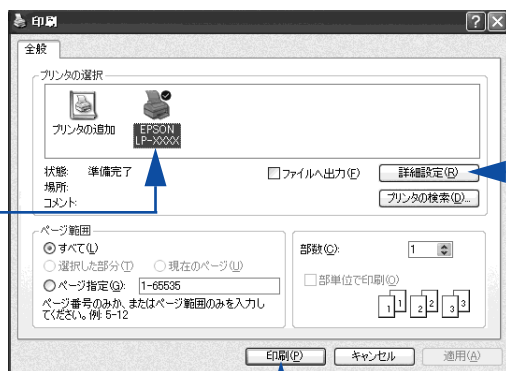
- Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［すべてのプログラム］（Windows XP 以外の場合は［プログラム］）にカーソルを合わせ、さらに［アクセサリ］にカーソルを合わせ、［ワードパッド］をクリックするとワードパッドが起動します。
- すでに存在するファイルを印刷する場合は、そのファイルをダブルクリックして 5 に進みます。

2 ［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択します。

このダイアログで印刷する用紙のサイズや余白などについて設定します。

3 印刷する用紙サイズや余白、印刷の向きについて設定して、［OK］ボタンをクリックします。

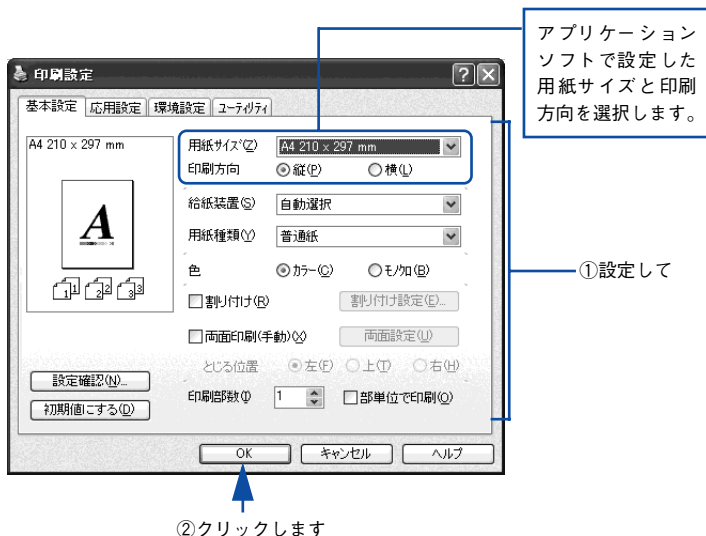
余白の最小値は、本機の印刷可能領域である上下左右 5mm まで設定することができます。

4 印刷するファイルを作成します。

5 ［ファイル］メニューから［印刷］をクリックします。

6 LP-V500が選択されていることを確認します。プリンタドライバの設定を確認または変更する場合は、［詳細設定］（Windows XP/Server 2003 以外の場合は［プロパティ］）ボタンをクリックし、7 に進みます。プリンタドライバの設定を確認しない場合は、8 に進みます。

参考 Windows 2000 の「ワードパッド」のように、［印刷］ダイアログ内で直接プリンタのプロパティを操作できる場合があります。

❼ 各項目を設定して［OK］ボタンをクリックします。

通常は、［基本設定］ダイアログの各項目を設定するだけで正常に印刷できます。

☞ 本書 30 ページ「［基本設定］ダイアログ」

❽ ［印刷］ボタンをクリックします。

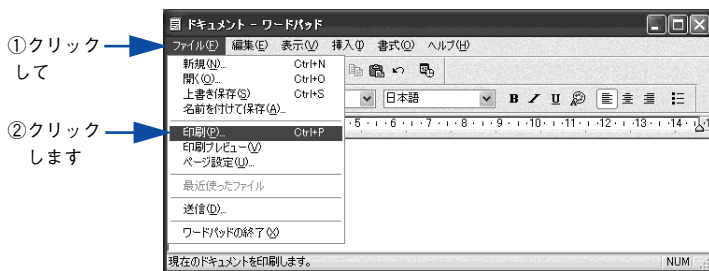
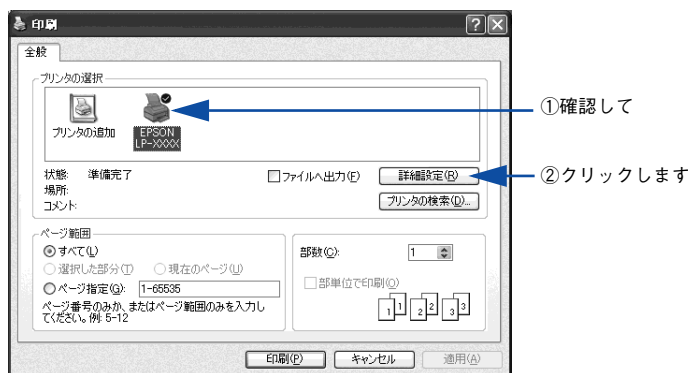
印刷データがプリンタに送られて印刷が始まります。
以上で印刷の操作は終了です。

設定画面の開き方

印刷に関する各種の設定は、プリンタドライバのプロパティを開いて変更します。プロパティの開き方は、大きく分けて 2 通りあります。この開き方によって、設定できる項目が異なります。異なる点については、各設定項目の説明を参照してください。

アプリケーションソフトから開く

通常の印刷時は、アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いて設定します。アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開く方法は、ソフトウェアによって異なります。各ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。ここでは、Windows XP に添付の「ワードパッド」の場合を説明します。

1. **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］をクリックして［印刷］ダイアログを表示させます。**

2. **［プリンタの選択］でプリンタ名に EPSON LP-V500 が選択されていることを確認して［詳細設定］（Windows XP/Server 2003 以外の場合は［プロパティ］）ボタンをクリックします。**

参 考	Windows 2000 の「ワードパッド」のように、［印刷］ダイアログ内で直接プリンタのプロパティを操作できる場合があります。

[スタート] メニューから開く

Windows の [スタート] メニューから開くことができる [プリンタと FAX]（Windows XP/Server 2003 以外の場合は [プリンタ] ）フォルダでは、コンピュータにインストールされているプリンタの設定・管理と、新しいプリンタの追加が実行できます。

参 考	[プリンタと FAX] / [プリンタ] フォルダからプリンタドライバのプロパティを開いた場合の設定値は、アプリケーションソフトから開いた際の初期値になります。日常的に使う設定値は以下の手順であらかじめ設定しておいてください。

[プリンタと FAX] / [プリンタ] フォルダからプリンタドライバのプロパティを開いて、プリンタドライバを設定する方法はいくつもあります。ここでは代表的な手順を説明します。

1 Windows の [スタート] メニューから [プリンタとFAX] / [プリンタ] を開きます。

- **Windows XP の場合**

① [スタート] ボタンをクリックして [コントロールパネル] をクリックします。
[スタート] メニューに [プリンタと FAX] が表示されている場合は、[プリンタと FAX] をクリックして、❷ へ進みます。

② [プリンタとその他のハードウェア] をクリックし、[プリンタと FAX] をクリックします。

- **Windows Server 2003 の場合**

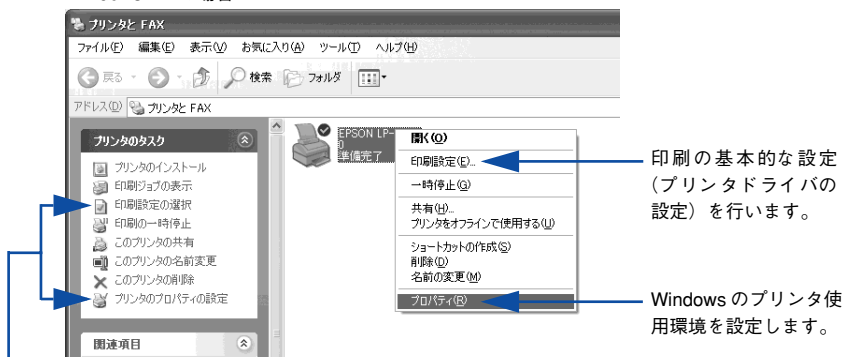
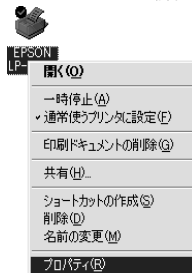
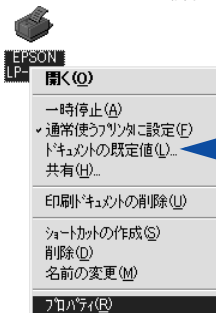
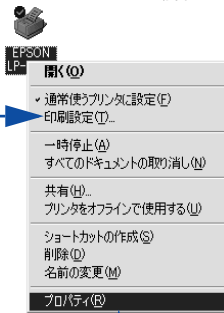
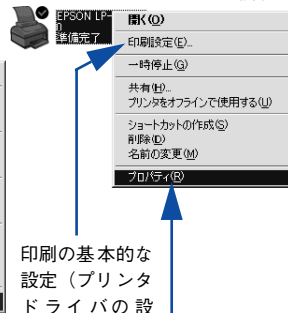
[スタート] ボタンをクリックして [コントロールパネル] - [プリンタと FAX] にカーソルを合わせ、❷ へ進みます。[スタート] メニューに [プリンタと FAX] が表示されている場合は、[プリンタと FAX] をクリックして、❷ へ進みます。

- **Windows 98/Me/NT4.0/2000 の場合**

[スタート]ボタンをクリックして[設定]にカーソルを合わせ、[プリンタ]をクリックします。

2 **LP-V500 のプリンタアイコンを右クリックして、表示されたメニューで［プロパティ］をクリックします。**

Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は［印刷設定］または［プロパティ］で、Windows NT4.0 の場合は［ドキュメントの既定値］または［プロパティ］で設定できる機能が異なります。異なる点については、各設定項目の説明を参照してください。

Windows XP の場合

参 考

- プリンタを選択して、［ファイル］メニューから操作することもできます。
- Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 で［プロパティ］の設定を行うには、標準ユーザー（Power Users）以上の権限が必要です。
- Windows NT4.0 で［ドキュメントの既定値］を設定するには Power Users 以上の権限が、Windows 2000/XP/Server 2003 で［印刷設定］を設定するには制限ユーザー（Users）以上の権限が必要です。

プリンタドライバで設定できる項目

プリンタドライバで設定できる項目の概要は以下の通りです。詳細は参照先のページをご覧ください。

<例>Windows XP でアプリケーションソフトから開いた場合

①印刷の基本設定

用紙サイズ、給紙方法、印刷方法など、印刷にかかわる基本的な設定を行います。

☞ 本書 30 ページ「[基本設定]ダイアログ」

②印刷の応用設定

拡大 / 縮小印刷、印刷品質などの設定と、スタンプマークなどの［ページ装飾］ダイアログを開きます。

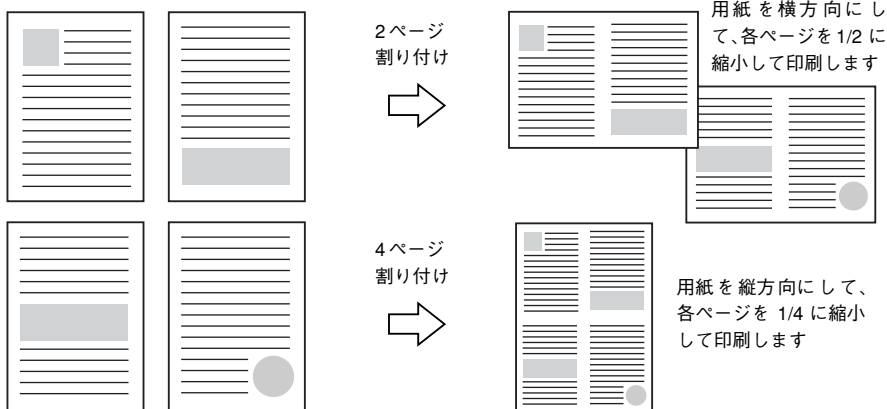
☞ 本書 43 ページ「[応用設定]ダイアログ」

③プリンタの環境設定

プリンタの動作環境を設定したり、ステータスシートを印刷します。

☞ 本書 64 ページ「[環境設定]ダイアログ」

④ユーティリティの起動

プリンタの状態をモニタする EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動します。

☞ 本書 73 ページ「[ユーティリティ]ダイアログ」

便利な印刷機能

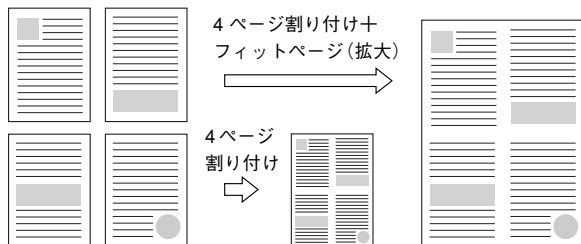
ここでは、本機に搭載されているさまざまな機能のうち、便利な印刷機能の概略をまとめて紹介します。

割り付け印刷で用紙を節約

大量の文書を印刷するときに「紙がもったいない」と感じることはありませんか。1 枚ずつ印刷するよりは、2 ページまたは 4 ページごとにまとめて 1 枚の用紙に割り付ければ、総用紙枚数を 1/2 または 1/4 に減らすことができます。

例えば、会議の書類が 100 ページあれば、50 枚または 25 枚の用紙に印刷するだけで済み、ページ数が多ければ多いほど節約効果はぐっと上がります。

参考

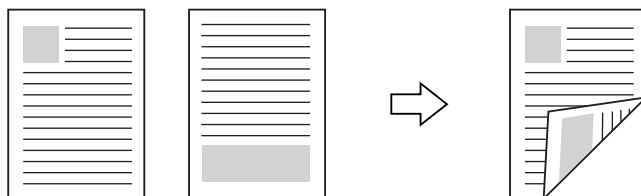
割り付け印刷は、連続した 2 ページまたは 4 ページ分のデータを縮小して元の指定サイズの用紙に割り付けて印刷します。例えばハガキサイズのページの場合、通常であればそのままハガキサイズの用紙に割り付け印刷しますが、文字が小さくて読みづらく実用的とはいえません。こんなときは、拡大 / 縮小機能（フィットページ機能）を同時に使用して、大きな A4 サイズの用紙に拡大して割り付けると読みやすくなります。

☞本書 26 ページ「ページを拡大または縮小して印刷」
☞本書 54 ページ「拡大 / 縮小率を自動的に設定するフィットページ印刷」

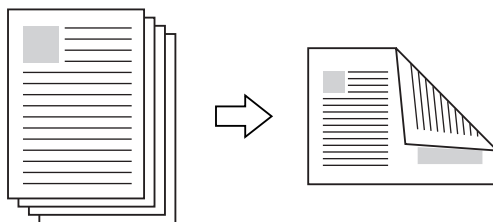
割り付け印刷は［基本設定］ダイアログから［割り付け設定］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

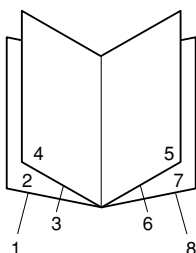
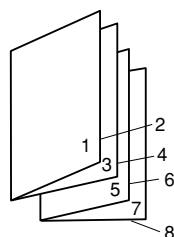
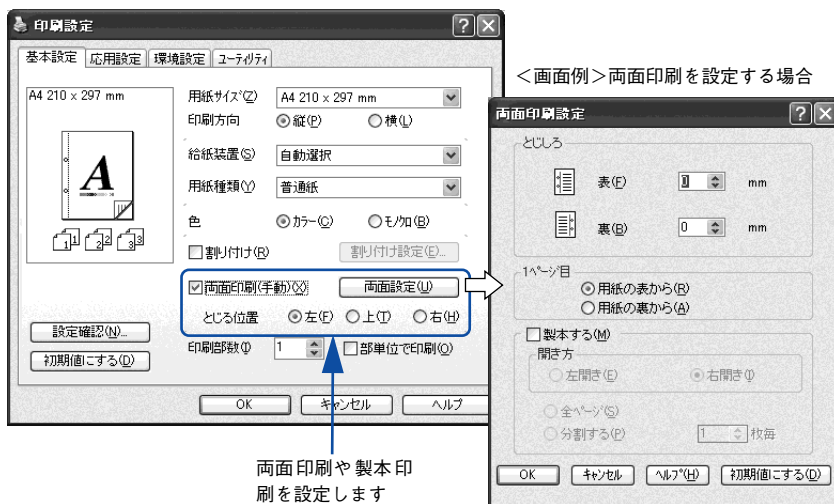
本書 30 ページ「[基本設定］ダイアログ」/33 ページ「⑥ 割り付け」
本書 36 ページ「1 枚の用紙に複数ページを割り付けて印刷するには」

両面印刷で用紙を節約

用紙の片面に印刷するだけでは「紙がもったいない」と思うことはありませんか。本機には用紙の表と裏に手動両面印刷する機能が備わっていますので、表面印刷後に裏返った用紙をそのままセットし直せば裏面に印刷することができます。また、オプションの両面印刷ユニットをご利用いただくと、用紙を 1 枚ずつ自動的に裏返して両面印刷を行いますので、片面を印刷した後で文書をセットし直して裏面に印刷する手間が省けます。面倒な手間もなく自動処理され、総用紙枚数を 1/2 に減らすことができます。

さらに、用紙の両面に 2 ページまたは 4 ページ割り付け印刷を行えば、総用紙枚数を 1/4 または 1/8 まで減らすことができます。

<例>両面それぞれに2ページ分の割り付け印刷した場合、
4ページの文書なら用紙 1 枚で済みます

☞ 本書 22 ページ「割り付け印刷で用紙を節約」
☞ 本書 36 ページ「1 枚の用紙に複数ページを割り付けて印刷するには」

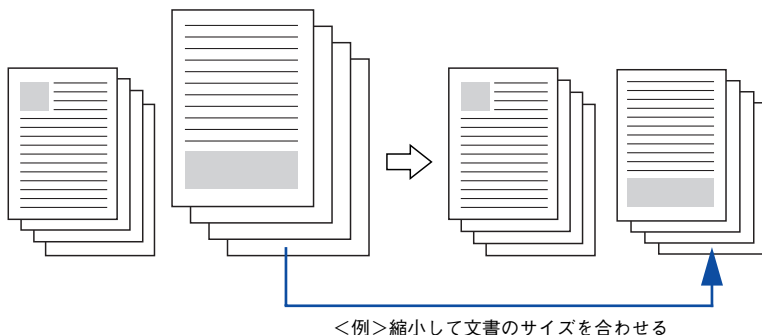
参 考

両面に印刷するなら「本のようにページを順番にめくりたい」と思いませんか。読む順番にページを自動的に並べ替えてから両面に2ページ分ずつ印刷することができますので、用紙を 1 枚ずつ半分に折り畳んで揃えてとじれば、そのまま製本することができます。2 通りのとじ方に合わせて、ページの印刷順序を選択できます。

両面・製本印刷は［基本設定］ダイアログから［両面印刷設定］ダイアログを開いて設定してください。

参 考	オプションの両面印刷ユニットを装着して［環境設定］ダイアログで正しく設定されている場合、ダイアログの表示が［両面印刷（手動）］から［両面印刷］に変わり自動両面印刷を行えます。 ☞本書 64 ページ「［環境設定］ダイアログ」

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 30 ページ「［基本設定］ダイアログ」/33 ページ「⑦ 両面印刷（手動）」
☞ 本書 38 ページ「両面印刷 / 製本印刷するには」

ページを拡大または縮小して印刷

文書を印刷してからコピー機で拡大 / 縮小していませんか。プリンタドライバの拡大 / 縮小機能を使えば、文書をそのまま拡大 / 縮小して印刷できますので手間が省けます。「会議には A4 サイズで統一」との急な依頼にも迅速に対応できます。

本機の拡大 / 縮小印刷には以下 2 つの方法があります。

サイズを選択（フィットページ印刷）

元のページサイズと拡大 / 縮小したい用紙サイズをメニューから選択するだけで、自動的にページサイズを用紙サイズに合わせて（フィットさせて）印刷できます。例えば、A4 サイズで作った原稿をハガキに印刷したい場合は、元のページサイズを［A4］に設定して、出力（印刷）に使用する用紙サイズを［ハガキ］に設定するだけで、あとはプリンタドライバが自動的に縮小率を計算して縮小印刷を行います。

本書 54 ページ「拡大 / 縮小率を自動的に設定するフィットページ印刷」

拡大 / 縮小率を設定（任意倍率印刷）

拡大 / 縮小率を任意に設定して印刷することもできます。まず拡大 / 縮小したい用紙サイズに合わせて拡大 / 縮小率を計算し、その値を入力して印刷します。

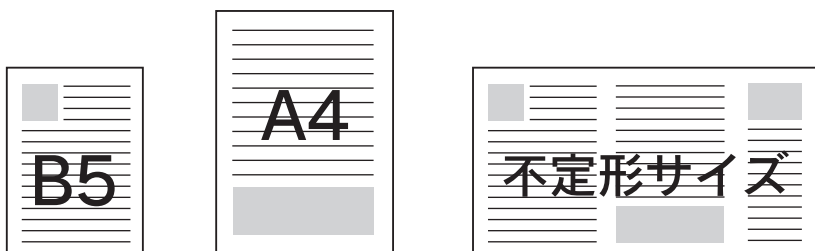
本書 55 ページ「拡大 / 縮小率を自由に設定できる任意倍率印刷」

拡大 / 縮小印刷は［応用設定］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 43 ページ「［応用設定］ダイアログ」/43 ページ「① 拡大 / 縮小」
☞ 本書 53 ページ「拡大 / 縮小して印刷するには」

定形サイズ以外の用紙に印刷

B5、A4 などの定形サイズ以外の用紙に印刷したい場合も心配ありません。任意の用紙サイズを不定形紙（ユーザー定義サイズ）として登録しておくことができます。

不定形紙サイズは、[基本設定] ダイアログの [用紙サイズ] メニューから [ユーザー定義サイズ] を選択して設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

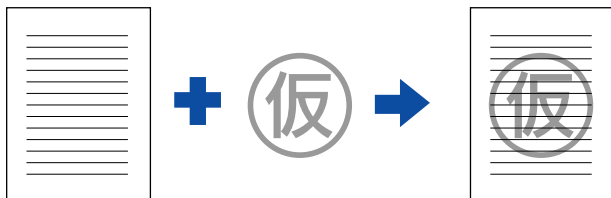
☞ 本書 30 ページ「[基本設定] ダイアログ」/30 ページ「① 用紙サイズ」
☞ 本書 34 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

定義した不定形紙サイズは [用紙サイズ] メニューから選択できます。

不定形紙への印刷は、いくつかご注意いただく点があります。以下のページを参照してから印刷を実行してください。

☞本書 344 ページ「不定形紙への印刷」

「仮」などのスタンプマークを重ねて印刷

印刷した文書を管理するときに、「㊙」、「重要」、「仮」などのスタンプを押していませんか。プリンタドライバのスタンプマーク機能を使えば、文書自体にこうしたスタンプマークを重ねて印刷できますので手間が省けます。大量の文書にスタンプを押す必要がある場合でも、一度設定すれば手作業で何度もスタンプを押す必要がなく、しかも押し間違いもありません。

スタンプマーク印刷は［応用設定］ダイアログから［ページ装飾］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

本書 43 ページ「［応用設定］ダイアログ」/45 ページ「④ ［ページ装飾］ボタン」
本書 57 ページ「スタンプマークを印刷するには」

オリジナルスタンプマークの作成

あらかじめ登録されているスタンプマークだけでなく、オリジナルのスタンプマークをユーザーが作成して登録できます。どのようなマークが必要になっても、新たにスタンプを購入する必要がありません。

本書 60 ページ「オリジナルスタンプマークの登録方法」

[基本設定] ダイアログ

プリンタドライバの［基本設定］ダイアログでは、印刷にかかわる基本的な設定を行います。

<例>Windows XP でアプリケーションソフトから開いた場合

①用紙サイズ

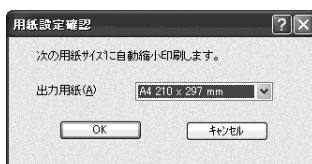
アプリケーションソフトで設定した印刷データの用紙サイズを選択します。目的の用紙サイズが表示されていない場合は、スクロールバーの矢印（ / ）をクリックして表示させてください。

注 意

- アプリケーションソフトで設定した用紙サイズとプリンタドライバの［用紙サイズ］は必ず一致させてください。サイズが異なる場合、アプリケーションソフトによっては、間違ったサイズで印刷したり、印刷できない場合があります。
- Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 で［動作環境設定］ダイアログの［プリントサーバー用紙サイズを使用する］をチェックしている場合は、本機がサポートしないサイズが表示されます。本機がサポートしないサイズを選択すると、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

本書 71 ページ「［動作環境設定］ダイアログ」
本書 323 ページ「各給紙装置にセットできる用紙サイズと容量」

自動縮小印刷：

プリンタがサポートするサイズより大きい A2 などを選択した場合、以下の画面が表示されます。［出力用紙］のリストボックスで選択した用紙サイズに合わせて、自動縮小して印刷します。

ユーザー定義サイズ：

任意の用紙サイズを設定するには、リスト内の［ユーザー定義サイズ］を選択します。設定できるサイズは以下の通りです。

- 用紙幅：90.0 ～ 220.0mm（3.55 ～ 8.66 インチ）
- 用紙長さ：110.0 ～ 297.0mm（4.33～ 11.69 インチ）

本書 28 ページ「定形サイズ以外の用紙に印刷」
本書 34 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

②印刷方向

印刷する用紙の方向を、［縦］・［横］のいずれかクリックして選択します。アプリケーションソフトで設定した印刷の向きに合わせます。

③給紙装置

給紙装置を選択します。

項目	説明
自動選択	印刷実行時に、［用紙サイズ］で選択したサイズの用紙がセットされている給紙装置を探して給紙します。
MP トレイ	MP トレイから給紙します。
用紙カセット *	オプションの増設 1 段カセットユニットの用紙カセットから給紙します。

* オプションの増設 1 段カセットユニット装着時のみ表示されます。

参考

- 給紙装置にセットした用紙のサイズは、操作パネルから［キュウシソウチメニュー］を開いて［MP トレイヨウ シサイズ］と［カセットヨウシサイズ］で設定します。
  本書 286 ページ「キュウシソウチメニュー」
- 選択した給紙装置から指定されたサイズの用紙が給紙されない場合は、エラーが発生します（［用紙サイズのチェックをしない］をオフに設定している場合）。
  本書 68 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
- ［自動選択］を選択して拡大 / 縮小印刷を行うと、［応用設定］ダイアログの［出力用紙］で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して給紙します。
  本書 43 ページ「［応用設定］ダイアログ」

④用紙種類

印刷に使用する用紙種類を選択します。

項目	説明
指定しない	• 普通紙タイプの用紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用しないときに選択します。 • [給紙装置]は手動で選択する必要があります。
普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき	• 紙厚が64～80g/m²の左記普通紙タイプの用紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用するときに選択します。 • [給紙装置]には[自動選択]が自動選択されます。
上質紙	• EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙（型番：LPCPPA4）、紙厚が 81 ～ 105g/m² の普通紙に印刷する場合に選択します。 • [給紙装置]には[MP トレイ]が選択されますが、[自動選択]や[用紙カセット]に変更することもできます（どの給紙装置からも印刷できます）。
OHP シート	• EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート（型番：LPCOHPS1）に印刷する場合に選択します。 • [給紙装置]には[MP トレイ]が自動選択されます。
ラベル	• ラベル紙に印刷する場合に選択します。 • [給紙装置]には[MP トレイ]が自動選択されます。
厚紙	• 紙厚が 106 ～ 163g/ ㎡の厚紙に印刷する場合に選択します。 • [給紙装置]には[MP トレイ]が自動選択されます。
特厚紙	• 紙厚が 164 ～ 210g/ ㎡の特厚紙に印刷する場合に選択します。 • [給紙装置]には[MP トレイ]が自動選択されます。
コート紙	• EPSON カラーレーザープリンタ用コート紙（型番：LPCCTA4）に印刷する場合に選択します。 • [給紙装置]には[MP トレイ]が自動選択されます。
普通紙（裏面）	• 普通紙の片面印刷後にさらにもう一方の面に印刷する場合に選択します。 • [給紙装置]には[MP トレイ]が選択されますが、[自動選択]や[用紙カセット]に変更することもできます（どの給紙装置からも印刷できます）。
上質紙（裏面）	• EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙（型番：LPCPPA4）、紙厚が81～105g/m² の普通紙の片面印刷後にさらにもう一方の面に印刷する場合に選択します。 • [給紙装置]には[MP トレイ]が選択されますが、[自動選択]や[用紙カセット]に変更することもできます（どの給紙装置からも印刷できます）。
厚紙（裏面）	• 厚紙の片面印刷後にさらにもう一方の面に印刷する場合に選択します。 • [給紙装置]には[MP トレイ]が自動選択されます。
特厚紙（裏面）	• 特厚紙の片面印刷後にさらにもう一方の面に印刷する場合に選択します。 • [給紙装置]には[MP トレイ]が自動選択されます。
コート紙（裏面）	• EPSON カラーレーザープリンタ用コート紙（型番：LPCCTA4）の片面印刷後にさらにもう一方の面に印刷する場合に選択します。 • [給紙装置]には[MP トレイ]が自動選択されます。
ハガキ（裏面）	• 郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、4 連郵便ハガキの裏面に印刷する場合に選択します。 • [給紙装置]には[MP トレイ]が自動選択されます。

参 考

- 用紙サイズを郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、4 連郵便ハガキ、または封筒サイズにした場合、プリンタドライバの［用紙種類］の設定に関係なく、プリンタ内部では厚紙として印刷を行います。
- 郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、4 連郵便ハガキの片面だけに印刷する場合は特に［用紙種類］を設定する必要はありませんが、両面に印刷する場合で片面の印刷後もう一方の面を印刷するときは［用紙種類］を［ハガキ（裏面）］に設定してください。
- 操作パネルで用紙タイプを設定していない場合は、「用紙タイプ選択機能」は使用できません。
本書 286 ページ「キュウシソウチメニュー」
本書 346 ページ「用紙タイプ選択機能」

⑤色

カラー印刷を行うときは、［カラー］を、モノクロ印刷を行うときは［モノクロ］を選択します。

⑥割り付け

2 ページまたは 4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に自動的に縮小割り付けして印刷します。割り付けるページ数と順序を設定するには、［割り付け］のチェックボックスをチェックして［割り付け設定］ボタンをクリックします。
本書 22 ページ「割り付け印刷で用紙を節約」
本書 36 ページ「1 枚の用紙に複数ページを割り付けて印刷するには」

⑦両面印刷（手動）

両面印刷を行います。製本印刷の設定も行えます。
本書 24 ページ「両面印刷で用紙を節約」
本書 38 ページ「両面印刷 / 製本印刷するには」

参 考

- 標準状態では［両面印刷（手動）］と表示され、両面印刷は手動で行います。
- オプションの両面印刷ユニット装着時は、［両面印刷］と表示され、自動両面印刷が行えます。

両面印刷できる用紙については以下のページを参照してください。
本書 331 ページ「両面印刷について」

注 意

両面印刷の製本機能と割り付け機能を同時に設定することはできません。

⑧印刷部数

印刷する部数（1 ～ 999）を指定します。

⑨部単位で印刷

2 部以上印刷する場合に 1 ページ目から最終ページまでを 1 部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、⑧の［印刷部数］で指定します。

注意	アプリケーションソフトで部単位印刷を設定できる場合は、通常アプリケーション側で設定してください(アプリケーションソフトで設定できない場合は、プリンタドライバで［部単位で印刷］を設定します)。ただし、［拡張設定］ダイアログの［アプリケーションの部単位印刷を優先］を無効にした場合は、必ずプリンタドライバで［部単位で印刷］を設定してください。 本書 70 ページ「⑨ アプリケーションの部単位印刷を優先」

⑩［設定確認］ボタン

プリンタドライバの設定一覧を表示します。また、設定の一覧を印刷することができます。

⑪［初期値にする］ボタン

［基本設定］ダイアログの設定を初期状態に戻します。

任意の用紙サイズを登録するには

［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズを［ユーザー定義サイズ］として設定して登録することができます。

参考	不定形紙への印刷は、いくつかご注意いただく点があります。以下のページを参照してから印刷を実行してください。 本書 344 ページ「不定形紙への印刷」

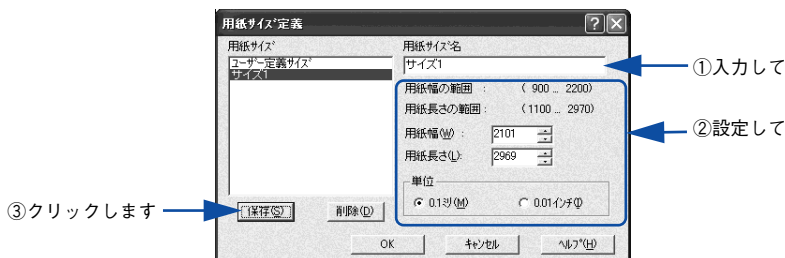
1 プリンタドライバの設定画面を表示します。

本書 18 ページ「設定画面の開き方」

2 プリンタドライバの［基本設定］ダイアログの［用紙サイズ］リストから［ユーザー定義サイズ］を選択します。

3 ［用紙サイズ名］に登録名を入力し、登録したい［用紙幅］と［用紙長さ］を入力してから、［保存］ボタンをクリックします。

数値の単位は、［0.1 ミリ］または［0.01 インチ］のどちらかを選択できます。設定できるサイズの範囲は次の通りです。

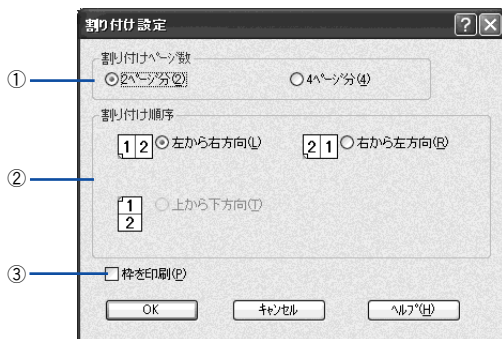
- 用紙幅：90.0 ～ 220.0mm（3.55 ～ 8.66 インチ）
- 用紙長さ：110.0 ～ 297.0mm（4.33～ 11.69 インチ）

参 考

- 登録できる用紙サイズの数は 20 件までです。
- すでに登録されている用紙サイズを変更する場合は、［用紙サイズ］リストから変更したい用紙サイズをクリックして選択し、保存し直します。
- すでに登録されている用紙サイズを削除する場合は、［用紙サイズ］リストから削除したい用紙サイズをクリックして選択し、［削除］ボタンをクリックします。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録された用紙サイズは保持されます。

4 ［OK］ボタンをクリックします。

これで、定義した用紙サイズが［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。この後は、通常印刷する手順と同様に印刷してください。

1 枚の用紙に複数ページを割り付けて印刷するには

［基本設定］ダイアログで［割り付け］のチェックボックスをチェックして［割り付け設定］ボタンをクリックすると、［割り付け設定］ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。

①割り付けページ数

1 枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。

②割り付け順序

割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。［印刷方向］（縦・横）と［割り付けページ数］によって、選択できる割り付け順序は異なります。

③枠を印刷

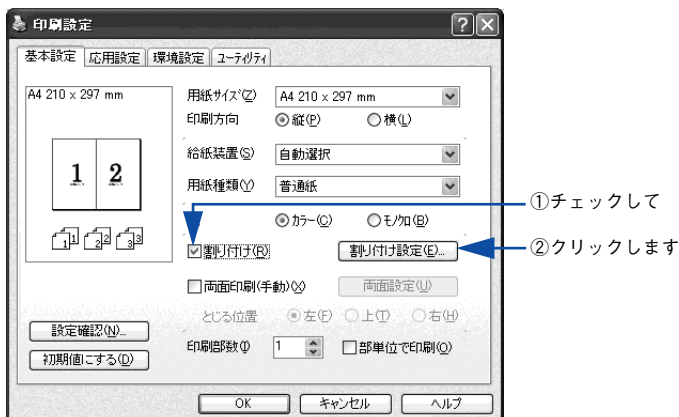
割り付けたページの周りに枠線を印刷します。

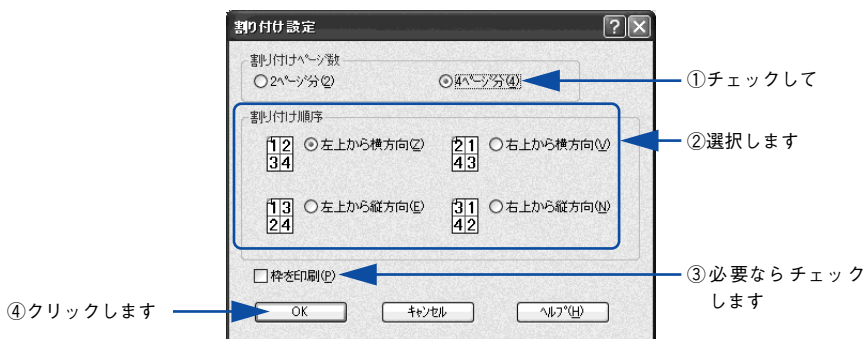
割り付け印刷の手順

4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に印刷する場合の手順は以下の通りです。

1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

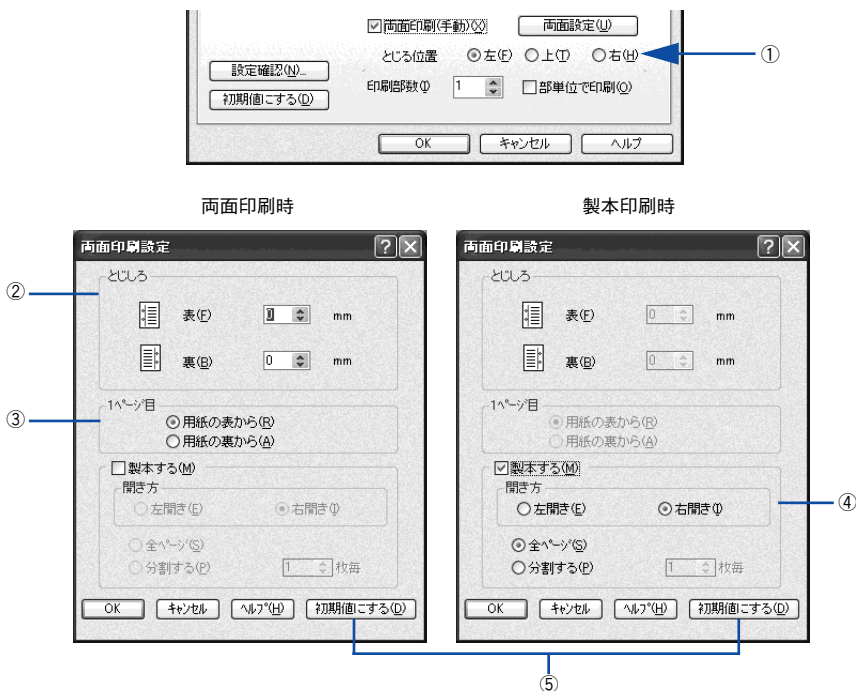
本書 18 ページ「設定画面の開き方」

2 **[割り付け設定] ダイアログを開きます。**

3 **[4 ページ分] を選択して、[割り付け設定] ダイアログの各項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。**

割り付けたページの周りに枠線を入れたいときは [枠を印刷] のチェックボックスをチェックします。

4 **[OK] ボタンをクリックして [基本設定] ダイアログを閉じ、アプリケーションソフトから印刷を実行します。**

両面印刷 / 製本印刷するには

［基本設定］ダイアログで［両面印刷（手動）］/［両面印刷］* のチェックボックスをチェックして［両面設定］ボタンをクリックすると、［両面印刷設定］ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。

* オプションの両面印刷ユニットを装着して［環境設定］ダイアログで正しく認識していると、ダイアログの表示が［両面印刷（手動）］から［両面印刷］に変わります。

①とじる位置

両面印刷するときのとじる位置を選択します。

②とじしろ

両面印刷するときのとじしろ幅（余白）を、0 ～ 30mm の範囲で用紙の表と裏でそれぞれ設定します。

③1 ページ目

両面印刷する場合、印刷データの 1 ページ目を用紙の表から印刷するか裏から印刷するかを選択します。

④製本する

［基本設定］ダイアログの［印刷方向］に応じて製本した場合の開き方を選択できます。

- ［印刷方向］が［縦］の場合は、［左開き］か［右開き］かを選択できます。
- ［印刷方向］が［横］の場合は、［下開き］のみ設定できます。

さらに、製本するページの単位を設定できます。

- ［全ページ］を選択すると、すべてのページをまとめて製本します。
- ［分割する］を選択して用紙枚数を指定すると、指定枚数ごとに製本します。最大 10 枚ごとまで分割することができます。

参考
- ［製本する］をチェックすると、両面印刷の［とじる位置］と［とじしろ］の設定は無効になります。
- 部単位での印刷になります。

⑤［初期値にする］ボタン

両面印刷の設定を初期状態に戻します。

両面印刷の手順

A4 サイズ（縦長）の印刷データを用紙の左側をとじられるように両面印刷する場合の手順は以下の通りです。

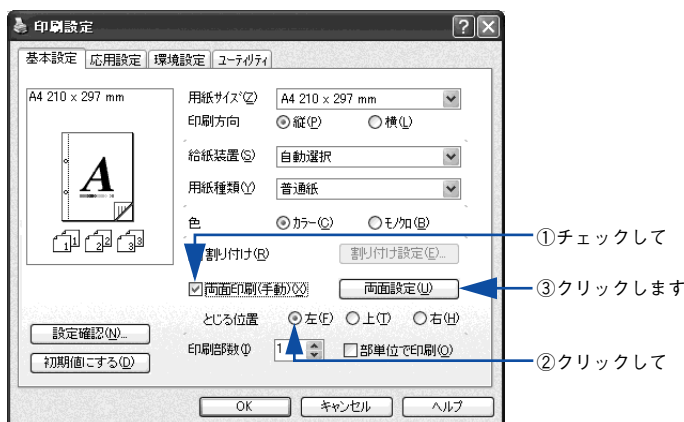
1 プリンタに両面印刷が可能なサイズの用紙（ここではA4）がセットされていることを確認します。

☞ 本書 331 ページ「両面印刷について」

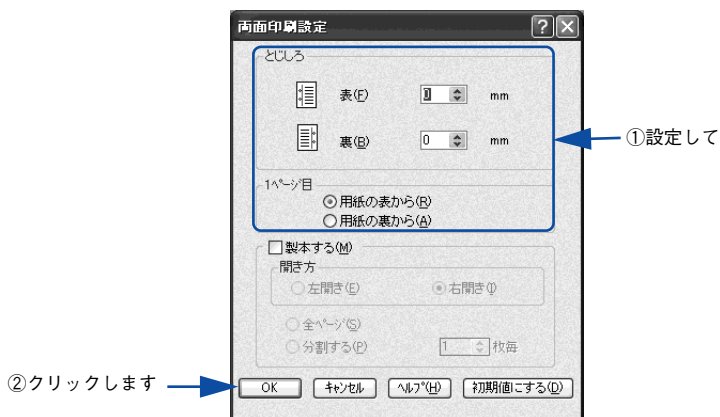
2 プリンタドライバの設定画面を表示します。

☞ 本書 18 ページ「設定画面の開き方」

3 ［基本設定］ダイアログで、以下の項目を設定します。

［両面印刷］（手動）/［両面印刷］のチェックボックスをチェックし、［とじる位置］の［左］をクリックして、［両面設定］ボタンをクリックします。

参考
オプションの両面印刷ユニットを装着すると、ダイアログの表示が［両面印刷（手動）］から［両面印刷］に変わります。

4 **［両面印刷設定］ダイアログの各項目を設定します。**

各項目を設定してから、［OK］ボタンをクリックします。

5 **［OK］ボタンをクリックして［基本設定］ダイアログを閉じ、アプリケーションソフトから印刷を実行します。**

製本印刷の手順

8 ページの印刷データ（縦長）を右開きになるように製本印刷する場合の手順は以下の通りです。

1 **プリンタに両面印刷が可能なサイズの用紙がセットされていることを確認します。**

2 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

本書 18 ページ「設定画面の開き方」

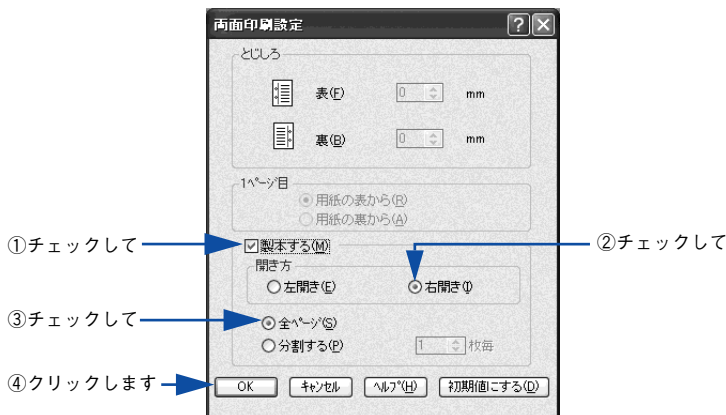
3 **［基本設定］ダイアログで、以下の項目を設定します。**

［両面印刷］（手動）/［両面印刷］のチェックボックスをチェックして、［両面設定］ボタンをクリックします。

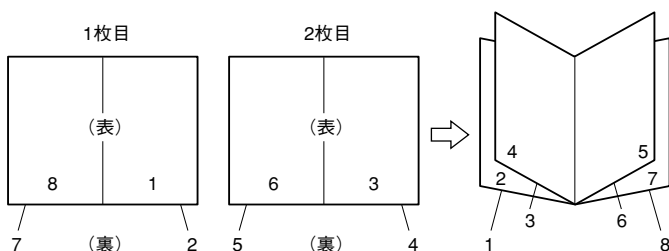
参 考	オプションの両面印刷ユニットを装着すると、ダイアログの表示が［両面印刷（手動）］から［両面印刷］に変わります。

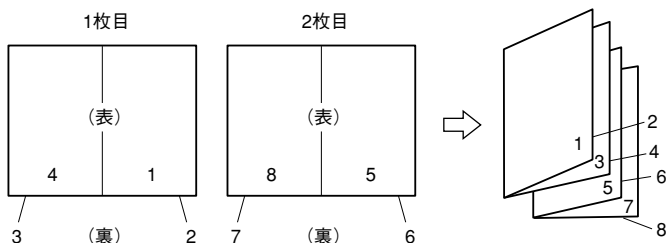
4 **［両面印刷設定］ダイアログの以下の項目を設定します。**

［製本する］と［開き方］の［右開き］、［全ページ］をチェックして、［OK］ボタンをクリックします。

参考

- ［製本する］をチェックすると、両面印刷の［とじる位置］と［とじしろ］の設定は無効になります。
- 部単位での印刷になります。

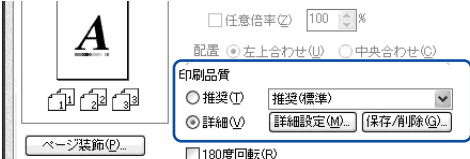
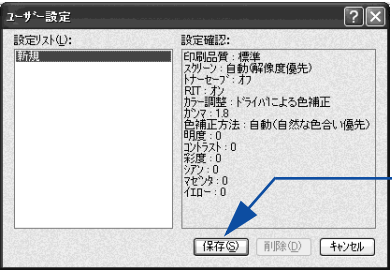
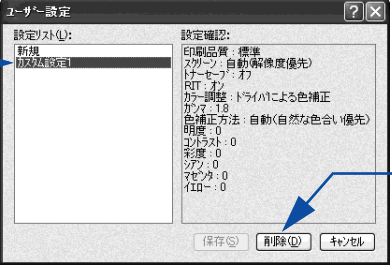
5 **［OK］ボタンをクリックして［基本設定］ダイアログを閉じ、アプリケーションソフトから印刷を実行します。**

以下のように印刷されますので､2枚の用紙をまとめて2つ折りにしてとじてください。

参考

［製本する］の［分割する］を選択する（例：分割数=1枚ごと）と、以下のように印刷されます。この場合は､1枚ずつ2つ折りにしてからまとめてとじます。

［応用設定］ダイアログ

プリンタドライバの［応用設定］ダイアログでは、印刷品質などの設定を行います。

<例> Windows XP でアプリケーションソフトから開いた場合

①拡大 / 縮小

拡大または縮小して印刷することができます。

☞ 本書 26 ページ「ページを拡大または縮小して印刷」
☞ 本書 53 ページ「拡大 / 縮小して印刷するには」

②印刷品質

印刷の品質を決定するさまざまな機能を設定します。

項目	説明
推奨	一般的に推奨できる条件で印刷します。ほとんどの場合、この［推奨］で良い印刷結果が得られます。印刷品質（解像度）を［標準］（300dpi）または［高品質］（600dpi）のどちらかに設定できます。通常は［標準］の設定で十分な印刷品質が得られます。［高品質］は、印刷品質を最優先にして印刷を行うときに選択してください。
詳細	［詳細］をクリックすると、プリセットメニューのリストボックス、［詳細設定］ボタン、［保存 / 削除］ボタンが有効になり、詳細な設定ができます。 ☞ 本書 46 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

項目	説明
［保存 / 削除］ボタン	**保存するには** ①あらかじめ［詳細設定］ダイアログで設定しておきます。 本書 46 ページ「［詳細設定］ダイアログ」 ②［応用設定］ダイアログの［保存 / 削除］をクリックします。 ユーザー設定 設定リスト(L): 新規 設定確認: 印刷品質：標準 スクリーン：自動(解像度優先) トナーセーブ：オフ RIT：オン カラー調整：ドライバによる色補正 ガンマ：1.8 色補正方法：自動(自然な色合い優先) 明度：0 コントラスト：0 彩度：0 シアン：0 マゼンタ：0 イエロー：0 保存(S)　削除(D)　キャンセル ③クリックします ［カスタム設定 1 ～ 10］として 10 組まで保存できます。 **削除するには** ①［応用設定］ダイアログの［詳細］－［保存 / 削除］を順番にクリックします。 ユーザー設定 設定リスト(L): 新規 カスタム設定1 設定確認: 印刷品質：標準 スクリーン：自動(解像度優先) トナーセーブ：オフ RIT：オン カラー調整：ドライバによる色補正 ガンマ：1.8 色補正方法：自動(自然な色合い優先) 明度：0 コントラスト：0 彩度：0 シアン：0 マゼンタ：0 イエロー：0 保存(S)　削除(D)　キャンセル ②削除する設定名をクリックして ③クリックします ④確認ダイアログで［はい］をクリックします。

参 考

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、以下のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［印刷品質］を［標準］に設定する。
- ［データ圧縮方法］を［データサイズ優先］に設定する。
  本書 68 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
- ［ページエラー回避］を有効にする。
  本書 68 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
- 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使用しない状態に設定する。
  本書 289 ページ「パラレル I/F セッテイメニュー」
  本書 290 ページ「USB I/F セッテイメニュー」
  本書 292 ページ「ネットワーク I/F セッテイメニュー」

上記の方法でメモリ関連のエラーが解決できない場合は、プリンタのメモリを増設すると解決できる場合があります。

カラー印刷時に［詳細］をクリックすると、以下のプリセットメニューをご利用いただけます。

プリセットメニュー	用途
推奨（標準）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷速度を重視した設定で印刷します。
ワープロ / グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷速度を重視した設定で印刷します。
グラフィック /CAD	グラフィック画像や CAD による描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷速度を重視した設定で印刷します。
写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷速度を重視した設定で印刷します。
オートフォトファイン !4	EPSON独自の画像補正技術オートフォトファイン!4を使用し、印刷データ内の画像を高画質化して印刷します。
ICM	Windows の ICM(Image Color Matching) 機能（Windows NT4.0 を除く）を使用してスキャナから取り込んだ画像と、プリンタの印刷結果の色合いを合わせて印刷します。
sRGB	スキャナやディスプレイなどの機器が sRGB に対応している場合、それぞれの機器とカラーマッチングを行って印刷します。お使いの機器が sRGB に対応しているかは、機器のメーカーにお問い合わせください。
推奨（高品質）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質ワープロ / グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質グラフィック /CAD	グラフィック画像や CAD による描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷品質を重視した設定で印刷します。

③ 180 度回転

印刷データを 180 度回転して印刷します。

④［ページ装飾］ボタン

「スタンプマーク」と「ヘッダー / フッター」の設定をするダイアログを表示します。

本書 29 ページ「「仮」などのスタンプマークを重ねて印刷」
本書 52 ページ「［ページ装飾］ダイアログ」
本書 57 ページ「スタンプマークを印刷するには」

⑤［設定確認］ボタン

プリンタドライバの設定一覧を表示します。また、設定の一覧を印刷することができます。

⑥［初期値にする］ボタン

［応用設定］ダイアログの設定を初期状態に戻します。

［詳細設定］ダイアログ

［応用設定］ダイアログで［印刷品質］の［詳細］をクリックして、さらに［詳細設定］ボタンをクリックすると、［詳細設定］ダイアログが開いて印刷条件の詳細な設定ができます。

カラー印刷の場合

モノクロ印刷の場合

①色

カラー印刷を行うときは、［カラー］を、モノクロ印刷を行うときは［モノクロ］を選択します。

②印刷品質

印刷の解像度を［標準］（300dpi）または［高品質］（600dpi）から選択できます。［高品質］を選択すると、きめ細かく印刷できますが印刷時間は長くなります。品質より印刷速度を優先する場合は、［標準］を選択してください。

項目	説明
標準	文字文書の高速印刷（品質より印刷速度を優先する場合）に適しています。
高品質	写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調が変化する画像）の印刷に適しています。

参考

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、以下のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［印刷品質］を［標準］に設定する。
- ［データ圧縮方法］を［データサイズ優先］に設定する。
  本書 68 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
- ［ページエラー回避］を有効にする。
  本書 68 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
- 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使用しない状態に設定する。
  本書 289 ページ「パラレル I/F セッテイメニュー」
  本書 290 ページ「USB I/F セッテイメニュー」
  本書 292 ページ「ネットワーク I/F セッテイメニュー」

上記の方法でメモリ関連のエラーが解決できない場合は、プリンタのメモリを増設すると解決できる場合があります。

③スクリーン（カラー印刷のみ）

スクリーン線数（lpi）を選択します。

項目	説明
自動（階調優先）	写真や図形を印刷する際に階調を優先してスクリーン線数を自動的に設定します（文字の印刷は解像度を優先します）。
自動（解像度優先）	図形や文字を印刷する際に解像度を優先してスクリーン線数を自動的に設定します（写真の印刷は階調を優先します）。
階調優先	階調を優先して印刷します。色調や色の濃淡が無段階に変化する連続階調、写真やグラデーションのあるデータの印刷時に選択してください。
解像度優先	解像度を優先して印刷します。文字や細い線や細かい模様のあるデータの印刷時に選択してください。

参考

［基本設定］ダイアログの［用紙種類］で［OHP シート］を選択している場合は、OHP シート専用のスクリーンが用いられるので設定できません。

④トナーセーブ

［詳細設定］を選択すると、トナーセーブ機能を設定できます。カラー、モノクロ印刷とも印刷濃度を抑えることでトナーを節約します（カラー印刷時は色の表現力を低く抑えて印刷します）。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

参考	トナーセーブ機能を有効にすると、色の濃度を低くして印刷するため、薄い色や細かい線などは印刷されない場合があります。

⑤RIT

RIT[*1]（Resolution Improvement Technology）を有効にすると大きな文字がきれいに印刷できたり、写真画像の斜線補正や輪郭補正などに効果があります。

*1　RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷するEPSON独自の印刷機能。

参考

- RIT 機能を有効にしてグラデーション（無段階に変化する階調）のある画像を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合はRIT 機能を使用しないでください。
- カラー印刷の場合、③の［スクリーン］の設定またはデータ上の色によってRIT 機能が有効にならない場合があります。

⑥ドライバによる色補正（カラー印刷のみ）

プリンタドライバによるカラー調整を行います。［ドライバによる色補正］を選択した場合は、以下の設定でカラーを調整できます。

ガンマ（カラー印刷のみ）：

ガンマ値は、画像階調の入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位で、この値を変更することで中間調の明るさの見え方が変わります。

項目	説明
1.5	ガンマ値 1.8 に比べて柔らかい感じの画像を印刷することができます。
1.8	通常はこの設定で印刷してください。ガンマ値 1.5 に比べて立体感があり、メリハリのある画像を印刷することができます。
2.2	sRGB 対応製品と色合わせして印刷する場合に選択してください。⑨の［sRGB］を選択しても同様の結果が得られます。

色補正方法（カラー印刷のみ）：
色の補正方法を選択できます。

項目	説明
自動（自然な色合い優先）	文字を鮮やかな色合いに、グラフィックとイメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
自動（鮮やかさ優先）	文字とグラフィックを鮮やかな色合いに、イメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
自然な色合い	より自然な発色になるようにカラー調整します。
鮮やかな色合い	より鮮やかな発色になるようにカラー調整します。
色補正なし	カラー調整しません。ICM 用プロファイルを作成する際の基準色を印刷するときに選択します。通常は、選択しないでください。

明度：
画像全体の明るさを調整します。

コントラスト：
画像全体のコントラスト（明暗比）を調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを下げると、画像の明暗の差が少なくなります。

彩度（カラー印刷のみ）：
画像全体の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。

シアン、マゼンタ、イエロー（カラー印刷のみ）：
各色の強さを調整します。

	-25	← 0 →	+25
シアン	赤みが強くなります。		青緑（シアン）が強くなります。
マゼンタ	緑色が強くなります。		赤紫（マゼンタ）が強くなります。
イエロー	青色が強くなります。		黄色（イエロー）が強くなります。

⑦オートフォトファイン !4（カラー印刷のみ）

EPSON 独自のオートフォトファイン !4 機能を使って、画像を調整します。ビデオ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、スキャナなどから取り込んだ画像や Photo CD のデータなどを自動的に補正して印刷します。［オートフォトファイン !4］を選択した場合は、以下の設定でカラーを調整します。

☞ 本書 486 ページ「オートフォトファイン !4」

項目	説明
色調	印刷する際の画像の色調の補正方法を、［標準］［硬調］［セピア］［鮮やか］［モノクロ］［色調補正なし］の項目から選択することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。
効果	印刷する際に画像に特殊効果を加えて印刷します。［なし］［シャープネス］［ソフトフォーカス］［キャンバス］［和紙］の中から選択することができます。リスト下のスライドバーは、加える効果の強弱（［ハード］、［ソフト］）を調整することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。
デジタルカメラ用補正	デジタルカメラで撮影した画像に対して、最適な補正をして印刷します。

参 考

- 画像のサイズやコンピュータの性能によっては印刷時間が多少長くなります。
- オートフォトファイン !4 は、1677 万色（24bit）の色情報を持った画像データに対して最も有効に機能します。256 色（8bit）などの少ない色情報の画像データには有効に機能しません。
- EPSON 製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン !4 は使用しないでください。

⑧ICM（カラー印刷のみ）

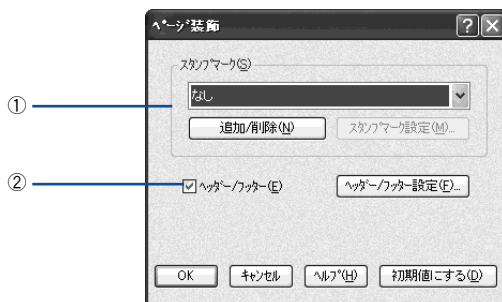
Windows の ICM（Image Color Matching）機能（Windows NT4.0 を除く）を使用して、スキャナから取り込んだ画像とプリンタの印刷結果の色合いを合わせるときに選択します。

⑨sRGB[*1]（カラー印刷のみ）

スキャナやディスプレイなどが sRGB に対応している場合、それぞれの機器とカラーマッチング（色合わせ）を行って印刷します（プリンタドライバでの調整項目はありません）。ご利用の機器が sRGB に対応しているかは、機器のメーカーにお問い合わせください。

*1　sRGB：Microsoft 社とヒューレットパッカード社が共同で制定したRGB の色の規格。

［ページ装飾］ダイアログ

［応用設定］ダイアログで［ページ装飾］ボタンをクリックすると、［ページ装飾］ダイアログが開きます。［ページ装飾］ダイアログは、スタンプマーク印刷、ヘッダー／フッター印刷を行う場合に設定するダイアログです。

①スタンプマーク

印刷データに㊙などの画像や「重要」などのテキストを重ね合わせて印刷します。印刷するスタンプマークは、［スタンプマーク］リストから選択します。詳しくは、以下のページを参照してください。

本書 29 ページ「「仮」などのスタンプマークを重ねて印刷」
本書 57 ページ「スタンプマークを印刷するには」
本書 60 ページ「オリジナルスタンプマークの登録方法」

②ヘッダー / フッター

ユーザー名や印刷日時など、印刷に関する情報を用紙のヘッダー（上部）/ フッター（下部）に印刷します。印刷するヘッダー / フッターを設定するには、［ヘッダー / フッター］をチェックして［ヘッダー / フッター設定］ボタンをクリックします。

［ヘッダー / フッター設定］ダイアログでは、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・コンピュータ名・日付・日付 / 時刻・部番号*）を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

* 部単位で印刷する場合に何部目であるかを示す番号

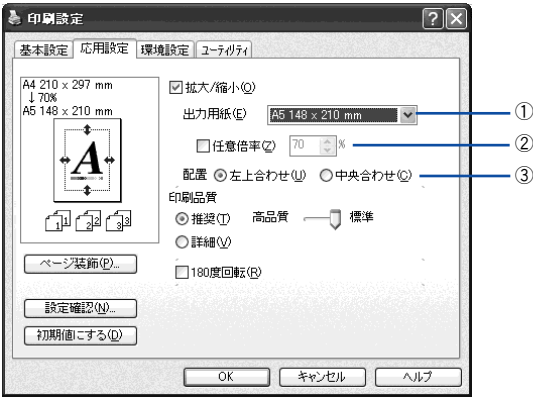
参考

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 の場合、［ヘッダー / フッター］の設定は［動作環境設定］ダイアログでの［ドキュメント設定］の影響を受けます。

本書 71 ページ「［動作環境設定］ダイアログ」

拡大 / 縮小して印刷するには

［応用設定］ダイアログの［拡大 / 縮小］のチェックボックスをチェックすると、以下の項目が設定できます。

< 例 > Windows XP でアプリケーションソフトから開いた場合

①出力用紙

プリンタにセットした用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小（フィットページ）印刷するには、用紙サイズをリストから選択します。設定した情報が画面左側に表示されます。

参 考　［出力用紙］は［基本設定］ダイアログで設定した［用紙サイズ］に対して設定されます。
本書 30 ページ「［基本設定］ダイアログ」

②任意倍率

50 ～ 200% までの任意の倍率を 1% 単位で設定できます。この場合は、フィットページ印刷は行われません。

③配置

フィットページ印刷する場合、ページのどこに印刷するかを選択します。

項目	説明
左上合わせ	用紙の左上を基準にしてフィットページ印刷を行います。
中央合わせ	用紙の中央を基準にしてフィットページ印刷を行います。

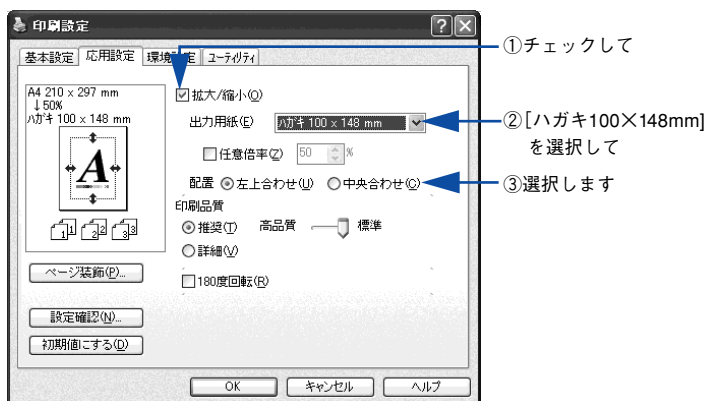
拡大 / 縮小率を自動的に設定するフィットページ印刷

本機にセットした用紙サイズを選択するだけで、拡大 / 縮小率を自動的に設定して印刷することができます。ここではフィットページ機能を使って用紙サイズ A4 の印刷データをハガキサイズに縮小印刷する手順を説明します。

1. プリンタにハガキサイズの用紙がセットされていることを確認します。

2. プリンタドライバの設定画面を表示します。
本書 18 ページ「設定画面の開き方」

3. ［基本設定］ダイアログを開いて、［用紙サイズ］が［A4］になっていることを確認します。

4. ［応用設定］ダイアログを開いて［拡大 / 縮小］にチェックマークを付け、［出力用紙］から［ハガキ 100 × 148mm］を選択して、［配置］を任意に選択します。

5. ［OK］ボタンをクリックして［応用設定］ダイアログを閉じ、アプリケーションソフトから印刷を実行します。

拡大 / 縮小率を自由に設定できる任意倍率印刷

拡大 / 縮小率を自由に設定して印刷することができます。

1 拡大 / 縮小率を計算します。

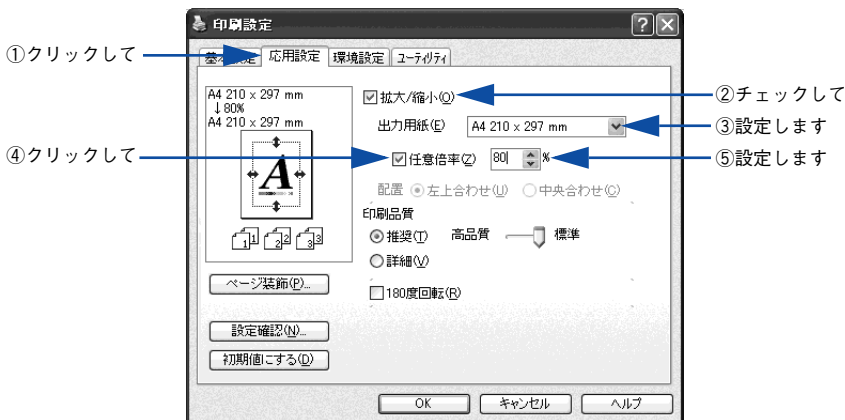
- 元の用紙サイズの一辺の長さと拡大 / 縮小印刷に使用する用紙サイズの一辺の長さを比較して計算します。
- 拡大/縮小率は計算に使用する辺によって異なりますので、縦または横どちらか同等の辺を基に概数（小数点以下切り捨て）を計算します。

2 プリンタドライバの設定画面を表示します。

本書 18 ページ「設定画面の開き方」

3 ［基本設定］ダイアログを開いて、アプリケーションソフトで設定した用紙サイズを［用紙サイズ］から選択します。

4 **［応用設定］ダイアログを開いて［拡大 / 縮小］をチェックし、拡大 / 縮小印刷に使用する用紙サイズを［出力用紙］から選択して、さらに［任意倍率］をチェックして［倍率］を設定します。**

倍率は、数値を直接入力するか、入力ボックス右側の三角マーク（▲ / ▼）をクリックして設定してください。50 ～ 200% の間で倍率を指定できます。

参 考

［任意倍率］で設定した拡大 / 縮小率に合った［出力用紙］を選択してください。以下のような場合は、［出力用紙］が［任意倍率］に合っていません。

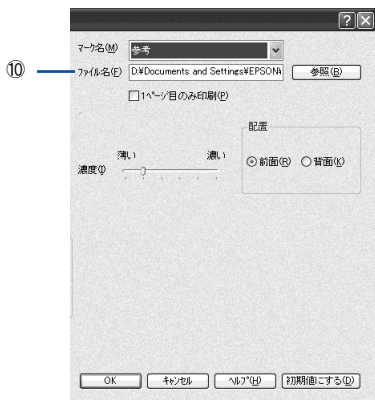
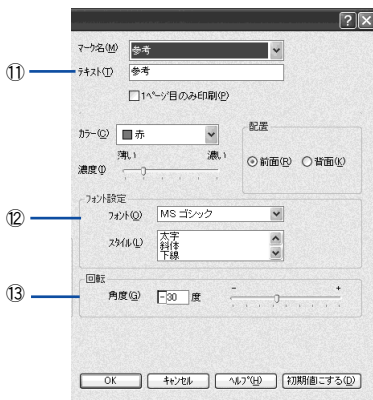
- 縮小印刷時に用紙にバランスよくページが配置されない
- 拡大印刷時に用紙からはみ出て印刷されない部分がある

5 **［OK］ボタンをクリックしてダイアログを閉じてから、アプリケーションソフトから印刷を実行します。**

スタンプマークを印刷するには

［応用設定］ダイアログから開いた［ページ装飾］ダイアログで任意のスタンプマークを選択して［スタンプマーク設定］ボタンをクリックすると、［スタンプマーク設定］ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。

ビットマップマーク選択時

登録したビットマップマーク選択時

登録したテキストマーク選択時

①プレビュー部

選択しているスタンプマークが表示されます。

②マーク名

印刷するスタンプマークをリストボックスから選択します。

③ 1 ページ目のみ印刷

用紙の 1 ページ目のみにスタンプマークを印刷します。

④カラー

スタンプマークの色を選択します。

⑤配置
スタンプマークを文書の［前面］または［背面］どちらに配置するかを選択します。［前面］に配置すると、印刷データの文字やグラフィックスがスタンプマークにかくれてしまう場合があります。

⑥濃度
スタンプマークの印刷濃度（薄い・濃い）を調整します。

⑦位置
スタンプマークの印刷位置をリストボックスから選択します。

⑧オフセット
スタンプマークの印刷位置をスライドバーで調整できます。

⑨サイズ
印刷するスタンプマークのサイズを調整します。スライドバーを［－］側に移動するとより小さく、［＋］側に移動するとより大きくスタンプマークが印刷されます。

参考	［サイズ］、［位置］、［オフセット］を設定する場合、スタンプマークが印刷保証領域を超えないように注意してください。

⑩ファイル名（登録したビットマップマーク選択時のみ）
登録したビットマップマークを［マーク名］で選択した場合は、登録したビットマップのファイル名が表示されます。登録したビットマップファイルを変更する場合は、［参照］ボタンをクリックしてファイルを選択し直してください。

⑪テキスト（登録したテキストマーク選択時のみ）
登録したテキストマークを［マーク名］で選択した場合は、登録した文字列が表示されます。一時的に文字を追加して変更することもできます。登録した文字を変更する場合は、［追加／削除］ボタンをクリックして同一マーク名で上書きしてください。

⑫フォント設定（登録したテキストマーク選択時のみ）
テキストマークを選択した場合は、登録したテキストのフォントおよびスタイル（形状）を、リストボックスの中から選択することができます。

⑬回転（登録したテキストマーク選択時のみ）
テキストマークを選択した場合は、テキストマークの角度を設定できます。入力欄に角度を直接入力するか、スライドバーで設定してください。

⑭［初期値にする］ボタン
［スタンプマーク］ダイアログの設定を初期状態に戻します。

スタンプマーク印刷の手順

スタンプマークを印刷する場合の手順は以下の通りです。

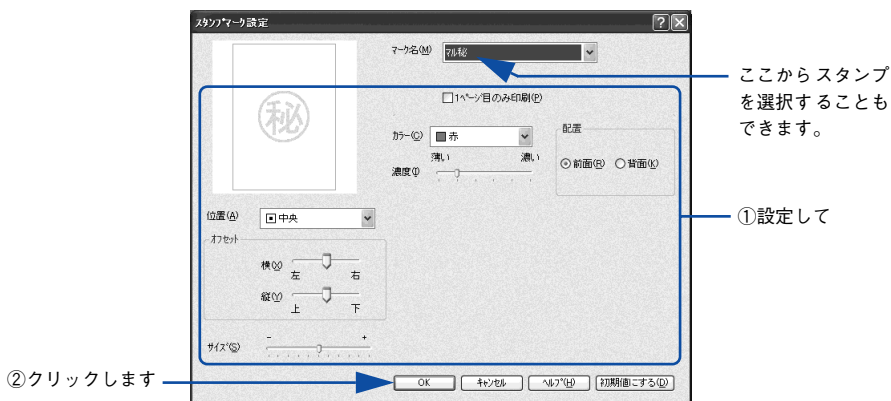
1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

本書 18 ページ「設定画面の開き方」

2 **［応用設定］ダイアログを開いて、［ページ装飾］ボタンをクリックします。**

3 **［ページ装飾］ダイアログの［スタンプマーク］リストボックスから印刷するスタンプを選択して、［OK］ボタンをクリックします。**

- そのまま印刷する場合は、［OK］ボタンをクリックして 6 へ進みます。
- スタンプマークの設定を変更する場合は、［スタンプマーク設定］ボタンをクリックして 4 へ進みます。

4 **スタンプマークの設定を変更してから、［OK］ボタンをクリックします。**

5 **［OK］ボタンをクリックして［ページ装飾］ダイアログを閉じます。**

6 **［OK］ボタンをクリックして［応用設定］ダイアログを閉じ、アプリケーションソフトから印刷を実行します。**

オリジナルスタンプマークの登録方法

すでに登録されているスタンプマークのほかに、任意のテキスト（文字）やお好みの画像（BMP[*1]画像）を登録して印刷することができます。

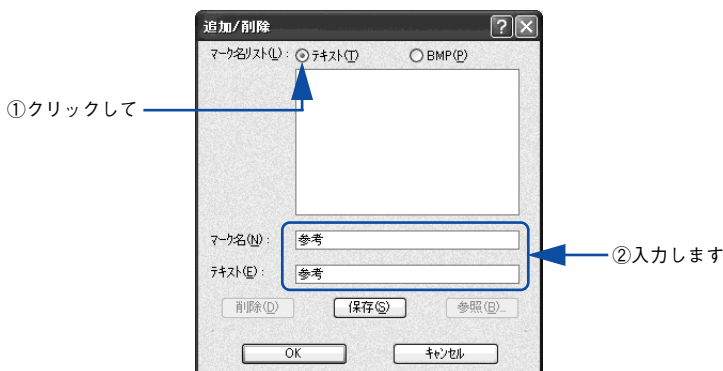
[*1] BMP：画像ファイルを保存する際のファイル形式の1つ。

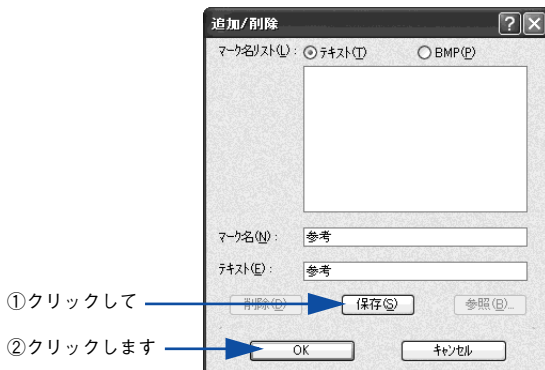
参考
- 画像を登録したい場合は、以下の操作を始める前に、画像を準備しておいてください。なお、登録できる画像のファイル形式はBMPだけです。
- 画像と単語を合計10個まで登録できます。

テキストマークの登録方法

1. ［応用設定］ダイアログを開いて、［ページ装飾］ボタンをクリックします。

2. ［ページ装飾］ダイアログの［追加 / 削除］ボタンをクリックします。

3. ［テキスト］をクリックし、［マーク名］に任意の登録名を、［テキスト］に登録したい文字を入力します。

参考
先に［テキスト］に文字を直接入力すると、同じ文字が自動的に［マーク名］に入力されます。入力した文字と同じマーク名を付けたい場合に便利です。なお、［マーク名］に直接入力すれば、［テキスト］内容とは別の名称で登録できます。

4 ［保存］ボタンをクリックして、［OK］ボタンをクリックします。

これで［スタンプマーク設定］ダイアログの［マーク名］リストにオリジナルのテキストマークが登録されました。

参考	登録したスタンプマークを削除するには、削除したいマーク名を［マーク名リスト］から選択して［削除］ボタンをクリックします。［削除］ボタンをクリックした後、［ページ装飾］ダイアログとプリンタプロパティのダイアログの［OK］ボタンをクリックして必ず一旦閉じてください。

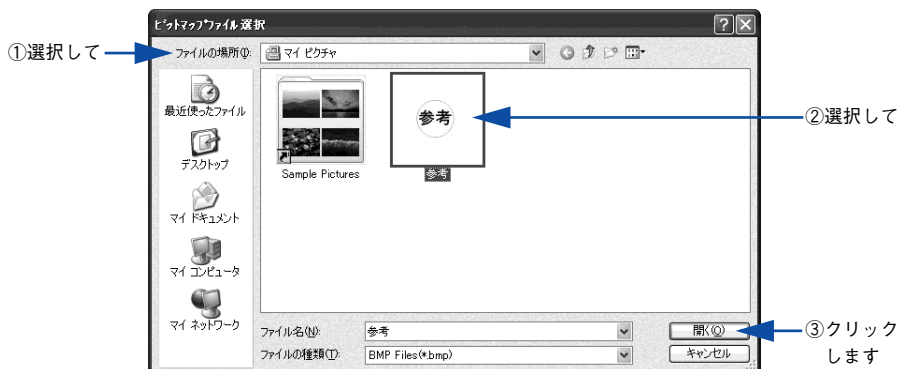
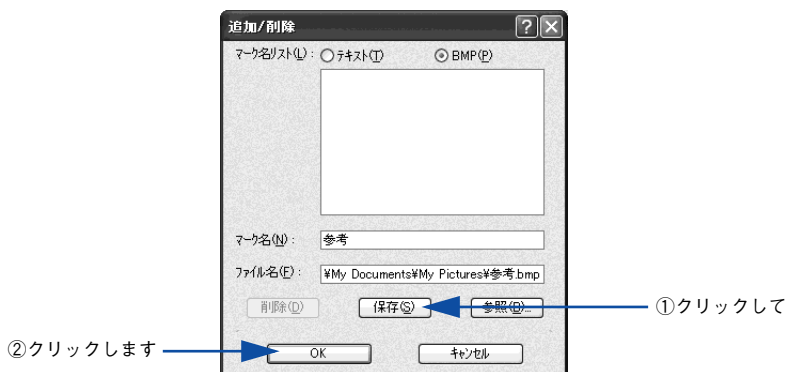
5 ［ページ装飾］ダイアログで［OK］ボタンをクリックします。

以上で登録は終了です。登録したスタンプマークは、［スタンプマーク設定］ダイアログ左側のプレビュー部で確認できます。

ビットマップマークの登録方法

1. アプリケーションソフトでスタンプマークを作成し、BMP 形式で保存します。
2. ［応用設定］ダイアログを開いて、［ページ装飾］ボタンをクリックします。
3. ［ページ装飾］ダイアログの［追加 / 削除］ボタンをクリックします。

4. ［BMP］をクリックし、［マーク名］に任意の登録名を入力してから、［参照］ボタンをクリックします。

5 ❶ でスタンプマークを保存したフォルダを選択し、登録するスタンプマークのファイル名をクリックしてから、[OK] ボタンをクリックします。

6 [保存] ボタンをクリックして、[OK] ボタンをクリックします。

これで [スタンプマーク設定] ダイアログの [マーク名] リストにオリジナルのビットマップマークが登録されました。

参 考	登録したスタンプマークを削除するには、[マーク名リスト] から削除したいマーク名を選択して [削除] ボタンをクリックします。[削除] ボタンをクリックした後、[ページ装飾] ダイアログとプリンタプロパティのダイアログの [OK] ボタンをクリックして必ず一旦閉じてください。

7 [ページ装飾] ダイアログで [OK] ボタンをクリックします。

以上で登録は終了です。登録したスタンプマークは、[スタンプマーク設定] ダイアログ左側のプレビュー部で確認できます。

［環境設定］ダイアログ

［環境設定］ダイアログは、お使いの OS や開き方によって画面のイメージや設定できる項目が異なります。

［プリンタ］フォルダから開いた場合

		Windows 98/Me	Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003			
			ドキュメントの既定値 / 印刷設定		プロパティ	
			管理者	管理者以外	管理者	管理者以外
設定項目	プリンタ（オプション情報）	○	―	―	○	△
	ステータスシート印刷	○	○	○	○	○
	拡張設定	○	○	○	―	―
	動作環境設定	○	△	△	○	△

アプリケーションソフトから開いた場合

		Windows 98/Me	Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003	
			管理者	管理者以外
設定項目	プリンタ（オプション情報）	―	―	―
	ステータスシート印刷	○	○	○
	拡張設定	○	○	○
	動作環境設定	△	△	△

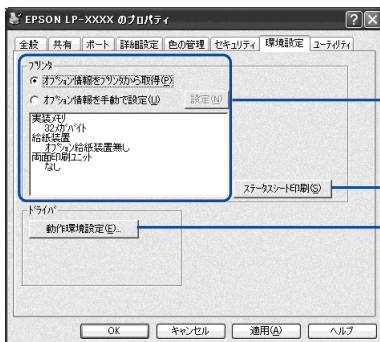
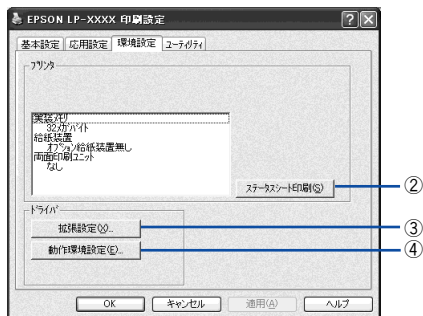
○ :選択可（ダイアログを開いて設定できます）
△ :確認のみ（選択できますが、設定できません）
ー :非表示（選択・設定できません）

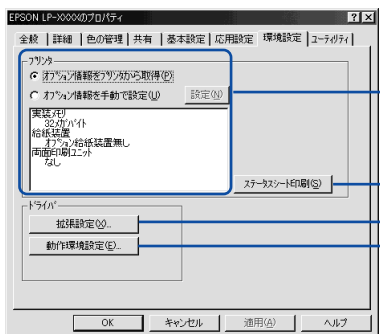
参考

Windows NT4.0/2000/Server 2003 の場合は管理者権限（Power Users 以上の権限）のあるユーザーまたはアクセス許可を与えられた Users のみが、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーが設定を変更でき、［プロパティ］または［ドキュメントの既定値］/［印刷設定］のどちらで［環境設定］ダイアログを開くかによって、設定できる項目（［拡張設定］または［動作環境設定］）が異なります。ダイアログの開き方については、以下のページを参照してください。

本書 18 ページ「設定画面の開き方」

以下に代表的な画面を掲載して項目の説明をします。

＜例＞ Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003

［プリンタ］フォルダから［プロパティ］を選択して開いた場合

［プリンタ］フォルダから［ドキュメントの既定値］または［印刷設定］を選択して開いた場合（アプリケーションソフトから開いた場合）

＜例＞ Windows 98/Me

［プリンタ］フォルダから［プロパティ］を選択して開いた場合

アプリケーションソフトから開いた場合

①プリンタ（オプション情報）

［プリンタ］フォルダから［環境設定］ダイアログを開くと、プリンタに装着しているオプションの最新情報を表示します。本機では、実装しているメモリ容量とオプション（給紙装置など）の有無を表示します。オプション情報は、次のいずれかの方法で取得します。

項目	説明
オプション情報を プリンタから取得 *	［プリンタ］フォルダから［プロパティ］を選択してプリンタドライバを開いたときに、オプション情報を自動的に取得します。
オプション情報を 手動で設定	［設定］ボタンをクリックして［実装オプション設定］ダイアログを開き、取り付けているメモリの容量やオプションを手動で設定します。 本書67 ページ「［実装オプション設定］ダイアログ」

＊ EPSON プリンタウィンドウ!3 がインストールされていて、かつ双方向通信が可能な場合のみ有効

参考	アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いた場合（Windows NT4.0 の場合は［ドキュメントの既定値］、Windows 2000 /XP/Server 2003 の場合は［印刷設定］を選択したとき）は、最新のオプション情報は表示されません。［設定］ボタンも表示されません。

②［ステータスシート印刷］ボタン

プリンタの状態や設定値を記載したステータスシートを印刷します。なお、コンピュータとプリンタ間の通信方向により、印刷されるステータスシートが以下のように異なります。

- 双方向通信時：カラー印刷される日本語表記の標準ステータスシート（プリンタの設定情報が取得できる場合）
- 単方向通信時：モノクロ印刷されるカタカナ表記 * の簡易ステータスシート（プリンタの設定情報が取得できない場合）

  * 操作パネルの［プリンタセッテイメニュー］で［ヒョウジゲンゴ］が［English］の場合は、英語表記になります。

  本書 397 ページ「ステータスシートでの確認」

③［拡張設定］ボタン

印刷位置のオフセット値、白紙節約機能などの設定を行うときにクリックします。

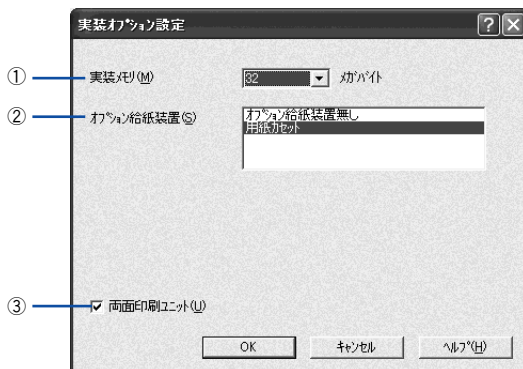
本書 68 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

④［動作環境設定］ボタン

印刷データを一時的に保存するためのフォルダを指定します。

本書 71 ページ「［動作環境設定］ダイアログ」

［実装オプション設定］ダイアログ

［プリンタ］フォルダから［プロパティ］を開き、［環境設定］ダイアログを開いて、［オプション情報を手動で設定］をクリックして［設定］ボタンをクリックすると、［実装オプション設定］ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。

参考
設定を変更した場合は［OK］ボタンをクリックすることで有効になります。

①実装メモリ

装着しているメモリの容量の合計を、リストから選択します。単位はメガバイト（MB）です。標準搭載のメモリの容量は 32MB です。

②オプション給紙装置

オプションの給紙装置を装着していない場合は、［オプション給紙装置無し］をクリックして選択します。オプション給紙装置を装着している場合は、装着した給紙装置名をクリックして選択します。選択を解除するには、再度クリックします。

③両面印刷ユニット

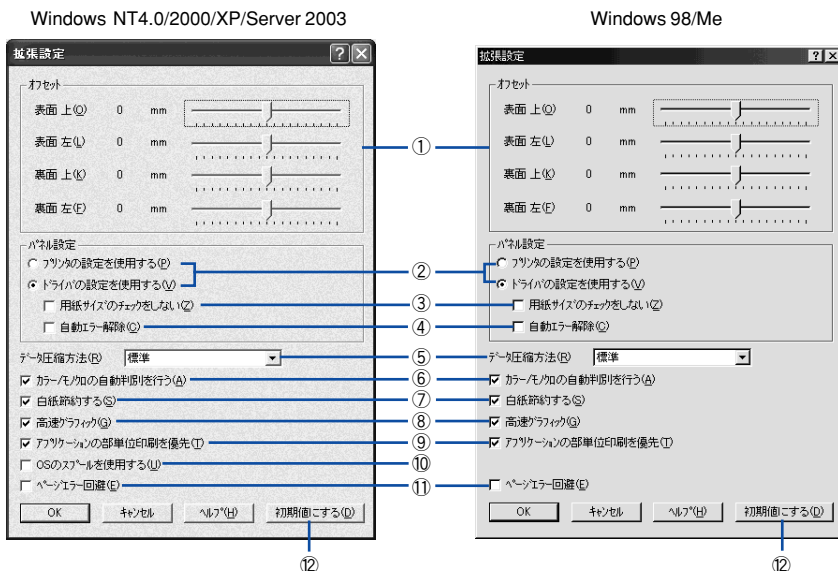
オプションの両面印刷ユニットを装着している場合は、クリックしてチェックマークを付けます。解除するには、クリックしてチェックマークを外します。

[拡張設定] ダイアログ

[環境設定] ダイアログで [拡張設定] ボタンをクリックすると、[拡張設定] ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。

参考

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 で、[プリンタ] フォルダ (Windows XP/Server 2003 の場合は [プリンタと FAX] フォルダ) からプリンタドライバのプロパティを開いて、[環境設定] タブを選択した場合は表示されません。表示するためには、下記のいずれかの方法を選択してください。

- プリンタドライバのプロパティを開いて [詳細設定] タブを選択し、[標準の設定] ボタンをクリックする。
- [プリンタ] フォルダ (Windows XP/Server 2003 の場合は [プリンタと FAX] フォルダ) の [ファイル] メニューから [ドキュメントの既定値] / [印刷設定] を選択する。
- アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開く。

①オフセット

印刷開始位置のオフセット値を表面 / 裏面それぞれに対して [上] (垂直位置) と [左] (水平位置) で設定します。1mm 単位で、次の範囲で設定できます。

上 (垂直位置) : -9mm (上方向) ～ 9mm (下方向)

左 (水平位置) : -9mm (左方向) ～ 9mm (右方向)

②プリンタの設定を使用する / ドライバの設定を使用する

以下の③［用紙サイズのチェックをしない］、④［自動エラー解除］の項目について、操作パネルとプリンタドライバのどちらの設定を使用して印刷するかを選択できます。

項目	説明
プリンタの設定を使用する	操作パネルの設定を使用して印刷します（プリンタドライバでは設定できません）。 本書281 ページ「設定項目の説明」
ドライバの設定を使用する	プリンタドライバでの設定を使用して印刷します（操作パネルの設定を無視します）。

③用紙サイズのチェックをしない

プリンタドライバで設定した用紙サイズとプリンタにセットした用紙サイズが合っているか確認しません。それぞれの用紙サイズが異なっていてもエラーを発生することなく印刷します。

④自動エラー解除

プリンタにエラーが発生したときに、一定時間（約 5 秒）経過後にエラー状態を自動的に解除する / しないを選択します。

⑤データ圧縮方法

プリンタドライバからプリンタに送る印刷データの圧縮方法を指定します。印刷結果の画質を優先する場合や、プリンタに送付する印刷データの容量を小さくしたい場合に設定します。

項目	説明
標準	通常はこの設定でお使いください。
画質優先	印刷結果の画質を優先したい場合に選択してください。この場合、通常よりも印刷に時間がかかります。
データサイズ優先	プリンタに送るデータサイズを小さくしたい場合に選択してください。印刷時間は早くなりますが、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

⑥カラー / モノクロの自動判別を行う

印刷データがカラーデータであるかモノクロデータであるかを自動判別して、データに適した設定で印刷します。

⑦白紙節約する

白紙ページを印刷するかしないかを選択します。白紙ページを印刷しないので用紙を節約できます。

⑧高速グラフィック

グラフィック（円や矩形などを重ねて描いた図形）を高速に印刷します。グラフィックが正常に印刷できない場合は、チェックを外してください。

⑨アプリケーションの部単位印刷を優先

アプリケーションで設定した部単位印刷の設定を優先します。

注意	［アプリケーションの部単位印刷を優先］を無効にした（チェックマークを外す）場合は、アプリケーションソフトではなく、必ずプリンタドライバで［部単位で印刷］を設定してください。 ☞本書 33 ページ「⑨ 部単位で印刷」

⑩OS のスプールを使用する（Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003）

Windows のスプール機能を使用します。アプリケーションソフトによっては、画面と異なる印刷結果になる、印刷時間が長くなるなどの問題が発生することがあります。この場合は、チェックを外してください。

⑪ページエラー回避

ページエラー オーバーランが発生する場合はチェックしてください。チェックすると 1 ページ分のデータをすべて処理できてから印刷を開始して、ページエラーを回避することができます。

⑫［初期値にする］ボタン

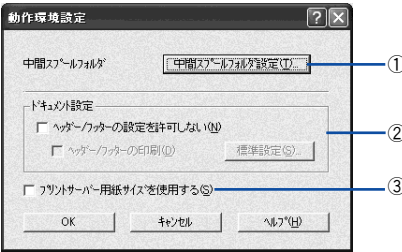
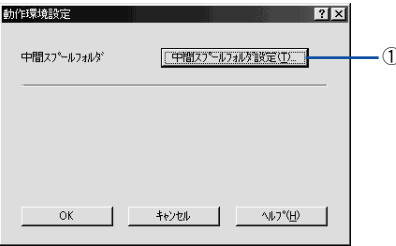
［拡張設定］ダイアログの設定を初期状態に戻します。

［動作環境設定］ダイアログ

［環境設定］ダイアログで［動作環境設定］ボタンをクリックすると、［動作環境設定］ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。

参 考

- Windows NT4.0の［ドキュメントの既定値］とWindows 2000/XP/Server 2003の［印刷設定］から［動作環境設定］ダイアログを開いた場合は、現在の設定状態を表示するだけで設定はできません。設定を変更する場合は、［プリンタ］/［プリンタとFAX］フォルダからプリンタのプロパティを開き、［動作環境設定］ダイアログを開いてください。
- 管理者権限のあるユーザー（Windows NT4.0/2000/Server 2003）または「コンピュータの管理者」アカウントのユーザー（Windows XP）のみ設定できます。

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003

Windows 98/Me

①［中間スプールフォルダ設定］ボタン

スプールファイルや部数印刷する際の印刷データを一時的に保存するフォルダを指定する［中間スプールフォルダ選択］ダイアログを開きます。通常は、設定を変更する必要はありません（以下の画面は例で、実際の中間スプールフォルダとは異なります）。

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003

Windows 98/Me

項目	説明
中間スプールフォルダ選択	中間スプールフォルダを選択します。
設定実行	変更した中間スプールフォルダを有効にします。
初期値にする	中間スプールフォルダを初期設定フォルダに戻します。
閉じる	［中間スプールフォルダ設定］ダイアログを閉じます。

参考

- Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 で中間スプールフォルダを選択する場合は、選択するフォルダのアクセス権（またはアクセス許可）の設定がすべてのユーザーで「変更」または「フルコントロール」になっていることを確認してから選択してください。
- 印刷データを一時的に保存するフォルダの空き容量が少ないと、扱うデータによっては印刷できない場合があります。このようなときに空き容量の大きなドライブにある任意のフォルダを選択すると印刷できるようになります。

② ドキュメント設定（Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003）

ヘッダー/フッターの印刷を設定できます。[ページ装飾]ダイアログのヘッダー/フッターの設定は、ここでの設定によって下表のように影響を受けます。

	[ヘッダー/フッターの設定を許可しない]		
	チェックなし	チェックあり	
	–	[ヘッダー/フッターの印刷]	
		チェックなし	チェックあり
[ページ装飾] ダイアログの [ヘッダー/フッター] チェックボックス	設定を変更できます。	チェックなしのまま設定は変更できません。	チェックありのまま設定は変更できません。
[ページ装飾] ダイアログの [ヘッダー/フッター設定] ボタン	設定を変更できます。	ボタンはクリックできません（設定変更不可）。	ボタンをクリックしてヘッダー/フッターの印刷内容を確認できますが、設定は変更できません。
説明	ヘッダー/フッターの印刷は [ページ装飾] ダイアログで設定できます。管理者権限のないユーザー（Windows NT4.0/2000/Server 2003）または「コンピュータの管理者」アカウントではないユーザー（Windows XP）でも自由にヘッダー/フッターの印刷を設定できます。	ヘッダー/フッターは印刷できません。	ヘッダー/フッターの印刷は [動作環境設定] ダイアログで設定します。[標準設定] ボタンをクリックして [ヘッダー/フッター設定] ダイアログを開き、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・日付・日付/時刻・部番号）を選択してください。

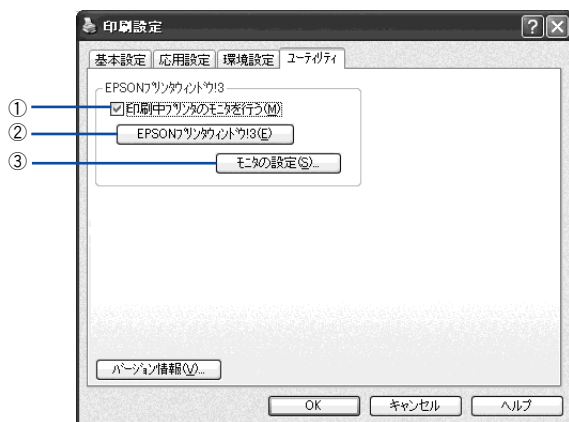
参考

- Windows NT4.0 の[ドキュメントの既定値]と Windows 2000/XP/Server 2003 の [印刷設定] から [動作環境設定] ダイアログを開いた場合は設定できません。設定を変更する場合は、[プリンタ] / [プリンタと FAX] フォルダからプリンタのプロパティを開き、[動作環境設定] ダイアログを開いてください。
- ヘッダー/フッター印刷を管理する必要がある場合は、管理者権限のあるユーザー（Windows NT4.0/2000/Server 2003）または「コンピュータの管理者」アカウントのユーザー（Windows XP）で設定してください。

③ プリントサーバー用紙サイズを使用する（Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003）

プリンタドライバにあらかじめ登録されている用紙サイズの他に、OS に登録されている独自の用紙サイズが [基本設定] ダイアログの [用紙サイズ] リストから選択可能になります。ただし、本機がサポートしない用紙サイズは使用しないでください。

［ユーティリティ］ダイアログ

［ユーティリティ］ダイアログでは、ユーティリティソフトのEPSON プリンタウィンドウ !3 にかかわる設定を行います。

①印刷中プリンタのモニタを行う

印刷時にプリンタのモニタを行い、プリンタのエラー状態のときにポップアップウィンドウを表示します。

参 考

- Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 で、［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開いた場合は表示されません。［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダの［ファイル］メニューから［ドキュメントの既定値］/［印刷設定］を選択するか、アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いてください。
- NetBEUI を使用した直接印刷、IPP 印刷時には［印刷中プリンタのモニタを行う］のチェックを外してください。

②EPSON プリンタウィンドウ !3

ボタンをクリックすると、プリンタの状態やトナー残量が監視できる EPSON プリンタウィンドウ !3 が起動します。

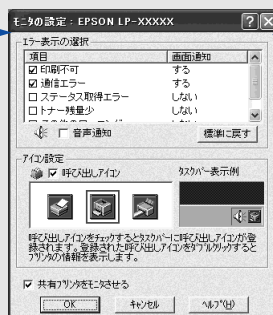
☞ 本書 74 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」

③［モニタの設定］ボタン

ボタンをクリックすると、［モニタの設定］ダイアログが表示され、EPSON プリンタウィンドウ !3 の動作環境を設定することができます。

☞ 本書 77 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

EPSON プリンタウィンドウ !3 とは

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、プリンタの状態をコンピュータ上でモニタできるユーティリティです。

EPSON プリンタウィンドウ!3 は、次の接続形態において使用できます。

- ローカル接続
- TCP/IP 直接接続
- Windows 共有プリンタ

参 考	NetBEUI を使用した直接印刷と IPP 印刷の場合は、ネットワークプリンタの監視はできません。

また、ネットワークプリンタをモニタしてプリントジョブ情報を表示したり印刷終了のメッセージを表示することもできます。

ジョブ管理を行うための条件

ジョブ管理機能を使用するには、プリンタが以下のネットワーク形態で接続されている必要があります。

- EpsonNet Print を使っての TCP/IP 接続
- Windows NT4.0 での LPR 接続
  （ネットワークプリンタを Windows クライアントから利用する場合）
- Windows 2000/XP/Server 2003 での TCP/IP または LPR 接続
  （ネットワークプリンタを Windows クライアントから利用する場合）

参 考

- Ethernet ネットワークに接続して使用するには、プリンタのネットワークインターフェイスを使用します。
- NetBEUI、EpsonNet Internet Print を利用してネットワーク印刷を行う場合、ジョブ管理機能は使用できません。
- Windows NT4.0 での LPR接続、または、Windows 2000/Server 2003 でのTCP/IP、LPR 接続、あるいは EpsonNet Print 接続の共有プリンタを、Windows NT4.0/2000/XP クライアントから利用する際に、クライアントへのログオンユーザーとサーバへの接続ユーザーが異なる場合、ジョブ管理機能は使用できません。
- Windows NT4.0 のLPR接続、Windows 2000/Server 2003の Standard TCP/IP, LPR を共有させて、Windows 98/Me クライアントから接続している場合、クライアントから印刷したスプール中のジョブは削除できません。

EPSON プリンタウィンドウ!3 をお使いいただく前に

EPSON プリンタウィンドウ!3 をお使いいただく上での制限事項について説明します。

Windows XP をご使用時の制限事項

- Windows XP のリモートデスクトップ機能 * を利用している状態で、移動先のコンピュータから、そのコンピュータに直接接続されたプリンタへ印刷する場合、EPSON プリンタウィンドウ!3 がインストールされていると通信エラーが発生します。ただし、印刷は正常に行われます。

  * 移動先のモバイルコンピュータなどから オフィスネットワーク内のコンピュータ上にあるアプリケーションやファイルへアクセスし、操作することができる機能

- Standard TCP/IPまたはLPR 接続したプリンタを共有設定し、クライアントからその共有プリンタを使用する場合は、EPSON プリンタウィンドウ!3 のジョブ管理機能は使用できません。

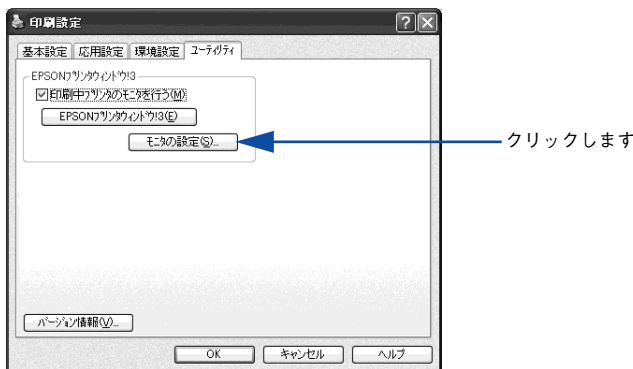
参 考	EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。 アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp

モニタの設定

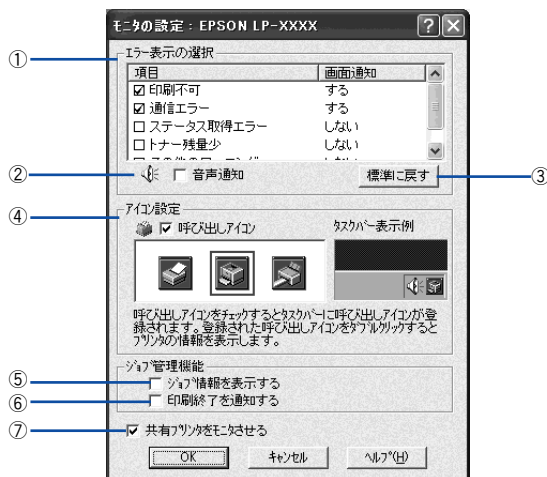
EPSON プリンタウィンドウ !3 のモニタ機能を設定します。どのような状態を画面表示するか、音声通知するか、共有プリンタをモニタするかなどを設定します。［モニタの設定］ダイアログを開く方法は、2 通りあります。

［方法 1］

プリンタドライバの［ユーティリティ］ダイアログを開き、［モニタの設定］ボタンをクリックします。

< 例 > Windows XP でアプリケーションソフトから開いた場合

［方法 2］

上記［方法 1］の［モニタの設定］ダイアログで EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンを Windows のタスクバーに設定することができます。タスクバーにある呼び出しアイコンを、マウスの右ボタンでクリックして、メニューから［モニタの設定］をクリックします。

［モニタの設定］ダイアログ

①エラー表示の選択

選択項目にあるエラーまたはワーニング（警告）を、画面通知するかどうかを選択します。チェックマークを付けると、チェックマークを付けたエラーまたはワーニングが発生したときにポップアップウィンドウが現れ、対処方法が表示されます。

②音声通知

エラー発生時に音声 * でも通知します。

* お使いのコンピュータのサウンド機能が有効な（消音でない）場合のみ。

③［標準に戻す］ボタン

［エラー表示の選択］を初期設定に戻します。

④アイコン設定

［呼び出しアイコン］をクリックしてチェックマークを付けると、EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンをタスクバーに表示します。表示するアイコンは、お使いのプリンタや好みに合わせてクリックして選択できます。

参 考	タスクバーに設定したアイコンをマウスで右クリックすると、メニューが表示されて EPSON プリンタウィンドウ！3 を起動または［モニタの設定］ダイアログを開くことができます。

⑤ジョブ情報を表示する

ジョブ管理ができる場合に、［プリンタ詳細］ウィンドウにジョブ情報を表示します。

☞ 本書 81 ページ「［ジョブ情報］ウィンドウ」

⑥印刷終了を通知する

ジョブ管理ができる場合に、ジョブの印刷終了時にメッセージを表示します。

☞ 本書 82 ページ「[印刷終了通知] ダイアログ」

> **参 考**
> ネットワークプリンタのジョブ情報がモニタできるように設定されている場合に、[ジョブ情報を表示する] と [印刷終了を通知する] が表示されます。
> ☞本書 75 ページ「ジョブ管理を行うための条件」

⑦共有プリンタをモニタさせる

ほかのコンピュータ（クライアント）から共有プリンタをモニタさせることができます。

☞ 本書 88 ページ「プリンタを共有するには」

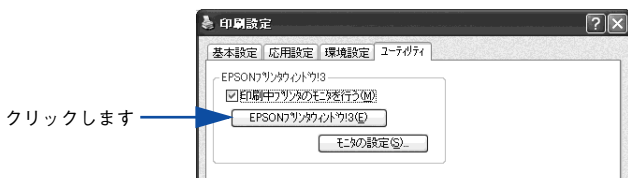
プリンタの状態を確かめるには

EPSON プリンタウィンドウ!3 でプリンタの状態を確かめるために、次の 2 通りの方法で［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。この［プリンタ詳細］ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。さらに、印刷中にエラーが発生した場合も［プリンタ詳細］ウィンドウを表示することができます。

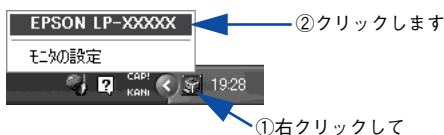
本書 80 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

［方法 1］

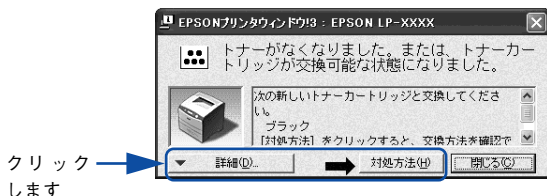
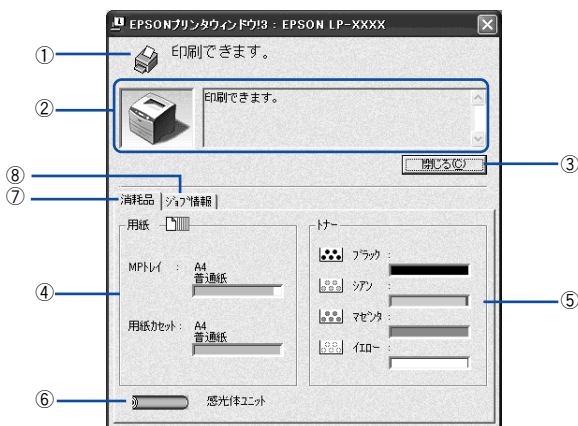
プリンタドライバの［ユーティリティ］ダイアログを開き、［EPSON プリンタウィンドウ!3］ボタンをクリックします。

< 例 > Windows XP でアプリケーションソフトから開いた場合

［方法 2］

上記［方法 1］の［設定］ボタンをクリックして表示される［モニタの設定］ダイアログで、EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンを、Windows のタスクバーに設定することができます。タスクバー上にある呼び出しアイコンをダブルクリックするか、マウスの右ボタンで呼び出しアイコンをクリックしてからプリンタ名をクリックします。

本書 76 ページ「モニタの設定」

参考

アプリケーションソフトから印刷を実行中にエラーが発生した場合、プリンタの状態を示すポップアップウィンドウがコンピュータの画面上に表示されます。

- ［詳細］ボタンをクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わります。
- エラーが発生して［対処方法］ボタンが表示された場合は、ボタンをクリックすると対処方法、または対処方法を選択するメニューが表示されます。

［プリンタ詳細］ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ !3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。

①アイコン / メッセージ

プリンタの状態に合わせてアイコンが表示され、状況をお知らせします。

②プリンタ / メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

本書 83 ページ「対処が必要な場合は」

③［閉じる］ボタン

ウィンドウを閉じるときにクリックします。

④用紙

給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（タイプ）、そして用紙残量の目安を表示します。

⑤トナー

セットされているトナーカートリッジがあとどれくらい使用できるか、寿命の目安を表示します。

⑥感光体ユニット

セットされている感光体ユニットがあとどれくらい使用できるか、寿命の目安を表示します。

⑦消耗品

ジョブ管理ができる場合に、［プリンタ詳細］ウィンドウで消耗品に関する情報を表示します。

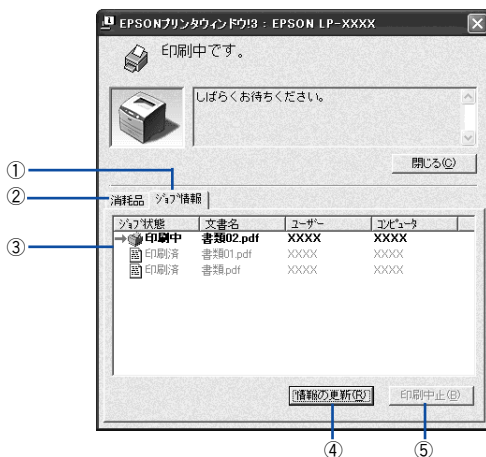
⑧ジョブ情報

ジョブ管理ができる場合に［ジョブ情報］ウィンドウを表示します。

☞ 本書 81 ページ「［ジョブ情報］ウィンドウ」

参 考	ネットワークプリンタのジョブ情報がモニタできるように設定されている場合に、［ジョブ情報］が表示されます。 ☞本書 76 ページ「モニタの設定」

［ジョブ情報］ウィンドウ

ネットワークプリンタのジョブ情報がモニタできるように設定されている場合に表示され、プリンタジョブ情報を表示します。

①ジョブ情報

ネットワークプリンタに印刷した情報を表示します。

②消耗品

［プリンタ詳細］ウィンドウで消耗品に関する情報を表示します。

☞ 本書 80 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

③ジョブリスト

コンピュータにスプール中のジョブ、ジョブの状態（待機中、印刷中、印刷済、削除中、削除済）、文書名、ユーザー名、コンピュータ名を、ジョブごとに表示します。リスト一番左の赤い矢印は、印刷中のジョブのうち実際に印刷を行っているジョブを表しています。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブに関しては、以下の情報は表示しません。

- 印刷済みジョブと削除済みジョブ
- 待機中または印刷中の文書名

④［情報の更新］ボタン

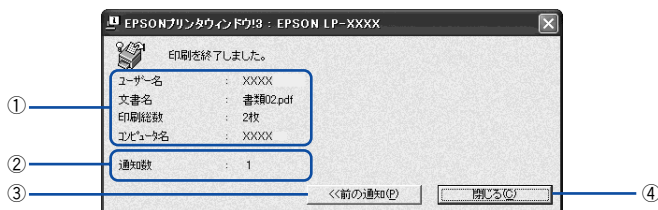
最新のジョブ情報をプリンタから取得して、リストの表示を更新します。

⑤［印刷中止］ボタン

ジョブリストに表示されている印刷中または待機中のジョブをクリックして選択し、［印刷中止］ボタンをクリックすると、そのジョブの印刷を中止することができます。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブの印刷を中止することはできません。

［印刷終了通知］ダイアログ

印刷の終了が通知できるように設定されている場合は、ジョブの印刷終了時にメッセージを表示します。設定方法については、以下のページを参照してください。

本書 76 ページ「モニタの設定」

①印刷終了通知

印刷が終了したジョブのユーザー名、文書名、印刷総数、コンピュータ名を表示します。

②通知数

印刷終了通知の通知数を表示します。

③［前の通知］ボタン

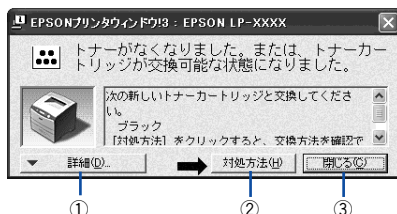
クリックすると、1 つ前の終了通知を表示します。通知数が 0 になった場合（終了通知がすべてなくなった場合）はグレーアウトされます。

④［閉じる］ボタン

ダイアログを閉じます。

参 考	［ユーティリティ］ダイアログの［印刷中プリンタのモニタを行う］がチェックされていない場合は、印刷終了通知は行われません。 本書 73 ページ「［ユーティリティ］ダイアログ」

対処が必要な場合は

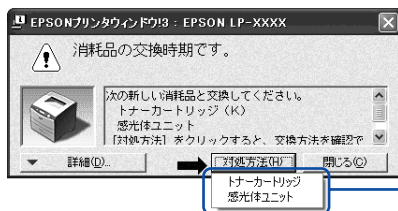
プリンタに何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 のポップアップウィンドウがコンピュータの画面上に現れ、メッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。エラーが解消されると自動的に閉じます。

①［詳細］ボタン

［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わり、消耗品などの詳細な情報を表示します。

本書 80 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

②［対処方法］ボタン

このボタンが表示された場合は、ボタンをクリックすると、順を追って対処方法を説明します。

参 考 複数の対処が必要な場合、［対処方法］ボタンをクリックすると、対処方法を選択するメニューが表示されます。必要に応じて項目を選択してください。

③［閉じる］ボタン

ポップアップウィンドウを閉じます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

共有プリンタを監視できない場合は

Windows 共有プリンタを監視できない場合は、以下の設定がされているかを確認してください。

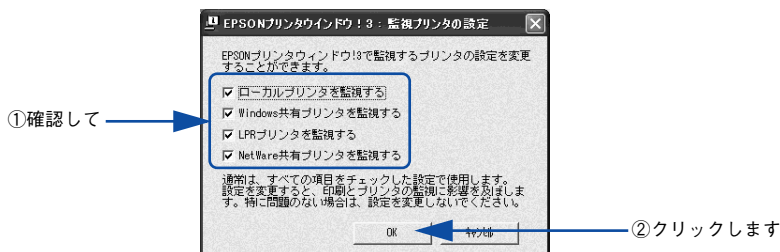
- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）上のネットワークコンピュータのプロパティを開き、ネットワークコンポーネントに Microsoft ネットワーク共有サービスが設定されていること。
- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）上に、対応するプリンタのドライバがインストールされ、かつ、そのプリンタの共有設定がされていて、プリンタドライバの［モニタの設定］ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］にチェックマークが付いていること。
- サーバ側とクライアント側で、Printer Interface モジュールの Ver.4.xxx 以上が導入されていること。Printer Interface モジュールのバージョンを確認する方法は、以下の 2 通りがあります。
  - EPSON プリンタウィンドウ !3 の［プリンタ詳細］ウィンドウを開き、タイトルバー左端にあるアイコンをクリックして［バージョン情報］をクリックします。
  - プリンタドライバの［ユーティリティ］ダイアログの［バージョン情報］ボタンをクリックし、［EPSON プリンタウィンドウ !3］ボタンをクリックします。
- Windows 98/Me で共有プリンタを監視する場合の注意事項
  サーバ側とクライアント側において、コントロールパネルのネットワークおよび現在のネットワーク構成に、TCP/IP プロトコルが設定されていること。

監視プリンタの設定

［監視プリンタの設定］ユーティリティは、EPSON プリンタウィンドウ !3 で監視するプリンタの設定を変更するためのユーティリティで、EPSON プリンタウィンドウ !3 とともにインストールされます。通常は設定を変更する必要はありません。何らかの理由で監視するプリンタの設定を変更したい場合のみご使用ください。

1 監視プリンタの設定ユーティリティを起動します。

Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］または［すべてのプログラム］から［EPSON］にカーソルを合わせてから、［監視プリンタの設定］をクリックします。

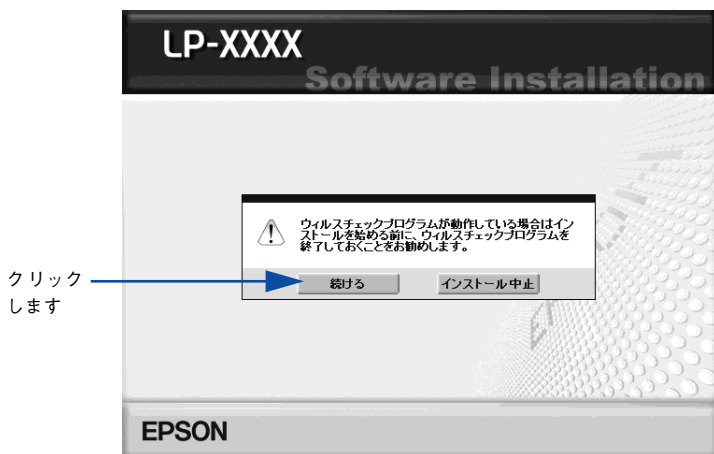
2 監視しないプリンタのチェックボックスをクリックしてチェックマークを外し、［OK］ボタンをクリックして、ダイアログを閉じます。

以上で設定は終了です。

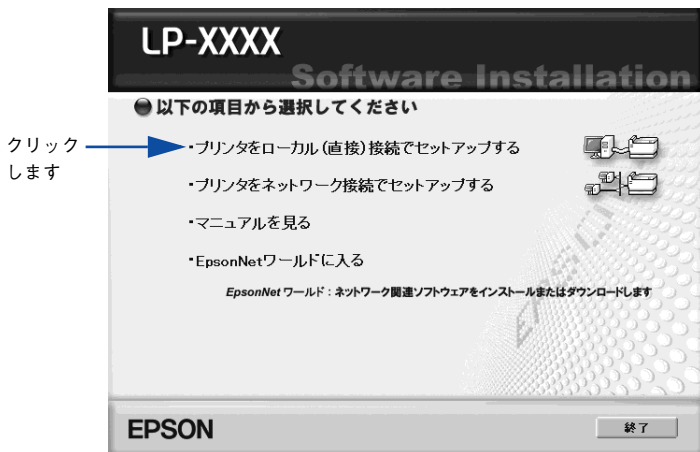
EPSON プリンタウィンドウ !3 のみのインストール手順

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、通常プリンタドライバに引き続いてインストールします。EPSON プリンタウィンドウ !3 のみを単独でインストールする手順は以下の通りです。

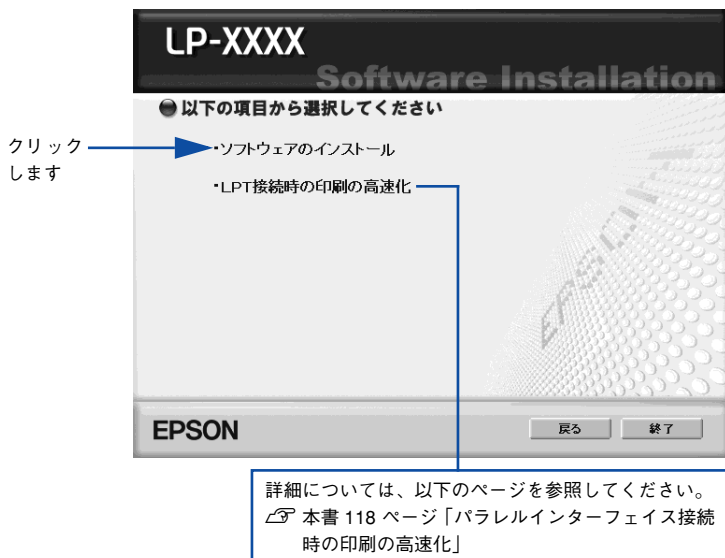
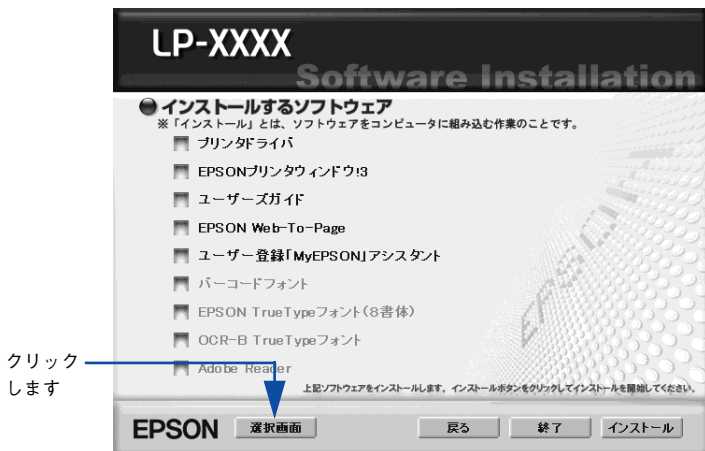
1 EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

2 ウィルスチェックプログラムに対処します。

- ウィルスチェックプログラムの実行中は、［インストール中止］をクリックしてウィルスチェックプログラムを終了させてから作業を再開します。
- ウィルスチェックプログラムがない、または停止中は、［続ける］をクリックして次へ進みます。

3 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。

4 ［プリンタをローカル（直接）接続でセットアップする］を選択して次に進みます。

- Windows 2000/XP をお使いの場合は、5 へ進みます。
- Windows 98/Me/NT4.0/Server 2003 をお使いの場合は 6 へ進みます。

5 ［ソフトウェアのインストール］を選択して次に進みます。

以下の画面は Windows 2000/XP をお使いの場合のみ表示されます。

詳細については、以下のページを参照してください。
本書 118 ページ「パラレルインターフェイス接続時の印刷の高速化」

❻ ［選択画面］ボタンをクリックします。

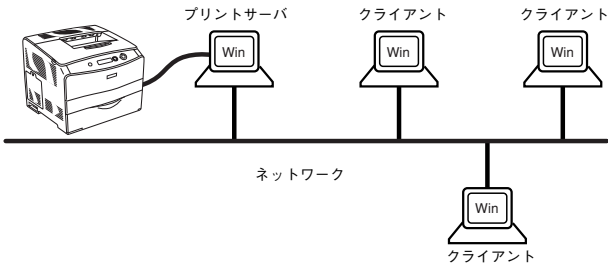
❼ ［EPSON プリンタウィンドウ !3］のみをチェックして、［インストール］ボタンをクリックします。

参考　その他の項目（プリンタドライバなど）がインストール済みの場合は、それぞれのチェックを外してください。各項目をクリックすることで、チェックする / しないが切り替わります。

❽ **機種選択の画面が表示されたら、お使いのプリンタの機種名をクリックして、［OK］ボタンをクリックします。**

この後は画面の指示に従ってください。

プリンタを共有するには

Windows のネットワーク環境では、コンピュータに直接接続したプリンタをほかのコンピュータから共有することができます。ネットワークで共有するプリンタをネットワークプリンタと呼びます。プリンタを直接接続するコンピュータは、プリンタの共有を許可するプリントサーバの役割をはたします。ほかのコンピュータはプリントサーバに印刷許可を受けるクライアントになります。クライアントは、プリントサーバを経由してプリンタを共有することになります。

ここでは、プリントサーバとクライアントそれぞれの設定方法を説明します。お使いの Windows のバージョンに応じた設定手順に従ってください。なお、Windows の代替 / 追加ドライバ機能 * を使って本機を共有できるプリントサーバとクライアントの組み合わせは以下の通りです。

* 代替 / 追加ドライバ機能：プリントサーバにクライアント用のプリンタドライバをあらかじめインストールしておき、クライアントがネットワークプリンタに接続したときにプリントサーバからプリンタドライバをコピー（インストール）する機能。

プリントサーバ OS	クライアント OS
Windows NT4.0*1	Windows 98/Me/NT4.0*2
Windows 2000/XP/Server 2003	Windows 98/Me/NT4.0*2/2000*2/XP*2

*1 Windows NT4.0 での代替ドライバ機能は、Service Pack 4 以降で使用可能。

*2 クライアント OS が Windows NT4.0 Workstation、Windows 2000 Professional、Windows XP Professional/Home Eidition の場合のみ、代替 / 追加ドライバ機能が使用可能。

参 考

- 本章の説明は、プリントサーバにはすでに本機のプリンタドライバがインストールされていることを前提となります。
- 本章の設定方法は、ネットワーク環境が構築されていること、プリントサーバとクライアントが同一ネットワーク管理下にあることが前提となります。
- 画面は Microsoft ネットワークの場合です。

- プリントサーバ側の設定
  本書 89 ページ「Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 プリントサーバの設定と代替 / 追加ドライバのインストール」
  本書 96 ページ「Windows 98/Me プリントサーバの設定」
- クライアント側の設定
  本書 101 ページ「Windows 2000/XP クライアントでの設定」
  本書 107 ページ「Windows NT4.0 クライアントでの設定」
  本書 109 ページ「Windows 98/Me クライアントでの設定」

プリントサーバの設定

最初にプリントサーバにプリンタドライバがインストールされていることを確認してから、以下の設定を行ってください。プリンタドライバがインストールされていない場合は、「セットアップガイド」（紙マニュアル）を参照して添付の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からインストーラを起動してインストールしてください。

参 考

EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する場合は、共有プリンタのプリントサーバ側で必ず共有プリンタをモニタできるように EPSON プリンタウィンドウ !3 を設定してください。
本書 76 ページ「モニタの設定」

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 プリントサーバの設定と代替 / 追加ドライバのインストール

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 が稼働するコンピュータをプリントサーバとして設定する場合は、以下の手順に従ってください。また、代替 / 追加ドライバをプリントサーバにインストールする手順も同時に説明します。

参 考

- 代替 / 追加ドライバ機能は、プリントサーバ（Windows NT4.0、Windows 2000/XP/Server 2003）にクライアント用のプリンタドライバをあらかじめインストールしておくことができる機能です。これにより、クライアントがネットワークプリンタに接続したときに、プリントサーバからプリンタドライバをコピー（インストール）することができ、クライアントのインストール手順を簡略化することができます。
- Windows NT4.0/2000/Server 2003 の場合は管理者権限（Administrators）のあるユーザーとして、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンする必要があります。
- Windows NT4.0で代替/追加ドライバ機能を使用する場合は、Windows NT4.0 Service Pack 4 以降が対象となります。
- サーバとクライアントが同じ OS の場合は、代替 / 追加ドライバをサーバにインストールする必要はありません。
- 代替 / 追加ドライバ機能は、Windows NT4.0 では「代替ドライバ」、Windows 2000/XP/Server 2003 では「追加ドライバ」と表示されます。
- 代替/追加ドライバ機能を利用してプリンタドライバをクライアントにインストールする場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 はクライアントにインストールされません。印刷に問題はありませんので、そのままお使いいただけます。ただし、共有しているプリンタの状態をクライアント側から確認するには、EPSON プリンタウィンドウ !3 をクライアントにインストールしてください。
本書85 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 のみのインストール手順」
- EPSONプリンタウィンドウ !3 をクライアントにインストールする場合や、代替/追加ドライバ機能を使用できない場合は、本機に添付の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を使ってプリンタソフトウェアをローカルプリンタとしてクライアントにインストールし、プリンタの接続先をネットワークプリンタに変更します。
本書 112 ページ「プリンタ接続先の変更」

1 **Windowsの［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタとFAX］を開きます。**

- **Windows XPの場合**

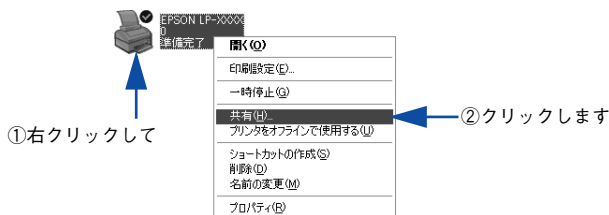
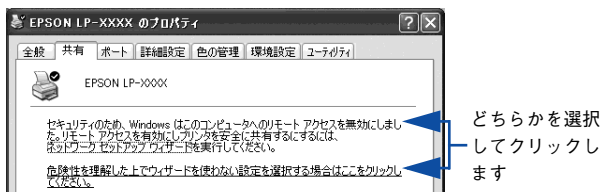
①［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタとFAX］が表示されている場合は、［プリンタとFAX］をクリックして、**2**へ進みます。
②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③［プリンタとFAX］をクリックします。

- **Windows Server 2003の場合**

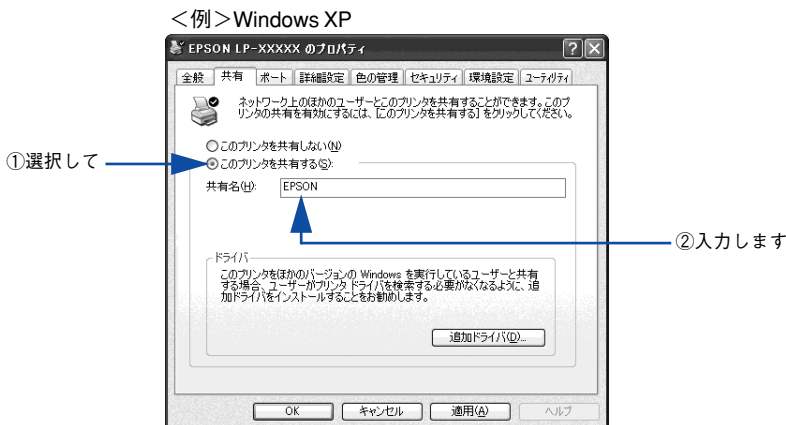
［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］-［プリンタとFAX］にカーソルを合わせ、**2**へ進みます。［スタート］メニューに［プリンタとFAX］が表示されている場合は、［プリンタとFAX］をクリックして、**2**へ進みます。

- **Windows NT4.0/2000の場合**

［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

2 **LP-V500のアイコンを右クリックして、［共有］をクリックします。**

参考 Windows XPで以下のダイアログが表示された場合は、どちらかを選択し、画面の指示に従ってプリンタ共有の準備をします。

3 **［共有する］/［このプリンタを共有する］を選択して、［共有名］を入力します。**

Windows XP/Server 2003 の場合は、［このプリンタを共有する］を選択して［共有名］を入力します。

<例>Windows XP

参 考	エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）や－（ハイフン）を使用しないでください。

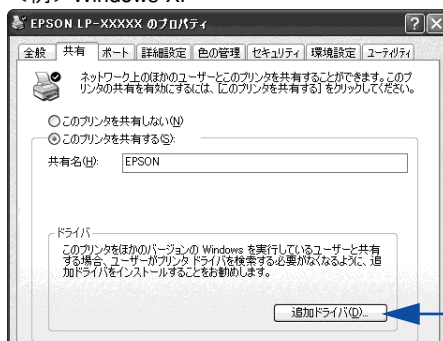
- 代替 / 追加ドライバをインストールする場合は、次の **4** へ進んでください。
- 代替 / 追加ドライバをインストールしない場合は、[OK] ボタンをクリックして、以下のページへ進んで各クライアント側の設定を行ってください。

☞ 本書 109 ページ「Windows 98/Me クライアントでの設定」
☞ 本書 107 ページ「Windows NT4.0 クライアントでの設定」
☞ 本書 101 ページ「Windows 2000/XP クライアントでの設定」

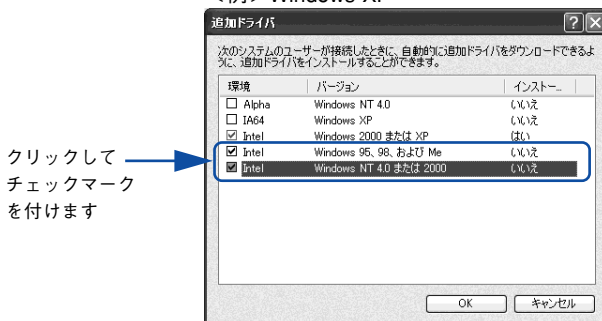
4 **クライアント用にインストールする代替 / 追加ドライバを選択します。**

- **Windows 2000/XP/Server 2003 サーバの場合：**

①［追加ドライバ］ボタンをクリックします。

<例>Windows XP

②クライアントの Windows バージョンを選択します（チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます）。

サーバ OS	クライアント OS	選択項目
Windows 2000	Windows 98/Me	Intel Windows 95 または 98
	Windows NT4.0	Intel Windows NT 4.0 または 2000
Windows XP	Windows 98/Me	Intel Windows 95、98、および Me
	Windows NT4.0	Intel Windows NT4.0 または 2000
Windows Server 2003	Windows 98/Me	X86 Windows 95、Windows 98、または Windows Me
	Windows NT4.0	X86 Windows NT4.0

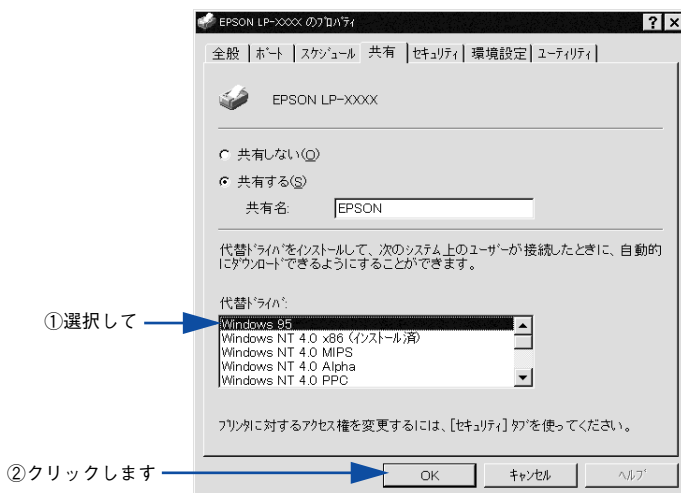
<例>Windows XP

参 考

- Windows 2000/XP/Server 2003 専用のプリンタドライバ［Intel Windows 2000］/［Intel Windows 2000 または XP］はインストール済みのため、選択する必要はありません。
- 指定以外の追加ドライバは選択しないでください。本機のプリンタドライバが対応していない OS の追加ドライバはインストールできません。

③［OK］ボタンをクリックします。

- **Windows NT4.0 プリントサーバの場合：**

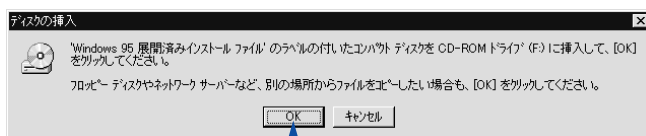
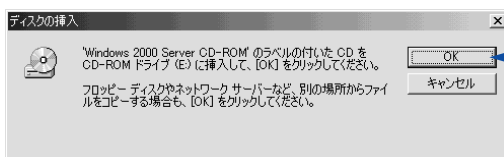
① クライアントの Windows バージョンを選択します（クリックして、ハイライトさせます）。
Windows 98/Meクライアント用の代替/追加ドライバをインストールする場合は、［Windows 95］をクリックして選択します。

② ［OK］ボタンをクリックします。

参 考

- Windows NT4.0 クライアント用の代替 /追加ドライバ［Windows NT 4.0 x86］はインストール済みのため、選択する必要はありません。
- ［Windows 95］以外の代替 / 追加ドライバは選択しないでください。本機のプリンタドライバが対応していない OS の代替ドライバはインストールできません。
- Windows 2000/XP/Server 2003 のドライバを代替 / 追加ドライバとして登録することはできません。

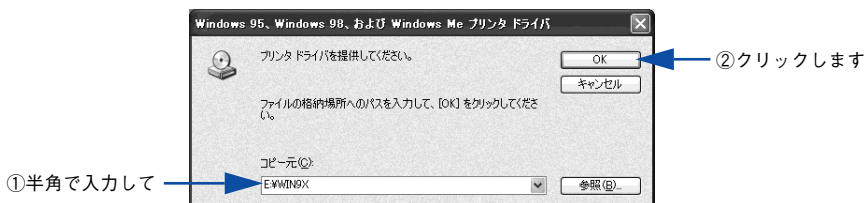
5 以下のメッセージが表示されたら、本機のEPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットして［OK］ボタンをクリックします。

メッセージが表示されない場合は、そのまま 6 へ進みます。

<例> Windows NT4.0 の場合

<例> Windows 2000 の場合

*CD-ROM ドライブの記号は環境によって異なります。

6 メッセージに表示されたクライアント用のプリンタドライバが収録されているドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力し、［OK ］ボタンをクリックします。

4 で複数のクライアントを選択した場合は、5 へ戻ります。

* クライアント OS によってメッセージは多少異なります。

クライアントの OS	Windows 98/Me	Windows NT4.0	Windows 2000/XP
セット先ドライブ例	D ドライブ E ドライブ		
入力例	D:¥WIN9X E:¥WIN9X	D:¥WINNT40 E:¥WINNT40	D:¥WINXP_2K E:¥WINXP_2K

参考

- 入力方法がわからない場合は、以下の手順で指定することができます。
  ①［参照］ボタンをクリックします。

  ②入力例に記載されているご利用の OS フォルダを［ファイルの場所］から選択します。

- Windows 2000/XP/Server 2003 をご使用の場合は［デジタル署名が見つかりませんでした］といったメッセージを表示するダイアログが表示されることがあります。この場合は［はい］または［続行］をクリックして、そのままインストール作業を進めてください。本機に添付のプリンタドライバであれば問題なくお使いいただけます。

7 **Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、［閉じる］ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。**

Windows NT4.0 の場合は、代替 / 追加ドライバがインストールされるとプロパティは自動的に閉じます。

参考

ネットワークプリンタに対するセキュリティ（クライアントのアクセス許可）を設定してください。印刷が許可されないクライアントは、プリンタを共有できません。詳しくは Windows のヘルプを参照してください。

8 **EPSON プリンタウィンドウ !3 の［モニタの設定］ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］をチェックします。**

☞ 本書 76 ページ「モニタの設定」

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。続いて各クライアント側の設定を行ってください。

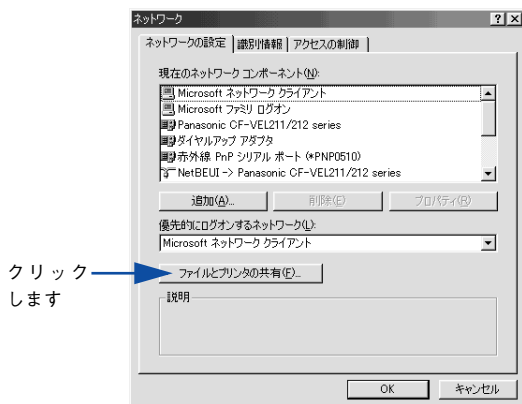
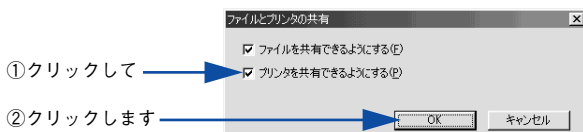
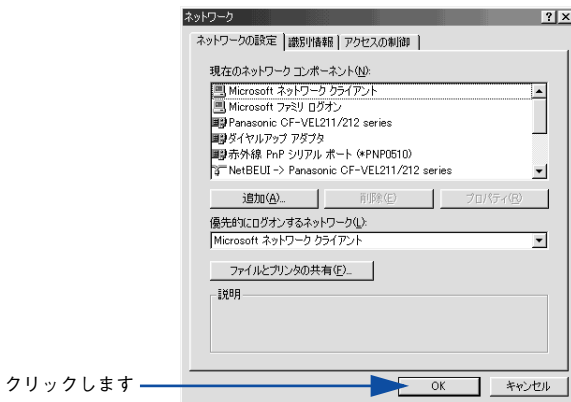
☞ 本書 99 ページ「クライアントの設定」

Windows 98/Me プリントサーバの設定

Windows 98/Me が稼働するプリントサーバを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

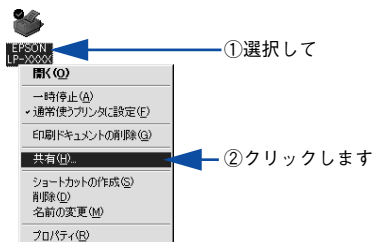
1. Windows の［スタート］ボタンをクリックして、カーソルを［設定］に合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。

2. ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

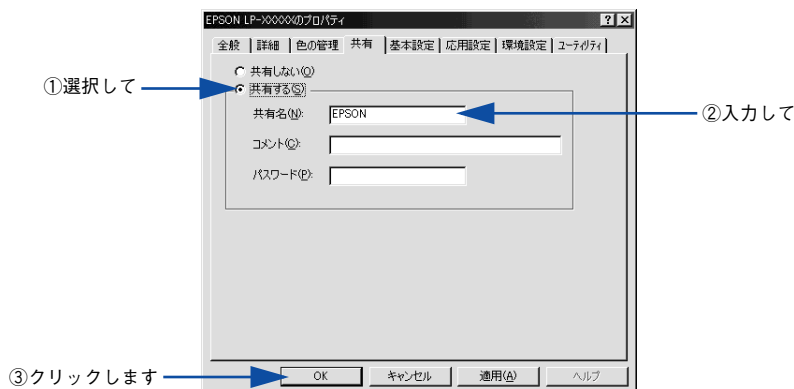
3. ［ファイルとプリンタの共有］ボタンをクリックします。

4. ［プリンタを共有できるようにする］のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、［OK］ボタンをクリックします。

5 ［OK］ボタンをクリックします。

参 考

- ［ディスクの挿入］メッセージが表示された場合は、Windows 98/Me の CD-ROM をコンピュータにセットし、［OK］ボタンをクリックして画面の指示に従ってください。
- 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動してください。その後、1 の手順でコントロールパネルを開いて 6 から設定してください。

6 コントロールパネル内の［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。

7 LP-V500のアイコンを右クリックして、［共有］をクリックします。

8 ［共有する］を選択して、［共有名］を入力し、［OK］ボタンをクリックします。

必要に応じて、［コメント］と［パスワード］を入力します。

<例>

参考 エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）や－（ハイフン）を使用しないでください。

9 EPSONプリンタウィンドウ!3を使用している場合は、EPSONプリンタウィンドウ!3の［モニタの設定］ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］をチェックします。

☞ 本書76ページ「モニタの設定」

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。続いて各クライアント側の設定を行ってください。

☞ 本書99ページ「クライアントの設定」

クライアントの設定

ここでは、ネットワーク環境が構築されている状態で、プリントサーバからプリンタドライバをクライアントにコピーしてインストールする方法を説明します。

プリントサーバ OS が Windows NT4.0/2000 の一般的なネットワーク環境では、この代替 / 追加ドライバ機能でクライアントにプリンタドライバをインストールできます。以下のページを参照してください。

本書 101 ページ「Windows 2000/XP クライアントでの設定」
本書 107 ページ「Windows NT4.0 クライアントでの設定」
本書 109 ページ「Windows 98/Me クライアントでの設定」

参考

- 代替 / 追加ドライバ機能は、プリントサーバ（Windows NT4.0、Windows 2000/XP/Server 2003）にクライアント用のプリンタドライバをあらかじめインストールしておくことができる機能です。これにより、クライアントがネットワークプリンタに接続したときに、プリントサーバからプリンタドライバをコピー（インストール）することができ、クライアントのインストール手順を簡略化することができます。
- 代替/追加ドライバ機能は、Windows NTでは「代替ドライバ」、Windows 2000/XP/Server 2003 では「追加ドライバ」と表示されます。
- Windows Server 2003はサーバOSであるため、クライアントとしての設定は行わないでください。
- Windows NT4.0、Windows 2000/XP では、代替 / 追加ドライバ機能は使用できません。

代替 / 追加ドライバ機能を利用してプリンタドライバをクライアントにインストールすると、EPSON プリンタウィンドウ !3 はクライアントにインストールされません。印刷に問題はありませんので、そのままお使いいただけます。ただし、共有しているプリンタの状態をクライアント側から確認するには、EPSON プリンタウィンドウ !3 をクライアントにインストールしてください。

本書 85 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 のみのインストール手順」

EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールする場合や、代替 / 追加ドライバ機能を使用できない場合は、本機に添付の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を使ってローカルプリンタとしてインストールし、プリンタの接続先をネットワークプリンタに変更してください。

本書 112 ページ「プリンタ接続先の変更」

参考

- Windows でプリンタを共有する場合は、プリントサーバを設定する必要があります。プリントサーバ側の設定については、以下のページを参照してください。
  本書 89 ページ「プリントサーバの設定」
- ここでは、サーバを使用した環境での一般的な（Microsoft ワークグループ）接続方法について説明します。ご利用の環境によっては以下の手順で接続できない場合もあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- ここでは、［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダからネットワークプリンタに接続してプリンタドライバをインストールする方法を説明します。Windows デスクトップ上の［ネットワークコンピュータ］や［マイネットワーク］からネットワークプリンタへ接続してプリンタドライバをインストールすることもできます。最初の接続方法が異なるだけで、基本的な設定方法はここでの説明と同じです。
- EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する場合は、共有プリンタのプリントサーバ側で必ず共有プリンタをモニタできるように EPSON プリンタウィンドウ !3 を設定してください。
  本書 76 ページ「モニタの設定」

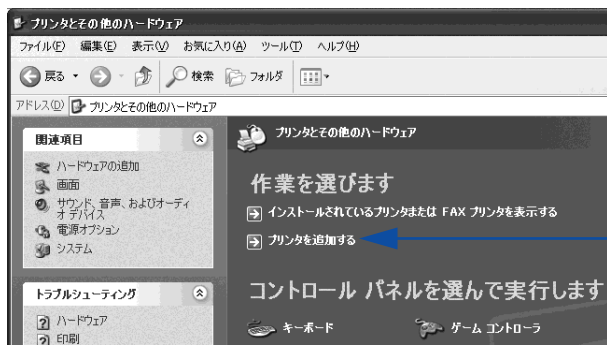
Windows 2000/XP クライアントでの設定

Windows 2000/XP が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。

- **Windows XP の場合**

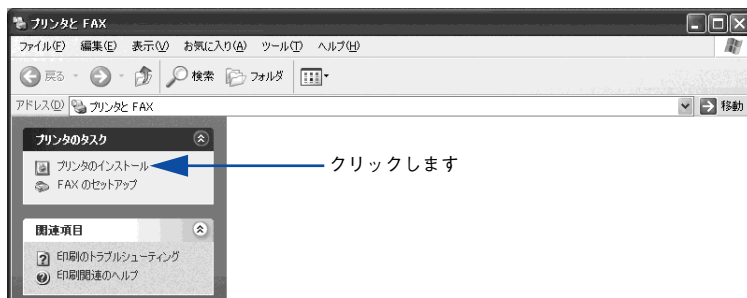
① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、② へ進みます。
② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

参考 Windows XP の場合は［プリンタとその他のハードウェア］画面で［プリンタを追加する］をクリックしてプリンタの追加ウィザードを起動することもできます。起動後最初に表示された［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］をクリックして、③ へ進んでください。

- **Windows 2000 の場合**

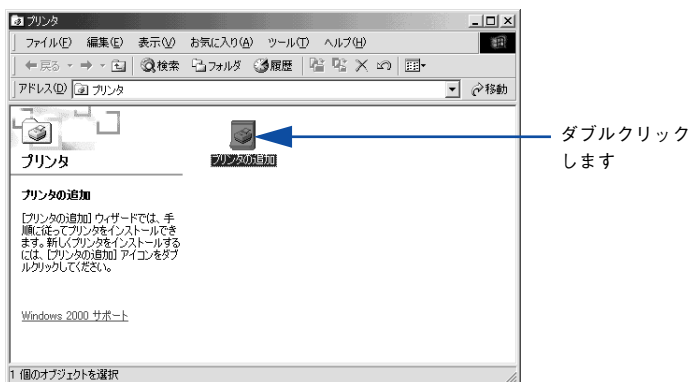
［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

❷ プリンタの追加ウィザードを起動します。

- **Windows XP の場合**

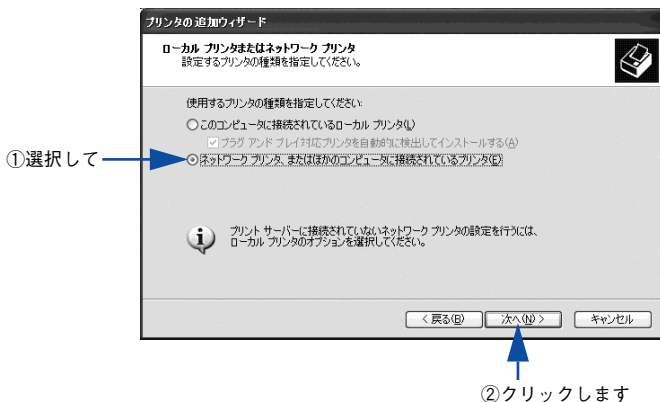
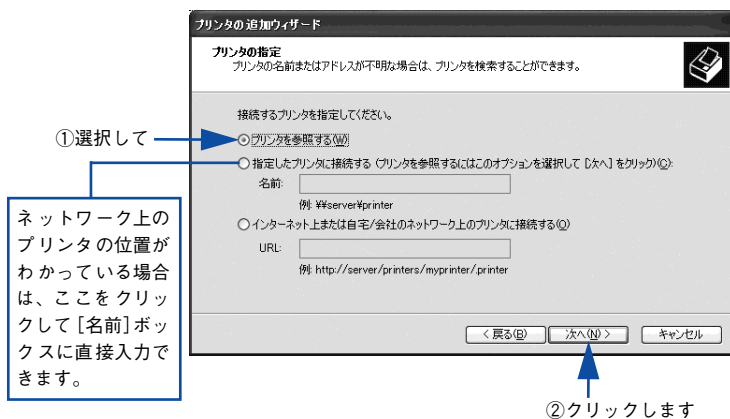
① [プリンタのタスク] の [プリンタのインストール] をクリックします。

② [プリンタの追加ウィザードの開始] 画面で [次へ] ボタンをクリックします。

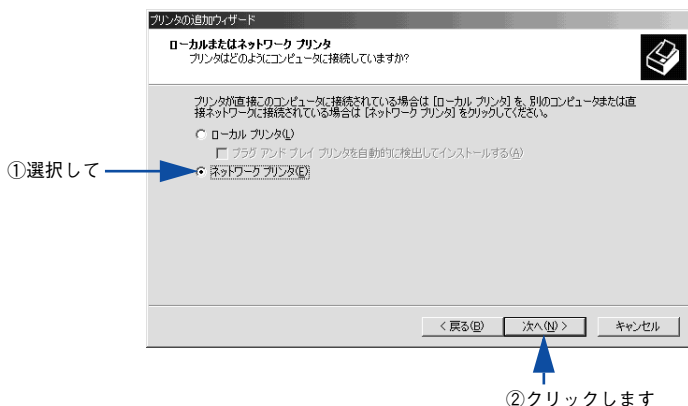
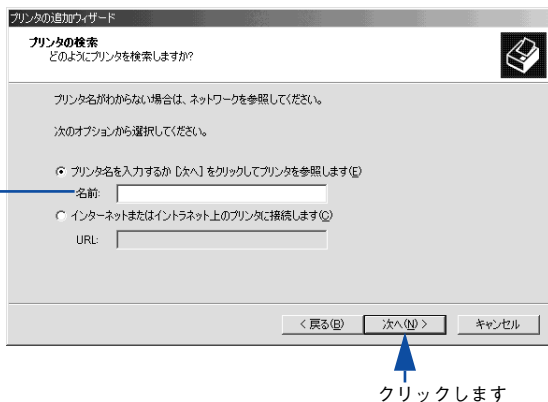
- **Windows 2000 の場合**

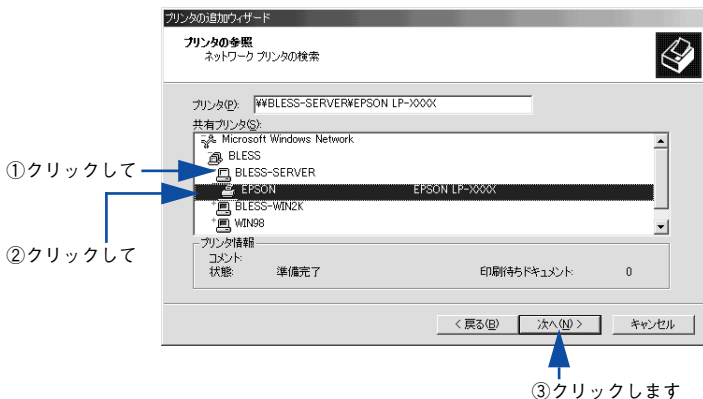
① [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。

② [プリンタの追加ウィザードの開始] 画面で [次へ] ボタンをクリックします。

3 使用する共有プリンタを探します。

- Windows XP の場合

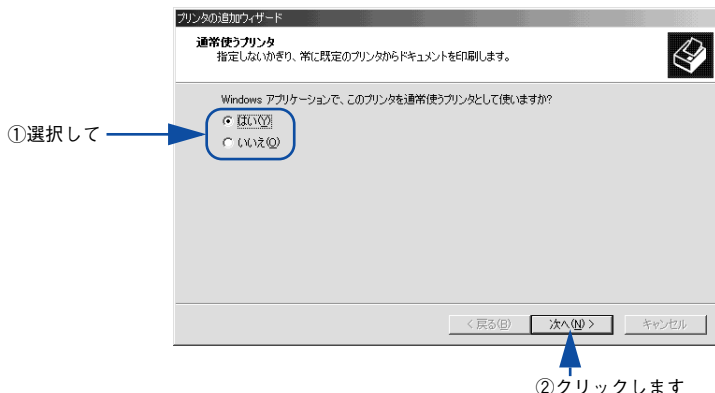
① [ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

② [プリンタを参照する] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

- **Windows 2000 の場合**

① [ネットワークプリンタ] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。

② [プリンタ名を入力するか [次へ] をクリックしてプリンタを参照します] が選択されていることを確認して、[次へ] ボタンをクリックします。

ネットワーク上のプリンタの位置がわかっている場合は、この入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
¥¥ 目的のプリンタが接続されているコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名

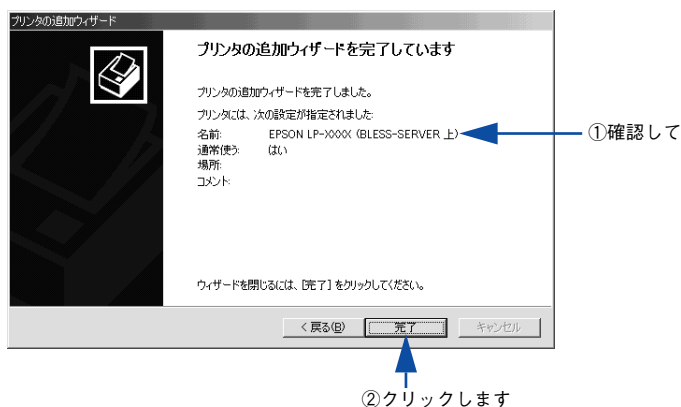
4 プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［次へ］ボタンをクリックします。

<例> Windows2000 の場合

参考

- プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。
- すでに該当機種のプリンタドライバがインストールされている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。

5 Windows 2000/XP の場合、通常使うプリンタとして利用するかどうかを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

<例> Windows 2000 の場合

6 設定内容を確認して［完了］ボタンをクリックします。

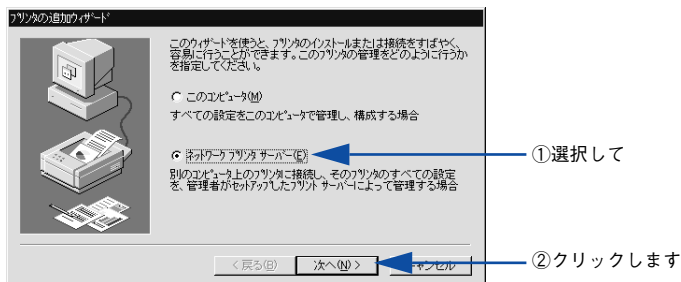
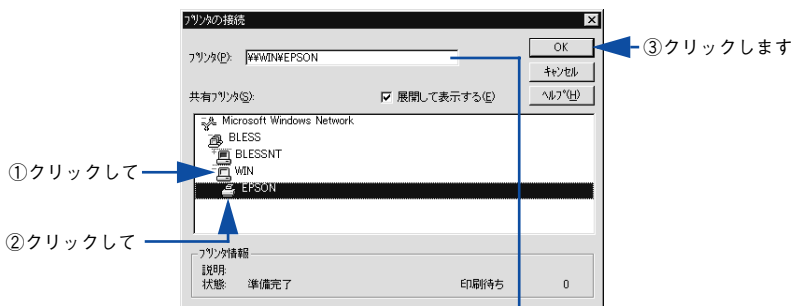
<例> Windows 2000 の場合

以上でクライアントの設定は終了です。

Windows NT4.0 クライアントでの設定

Windows NT4.0 が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

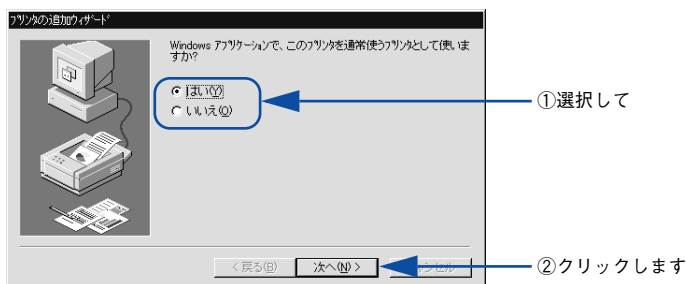
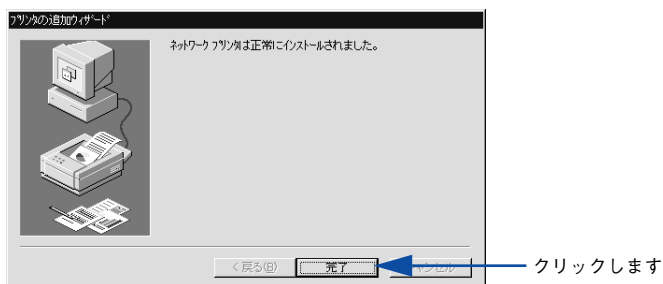
1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

3. ［ネットワークプリンタサーバ］を選択してから、［次へ］ボタンをクリックします。

4. プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［OK］ボタンをクリックします。

入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
¥¥目的のプリンタが接続されているコンピュータ名¥共有プリンタ名

参考

- プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。
- すでに該当機種のプリンタドライバがインストールされている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。

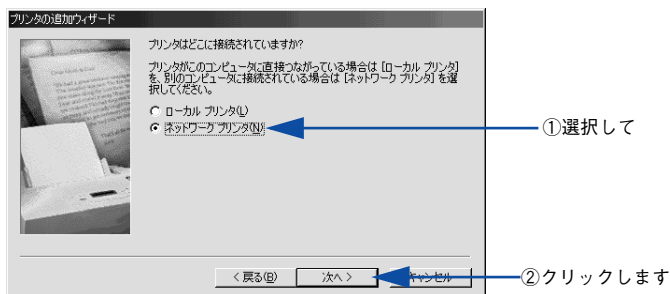
5 通常使うプリンタとして使用するかどうかを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

6 ［完了］ボタンをクリックします。

以上でクライアントの設定は終了です。

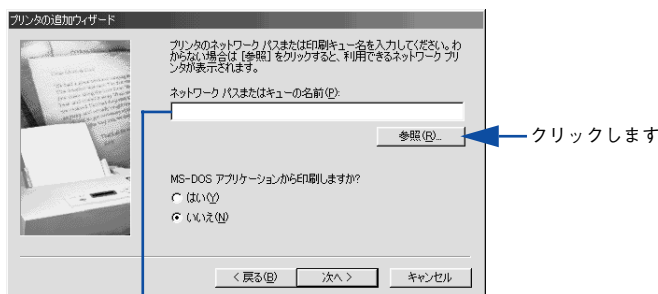
Windows 98/Me クライアントでの設定

Windows 98/Me が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

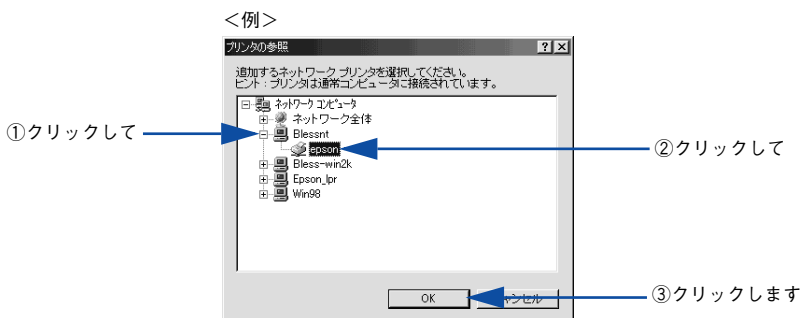
1 **Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。**

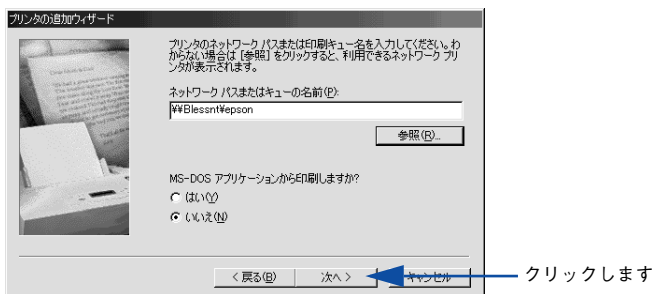
2 **［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］ボタンをクリックします。**

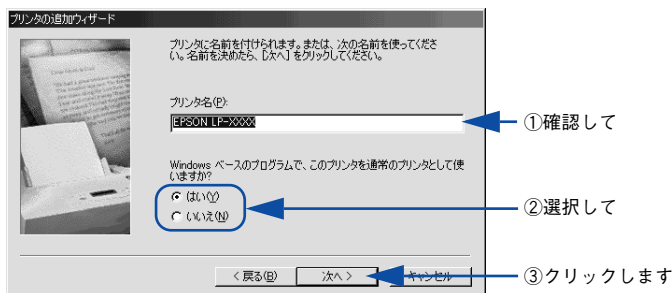
3 **［ネットワークプリンタ］を選択してから、［次へ］ボタンをクリックします。**

4 **［参照］ボタンをクリックします。**

ご利用のネットワーク構成図が表示されます。

入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
¥¥ 目的のプリンタが接続されているコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名

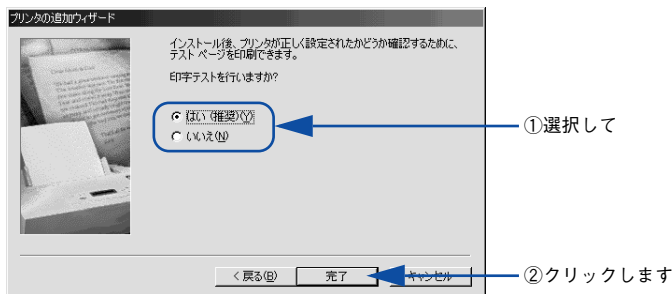
5 プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）の［+］をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［OK］ボタンをクリックします。

<例>

参考 プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。

6 ［次へ］ボタンをクリックします。

参考 すでに該当機種のプリンタドライバがインストールされている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。

7 **接続するネットワークプリンタ名を確認し、通常使うプリンタとして使用するかどうかを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。**

参考	プリンタ名を変更することができます。変更したプリンタ名は、クライアントコンピュータ上での名前となります。

8 **テストページを印刷するかどうかを選択して［完了］ボタンをクリックします。**

印字テストを行う場合は、プリンタドライバのインストールが終了すると自動的に印字テストを行います。印字テストの終了ダイアログが表示されたら、正しくテストページが印刷されたかどうか確認して、［はい］または［いいえ］ボタンをクリックして対処してください。

以上でクライアントの設定は終了です。

プリンタ接続先の変更

プリンタを接続しているコンピュータ側のポートを、必要に応じて追加または変更できます。

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 プリントサーバに代替 / 追加ドライバをインストールしていない場合や、Windows 98/Me プリントサーバと Windows NT4.0/2000/XP クライアントの組み合わせの場合は、クライアントにプリンタドライバをインストールしてから以下の手順を続けてください。

参考	プリンタの接続先を変更すると、プリンタの機能設定が変更されることがあります。プリンタの接続先を変更した場合は、必ず各機能の設定を確認してください。

Windows NT4.0/2000/XP の場合

ネットワークパスを指定してポートを追加することで、ネットワーク上に接続された本機に接続することができます。

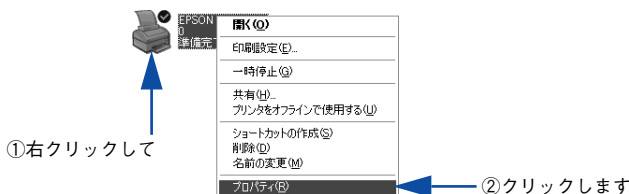
1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。

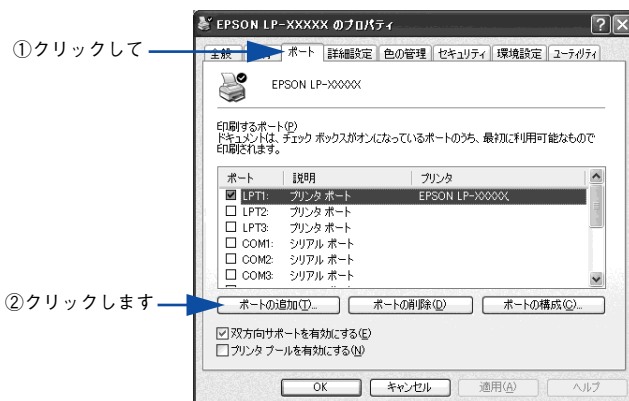
- **Windows XP の場合**

①［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、② へ進みます。
②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③［プリンタと FAX］をクリックします。

- **Windows NT4.0/2000 の場合**

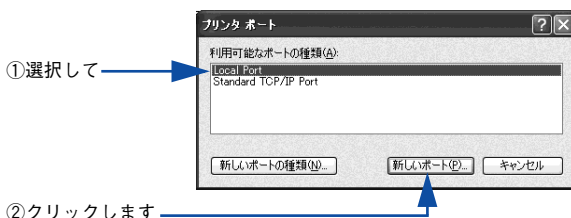
［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

2 LP-V500 のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

3 ［ポート］タブをクリックして［ポートの追加］ボタンをクリックします。

すでに登録されているポートを指定する場合は、リスト内から選択してチェックマークを付けます。

参考

［印刷するポート］はポート名をリスト表示します。必要なポートがすでにあれば、リストからポート名を選択して、［OK］ボタンをクリックします。表示されるポートの種類はご利用のコンピュータによって異なります。以下に代表的なポートを説明します。

- LPTx：通常のプリンタポートの設定です。DOS/V シリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中の「LPT1」を選択します（最後の x には数字が表示されます）。
- USBx：USB ポートです。Windows 2000/XP/Server 2003 をご利用で本機を USB ケーブルで接続した場合に選択します（最後の x には数字が表示されます）。
- FILE：印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

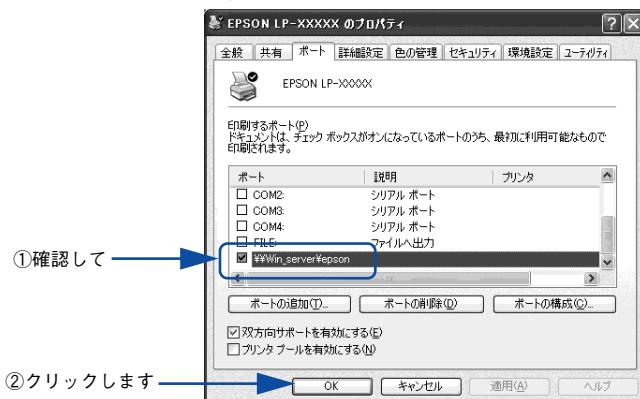
4 ［プリンタポート］ダイアログが表示されたら、［Local Port］を選択して［新しいポート］ボタンをクリックします。

5 **ポート名を入力して［OK］ボタンをクリックします。**

ポート名は以下のように入力します。
¥¥ 目的のプリンタが接続されたコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名

<例>

6 **［プリンタポート］ダイアログの画面に戻りますので、［閉じる］ボタンをクリックします。**

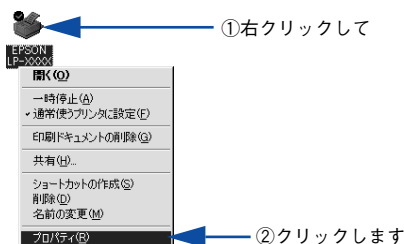
7 **ポートに設定した名前が追加され、選択されていることを確認してから［OK］ボタンをクリックします。**

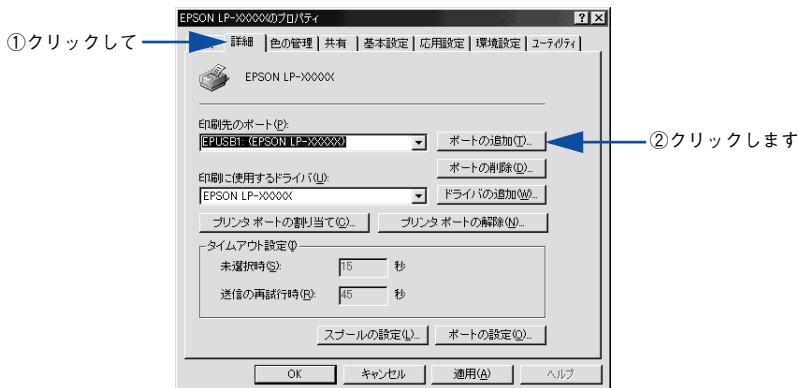
<例>

以上でプリンタ接続先の変更は終了です。

Windows 98/Me の場合

ネットワークパスを指定してポートを追加することで、ネットワーク上に接続された本機に接続することができます。

1 **Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。**

2 **LP-V500 のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。**

3 **［詳細］タブをクリックして［ポートの追加］ボタンをクリックします。**

- すでに登録されているポートを指定する場合は、［印刷先のポート］から選択します。USB 接続の場合は［EPUSBx］を、パラレル接続の場合は［LPT1］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。
- ネットワークプリンタのポートを追加する場合は 4 に進みます。

参考

[印刷先のポート］はポート名をリスト表示します。必要なポートがすでにあれば、リストからポート名を選択して、[OK］ボタンをクリックします。表示されるポートの種類はご利用のコンピュータによって異なります。以下に代表的なポートを説明します。

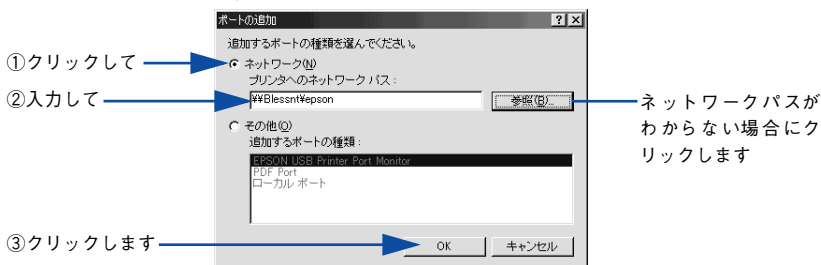
- PRN：EPSON PC シリーズ/NEC PC シリーズ標準の14 ピンプリンタポートに接続している場合の設定です。PRNが表示されない場合はLPT1 を選択します。
- LPTx：通常のプリンタポートの設定です。DOS/V シリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中の「LPT1」を選択します（最後の x には数字が表示されます）。
- EPUSBx：USB ポートです。Windows 98/Me をご利用で本機を USB ケーブルで接続した場合に選択します。EPSON プリンタ用の USBデバイスドライバがインストールされているときのみ表示されます（最後の x には数字が表示されます）。
- FILE：印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

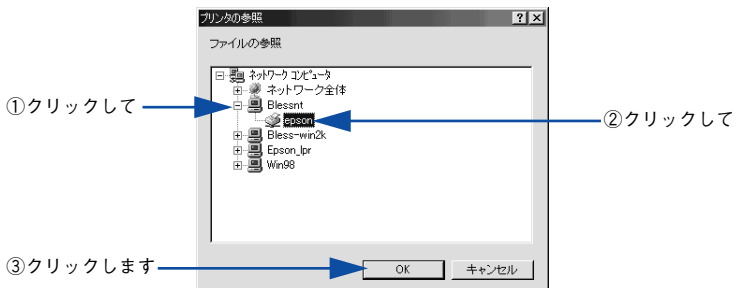
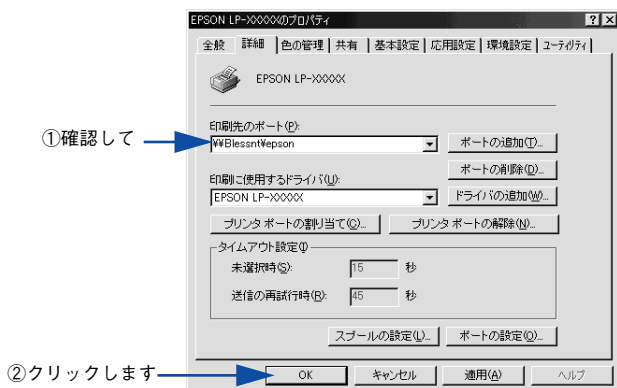
4 ［ネットワーク］をクリックし、［プリンタへのネットワーク パス］を入力して［OK］ボタンをクリックします。

［プリンタへのネットワーク パス］は以下のように入力します。
¥¥ 目的のプリンタが接続されたコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名

<例>

ポートの追加
追加するポートの種類を選んでください。
ネットワーク(N)
プリンタへのネットワーク パス：
¥¥Blessnt¥epson
参照(B)...
その他(O)
追加するポートの種類：
EPSON USB Printer Port Monitor
PDF Port
ローカル ポート
OK
キャンセル

①クリックして
②入力して
③クリックします
ネットワークパスがわからない場合にクリックします

参考

ネットワークプリンタへのパスがわからない場合は、[参照］ボタンをクリックして、以下のダイアログで目的のプリンタをクリックして［OK］ボタンをクリックします。

5 追加したポート名が［印刷先のポート］で選択されていることを確認してから、［OK］ボタンをクリックします。

以上でプリンタ接続先の変更は終了です。

パラレルインターフェイス接続時の印刷の高速化

本機をパラレル接続している場合、印刷データの転送方法としてDMA転送を利用することで、印刷を高速化することができます。

DMA転送とは

通常、印刷データはコンピュータのCPU（Central Processing Unit）を経由してプリンタへ送られます。しかし、CPUは同時にいくつもの処理をこなしているため、この方法ではCPUに負担がかかり、効率よくプリンタへ印刷データを送れません。

ECP* コントローラチップを搭載したコンピュータの場合は、印刷データの流れを変更することで、CPU を経由しないでプリンタへ直接印刷データを送ることができます。その結果印刷速度が向上することになります。このような、データ転送の方法をDMA（Direct Memory Access）転送と呼びます。

* ECP：Extended Capability Portの略。パラレルポートの拡張仕様の一つ。

DMA転送を設定する前に

プリンタドライバでDMA転送を行う前に、以下の項目の確認と設定が必要です。

- **ご利用のコンピュータはDOS/V機でECPコントローラチップが搭載されていますか？**
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照いただくか、コンピュータメーカーにお問い合わせください。
- **ご利用のコンピュータでDMA転送が可能ですか？**
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照していただくか、コンピュータメーカーにお問い合わせください。
- **BIOS* セットアップでパラレルポートの設定が［ECP］または［ENHANCED］になっていますか？**
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照していただき、BIOS　を設定してください。

* BIOS：Basic Input/Output Systemの略。パソコンを動作させるための基本的なプログラム群のこと。

> **参考**
> このBIOSの設定は、本機のプリンタソフトウェアを一旦削除（アンインストール）してから行ってください。BIOS設定後、本機に添付のEPSONプリンタソフトウェアCD-ROMを使ってプリンタソフトウェアを再度インストールしてください。
> 本書130ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」

- **エプソン純正のパラレルケーブルでプリンタとコンピュータを接続していますか？**

以上の確認と設定が済みましたら、お使いのOSごとの説明に進んでください。

Windows 2000/XP の場合

Windows 2000/XP をご利用の場合は、BIOS のパラレルポート設定を ECP モードに設定した上で、添付のプリンタソフトウェア CD-ROM から EPSON プリンタポートをインストールする必要があります。

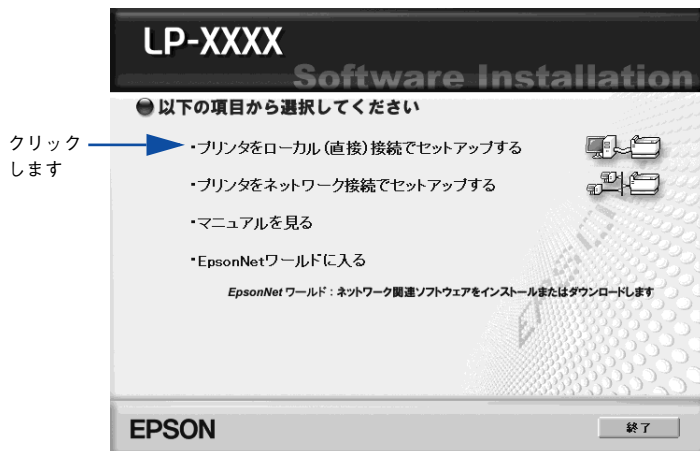
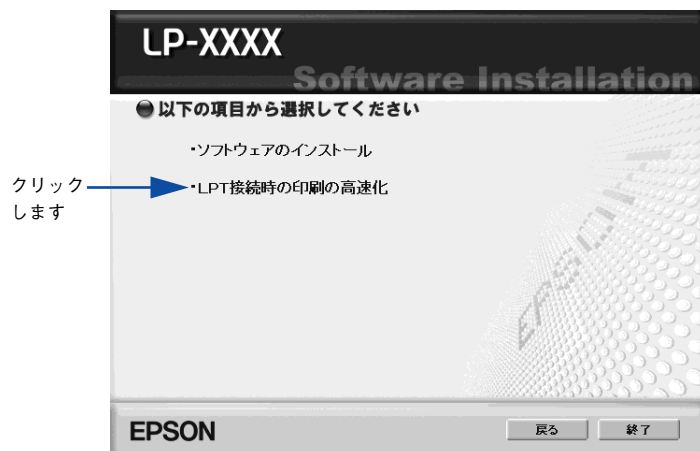
参 考

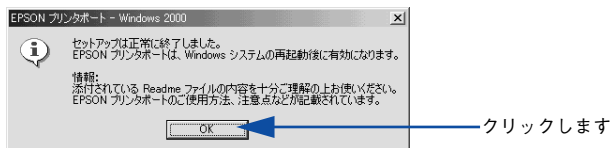
- BIOSの設定方法については、ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照してください。
- BIOS のパラレルポート設定を行う場合は、BIOS を設定する前に本機のプリンタソフトウェアを一旦削除してください。そして、BIOS の設定後に再度プリンタソフトウェアをインストールしてください。
- EPSONプリンタポートをインストールおよび設定するには、Windows 2000 の場合は管理者権限（Administrators）のあるユーザーとして、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンする必要があります。
- Windows Server 2003 では使用できません。

1. **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

2. **ウィルスチェックプログラムに対処します。**
   - ウィルスチェックプログラムの実行中は、[インストール中止] をクリックしてウィルスチェックプログラムを終了させてから作業を再開します。
   - ウィルスチェックプログラムがないまたは停止中は、[続ける] をクリックして次へ進みます。

3. **使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、[同意する] をクリックします。**

4 ［プリンタをローカル（直接）接続でセットアップする］を選択して次に進みます。

5 ［LPT 接続時の印刷の高速化］をクリックします。

6 ［はじめにお読みください］をクリックして参考情報をお読みいただいてから、［エプソンプリンタポートのインストール］をクリックしてインストールを実行します。

7 インストールが終了したら［OK］ボタンをクリックします。

8 Windows を再起動します。

注意 必ず Windows を再起動させてから以降の作業に進んでください。再起動させずに以降の作業を行うと、印刷ができなくなったり、動作が不安定になります。

9 **LP-V500 プリンタドライバのプロパティ画面を表示します。**

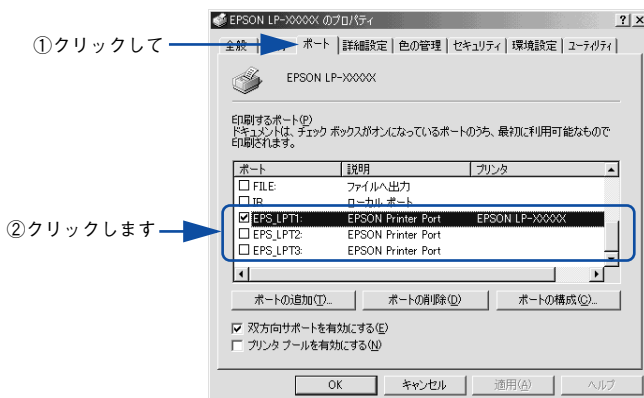
- **Windows XP の場合**

① [スタート] ボタンをクリックして [コントロールパネル] をクリックします。
[スタート] メニューに [プリンタと FAX] が表示されている場合は、[プリンタと FAX] をクリックして、8 へ進みます。
② [プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。
③ [プリンタと FAX] をクリックします。
④ LP-V500 のプリンタアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] をクリックします。

- **Windows 2000 の場合**

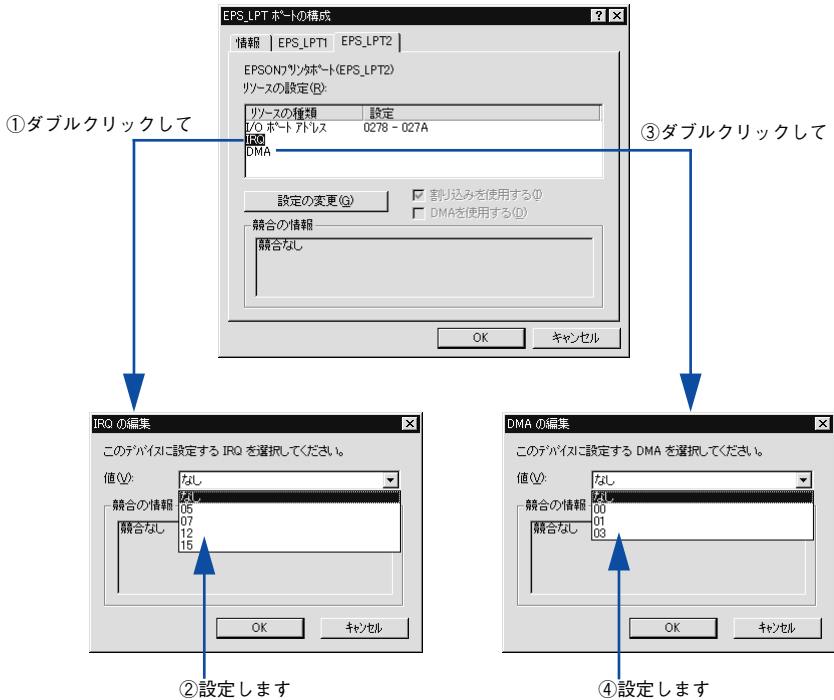
① [スタート] ボタンをクリックして [設定] にカーソルを合わせ、[プリンタ] をクリックします。
② LP-V500 のプリンタアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] をクリックします。

10 **[ポート] タブをクリックし、使用するパラレルポートを選択します。**

[印刷するポート] の中から、使用する [EPS_LPTx:] のチェックボックスをクリックしてチェックを付けます。

- EPS_LPT1：コンピュータ内蔵のパラレルポート専用
[EPS_LPT1] を使用する場合は、以上で EPSON プリンタポートの設定は終了です。[閉じる] ボタンをクリックして、[プロパティ] 画面を閉じます。
- EPS_LPT2：市販のパラレルポート拡張ボード用
次の 10 へ進みます。
- EPS_LPT3：市販のパラレルポート拡張ボード用
次の 10 へ進みます。

⑪ EPS_LPT2/3 を使用する場合は、以下の手順で IRQ、DMA の設定を行ってからコンピュータを再起動させます。

① ［ポートの構成］ボタンをクリックし、使用する EPS_LPT2 または EPS_LPT3 のタブをクリックします（拡張ボードが装着されている場合のみ EPS_LPT2、EPS_LPT3 が表示されます）。

② ［IRQ］、［DMA］の設定を行います。［リソースの設定］から［IRQ］、［DMA］をダブルクリックし、拡張ボードで設定した値を設定します。

③ ［OK］ボタンをクリックして［ダイアログ］画面を閉じます。設定が変更された場合には、コンピュータの再起動を促すメッセージが表示されます。［プロパティ］画面を閉じてから再起動してください。

これで EPS_LPT2/3 の設定が完了し、接続されているプリンタへの EPS_LPTx ポートの割り当てができるようになります。

参 考	プリンタドライバを再インストールした場合には、⑧ ～ ⑩ に従って EPSON プリンタポートの再設定を行ってください。

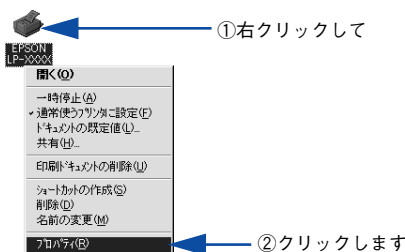
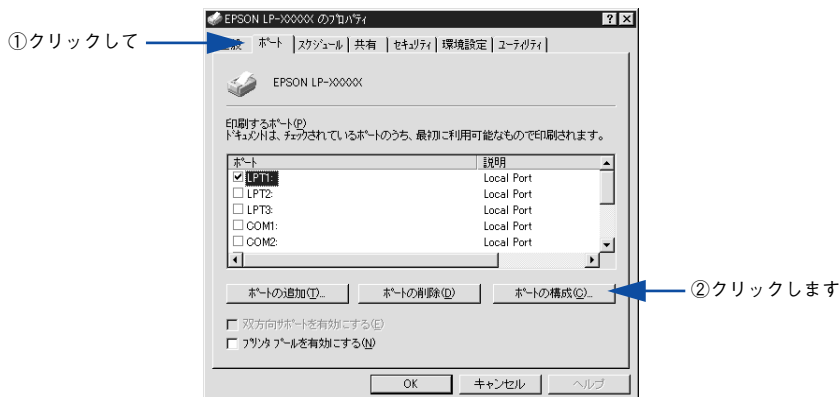
Windows NT4.0 の設定確認

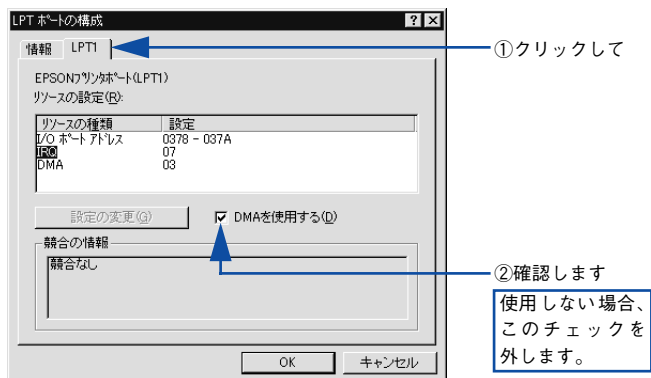
Windows NT4.0 をご利用の場合は、BIOS のパラレルポート設定を ECP モードに設定した上で、本機のプリンタドライバをインストールしてください。そのまま DMA 転送をご利用いただくことができます。ここでは設定されていることを確認します。

参 考

- BIOSの設定方法については、ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照してください。
- BIOS のパラレルポート設定を行う場合は、BIOS を設定する前に本機のプリンタソフトウェアを一旦削除してください。そして、BIOS の設定後に再度プリンタソフトウェアをインストールしてください。
- DMA 転送をご利用になる場合、本機に添付の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を使ってローカルプリンタとしてプリンタソフトウェアがインストールされている必要があります。
- DMA転送で印刷できないなどの問題が発生した場合は、手順4の[DMA を使用する] のチェックを外してください。

1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2. LP-V500 のアイコンを右クリックして［プロパティ］をクリックします。

3 ［ポート］のタブをクリックし、［ポートの構成］ボタンをクリックします。

4 **本機が接続されているポートのタブをクリックして、［DMA を使用する］のチェックボックスにチェックマークが付いていることを確認します。**

コンピュータのLPT1ポートにプリンタを接続している場合は、[LPT1]を選択します。

参考

コンピュータの拡張スロットに LPT ボードが装着されている場合、［LPT2］や［LPT3］が表示されます。

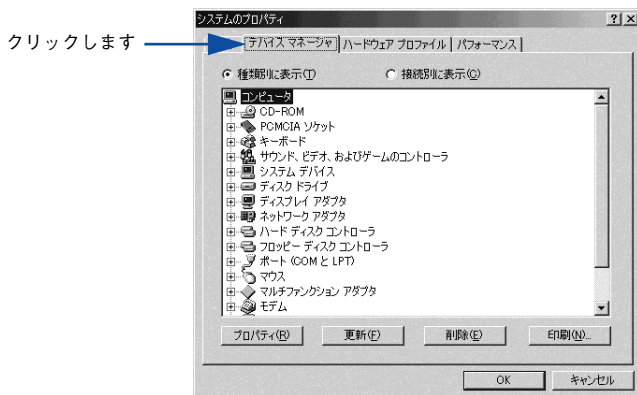
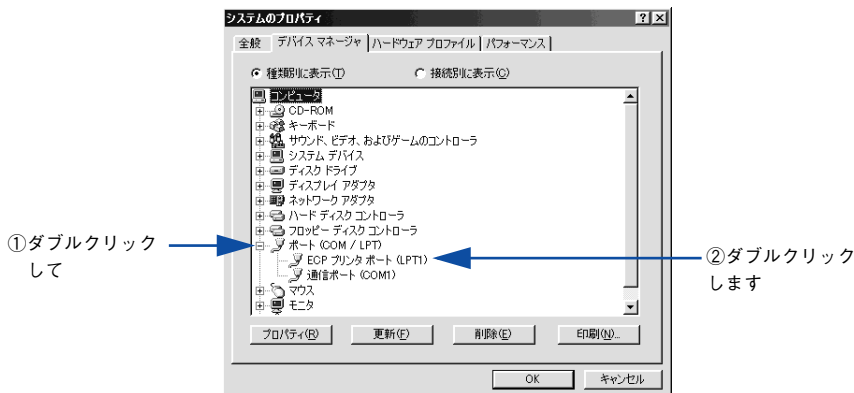
- LPT2やLPT3の構成情報には、拡張ボードで設定されているI/Oアドレスが表示されます。
- IRQ と DMA は、拡張ボードの設定を手動で設定する必要があります。設定方法は、［IRQ］と［DMA］をクリックして、［設定の変更］ボタンをクリックして設定してください。

以上で設定の確認は終了です。

Windows 98/Me の設定確認

1. **Windows の［コントロールパネル］を開きます。**
［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。

2. **［システム］アイコンをダブルクリックします。**

3. **［デバイスマネージャ］タブをクリックします。**

4. **［ポート（COM/LPT）］をダブルクリックして開き、本機が接続されているポートをダブルクリックします。**
プリンタの接続先を変更していない場合は［ECP プリンタポート（LPT1)］を選択します。

5 ［リソース］タブをクリックし、［自動設定］にチェックが付いていること、［競合するデバイス］に競合がないことを確認します。

参考

競合するデバイスが表示された場合は､以下の手順で設定を変更してください。

①すべての I/O ポートアドレスをメモ用紙に控えて、［自動設定］のチェックボックスをクリックして外します。

②［基にする設定］または［設定の登録名］リストでメモに控えた I/O ポートアドレスと［DMA］、［IRQ］（割り込み要求）の設定が表示される基本設定を探して選択します。

競合デバイスが解消しない場合は、お使いのコンピュータメーカーにお問い合わせください。

6 ［OK］ボタンをクリックします。

以上で設定の確認は終了です。

参考

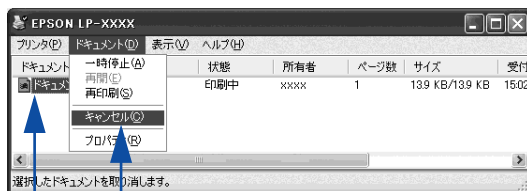
一部のコンピュータでは､上記の設定をしたにもかかわらず､DMA 転送がご利用になれない場合があります。お使いのコンピュータのメーカーに DMA 転送が可能かどうかお問い合わせください。

印刷の中止方法

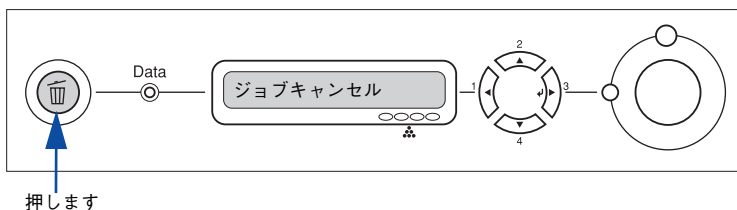
印刷処理を中止するときは、次のいずれかの方法でコンピュータ上の印刷データ、またはプリンタ上の印刷データを削除します。

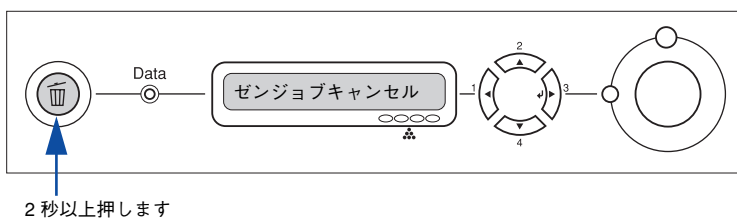
プリンタドライバからの中止方法

1. **画面右下のタスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックします。**

2. **中止したい印刷データをクリックして選択し、[ドキュメント] メニューの [印刷中止] または [キャンセル] をクリックします。**

処理済みのデータが印刷されてから表示が消え、印刷が中止されます。

プリンタ本体での中止方法

● 印刷中のデータを削除するには［ジョブキャンセル］スイッチを押します。

印刷中のデータ（ジョブ単位）が削除されます。

● プリンタが受信したすべての印刷データを削除するには［ジョブキャンセル］スイッチを約２秒間押し続けます。

プリンタが受信したすべての印刷データが消去されます。

プリンタソフトウェアの削除方法

プリンタドライバを再インストールする場合やバージョンアップする場合は、すでにインストールされているプリンタソフトウェアを削除（アンインストール）する必要があります。

プリンタソフトウェアを削除するには

Windows の標準的な方法でプリンタソフトウェア（プリンタドライバ /EPSON プリンタウィンドウ !3/USB プリンタデバイスドライバ）を削除する手順を説明します。

参考

- USBプリンタデバイスドライバは、Windows 98/Meで本機をUSB接続している場合にインストールされるデバイスドライバです。
- Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003上のEPSON プリンタウィンドウ!3 を、複数のユーザーで使用している環境で、EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除する場合は、すべてのユーザー環境において［呼び出しアイコン］の設定をオフ（チェックなし）にしてから削除してください。
  ☞本書 77 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

1. **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

2. **Windows の［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開きます。**

- Windows XP
  ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。
- Windows Server 2003
  ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］にカーソルを合わせます。
- Windows 98/Me/NT4.0/2000
  ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせて、［コントロールパネル］をクリックします。

3 ［アプリケーションの追加と削除］/［プログラムの追加と削除］を開きます。

- Windows XP/Server 2003 の場合

  ［プログラムの追加と削除］をクリックします。

- Windows 98/Me/NT4.0/2000 の場合

  ［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

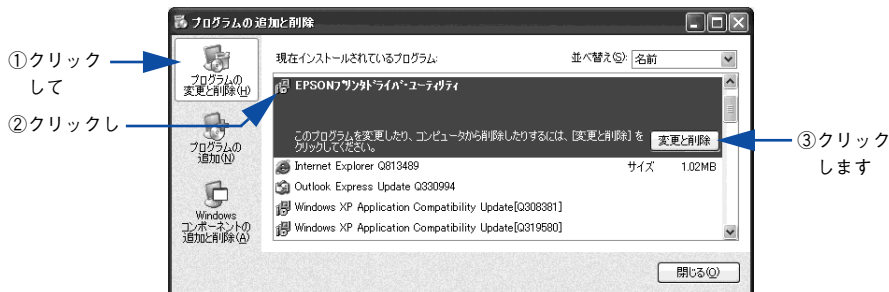
4 **削除するソフトウェアを選択して［追加と削除］ボタンをクリックします。**

- **プリンタドライバとEPSON プリンタウィンドウ !3 を削除する場合：**

Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

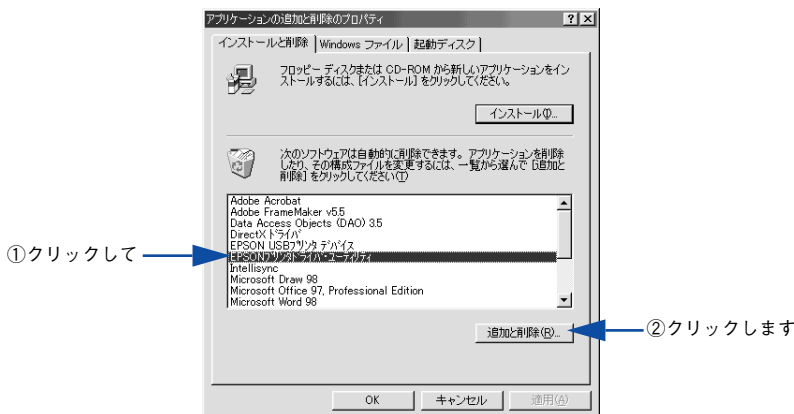
［プログラムの変更と削除］をクリックしてから、［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］をクリックし、［変更 / 削除］ボタンをクリックして以下のページへ進みます。

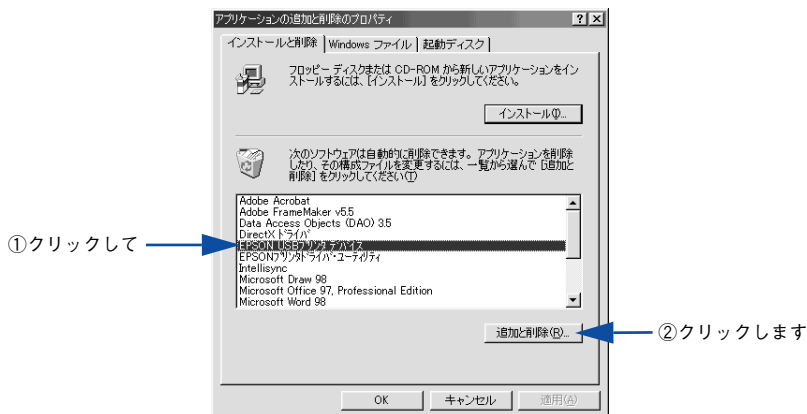
本書 135 ページ「プリンタドライバとEPSON プリンタウィンドウ !3 の削除」

<例> Windows XP の場合

Windows 98/Me/NT4.0 の場合

［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］をクリックし、［追加と削除］ボタンをクリックして以下のページへ進みます。

本書 135 ページ「プリンタドライバとEPSON プリンタウィンドウ !3 の削除」

<例> Windows 98の場合

- **USB プリンタデバイスドライバを削除する場合：**
  ［EPSON USB プリンタデバイス］は、Windows98/Me で USB 接続をご利用の場合にのみ表示されます。［EPSON USB プリンタデバイス］をクリックし、［追加と削除］ボタンをクリックして以下のページへ進みます。
  ☞ 本書 137 ページ「USB プリンタデバイスドライバの削除」

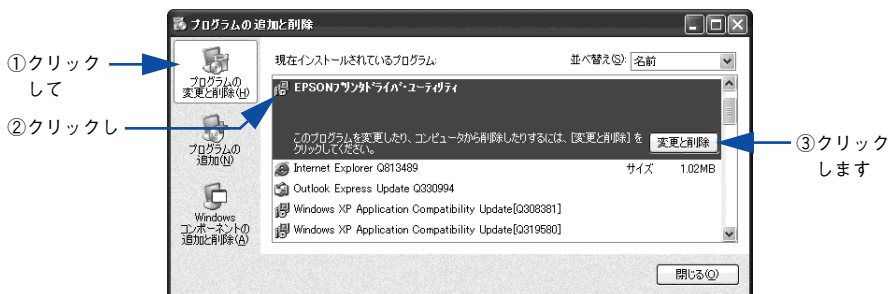
<例> Windows 98の場合

参 考	インストールが不完全なまま終了していると［USB プリンタデバイス］の項目が表示されないことがあります。その場合は、プリンタソフトウェア CD-ROM 内の［Epusbun.exe］ファイルを実行してください。 ①コンピュータに「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。 ②［エクスプローラ］などで CD-ROM に収録されたファイルを表示させます。 ③［Win9x］フォルダをダブルクリックして開きます。 ④［Epusbun.exe］アイコンをダブルクリックします。

- **EPSON プリンタウィンドウ !3 のみを削除する場合：**

Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

[プログラムの変更と削除] をクリックしてから、[EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ] をクリックし、[変更 / 削除] ボタンをクリックして以下のページへ進みます。

☞ 本書 138 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 のみの削除」

＜例＞ Windows XP の場合

Windows 98/Me/NT4.0 の場合

[EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ] をクリックし、[追加と削除] ボタンをクリックして以下のページへ進みます。

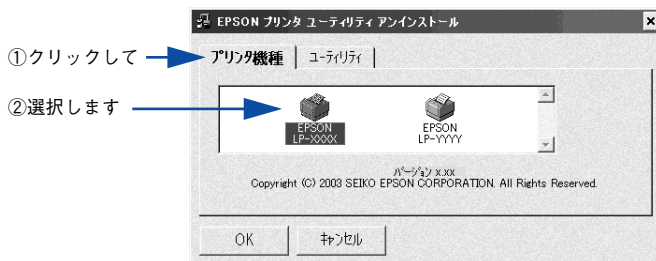
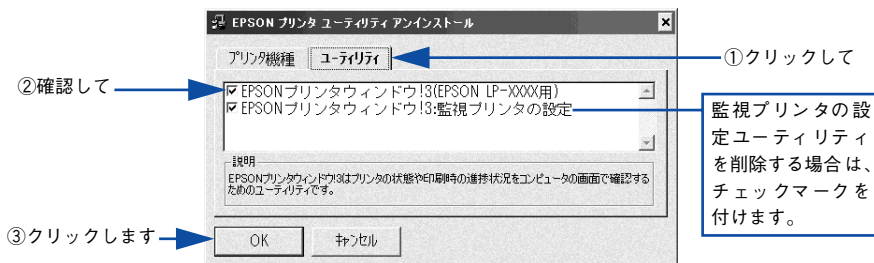
☞ 本書 138 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 のみの削除」

＜例＞ Windows 98の場合

プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除

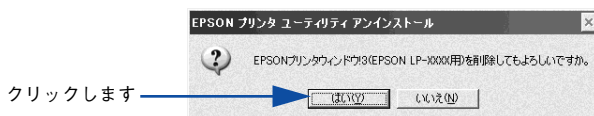
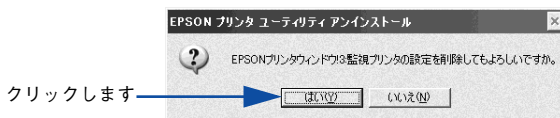
以下の手順から続けて、下記の作業を行ってください。

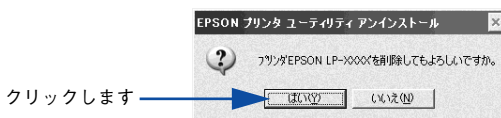
132 ページ手順 4 から続けてください。

5 ［プリンタ機種］タブをクリックし、LP-V500 のアイコンを選択します。

6 ［ユーティリティ］タブをクリックし、EPSON プリンタウィンドウ !3（LP-V500 用）にチェックマークが付いていることを確認して［OK］ボタンをクリックします。

参考 監視プリンタの設定ユーティリティを削除すると、本機以外の EPSON プリンタウィンドウ !3 に対しても監視プリンタの設定が変更できなくなります。

7 EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除確認のメッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。

EPSON プリンタウィンドウ !3（LP-V500 用）の削除が始まります。

参考

監視プリンタの設定ユーティリティを削除する場合は、次のメッセージが表示されます。［はい］ボタンをクリックすると、監視プリンタの設定ユーティリティの削除が始まります。

8 **プリンタドライバの削除を確認するメッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。**

プリンタドライバの削除が始まります。

参考

- 関連ファイル削除のメッセージが表示されたら［はい］ボタンをクリックします。プリンタドライバに関連するファイルが削除されます。
- 削除したプリンタを［通常使うプリンタ］として設定していた場合は、ほかのプリンタドライバを［通常使うプリンタ］に設定します。メッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。

9 **終了のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。**

以上でプリンタドライバとEPSONプリンタウィンドウ!3の削除（アンインストール）は終了です。

参考

プリンタドライバを再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

USB プリンタデバイスドライバの削除

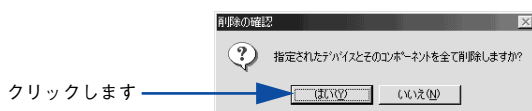
Windows98/Me で USB 接続をご利用の場合のみ必要なデバイスドライバです。

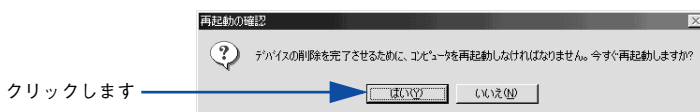
> **参考**
> - USB プリンタデバイスドライバを削除する前に、プリンタドライバを削除してください。
> - USBプリンタデバイスドライバを削除すると、USB 接続しているほかのエプソン製プリンタも利用できなくなります。

以下の手順から続けて、下記の作業を行ってください。

☞ 132 ページ手順 ❹ から続けてください。

❺ **［はい］をクリックします。**

USB プリンタデバイスドライバの削除が始まります。

❻ **［はい］をクリックします。**

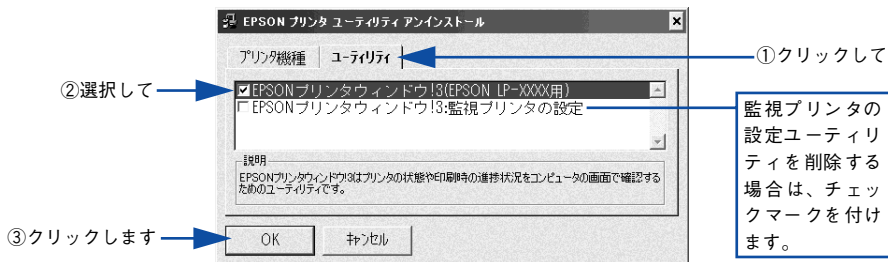
コンピュータが再起動します。

以上で USB プリンタデバイスドライバの削除は終了です。

EPSON プリンタウィンドウ !3 のみの削除

以下の手順から続けて、下記の作業を行ってください。

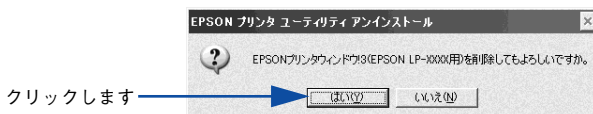
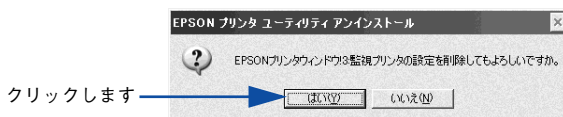
☞ 132 ページ手順 4 から続けてください。

5 ［プリンタ機種］タブをクリックし、余白部分をクリックして何も選択されていない状態にします。

6 ［ユーティリティ］タブをクリックし、［EPSON プリンタウィンドウ !3（LP-V500 用）］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

参考 監視プリンタの設定ユーティリティを削除すると、本機以外の EPSON プリンタウィンドウ !3 に対しても監視プリンタの設定が変更できなくなります。

7 **削除を確認するメッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。**

EPSON プリンタウィンドウ !3（LP-V500 用）の削除が始まります。

参 考

監視プリンタの設定ユーティリティを削除する場合は、次の確認メッセージが表示されます。[はい] ボタンをクリックすると、監視プリンタの設定ユーティリティの削除が始まります。

8 終了のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

以上でEPSONプリンタウィンドウ !3(LP-V500用)の削除(アンインストール)は終了です。

参 考

プリンタドライバやEPSONプリンタウィンドウ!3を再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

代替 / 追加ドライバを削除するには

Windows 2000/XP/Server 2003 プリントサーバにクライアント用の代替/追加ドライバをインストールしている場合は、以下の手順で代替 / 追加ドライバを削除（アンインストール）できます。

なお、Windows NT4.0 プリントサーバにインストールされている代替 / 追加ドライバは削除することができません。プリンタドライバ自体を削除しても代替 / 追加ドライバは削除されません。Windows NT4.0 の代替 / 追加プリンタドライバをバージョンアップする場合は、バージョンアップしたプリンタドライバを代替 / 追加ドライバとして再度インストールしてください。上書きインストールされた代替 / 追加ドライバは問題なく動作します。

参 考	代替 / 追加ドライバ機能は、Windows NT4.0 では「代替ドライバ」、Windows 2000/XP/Server 2003 では「追加ドライバ」と表示されます。

1 **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

2 **Windows の［スタート］メニューから［プリンタ]/［プリンタと FAX］を開きます。**

- **Windows XP の場合**

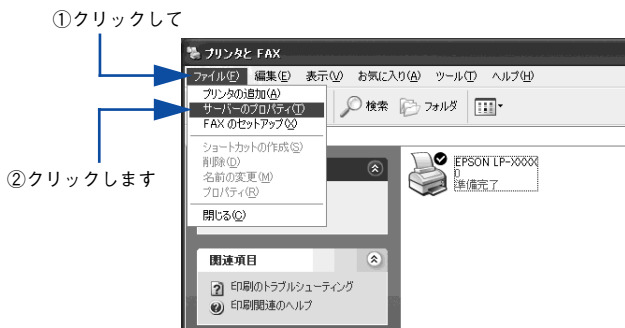
① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、3 へ進みます。
② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

- **Windows Server 2003 の場合**

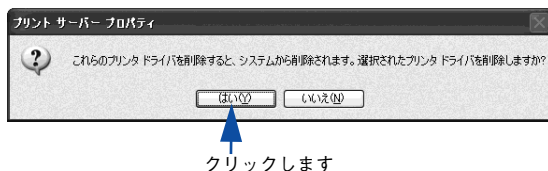
［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］-［プリンタと FAX］にカーソルを合わせてマウスを右クリックし、［開く］をクリックします。［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして 3 へ進みます。

- **Windows 2000 の場合**

［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

3 ［ファイル］メニューから［サーバーのプロパティ］をクリックします。

4 ［ドライバ］タブをクリックして、［インストールされたプリンタドライバ］リストを開きます。

5 削除したい代替/追加ドライバをクリックして選択し、[削除]ボタンをクリックします。

6 削除を確認するメッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。

7 [閉じる] ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。

以上で代替 / 追加ドライバの削除は終了です。

EPSON プリンタポートの削除

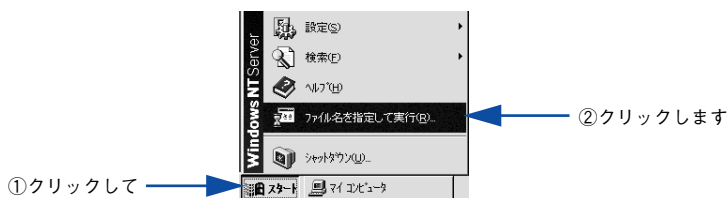
Windows 2000/XP の場合

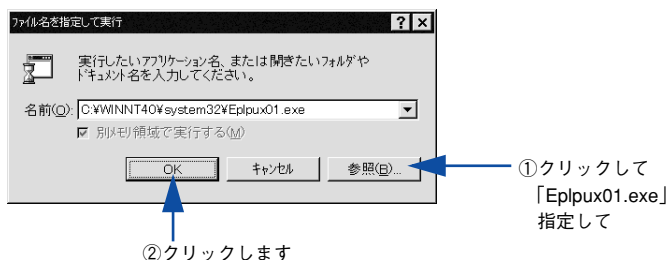
EPSON プリンタポートを削除するには、起動しているアプリケーションソフトをすべて終了し、Windows の［スタート］メニューから［すべてのプログラム］/［プログラム］－［EPSON］－［EPSONプリンタポートアンインストール］をクリックして画面の指示に従い、Windows を再起動してください。

Windows NT4.0 の場合

Windows NT4.0 用プリンタドライバをインストールすると、パラレルインターフェイス接続時に印刷の高速化をするための EPSON プリンタポートもインストールされます。この EPSON プリンタポートを削除する手順は以下の通りです。

1. **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

2. **Windows の［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行］をクリックします。**

3. **［参照］ボタンをクリックして、Windows NT4.0 のシステムがインストールされているディレクトリの system32¥Eplpux01.exe を指定して［OK］ボタンをクリックします。**

<例>Windows NT4.0のシステムをCドライブのWINNT40にインストールしている場合

参 考	Eplpux01.exe が存在しない場合、EPSON プリンタポートはインストールされていませんので本作業は不要です。

これ以降は、画面の指示に従って作業を行ってください。

4. **Windows を再起動します。**

Mac OS 9 をお使いの方へ

プリンタドライバの詳細説明と、Mac OS 9 でお使いの際に関係する情報について説明しています。

印刷を始める前に

「セットアップガイド」(紙マニュアル)の説明に従って、EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からプリンタソフトウェアのインストールは終了していますか。ここでは、[セレクタ] でプリンタを選択する手順を詳しく説明します。

- すでに本機を選択している場合は、再度選択する必要はありません。
- 他のプリンタを選択しない限り、印刷のたびに選択する必要はありません。

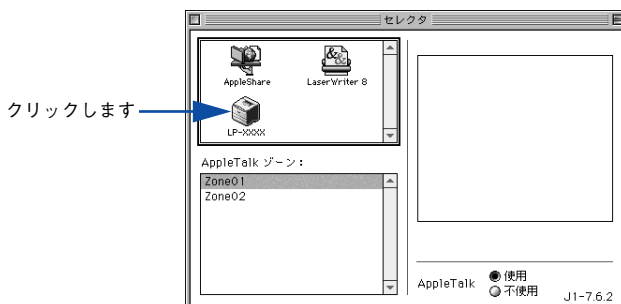
参 考

- オプション製品をプリンタに装着した場合は、[セレクタ] でプリンタを再選択してください。
- 本機を接続した Macintosh がネットワーク環境に接続されていれば、ネットワーク上のほかの Macintosh から本機を共有することができます。設定については以下のページを参照してください。
  本書 191 ページ「[プリンタセットアップ] ダイアログ」
  本書 194 ページ「プリンタを共有するには」

1 **プリンタの電源をオン (I) にします。**

2 **アップルメニューからセレクタをクリックして開きます。**

3 **プリンタドライバ [LP-V500] を選択します。**

参 考

- ネットワーク環境に接続している場合は、ネットワークプリンタとして共有できます。
- AppleTalkゾーンの一覧は、ネットワーク上でゾーンを設定している場合に表示されます。プリンタを接続したゾーンを選択してください。どのゾーンにプリンタを接続したかは、ネットワーク管理者にご確認ください。
- QuickDraw GX は使用できません。プリンタドライバのアイコンが表示されない場合は、QuickDraw GX を使用停止にしてください。

4 USB ポートまたはプリンタを選択します。

- USB 接続の場合：USB ポートを選択します。同機種のプリンタが複数接続されている場合は［USB ポート（1）］、［USB ポート（2）］などと表示します。使用するポート番号を選択します。
- AppleTalk 接続の場合：AppleTalk ゾーンとプリンタを選択します。

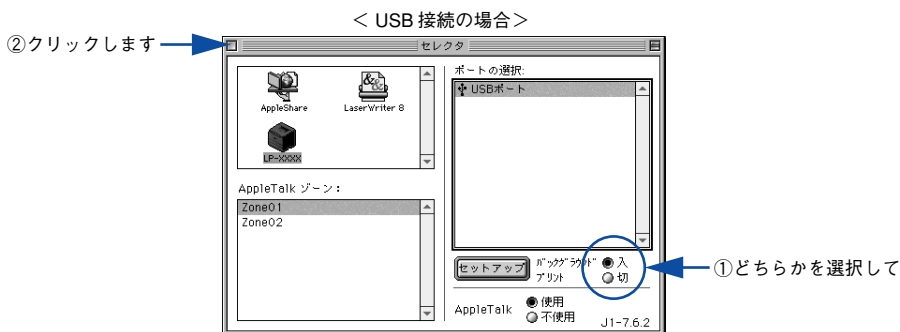
<ネットワーク接続の場合>

セレクタ
AppleShare
LaserWriter 8
LP-XXXX
AppleTalk ゾーン：
Zone01
Zone02
ポートの選択:
LP-XXXX
セットアップ
バックグラウンドプリント
入
切
AppleTalk
使用
不使用
J1-7.6.2

選択します

参 考

- AppleTalk接続の場合は、プリンタ名が変更されている場合があります。ネットワーク管理者にご確認ください。
- ネットワーク環境でAppleTalkゾーンが設定されていない場合は、［AppleTalkゾーン］は表示されませんので選択する必要はありません。
- USB 接続で［ポートの選択］に何も表示されない場合は、コンピュータとプリンタの接続状態が正しいか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

5 ［バックグラウンドプリント］の［入 / 切］を設定して、ダイアログ左上のクローズボックスをクリックします。

< USB 接続の場合>

参考

- ［バックグラウンドプリント］を［入］にすると、印刷しながら Macintosh でほかの作業ができます。ただし、ご使用の Macintosh によってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が長くなる場合があります。印刷速度を優先する場合は、［切］を選択してください。
- ［セットアップ］ボタンをクリックすると、プリンタの基本動作が設定できます。
  本書 191 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」

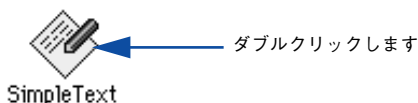
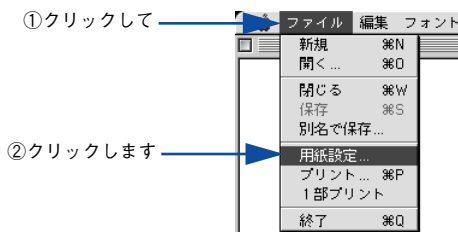
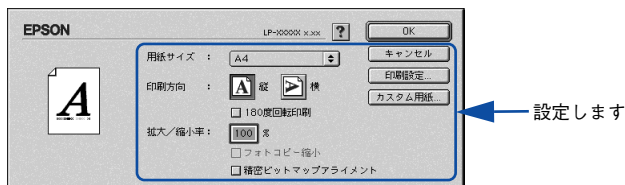
以上でプリンタの選択は終了です。印刷を始めていただけます。
本書 148 ページ「印刷の手順」

印刷の手順

用紙設定

実際に印刷データを作成する前に、用紙サイズなどを設定します。ここでは、SimpleText での手順を例に説明します。

参 考	用紙設定をする前にセレクタでLP-V500用のプリンタドライバを選択してください。 本書 145 ページ「印刷を始める前に」

1 ［SimpleText］アイコンをダブルクリックして起動します。

2 ［ファイル］メニューから［用紙設定］（または［プリンタの設定］など）をクリックします。

3 必要な項目を設定します。

設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。

本書 158 ページ「［用紙設定］ダイアログ」
本書 160 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

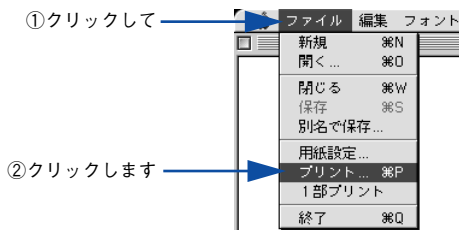
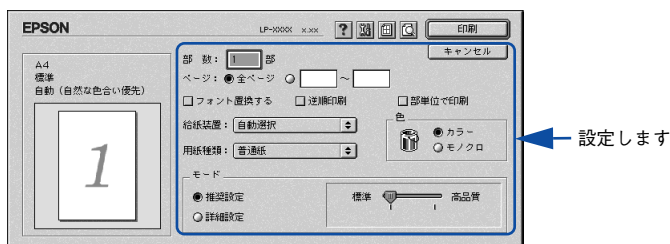
4 ［OK］ボタンをクリックして終了します。

この後、印刷データを作成します。

印刷設定の手順

作成した印刷データを印刷する際に、印刷部数などを設定します。

参 考	アプリケーションソフトによっては、独自の印刷ダイアログを表示する場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1 ［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。

2 印刷に必要な項目を設定します。

通常は、［プリント］ダイアログの各項目を設定するだけで正常に印刷できます。設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。

本書 163 ページ「［プリント］ダイアログ」

3 ［印刷］ボタンをクリックして、印刷を実行します。

便利な印刷機能

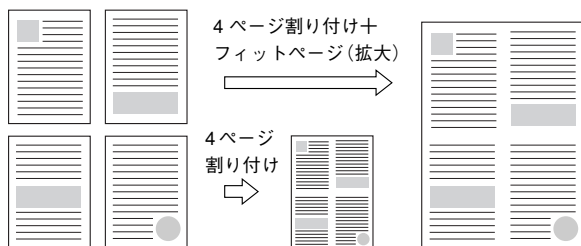
ここでは、本機に搭載されているさまざまな機能のうち、便利な印刷機能の概略をまとめて紹介します。

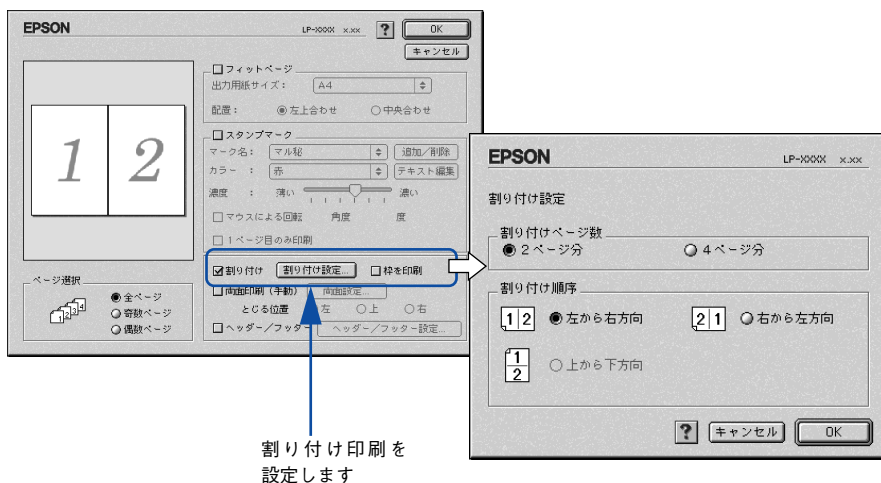
割り付け印刷で用紙を節約

大量の文書を印刷するときに「紙がもったいない」と感じることはありませんか。1 枚ずつ印刷するよりは、2 ページまたは 4 ページごとにまとめて 1 枚の用紙に割り付ければ、総用紙枚数を 1/2 または 1/4 に減らすことができます。

例えば、会議の書類が 100 ページあれば、50 枚または 25 枚の用紙に印刷するだけで済み、ページ数が多ければ多いほど節約効果はぐっと上がります。

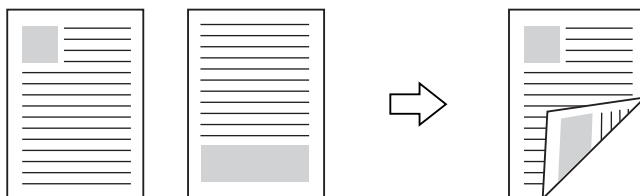
参考

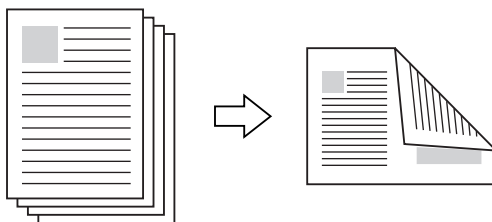
割り付け印刷は、連続した 2 ページまたは 4 ページ分のデータを縮小して元の指定サイズの用紙に割り付けて印刷します。例えばハガキサイズのページの場合、通常であればそのままハガキサイズの用紙に割り付け印刷しますが、文字が小さくて読みづらく実用的とはいえません。こんなときは、拡大 / 縮小機能（フィットページ機能）を同時に使用して、大きな A4 サイズの用紙に拡大して割り付けると読みやすくなります。

☞本書 154 ページ「ページを拡大または縮小して印刷」
☞本書 179 ページ「拡大 / 縮小率を自動的に設定するフィットページ印刷」

割り付け印刷は［プリント］ダイアログから［レイアウト］/［割り付け設定］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

本書 163 ページ「［プリント］ダイアログ」/168 ページ「⑫（［レイアウト］アイコン）」
本書 177 ページ「［レイアウト］ダイアログ」
本書 187 ページ「1 枚の用紙に複数のページを割り付けて印刷するには」

両面印刷で用紙を節約

用紙の片面に印刷するだけでは「紙がもったいない」と思うことはありませんか。本機には用紙の表と裏に手動両面印刷する機能が備わっていますので、表面印刷後に裏返った用紙をそのままセットし直せば裏面に印刷することができます。また、オプションの両面印刷ユニットをご利用いただくと、用紙を 1 枚ずつ自動的に裏返して両面印刷を行いますので、片面を印刷した後で文書をセットし直して裏面に印刷する手間が省けます。面倒な手間もなく自動処理され、総用紙枚数を 1/2 に減らすことができます。

さらに、用紙の両面に 2 ページまたは 4 ページ割り付け印刷を行えば、総用紙枚数を 1/4 または 1/8 まで減らすことができます。

＜例＞両面それぞれに2ページ分の割り付け印刷した場合、
4ページの文書なら用紙 1 枚で済みます

☞ 本書 150 ページ「割り付け印刷で用紙を節約」
☞ 本書 187 ページ「1 枚の用紙に複数のページを割り付けて印刷するには」

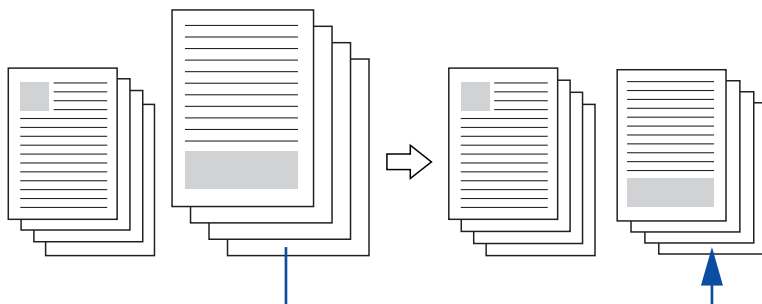
両面印刷は［プリント］ダイアログから［レイアウト］/［両面印刷設定］ダイアログを開いて設定してください。

参考 オプションの両面印刷ユニットを装着すると、ダイアログの表示が［両面印刷（手動）］から［両面印刷］に変わります。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 163 ページ「[プリント]ダイアログ」/168 ページ「⑫（[レイアウト]アイコン）」
☞ 本書 177 ページ「［レイアウト］ダイアログ」
☞ 本書 189 ページ「両面印刷するには」

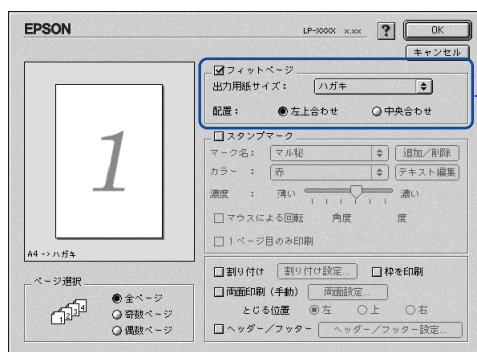
ページを拡大または縮小して印刷

文書を印刷してからコピー機で拡大 / 縮小していませんか。プリンタドライバの拡大 / 縮小機能を使えば、文書をそのまま拡大 / 縮小して印刷できますので手間が省けます。「会議には A4 サイズで統一」との急な依頼にも迅速に対応できます。

＜例＞縮小して文書のサイズを合わせる

本機の拡大 / 縮小印刷には以下 2 つの方法があります。

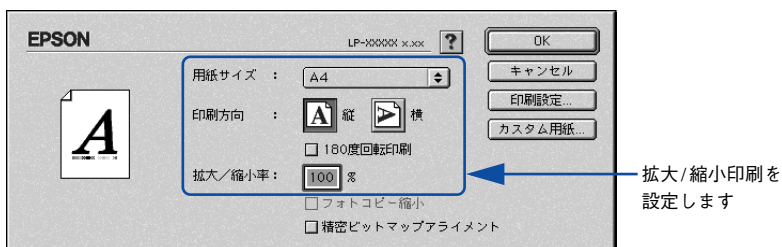
サイズを選択（フィットページ印刷）

元のページサイズと拡大 / 縮小したい用紙サイズをメニューから選択するだけで、自動的にページサイズを用紙サイズに合わせて（フィットさせて）印刷できます。例えば、A4 サイズで作った原稿をハガキに印刷したい場合は、元のページサイズを［A4］に設定して、出力（印刷）に使用する用紙サイズを［ハガキ］に設定するだけで、あとはプリンタドライバが自動的に縮小率を計算して縮小印刷を行います。

拡大 / 縮小印刷は［プリント］ダイアログから［レイアウト］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

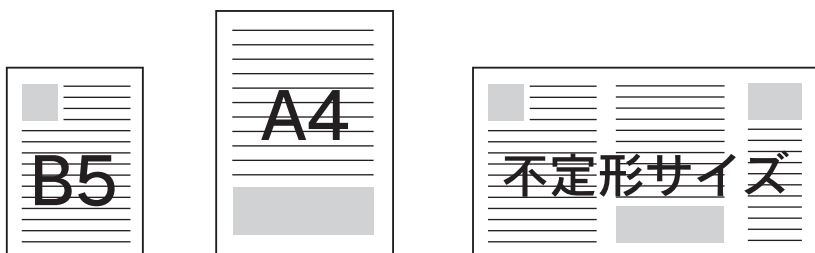
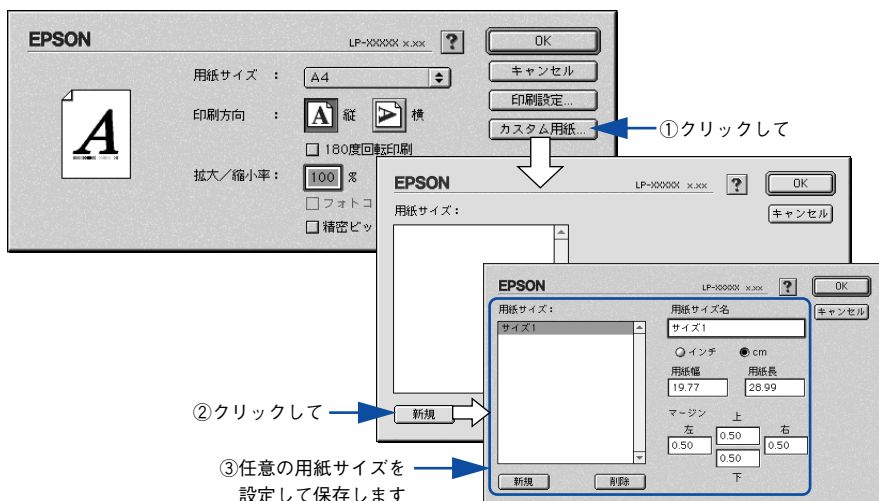
本書 163 ページ「[プリント] ダイアログ」/168 ページ「⑫（[レイアウト] アイコン）」
本書 177 ページ「[レイアウト] ダイアログ」
本書 179 ページ「拡大 / 縮小率を自動的に設定するフィットページ印刷」

拡大 / 縮小率を設定（任意倍率印刷）

拡大 / 縮小率を任意に設定して印刷することもできます。まず拡大 / 縮小したい用紙サイズに合わせて拡大 / 縮小率を計算し、その値を入力して印刷します。[ページ設定] ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

本書 158 ページ「[用紙設定] ダイアログ」
本書 162 ページ「拡大 / 縮小率を自由に設定できる任意倍率印刷」

定形サイズ以外の用紙に印刷

B5、A4 などの定形サイズ以外の用紙に印刷したい場合も心配ありません。任意の用紙サイズを不定形紙（カスタム用紙サイズ）として登録しておくことができます。

不定形紙サイズは［用紙設定］ダイアログの［カスタム用紙］ボタンから設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

本書 158 ページ「［用紙設定］ダイアログ」/ 159 ページ「⑧［カスタム用紙］ボタン」
本書 160 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

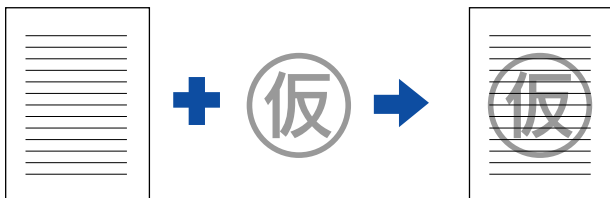
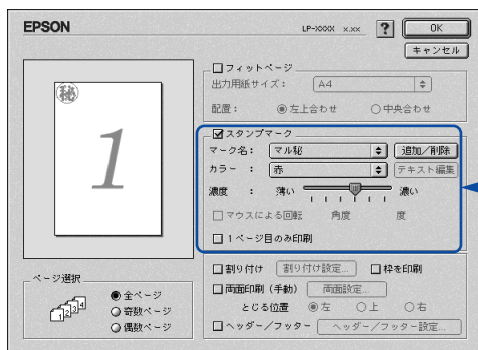
定義した不定形紙サイズは、［用紙設定］ダイアログの［用紙サイズ］メニューから選択できます。

注 意

不定形紙への印刷は、いくつかご注意いただく点があります。以下のページを参照してから印刷を実行してください。

本書 344 ページ「不定形紙への印刷」

「仮」などのスタンプマークを重ねて印刷

印刷した文書を管理するときに、「㊙」、「重要」、「仮」などのスタンプを押していませんか。プリンタドライバのスタンプマーク機能を使えば、文書自体にこうしたスタンプマークを重ねて印刷できますので手間が省けます。大量の文書にスタンプを押す必要がある場合でも、一度設定すれば手作業で何度もスタンプを押す必要がなく、しかも押し間違いもありません。

スタンプマーク印刷は［プリント］ダイアログから［レイアウト］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

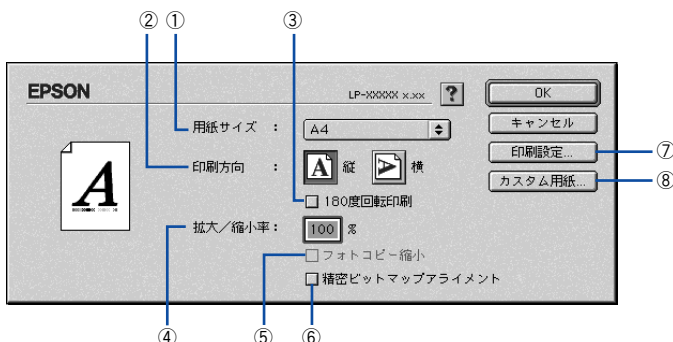
本書 163 ページ「［プリント］ダイアログ」/168 ページ「⑫（［レイアウト］アイコン）」
本書 177 ページ「［レイアウト］ダイアログ」
本書 181 ページ「スタンプマークを印刷するには」

オリジナルスタンプマークの作成

あらかじめ登録されているスタンプマークだけでなく、オリジナルのスタンプマークをユーザーが作成して登録できます。どのようなマークが必要になっても、新たにスタンプを購入する必要がありません。

本書 183 ページ「オリジナルスタンプマークの登録方法」

［用紙設定］ダイアログ

［用紙設定］ダイアログでは、用紙に関する基本的な項目を設定します。印刷データを作成する前に設定してください。

①用紙サイズ

印刷する用紙のサイズをポップアップメニューから選択します。

> **参 考**
>
> 本機で印刷できない用紙サイズを選択すると、A4 サイズの用紙に自動的に拡大 / 縮小して印刷（フィットページ印刷）を行います。A4 サイズ以外の用紙にフィットページ印刷を行う場合は、［レイアウト］ダイアログで［フィットページ］を設定してください。
> ☞本書 179 ページ「拡大 / 縮小率を自動的に設定するフィットページ印刷」

②印刷方向

用紙に対する印刷の向きを、［縦］・［横］のいずれかクリックして選択します。

③180 度回転印刷

印刷データを 180 度回転して印刷します。

④拡大 / 縮小率

印刷データを拡大 / 縮小して印刷できます。拡大 / 縮小率を 25% ～ 400% まで、1% 単位で指定できます。

☞本書 154 ページ「ページを拡大または縮小して印刷」
☞本書 162 ページ「拡大 / 縮小率を自由に設定できる任意倍率印刷」

> **参 考**
>
> - 拡大/縮小印刷をすると、カラーの色合いが元データと比べて変わることがあります。
> - フィットページ印刷を行うと、簡単に拡大 / 縮小印刷が行えます。
>   ☞本書 179 ページ「拡大 / 縮小率を自動的に設定するフィットページ印刷」

⑤フォトコピー縮小

［拡大 / 縮小率］が 100% 未満の場合に有効になります。指定した縮小率で用紙中央に印刷します。この場合、［精密ビットマップアライメント］は選択できません。

⑥精密ビットマップアライメント

印刷領域を約 4% 縮小して印刷のムラを押さえ、よりきれいに印刷します。この場合、印刷位置は用紙の中央になります。［フォトコピー縮小］を選択している場合は、選択できません。

⑦［印刷設定］ボタン

印刷に関する各種の設定を行います。印刷する直前に［プリント］ダイアログでも同様の項目を設定できます。設定できる項目については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 163 ページ「［プリント］ダイアログ」

⑧［カスタム用紙］ボタン

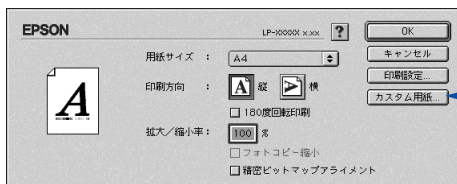
用紙のカスタム（不定形）サイズを設定できます。設定したカスタム用紙サイズは、［用紙設定］ダイアログの［用紙サイズ］メニューから選択できます。

☞ 本書 156 ページ「定形サイズ以外の用紙に印刷」
☞ 本書 160 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

任意の用紙サイズを登録するには

［用紙サイズ］リストに用意されていない用紙サイズを［カスタム用紙］として登録して印刷することができます。

1. **プリンタドライバの［用紙設定］ダイアログを開きます。**
   本書 148 ページ「用紙設定」

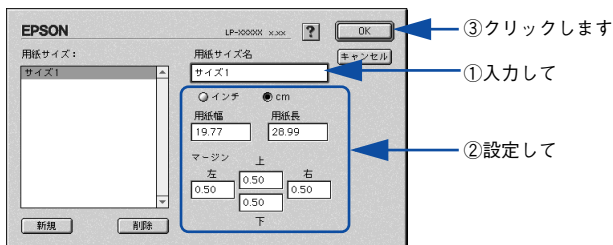
2. **［カスタム用紙］ボタンをクリックします。**

3. **［新規］ボタンをクリックします。**

参考

- 登録できる用紙サイズの数は、64 件までです。
- 登録されている用紙サイズを変更する場合は、［用紙サイズ］リストから変更したい用紙サイズをクリックしてから変更してください。
- 登録されている用紙サイズを削除する場合は、［用紙サイズ］リストから削除したい用紙サイズをクリックしてから［削除］ボタンをクリックしてください。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録した用紙サイズは保持されます。

4 **用紙サイズ名、単位（インチまたは cm）、用紙幅、用紙長、上下左右マージンを設定し、［OK］ボタンをクリックします。**

設定できるサイズの範囲は次の通りです。

- 用紙幅：9.00 ～ 22.00cm（3.54 ～ 8.66 インチ）
- 用紙長さ：11.00 ～ 29.70cm（4.33 ～ 11.69 インチ）

これで設定した用紙サイズが［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。この後は、通常印刷する手順と同様に印刷してください。

不定形紙への印刷は、いくつかご注意いただく点があります。以下のページを参照してから印刷を実行してください。

本書 344 ページ「不定形紙への印刷」

拡大 / 縮小率を自由に設定できる任意倍率印刷

拡大 / 縮小率を自由に設定して印刷することができます。

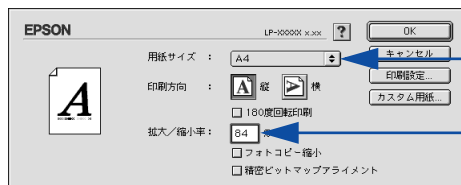
1 拡大 / 縮小率を計算します。

- 元の用紙サイズの一辺の長さと拡大 / 縮小印刷に使用する用紙サイズの一辺の長さを比較して計算します。
- 拡大/縮小率は計算に使用する辺によって異なりますので、縦または横どちらか同等の辺を基に概数（小数点以下切り捨て）を計算します。

2 プリンタドライバの［用紙設定］ダイアログを表示します。

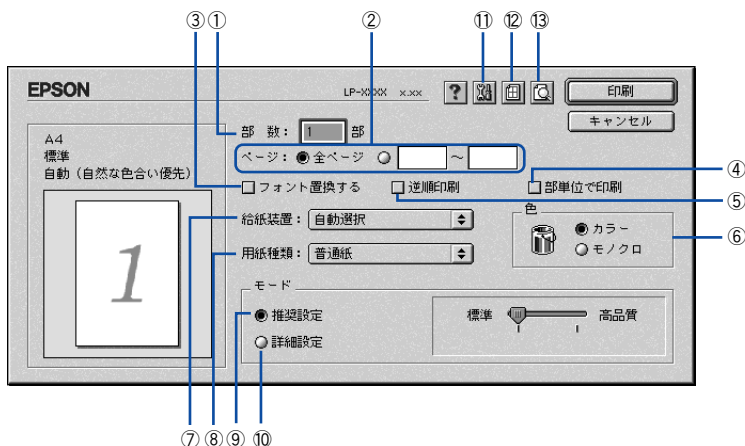
本書 148 ページ「用紙設定」

3 拡大 / 縮小印刷に使用する［用紙サイズ］を選択して、［拡大 / 縮小率］に 1 で求めた値を入力します。

25 ～ 400% の間で倍率を指定できます。

参 考	［拡大 / 縮小率］に合った［用紙サイズ］を選択してください。以下のような場合は、［用紙サイズ］が［拡大 / 縮小率］に合っていません。 • 縮小印刷時に用紙にバランスよくページが配置されない • 拡大印刷時に用紙からはみ出て印刷されない部分がある

4 その他の設定を確認し、［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［プリント］ダイアログの［印刷］ボタンをクリックして印刷を実行します。

[プリント]ダイアログ

印刷する際、[プリント]ダイアログで印刷にかかわる各種の設定を行います。

①部数

1〜999の範囲で印刷部数を選択します。通常は1ページごとに指定した部数を印刷しますが、④の[部単位で印刷]を選択すると1部ごとにまとめて印刷します。

②ページ

すべてのページを印刷する場合は[全ページ]を選択します。一部のページを指定して印刷する場合は、開始ページと終了ページを1〜9999の範囲で入力します。

③フォント置換する

細明朝体、中ゴシック体、等幅明朝、等幅ゴシックフォントを、別のフォントに置き換えて印刷します。プリンタドライバは、インストールしてあるフォントの中から、置き換え可能なフォントを自動的に探します。置き換え可能なフォントがない場合は、フォントを置き換えません。フォント置き換え機能を使用する場合は、以下のフォントを使用することできれいに印刷できます。

- リュウミンライト―KL、リュウミンライト―KL―等幅
- 中ゴシックBBB、中ゴシックBBB―等幅

④部単位で印刷

2部以上印刷する場合に1ページ目から最終ページまでを1部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、①の[部数]で指定します。

⑤逆順印刷

先頭ページからではなく、最後のページから逆に印刷します。

⑥色

カラー印刷を行うときは、[カラー]を、モノクロ印刷を行うときは[モノクロ]を選択します。

⑦給紙装置

給紙装置を選択します。

項目	説明
自動選択	印刷実行時に、[用紙サイズ]で選択したサイズの用紙がセットされている給紙装置を探して給紙します。
MP トレイ	標準の MP トレイから給紙します。
用紙カセット *	オプションの増設 1 段カセットユニットの用紙カセットから給紙します。

* オプションの増設 1 段カセットユニット装着時のみ表示されます。

参考

- 給紙装置にセットした用紙のサイズは、操作パネルから［キュウシソウチメニュー］を開いて［MP トレイヨウシサイズ］と［カセットトヨウシサイズ］で設定します。
  本書 286 ページ「キュウシソウチメニュー」
- 選択した給紙装置から指定されたサイズの用紙が給紙されない場合は、エラーが発生します（［用紙サイズのチェックをしない］をオフに設定している場合）。
  本書 175 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
- ［自動選択］を選択して拡大 / 縮小印刷を行うと、［レイアウト］ダイアログの［出力用紙サイズ］で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して、そこから給紙します。
  本書 177 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

⑧用紙種類

印刷に使用する用紙種類を選択します。

項目	説明
指定しない	• 普通紙タイプの用紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用しないときに選択します。 • ［給紙装置］は手動で選択する必要があります。
普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき	• 紙厚が 64 ～ 80g/m²の左記普通紙タイプの用紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用するときに選択します。 • ［給紙装置］には［自動選択］が自動選択されます。
上質紙	• EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙（型番：LPCPPA4）、紙厚が 81 ～ 105g/m² の普通紙に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が選択されますが、［自動選択］や［用紙カセット］に変更することもできます（どの給紙装置からも印刷できます）。
OHP シート	• EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート（型番：LPCOHPS1）に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
ラベル	• ラベル紙に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
厚紙	• 紙厚が 106 ～ 163g/ ㎡の厚紙に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。

項目	説明
特厚紙	• 紙厚が 164 ～ 210g/ ㎡の特厚紙に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
コート紙	• EPSON カラーレーザープリンタ用コート紙（型番：LPCCTA4）に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
普通紙（裏面）	• 普通紙の片面印刷後にさらにもう一方の面に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が選択されますが、［自動選択］や［用紙カセット］に変更することもできます（どの給紙装置からも印刷できます）。
上質紙（裏面）	• EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙（型番：LPCPPA4）、紙厚が81～105g/㎡の普通紙の片面印刷後にさらにもう一方の面に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が選択されますが、［自動選択］や［用紙カセット］に変更することもできます（どの給紙装置からも印刷できます）。
厚紙（裏面）	• 厚紙の片面印刷後にさらにもう一方の面に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
特厚紙（裏面）	• 特厚紙の片面印刷後にさらにもう一方の面に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
コート紙（裏面）	• EPSON カラーレーザープリンタ用コート紙（型番：LPCCTA4）の片面印刷後にさらにもう一方の面に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
ハガキ（裏面）	• 郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、4 連郵便ハガキの裏面に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。

参考

- 用紙サイズを郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、4 連郵便ハガキ、または封筒サイズにした場合、プリンタドライバの［用紙種類］の設定に関係なく、プリンタ内部では厚紙として印刷を行います。
- 郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、4 連郵便ハガキの片面だけに印刷する場合は特に［用紙種類］を設定する必要はありませんが、両面に印刷する場合で片面の印刷後もう一方の面を印刷するときは［用紙種類］を［ハガキ（裏面）］に設定してください。
- 操作パネルで用紙タイプを設定していない場合は、「用紙タイプ選択機能」は使用できません。

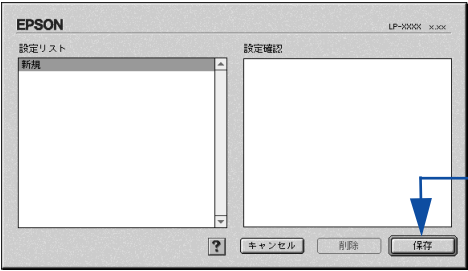
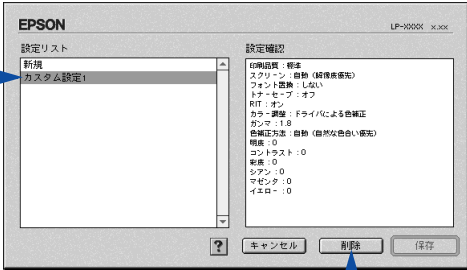
本書 286 ページ「キュウシソウチメニュー」
本書 346 ページ「用紙タイプ選択機能」

⑨推奨設定モード

一般的に推奨できる条件で印刷できます。ほとんどの場合、この［推奨設定］でよい印刷結果が得られます。［推奨設定］をクリックすると、印刷品質（解像度）を［標準］（300dpi）または［高品質］（600dpi）のどちらかに設定できます。

項目	説明
標準	文字文書の高速印刷（品質より印刷速度を優先する場合）に適しています。
高品質	写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調が変化する画像）の印刷に適しています。

参考

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、以下のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［印刷品質］を［標準］に設定する。
- ［データ圧縮方法］を［データサイズ優先］に設定する。
  ☞本書 175 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
- 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使用しない状態に設定する。
  ☞本書 289 ページ「パラレル I/F セッテイメニュー」
  ☞本書 290 ページ「USB I/F セッテイメニュー」
  ☞本書 292 ページ「ネットワーク I/F セッテイメニュー」

上記の方法でメモリ関連のエラーが解決できない場合は、プリンタのメモリを増設すると解決できる場合があります。

⑩ 詳細設定モード

[詳細設定] をクリックすると、[設定変更] ボタンと詳細設定メニューが表示されます。

項目	説明
詳細設定メニュー	プリセットメニューから選択します。
［設定変更］ボタン	［詳細設定］ダイアログを開きます。 本書 170 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
［保存 / 削除］ボタン	［詳細設定］ダイアログの設定を保存したり削除できます。 **保存するには** ① あらかじめ［詳細設定］ダイアログで設定しておきます。 ② ［プリンタ］ダイアログの［保存 / 削除］をクリックします。 ③クリックします ［カスタム設定 1 〜 10］として 10 組まで保存できます。 **削除するには** ① ［プリンタ］ダイアログの［詳細設定］ー［保存 / 削除］を順番にクリックします。 ②削除する設定名をクリックして ③クリックします ④ 確認ダイアログで［OK］をクリックします。

カラー印刷時［詳細設定］をクリックした場合は、以下のプリセットメニューをご利用いただけます。

プリセットメニュー	用途
推奨（標準）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷速度を重視した設定で印刷します。
ワープロ／グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷速度を重視した設定で印刷します。
グラフィック／ＣＡＤ	グラフィック画像やCADによる描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷速度を重視した設定で印刷します。
写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷速度を重視した設定で印刷します。
オートフォトファイン!4	EPSON独自の画像補正技術オートフォトファイン!4を使用し、印刷データ内の画像を高画質化して印刷します。
ColorSync	ColorSyncによるカラーマッチング（色合わせ）を行うときに適した設定です。
推奨（高品質）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質ワープロ／グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質グラフィック／CAD	グラフィック画像やCADによる描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷品質を重視した設定で印刷します。

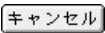
⑪ （［拡張設定］アイコン）

印刷位置のオフセット値、白紙節約機能、用紙サイズチェックなどの設定を行います。

本書175ページ「［拡張設定］ダイアログ」

⑫ （［レイアウト］アイコン）

レイアウトに関する設定ができます。

本書177ページ「［レイアウト］ダイアログ」

⑬ ([プレビュー] アイコン)

アイコンをクリックすると［印刷］ボタンが［プレビュー］ボタンに変わります。［プレビュー］ボタンをクリックすると、［プレビュー］ウィンドウが表示され、印刷結果をモニタ上で確認できます。

※※※EPSON LP-XXXXC用プリンタドライバについて※※※

このファイルにはEPSON LP-XXXXCプリンタドライバに関する注意事項、制限事項が記載されています。ご使用前に必ずお読みください。
詳しい取り扱いに関しては、取扱説明書を参照してください。

--- 既にEPSONプリンタドライバをご使用のお客様へ ---
■従来のSEIKO EPSON社製Macintoshプリンタドライバは、LP-XXXXCではご使用になれません。必ずEPSON LP-XXXXC用プリンタドライバをご使用ください。

--- インストーラについて ---
■ウイルス感染防止プログラムが起動していると、正常にインストーラプログラムが動作しません。ウイルス感染防止プログラムをオフにしてから、インストールを開始して下さい。

--- ColorSync™について ---
■PageMaker6.0.1をお使いの方へ
ドライバ設定にてColorSyncをONにした際には、必ずPageMaker内のCMS設定（ColorSync設定）でカラーマネージメントをOFFにしてください。
■FreeHand 7をお使いの方へ
ドライバ設定にてColorSyncをONにした際には、必ずFreeHand 7の環境設定でカラーマネージメントをOFFにしてください。

--- フォント置換機能について ---
■フォント置換機能を使用する場合、ご使用のMacintoshにリュウミンライト-KL、中ゴシックBBBフォントをインストールすることをお勧めします。フォント置換機能をご使用の際に、文字が重なる、文字間隔が開きすぎる場合は、ご使用のMacintoshにこれらのフォントをインストールするか、［フォント置換する］のチェックを外してください。

--- USBポートについて ---
■USBポートに同一機種(LP-XXXXC)が複数台接続されている場合は、セレクタに［USBポート（1）］［USBポート（2）］…と表示されます。
■USBケーブルは、Macintoshとプリンタの電源が入っている状態でも抜き差しができます。ただし、一旦引き抜いたケーブルを再び差し込む際には、数秒の間隔を開けてください。
（間隔を開けないと、セレクタで選択できなくなったり印刷できなくなるなどの原因となります。）
■USBケーブルをご使用の場合は、Macintosh本体と直接接続することをお勧めします。Macintoshとプリンタの間にたくさんのUSB機器を接続すると、これらの機器に問題があった場合に、印刷できなくなることがあります。

--- 紙詰まりの処理、トナー交換の方法について ---
■プリンタで紙詰まりが発生した場合やトナーが減少してトナー交換が必要になった場合は、［EPSONプリンタウィンドウ!3］で対処方法の詳細が確認できます。［EPSONプリンタウィンドウ!3］の起動

- 1 -

参考

- ［用紙設定］ダイアログで［180 度回転印刷］を設定しても、ページを 180 度回転してプレビュー表示しません。
- 文字が図形より下にあっても、文字が上にプレビュー表示されます。

◀▶	表示するページを 1 ページごとに切り替えるボタンです。
1 / 3	表示させるページ番号を直接入力します。
キャンセル	［プレビュー］ダイアログを閉じるボタンです。
印刷	印刷を開始するボタンです。
	印刷データ（1 ページ単位）の全体を表示します。
	印刷結果と同等のサイズで表示します。
	印刷データを拡大して表示します。

［詳細設定］ダイアログ

［プリント］ダイアログの［モード］で［詳細設定］をクリックして［設定変更］ボタンをクリックすると、［詳細設定］ダイアログが表示されます。印刷にかかわるさまざまな機能を詳細に設定できます。

カラー印刷の場合

モノクロ印刷の場合

①色

カラー印刷を行うときは、［カラー］を、モノクロ印刷を行うときは［モノクロ］を選択します。

②印刷品質

印刷の解像度を［標準］(300dpi）または［高品質］(600dpi）から選択できます。[高品質］を選択すると、きめ細かく印刷できますが印刷時間は長くなります。品質より印刷速度を優先する場合は、[標準］を選択してください。

項目	説明
標準	文字文書の高速印刷（品質より印刷速度を優先する場合）に適しています。
高品質	写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調が変化する画像）の印刷に適しています。

参考

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、以下のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［印刷品質］を［標準］に設定する。
- ［データ圧縮方法］を［データサイズ優先］に設定する。
  本書 175 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
- 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使用しない状態に設定する。
  本書 289 ページ「パラレル I/F セッテイメニュー」
  本書 290 ページ「USB I/F セッテイメニュー」
  本書 292 ページ「ネットワーク I/F セッテイメニュー」

上記の方法でメモリ関連のエラーが解決できない場合は、プリンタのメモリを増設すると解決できる場合があります。

③スクリーン（カラー印刷のみ）

スクリーン線数（lpi）を選択します。

項目	説明
自動（階調優先）	写真や図形を印刷する際に階調を優先してスクリーン線数を自動的に設定します（文字の印刷は解像度を優先します）。
自動（解像度優先）	図形や文字を印刷する際に解像度を優先してスクリーン線数を自動的に設定します（写真の印刷は階調を優先します）。
階調優先	階調を優先して印刷します。色調や色の濃淡が無段階に変化する連続階調、写真やグラデーションのあるデータの印刷時に選択してください。
解像度優先	解像度を優先して印刷します。細い線や細かい模様のあるデータの印刷時に選択してください。

参考

［プリント］ダイアログの［用紙種類］で［OHP シート］を選択している場合は、OHP シート専用のスクリーンが用いられるので設定できません。

④フォント置換する

細明朝体、中ゴシック体、等幅明朝、等幅ゴシックフォントを、別のフォントに置き換えて印刷します。プリンタドライバは、インストールしてあるフォントの中から、置き換え可能なフォントを自動的に探します。置き換え可能なフォントがない場合は、フォントを置き換えません。フォント置き換え機能を使用する場合は、以下のフォントを使用することできれいに印刷できます。

- リュウミンライトーKL、リュウミンライトーKLー等幅
- 中ゴシックBBB、中ゴシックBBBー等幅

⑤トナーセーブ

［詳細設定］を選択すると、トナーセーブ機能を設定できます。カラー、モノクロ印刷とも印刷濃度を抑えることでトナーを節約します（カラー印刷時は色の表現力を低く抑えて印刷します）。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

参考 トナーセーブ機能を有効にすると、色の濃度を低くして印刷するため、薄い色や細かい線などは印刷されない場合があります。

⑥RIT

RIT* （Resolution Improvement Technology）を有効にすると大きな文字がきれいに印刷できたり、写真画像の斜線補正や輪郭補正などに効果があります。

*RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷するEPSON独自の印刷機能。

参考
- RIT機能を有効にしてグラデーション（無段階に変化する階調）のある画像を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合はRIT機能を使用しないでください。
- カラー印刷の場合、③の［スクリーン］の関係でRIT機能が有効にならない場合があります。

⑦ドライバによる色補正（カラー印刷のみ）

プリンタドライバによるカラー調整を行います。［ドライバによる色補正］を選択した場合は、以下の設定でカラー調整できます。

ガンマ（カラー印刷のみ）：

ガンマ値は、画像階調の入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位で、この値を変更することで中間調の明るさの見え方が変わります。

項目	説明
1.5	ガンマ値1.8に比べて柔らかい感じの画像を印刷することができます。
1.8	通常はこの設定で印刷してください。ガンマ値1.5に比べて立体感があり、メリハリのある画像を印刷することができます。
2.2	sRGB対応製品と色合わせして印刷する場合に選択してください。

色補正方法（カラー印刷のみ）：
色の補正方法を選択できます。

項目	説明
自動（自然な色合い優先）	文字を鮮やかな色合いに、グラフィックとイメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
自動（鮮やかさ優先）	文字とグラフィックを鮮やかな色合いに、イメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
自然な色合い	より自然な発色になるようにカラー調整します。
鮮やかな色合い	より鮮やかな発色になるようにカラー調整します。
色補正なし	カラー調整しません。ColorSync 用プロファイルを作成する際の基準色を印刷するときに選択します。通常は、選択しないでください。

明度：
画像全体の明るさを調整します。

コントラスト：
画像全体のコントラスト（明暗比）を調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを下げると、画像の明暗の差が少なくなります。

彩度（カラー印刷のみ）：
画像全体の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。

シアン、マゼンタ、イエロー（カラー印刷のみ）：
各色の強さを調整します

	-25　　←0→　　+25	
シアン	赤みが強くなります。	青緑（シアン）が強くなります。
マゼンタ	緑色が強くなります。	赤紫（マゼンタ）が強くなります。
イエロー	青色が強くなります。	黄色（イエロー）が強くなります。

⑧オートフォトファイン !4（カラー印刷のみ）

EPSON 独自のオートフォトファイン !4 機能を使って、画像を調整します。ビデオ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、スキャナなどから取り込んだ画像や Photo CD のデータなどを自動的に補正して印刷します。［オートフォトファイン !4］を選択した場合は、以下の設定でカラーを調整します。

本書 486 ページ「オートフォトファイン !4」

項目	説明
色調	印刷する際の画像の色調の補正方法を、［標準］［硬調］［鮮やか］［セピア］［モノクロ］の項目から選択することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。色調を補正しない場合は、チェックボックスをクリックしてチェックマークを外します。
効果	印刷する際に画像に特殊効果を加えて印刷します。［シャープネス］［ソフトフォーカス］［キャンバス］［和紙］の中から選択することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。スライドバーでは、加える効果の強弱を調整することができます。効果を加えない場合は、チェックボックスをクリックしてチェックマークを外します。
デジタルカメラ用補正	デジタルカメラで撮影した画像に対して、最適な補正をして印刷します。

参考

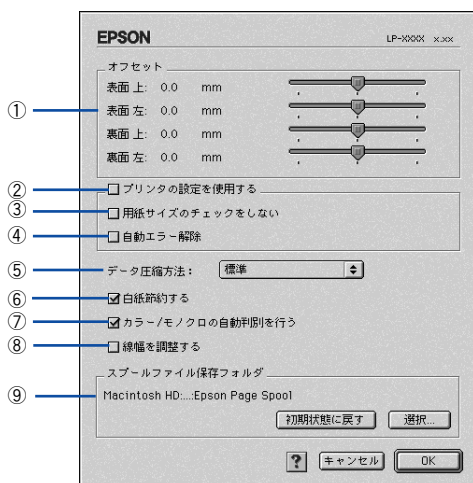
- 画像のサイズや Macintosh の性能によっては印刷時間が多少長くなります。
- オートフォトファイン !4 は、1677 万色（24bit）の色情報を持った画像データに対して最も有効に機能します。256 色（8bit）などの少ない色情報の画像データには有効に機能しません。
- EPSON 製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン !4 は使用しないでください。

⑨ColorSync（カラー印刷のみ）

クリックしてチェックマークを付けると、ColorSync によるカラーマッチング（色合わせ）を行います。詳しくは、以下のページを参照してください。

本書 210 ページ「ColorSync について」

［拡張設定］ダイアログ

［プリント］ダイアログの［拡張設定］アイコンをクリックすると、［拡張設定］ダイアログが表示されます。

①オフセット

印刷開始位置のオフセット値を表面 / 裏面それぞれに対して［上］（垂直位置）と［左］（水平位置）で設定します。0.5mm 単位で、次の範囲で設定できます。

上（垂直位置）：-9mm（上方向）～ 9mm（下方向）

左（水平位置）：-9mm（左方向）～ 9mm（右方向）

②プリンタの設定を使用する

③、④の項目について、プリンタの操作パネルで設定されている値を使用して印刷します。

③用紙サイズのチェックをしない

プリンタドライバで設定した用紙サイズとプリンタにセットした用紙サイズが合っているか確認しません。それぞれの用紙サイズが異なってもエラーを発生することなく印刷します。

④自動エラー解除

プリンタにエラーが発生したときに、自動的にエラー状態を解除するか、そのまま動作を一時停止するかを設定します。

設定値	説明
しない（初期設定）	エラーが発生した場合、［印刷可］スイッチを押してエラー状態を解除しない限りプリンタの動作は停止して処理を再開しません。
する	エラーが発生したときに、メッセージを約 5 秒間表示後、エラーを自動的に解除して動作を継続します。

⑤データ圧縮方法

プリンタドライバからプリンタに送る印刷データの圧縮方法を指定します。印刷結果の画質を優先する場合や、プリンタに送付する印刷データの容量を小さくしたい場合に設定します。

項目	説明
標準	通常はこの設定でお使いください。
画質優先	印刷結果の画質を優先したい場合に選択してください。この場合、通常よりも印刷に時間がかかります。
データサイズ優先	プリンタに送るデータサイズを小さくしたい場合に選択してください。印刷時間は早くなりますが、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

⑥白紙節約する

白紙ページを印刷するかしないかを選択します。白紙ページを印刷しないので用紙を節約できます。

⑦カラー / モノクロの自動判別を行う

印刷データがカラーデータであるかモノクロデータであるかを自動判別して、データに適した設定で印刷します。

⑧線幅を調整する

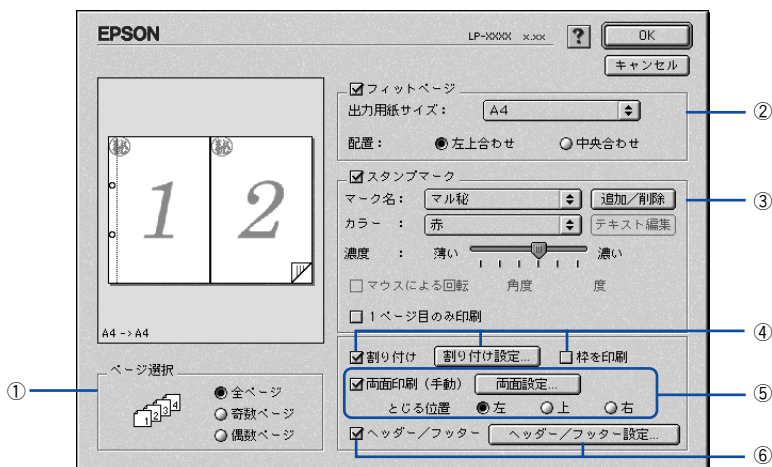
図形の線幅を 1.4 倍にして印刷します。図形を重ね合わせて印刷すると隙間が生じる場合などに隙間を埋めることができます。

⑨スプールファイル保存フォルダ

印刷処理用のスプールファイルをどこに保存するかを選択できます。

項目	説明
［選択］ボタン	［拡張設定］ダイアログで［選択］ボタンをクリックして以下の画面を表示させ、スプールファイルを保存したいフォルダを選択してから［選択］ボタンをクリックします。 ①選択して → Epson Page Spool / Macintosh HD / 取り出し / デスクトップ / 新規 / キャンセル / 選択 "Epson Page Spool" / 選択 ← ②クリックします
［初期状態に戻す］ボタン	スプールファイルの保存フォルダを初期状態に戻します。

［レイアウト］ダイアログ

［プリント］ダイアログで［レイアウト］アイコンをクリックすると、［レイアウト］ダイアログが表示されます。レイアウトにかかわるさまざまな設定ができます。

①ページ選択

印刷データの全ページを印刷するか、奇数ページまたは偶数ページのみ印刷するかを選択します。

②フィットページ

印刷する用紙のサイズに合わせて印刷データを自動的に拡大 / 縮小して印刷します。

☞ 本書 154 ページ「ページを拡大または縮小して印刷」
☞ 本書 179 ページ「拡大 / 縮小率を自動的に設定するフィットページ印刷」

参 考

- 拡大 / 縮小の倍率は［用紙設定］ダイアログで設定した用紙サイズに対して設定されます。
- ［用紙設定］ダイアログの［拡大 / 縮小率］は無効になります。
  ☞ 本書 158 ページ「［用紙設定］ダイアログ」

③スタンプマーク

印刷データに㊙などの画像や「重要」などのテキストを重ね合わせて印刷します。

☞ 本書 157 ページ「「仮」などのスタンプマークを重ねて印刷」
☞ 本書 181 ページ「スタンプマークを印刷するには」
☞ 本書 183 ページ「オリジナルスタンプマークの登録方法」

④割り付け

2 ページまたは 4 ページ分の連続した印刷データを 1 枚の用紙に自動的に縮小割り付けして印刷します。割り付けるページ数、順序、枠線の有無を設定できます。

☞ 本書 150 ページ「割り付け印刷で用紙を節約」
☞ 本書 187 ページ「1 枚の用紙に複数のページを割り付けて印刷するには」

⑤両面印刷（手動）

両面印刷を行います。

☞ 本書 152 ページ「両面印刷で用紙を節約」
☞ 本書 189 ページ「両面印刷するには」

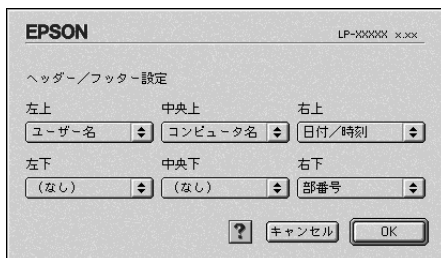
参考

- 標準状態では［両面印刷（手動）］と表示され、両面印刷は手動で行います。
- オプションの両面印刷ユニット装着時は、［両面印刷］と表示され、自動両面印刷が行えます。

両面印刷できる用紙については以下のページを参照してください。

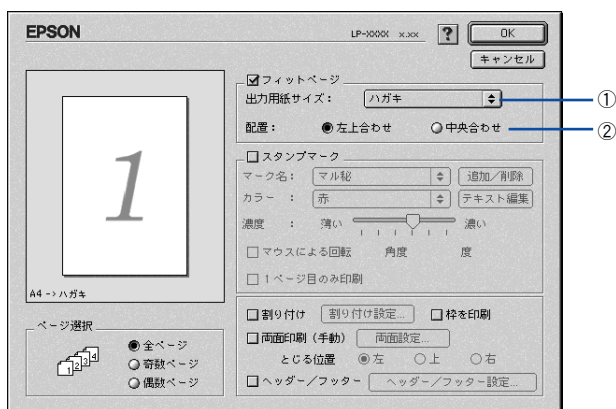
☞ 本書 331 ページ「両面印刷について」

⑥ヘッダー / フッター

ユーザー名や印刷日時など、印刷に関する情報を用紙のヘッダー（上部）/ フッター（下部）に印刷します。印刷するヘッダー / フッターを設定するには、［ヘッダー / フッター設定］ボタンをクリックします。

［ヘッダー / フッター設定］ダイアログでは、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・コンピュータ名・日付・日付 / 時刻・部番号*）を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

* 部単位で印刷する場合に何部目であるかを示す番号

拡大 / 縮小率を自動的に設定するフィットページ印刷

本機にセットした用紙サイズを選択するだけで、拡大 / 縮小率を自動的に設定して印刷することができます。[レイアウト] ダイアログ内のフィットページ機能を使います。

①出力用紙サイズ

プリンタにセットした用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小（フィットページ）印刷するには、用紙サイズをリストから選択します。

②配置

フィットページ印刷する場合、ページのどこに印刷するかを選択します。

項目	説明
左上合わせ	用紙の左上を基準にしてフィットページ印刷を行います。
中央合わせ	用紙の中央を基準にしてフィットページ印刷を行います。

参考

- 拡大 / 縮小の倍率は [用紙設定] ダイアログで設定した用紙サイズに対して設定されます。
- ［用紙設定］ダイアログの［拡大 / 縮小率］は無効になります。
  本書 158 ページ「[用紙設定] ダイアログ」

フィットページ印刷の手順

フィットページ機能を使って用紙サイズA4の印刷データをハガキサイズに縮小印刷する手順を説明します。

1 **プリンタにハガキサイズの用紙がセットされていることを確認します。**

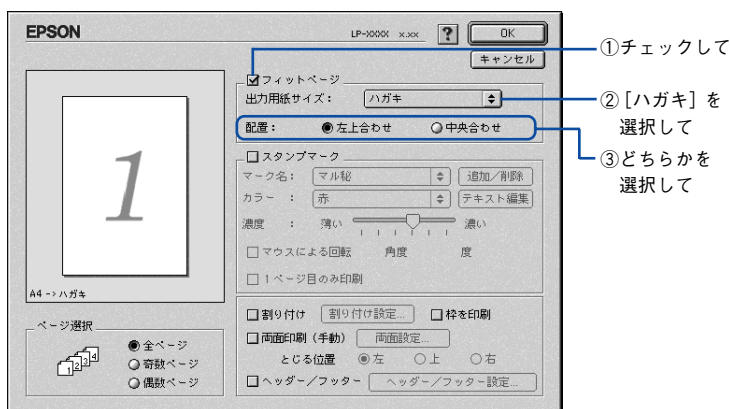
2 **プリンタドライバの［プリント］ダイアログを開きます。**

本書149ページ「印刷設定の手順」

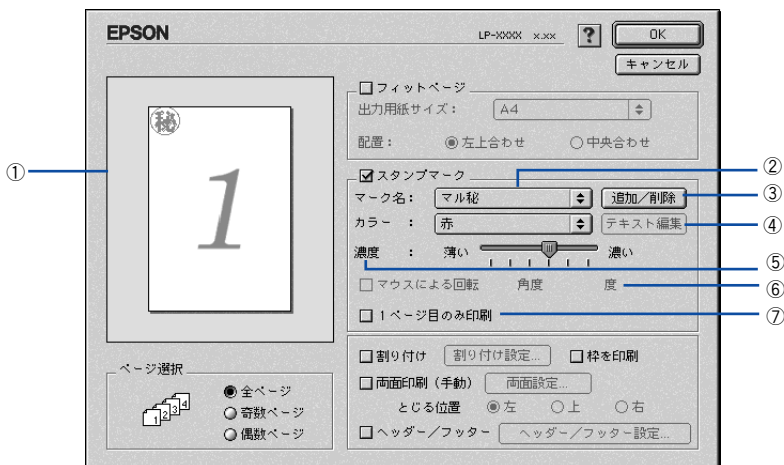
3 **ボタンをクリックします。**

［レイアウト］ダイアログが表示されます。

4 **［フィットページ］をチェックして、各項目を選択します。**

この場合［用紙設定］ダイアログの［用紙サイズ］は［A4］になります。

5 **［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［プリント］ダイアログの［印刷］ボタンをクリックして印刷を実行します。**

スタンプマークを印刷するには

［レイアウト］ダイアログのスタンプマーク機能を使用します。

①プレビュー部

ダイアログ左側の印刷イメージ上でスタンプマークをドラッグすると、スタンプマークの印刷位置やサイズを変更することができます。

②マーク名

印刷するスタンプマークをリストから選択します。

③［追加 / 削除］ボタン

オリジナルのビットマップ（PICT *1 画像）マークやテキスト（文字）マークを登録したり削除します。

*1 PICT：Macintosh の標準グラフィックファイル形式。

本書 183 ページ「オリジナルスタンプマークの登録方法」

④［テキスト編集］ボタン

登録したテキストマークを［マーク名］リストで選択してから［テキスト編集］ボタンをクリックすると、登録したテキスト、フォント、スタイルを変更することができます。

⑤濃度

スタンプマークの印刷濃度を、［濃度］バーで調整します。バーを［薄い］側に移動するとより薄く、［濃い］側に移動するとより濃くスタンプマークが印刷されます。

⑥マウスによる回転 / 角度

テキストマークを回転するときは、［マウスによる回転］をクリックしてプレビュー部のマークをマウスで回転させるか、［角度］に回転角度を直接入力します。

⑦1 ページ目のみ印刷

用紙の 1 ページ目のみにスタンプマークを印刷します。

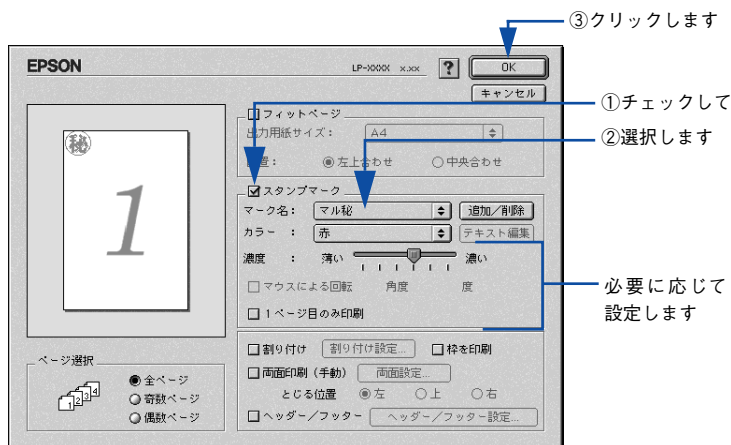
スタンプマーク印刷の手順

スタンプマークを印刷する場合の手順は以下の通りです。

1. **プリンタドライバの［プリント］ダイアログを開きます。**

本書 149 ページ「印刷設定の手順」

2. **ボタンをクリックします。**

［レイアウト］ダイアログが表示されます。

3. **［スタンプマーク］をチェックして、各項目を設定します。**

4. **［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［プリント］ダイアログの［印刷］ボタンをクリックして印刷を実行します。**

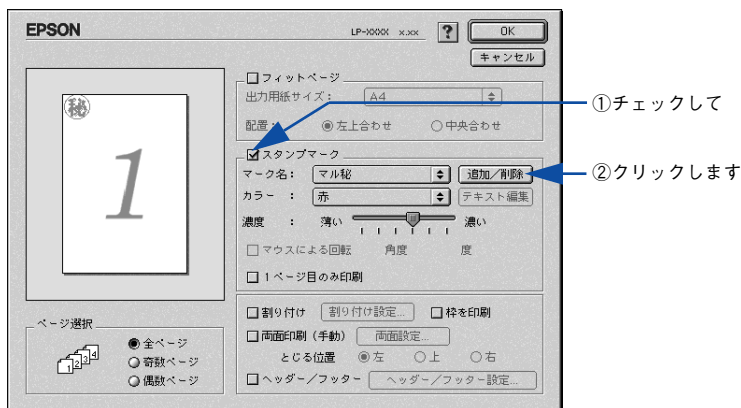
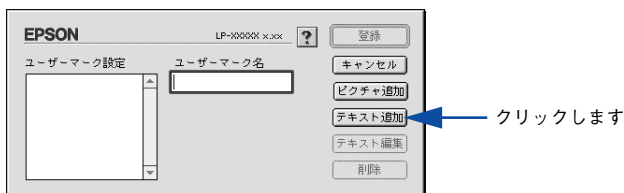
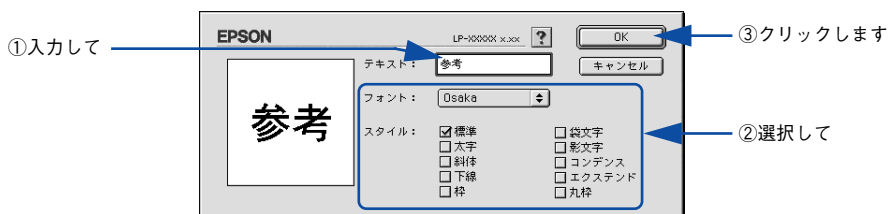
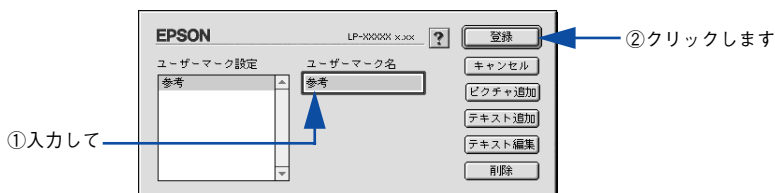
オリジナルスタンプマークの登録方法

すでに登録されているスタンプマークのほかに、お好みの画像や任意の単語を登録して印刷することができます。

参考

- 画像を登録したい場合は、以下の操作を始める前に、画像を準備しておいてください。なお、登録できる画像のファイル形式は PICT だけです。
- 画像と単語を合計 32 個まで登録できます。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録されたスタンプマークは保持されます。

テキストマークの登録方法

1 ［レイアウト］ダイアログを開いて、［スタンプマーク］をチェックしてから、［追加 / 削除］ボタンをクリックします。

2 ［テキスト追加］ボタンをクリックします。

3 ［テキスト］ボックスに文字を入力し、［フォント］と［スタイル］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

4 ［ユーザーマーク名］を入力して、［登録］ボタンをクリックします。

これで［スタンプマーク］ダイアログの［マーク名］のポップアップメニューにオリジナルのスタンプマークが登録されました。

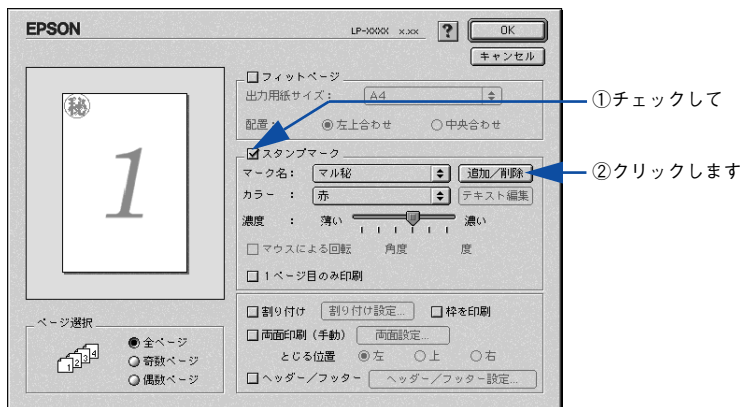
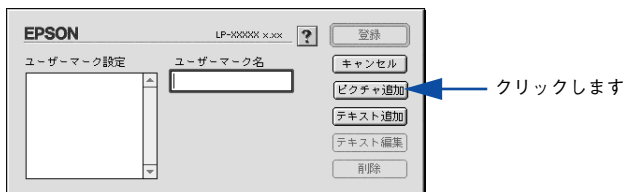
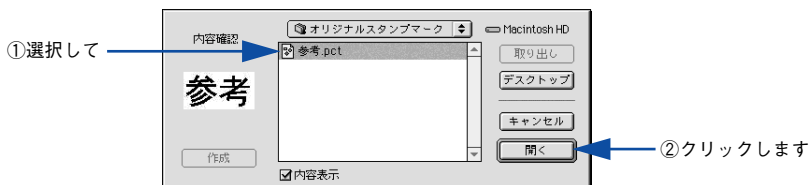
参 考	• 登録したテキストマークを変更するには、変更したいテキストマーク名を［ユーザーマーク設定］リストから選んで［テキスト編集］ボタンをクリックします。変更した後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。 • 登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［ユーザーマーク設定］リストから選択して［削除］ボタンをクリックします。［削除］ボタンをクリックした後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。

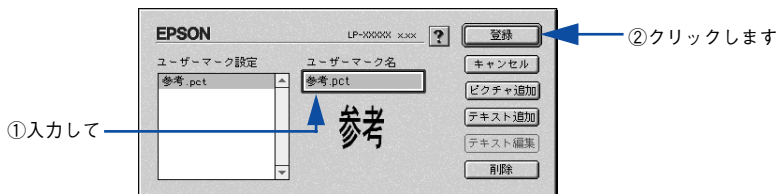
5 ［スタンプマーク］ダイアログで［OK］ボタンをクリックします。

画面左側のプレビュー部で登録したスタンプマークを確認できます。

ビットマップマークの登録方法

1. アプリケーションソフトでオリジナルのスタンプマークを作成し、PICT 形式で保存します。

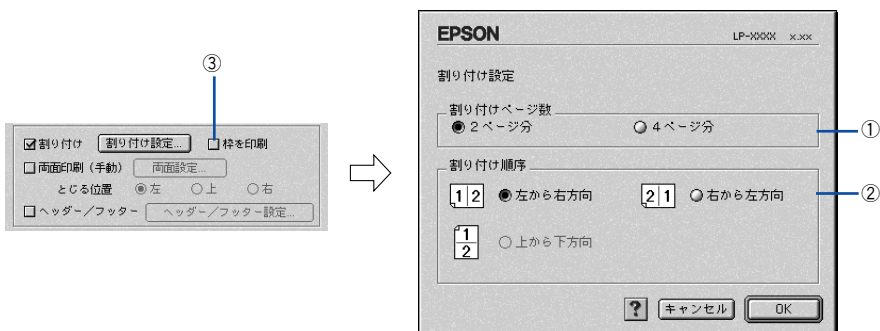
2. ［レイアウト］ダイアログを開いて、［スタンプマーク］をクリックしてチェックマークを付け、［追加 / 削除］ボタンをクリックします。

3. ［ピクチャ追加］ボタンをクリックします。

4. **❶ で保存した PICT ファイル名を選択し、［開く］ボタンをクリックします。**
［作成］ボタンをクリックすると、ファイルのサンプル画像を表示します。

5 ［ユーザーマーク名］を入力して、［登録］ボタンをクリックします。

これで［スタンプマーク］ダイアログの［マーク名］のポップアップメニューにオリジナルのスタンプマークが登録されました。

参考	登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［ユーザーマーク設定］リストから選択して［削除］ボタンをクリックします。［削除］ボタンをクリックした後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。

6 ［スタンプマーク］ダイアログで［OK］ボタンをクリックします。

画面左側のプレビュー部で登録したスタンプマークを確認できます。

1 枚の用紙に複数のページを割り付けて印刷するには

［レイアウト］ダイアログで［割り付け］をクリックして［割り付け設定］ボタンをクリックすると、［割り付け設定］ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。

①割り付けページ数
1 枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。

②割り付け順序
割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。［印刷方向］（縦・横）と［割り付けページ数］によって、選択できる割り付け順序は異なります。

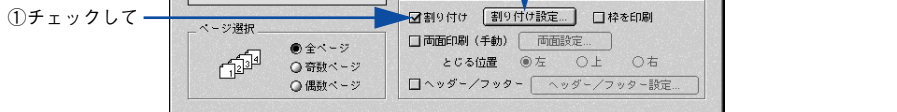
③枠を印刷
割り付けた各ページの周りに枠線を印刷します。

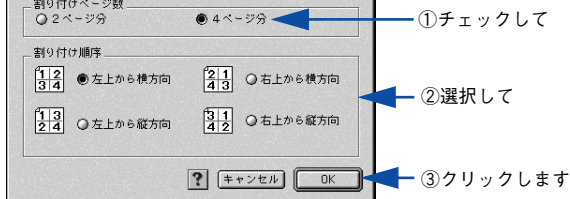
割り付け印刷の手順

4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に印刷する場合の手順は以下の通りです。

1 **プリンタドライバの［プリント］ダイアログを開きます。**
本書 149 ページ「印刷設定の手順」

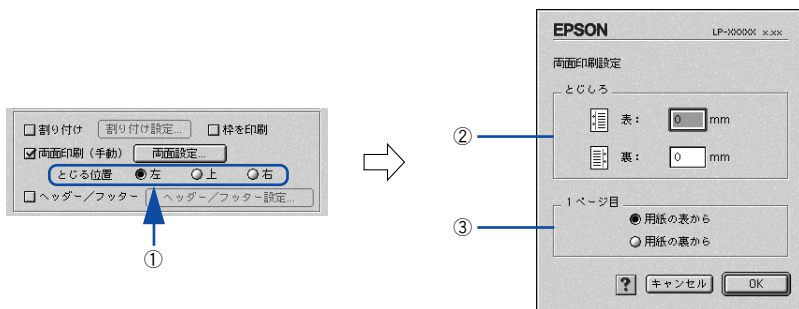
2 **ボタンをクリックします。**
［レイアウト］ダイアログが表示されます。

3 ［割り付け］をチェックして、［割り付け設定］ボタンをクリックします。

4 ［割り付け設定］ダイアログの以下の項目を設定します。

各項目を設定してから、［OK］ボタンをクリックします。

5 ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［プリント］ダイアログの［印刷］ボタンをクリックして印刷を実行します。

両面印刷するには

［レイアウト］ダイアログで［両面印刷（手動）］/［両面印刷］*をクリックして、［両面設定］ボタンをクリックすると、［両面印刷設定］ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。

* オプションの両面印刷ユニットを装着すると、ダイアログの表示が［両面印刷（手動）］から［両面印刷］に変わります。

①とじる位置

両面印刷するときのとじる位置を選択します。

②とじしろ

両面印刷するときのとじしろ幅を、0 〜 30mm の範囲で用紙の表と裏でそれぞれ設定します。

③1 ページ目

両面印刷する場合、印刷データの 1 ページ目を用紙の表から印刷するか裏から印刷するかを選択します。

両面印刷の手順

A4 サイズ（縦長）の印刷データを用紙の左側をとじられるように両面印刷する場合の手順は以下の通りです。

1 プリンタに両面印刷が可能なサイズの用紙（ここではA4）がセットされていることを確認します。

本書 331 ページ「両面印刷について」

2 プリンタドライバの［プリント］ダイアログを開きます。

本書 149 ページ「印刷設定の手順」

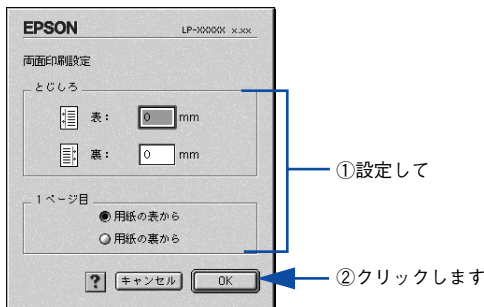
3 ボタンをクリックします。

［レイアウト］ダイアログが表示されます。

4 ［両面印刷］（手動）/［両面印刷］をチェックして、［とじる位置］をクリックして選択し、［両面設定］ボタンをクリックします。

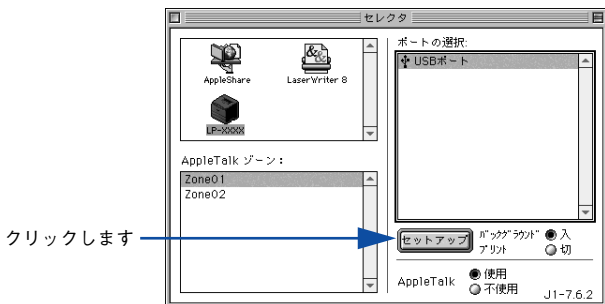
参考　オプションの両面印刷ユニットを装着すると、ダイアログの表示が［両面印刷（手動）］から［両面印刷］に変わります。

5 ［両面印刷設定］ダイアログの以下の項目を設定します。

各項目を設定してから、［OK］ボタンをクリックします。

6 ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［プリント］ダイアログの［印刷］ボタンをクリックして印刷を実行します。

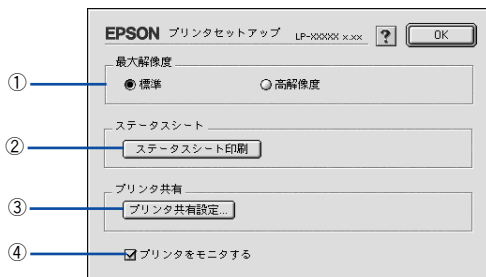
［プリンタセットアップ］ダイアログ

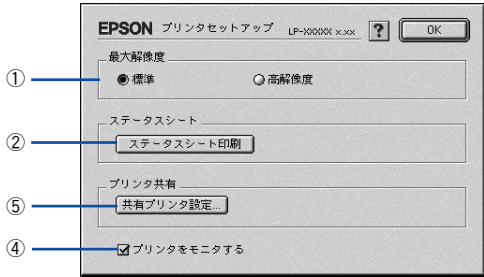
［プリンタセットアップ］ダイアログではプリンタの基本的な設定を行います。以下のページを参照してアップルメニューからセレクタを開いてプリンタを選択したら、［セットアップ］ボタンをクリックして、［プリンタセットアップ］ダイアログを開いて機能を設定してください。

☞ 本書 145 ページ「印刷を始める前に」

参考　印刷中は設定を変更できません。

本機はネットワーク上で共有することができます。共有を許可する Macintosh 側と共有プリンタを使用する側の Macintosh で、表示されるダイアログが以下のように異なります。

参考　Mac OS 9 でプリンタを共有するには、以下のページを参照してください。
☞本書 194 ページ「プリンタを共有するには」

共有を許可する側の Macintosh

参考　本機をネットワークに接続している場合はそのまま本機を共有できるので、ここで［プリンタ共有］機能を設定することはありません（③の［プリンタ共有設定］ボタンはクリックできません）。

共有プリンタを使用する側の Macintosh

参 考	本機をネットワークに接続している場合はそのまま本機を共有できるので、上図の画面は表示されません。

① 最大解像度

プリンタが対応できる解像度をアプリケーションソフト側に伝えます。印刷を実行すると、アプリケーションソフトは伝えられた解像度の中から最適な解像度を選択し、データをプリンタドライバに渡します。

項目	説明
標準	本機の解像度を 72dpi/300dpi としてアプリケーションソフト側に伝えます。通常はこの設定で使用してください。
高解像度	本機の解像度を72dpi/300dpi/600dpiとしてアプリケーションソフト側に伝えます。

参 考

- 本項目は、印刷時の解像度を設定するものではありません。印刷解像度は印刷設定ダイアログの［モード設定］で設定します。
- 本項目は、使用しているアプリケーションソフトが対応している解像度に合わせて設定してください。
- ［プリント］ダイアログで［高品質］（600dpi）に設定して印刷するとエラーが発生することがあります。この場合、本項目を［標準］に設定すると印刷できるようになることがあります。

②［ステータスシート印刷］ボタン

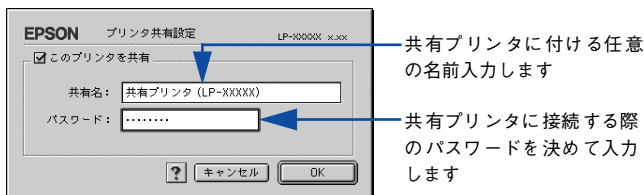
ステータスシートを印刷する場合にクリックします。なお、コンピュータとプリンタ間の通信方向により、印刷されるステータスシートが以下のように異なります。

- 双方向通信時：カラー印刷される日本語表記の標準ステータスシート（プリンタの設定情報が取得できる場合）
- 単方向通信時：モノクロ印刷されるカタカナ表記 * の簡易ステータスシート（プリンタの設定情報が取得できない場合）

  * 操作パネルの［プリンタセッテイメニュー］で［ヒョウジゲンゴ］が［English］の場合は、英語表記になります。

本書 397 ページ「ステータスシートでの確認」

③［プリンタ共有設定］ボタン

ネットワーク環境で本機を複数のMacintoshで共有するときにクリックします。プリンタ共有を許可する側のMacintoshで［プリンタセットアップ］ダイアログを開いた場合は、［プリンタ共有設定］ボタンをクリックして［プリンタ共有設定］ダイアログを表示させせます。ネットワーク上のほかのMacintoshのセレクタから選択できるように、共有するプリンタの［共有名］と、接続する際の［パスワード］を設定してください。

④プリンタをモニタする

共有プリンタを利用する側の［プリンタセットアップ］ダイアログで表示されます。EPSONプリンタウィンドウ!3でプリンタの状態を監視するかどうかを選択します。

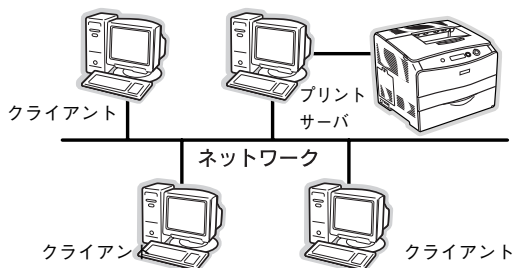
⑤［共有プリンタ設定］ボタン

ネットワーク環境の共有プリンタを使用するときにクリックできます。ネットワーク上でプリンタの共有を許可される側のMacintoshで［プリンタセットアップ］ダイアログを開いた場合は、［共有プリンタ設定］ボタンをクリックすると［共有プリンタの情報］ダイアログが表示されます。［共有プリンタの情報］ダイアログでは、共有プリンタに関する以下の情報を表示します。情報を確認したら、［OK］ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。

項目	説明
共有プリンタ名	共有プリンタの名前です。
コンピュータ名	プリンタが直接接続されている共有を許可する側のコンピュータ名です。
このプリンタで扱えないフォント	共有プリンタで使用できないフォントのリストを表示します。表示されたフォントは本機では使用できません。

参考　リストに表示されているフォントで文書を作成した場合、別のフォントで印刷され、印刷結果は画面での表示と異なります。

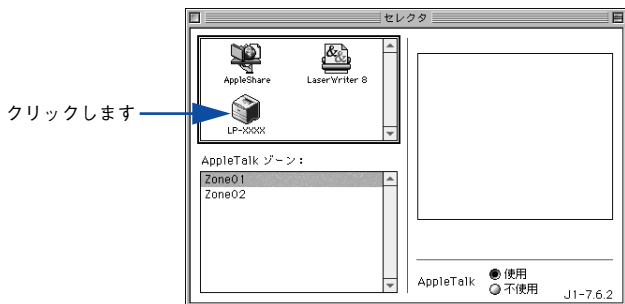
プリンタを共有するには

プリンタを直接接続した Macintosh がネットワーク環境に接続されていれば、プリンタをほかの Macintosh から共有することができます。

参考	ネットワーク環境に接続している場合は、ここでの手順に従って設定する必要はありません。ネットワーク上のどの Macintosh からでも直接セレクタからプリンタを選択して印刷することができます。 本書 145 ページ「印刷を始める前に」

プリンタを共有するには

ネットワーク上のほかのユーザーがプリンタを共有できるようにするには、プリンタを直接接続した Macintosh で以下の設定を行ってください。

1. **プリンタの電源をオン (I) にします。**

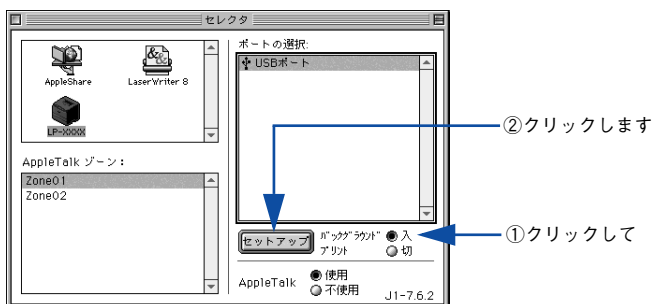
2. **Macintosh を起動した後、アップルメニューからセレクタをクリックして開きます。**

3 プリンタドライバ［LP-V500］を選択します。

参考　QuickDraw GX は使用できません。プリンタドライバのアイコンが表示されない場合は、QuickDraw GX を使用停止にしてください。
本書 496 ページ「Macintosh システム条件」

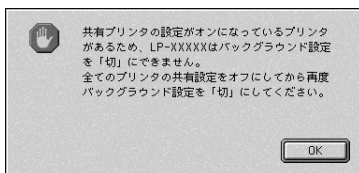
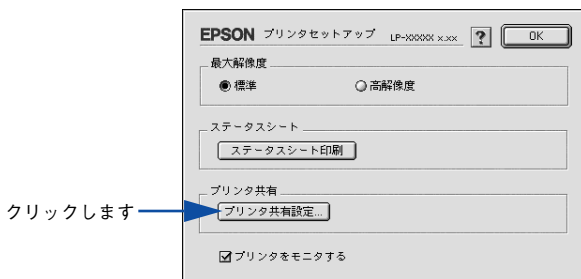
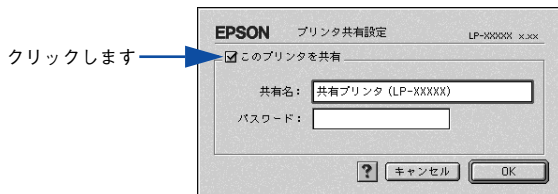
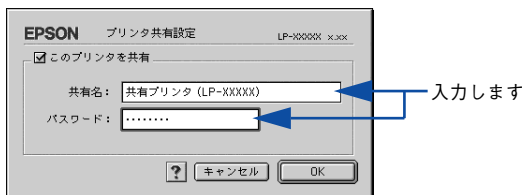
4 USB ポートを選択します。

同機種のプリンタが複数接続されている場合は［USB ポート（1）］、［USB ポート（2）］などと表示します。使用するポート番号を選択します。

参考　USB 接続で［ポートの選択］に何も表示されない場合は、Macintosh とプリンタの接続状態が正しいか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

5 ［バックグラウンドプリント］を［入］設定して、［セットアップ］ボタンをクリックします。

- ［バックグラウンドプリント］については、以下のページを参照してください。
  ☞ 本書 208 ページ「バックグラウンドプリントを行う」
- ［セットアップ］ボタンをクリックして開く［プリンタセットアップ］ダイアログの詳細については、以下のページを参照してください。
  ☞ 本書 191 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」

参 考

プリンタの共有を設定すると、［バックグラウンドプリント］は常に［入］に設定されます。プリンタの共有時は［切］に設定できません。

6 ［プリンタ共有設定］ボタンをクリックします。

7 ［このプリンタを共有］をクリックしてチェックマークを付けます。

8 ［共有名］と［パスワード］を入力して、［OK］ボタンをクリックします。

参考

- ここで入力したプリンタの［共有名］が、ネットワーク上のほかのユーザーのセレクタに表示されます。
- 共有プリンタを利用できるユーザーを制限するために、必ず［パスワード］を設定してください。
- 共有プリンタが作成されますので、以下のダイアログが表示されている間はしばらくお待ちください。

「共有プリンタ（LP-XXXXX）」を作成しています。しばらくお待ちください。

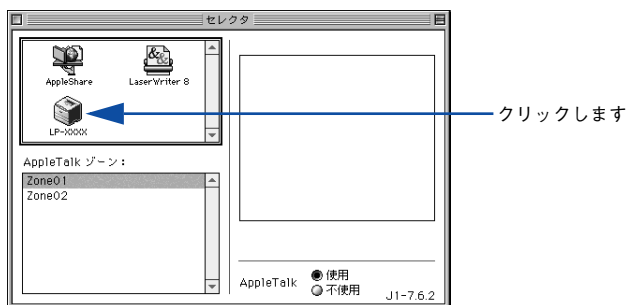
9 ［OK］ボタンをクリックして［プリンタセットアップ］ダイアログを閉じます。

10 ［セレクタ］ダイアログ左上のクローズボックスをクリックしてダイアログを閉じます。

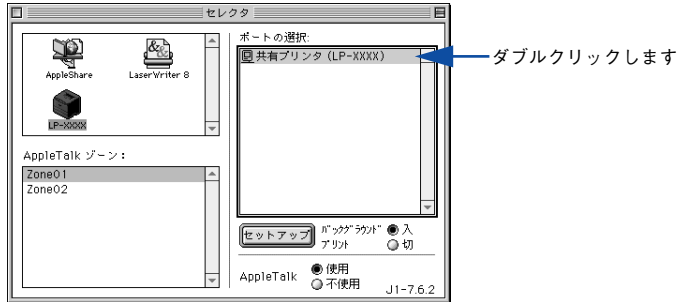
共有プリンタを使用するには

ネットワーク上の共有プリンタを使用するには、各ユーザーの Macintosh から以下の手順に従って共有プリンタに接続してください。

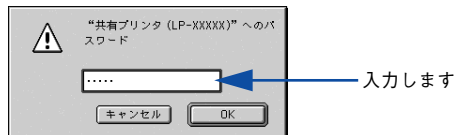
1. ネットワーク上の共有プリンタの電源がオン（I）になっていることを確認します。

2. Macintosh を起動した後、アップルメニューからセレクタをクリックして開きます。

3. プリンタドライバ［LP-V500］を選択します。

参 考	QuickDraw GX は使用できません。プリンタドライバのアイコンが表示されない場合は、QuickDraw GX を使用停止にしてください。 本書 496 ページ「Macintosh システム条件」

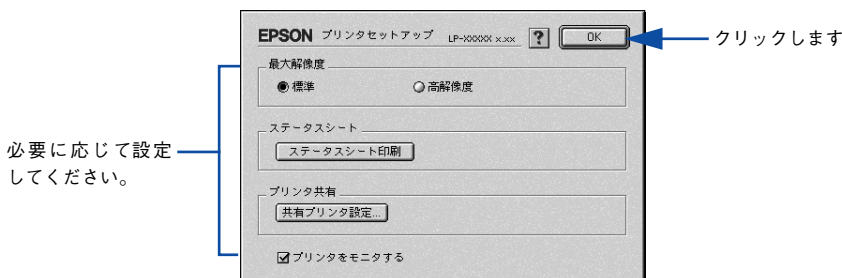
4 **共有プリンタをダブルクリックして選択します。**

- 共有プリンタのパスワードが変更されている場合は、5 へ進んでください。
- パスワードが変更されていない共有プリンタにすでに一度接続している場合や、共有プリンタにパスワードが設定されていない場合は、6 へ進んでください。

> **参考**
> - 共有プリンタの名前は、共有を許可している Macintosh のユーザーにお尋ねください。
> - 共有プリンタの名前が表示されない場合や、共有プリンタの名前をダブルクリックしても何も表示されない場合は、Macintosh とプリンタの接続状態が正しいか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。
> - 共有プリンタのパスワードが変更されていない場合は、［セットアップ］ボタンを押すと［プリンタセットアップ］ダイアログが表示されます。6 へ進んでください。

5 **共有プリンタへ接続するためのパスワードを入力します。**

> **参考**
> 共有プリンタのパスワードは、共有を許可している Macintosh のユーザーにお尋ねください。

6 **［プリンタセットアップ］ダイアログで必要な設定を行ってから、［OK］ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。**

設定の詳細については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 191 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」

7 **［バックグラウンドプリント］を設定します。**

設定の詳細については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 208 ページ「バックグラウンドプリントを行う」

> **参考**
> ［バックグラウンドプリント］を［入］にすると、印刷しながら Macintosh でほかの作業ができます。ただし、ご使用の Macintosh によってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が長くなる場合があります。印刷速度を優先する場合は、［切］を選択してください。

8 **［セレクタ］ダイアログ左上のクローズボックスをクリックしてダイアログを閉じます。**

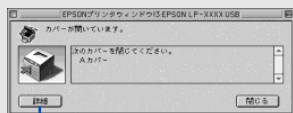
以上で共有プリンタに接続しました。このあとは、通常のプリンタのように［用紙設定］ダイアログや［プリント］ダイアログを設定して印刷してください。

EPSON プリンタウィンドウ !3 とは

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、プリンタの状態を Macintosh 上でモニタできるユーティリティです。また、ネットワークプリンタをモニタしてプリントジョブ情報を表示したり、印刷終了のメッセージを表示することもできます。

プリンタの状態を表示します

ポップアップウィンドウ

印刷を実行すると、プリンタのモニタを開始し、エラー発生時にはプリンタの状態を表示します。

［プリンタ詳細］ウィンドウ

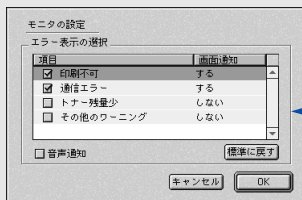
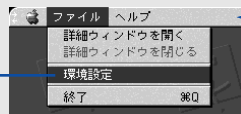
プリンタの状態やトナー、用紙などの消耗品の残量をコンピュータのモニタ上で知ることができます。

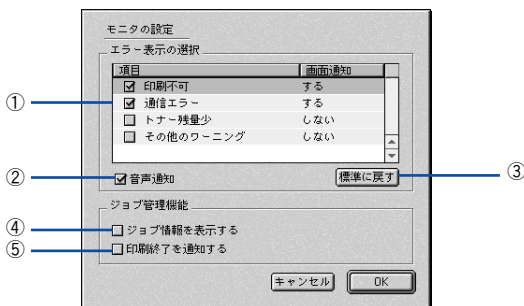
EPSON プリンタウィンドウ !3 の画面を開くには

［アップル］メニューの EPSON プリンタウィンドウ !3 から［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。

動作環境を設定するには

［モニタの設定］ダイアログ

どのような場合にエラー表示するかなどを設定できます。

［ファイル］メニューの［環境設定］から［モニタの設定］ダイアログを開くことができます。

［モニタの設定］ダイアログ

EPSON プリンタウィンドウ!3 を起動して、［ファイル］メニューから［環境設定］をクリックすると、［モニタの設定］ダイアログが表示されます。どのような場合にエラー表示するか、音声通知するかなどEPSON プリンタウィンドウ!3 の動作環境を設定できます。

①エラー表示の選択

選択項目にあるエラーまたはワーニングを通知するかを選択します。通知が必要な項目は、リスト内のエラー状況を選択してチェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、チェックマークを付けたエラーまたはワーニングが発生したときにポップアップウィンドウが表示されます。

②音声通知

エラー発生時に音声＊でも通知します。

＊　お使いの Macintosh のサウンド機能が有効な（消音でない）場合のみ。

③［標準に戻す］ボタン

［エラー表示の選択］を初期設定に戻します。

④ジョブ情報を表示する

ジョブ管理ができる場合、［プリンタ詳細］ウィンドウにジョブ情報を表示します。

☞ 本書 205 ページ「［ジョブ情報］ウィンドウ」

⑤印刷終了を通知する

ジョブ管理ができる場合、ジョブの印刷終了時にメッセージを表示します。

☞ 本書 206 ページ「［印刷終了通知］ダイアログ」

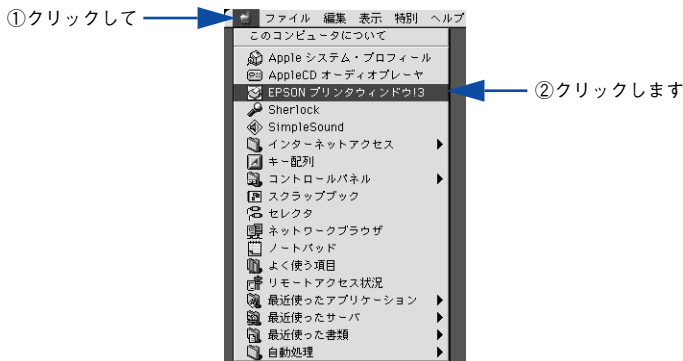
プリンタの状態を確かめるには

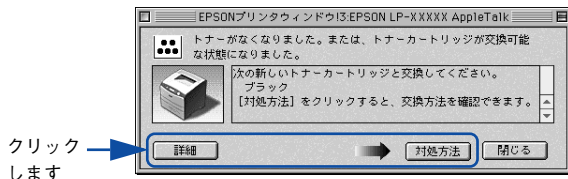
EPSON プリンタウィンドウ !3 でプリンタの状態を確かめるために、次の方法で［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。この［プリンタ詳細］ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。また、印刷中にエラーが発生した場合も［プリンタ詳細］ウィンドウを表示することが可能です。

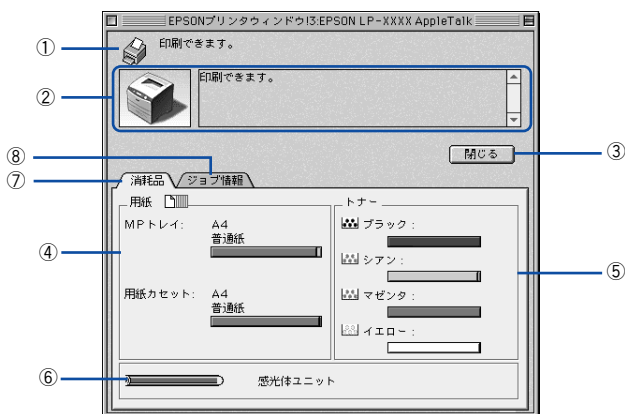
本書 204 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

参考
EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動する前に、監視したいプリンタが［セレクタ］で選択されているか確認してください。

［プリンタ詳細］ウィンドウの起動方法

［アップル］メニューから［EPSON プリンタウィンドウ !3］をクリックします。EPSON プリンタウィンドウ !3 が起動し、［プリンタ詳細］ウィンドウが表示されます。

参考
アプリケーションソフトから印刷を実行中にエラーが発生した場合、プリンタの状態を示すポップアップウィンドウが Macintosh のモニタ上に表示されます。

- ［詳細］ボタンをクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わります。
- エラーが発生して［対処方法］ボタンが表示された場合は、ボタンをクリックすると対処方法を説明するメニューが表示されます。

［プリンタ詳細］ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ !3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。

①アイコン / メッセージ

プリンタの状態に合わせてアイコンが表示され、状況をお知らせします。

②プリンタ / メッセージ

プリンタの状態を表示し、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

本書 207 ページ「対処が必要な場合は」

③［閉じる］ボタン

ウィンドウを閉じます。

④用紙

給紙装置にセットされている用紙サイズと用紙残量の目安を表示します。

⑤トナー

セットされているトナーカートリッジがあとどれくらい使用できるか、寿命の目安を表示します。

⑥感光体ユニット

セットされている感光体ユニットがあとどれくらい使用できるか、寿命の目安を表示します。

⑦消耗品

ジョブ管理ができる場合に、［プリンタ詳細］ウィンドウで消耗品に関する情報を表示します。

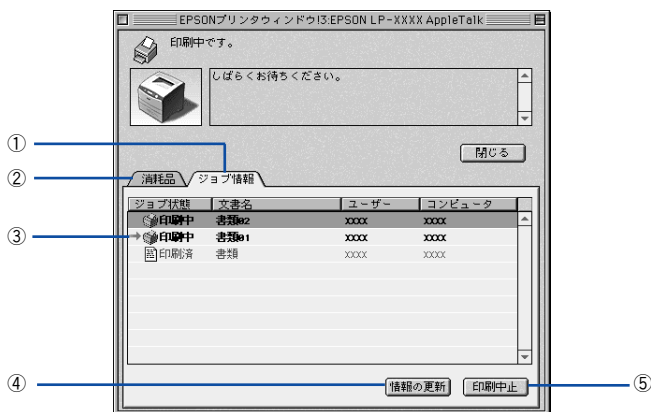
⑧ジョブ情報

ジョブ管理ができる場合に［ジョブ情報］ウィンドウを表示します。

本書 205 ページ「［ジョブ情報］ウィンドウ」

参 考	ネットワーク接続の場合に、［ジョブ情報］を表示できます。 本書 202 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

［ジョブ情報］ウィンドウ

ネットワークプリンタのジョブ情報がモニタできるように設定されている場合に表示され、プリントジョブ情報を表示します。

①ジョブ情報

ネットワークプリンタに印刷した情報を表示します。

②消耗品

［プリンタ詳細］ウィンドウで消耗品に関する情報を表示します。

本書 204 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

③ジョブリスト

コンピュータにスプール中のジョブ、ジョブの状態（待機中、印刷中、印刷済、削除中、削除済）、文書名、ユーザー名、コンピュータ名を、ジョブごとに表示します。リスト一番左の赤い矢印は、印刷中のジョブのうち実際に印刷を行っているジョブを表しています。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブに関しては、以下の情報は表示しません。

- 印刷済みジョブと削除済みジョブ
- 待機中または印刷中の文書名

参 考　プリンタを直接（ローカル）接続した Macintosh から印刷されたジョブは表示されません。

④［情報の更新］ボタン

ボタンをクリックすると、最新のジョブ情報をプリンタから取得して、リストの表示を更新します。

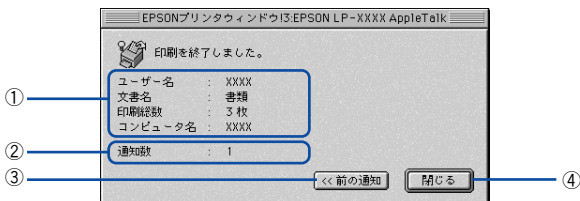
⑤［印刷中止］ボタン

印刷を中止するには、ジョブリストに表示されている印刷中または待機中のジョブをクリックして選択し、［印刷中止］ボタンをクリックします。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブの印刷を中止することはできません。

参 考	印刷中止を実行した後でエラーが発生した場合は、EPSON プリンタウィンドウ!3 のメッセージに従ってエラーを解除してください。 ☞本書 207 ページ「対処が必要な場合は」

［印刷終了通知］ダイアログ

印刷の終了が通知できるように設定されている場合は、ジョブの印刷終了時にメッセージを表示します。設定方法については、以下のページを参照してください。

☞本書 202 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

①印刷終了通知

印刷が終了したジョブのユーザー名、文書名、印刷総数、コンピュータ名を表示します。

②通知数

印刷終了通知の通知数を表示します。

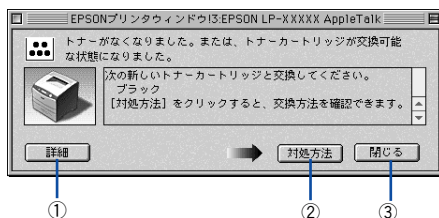
③前の通知

クリックすると、1 つ前の終了通知を表示します。通知数が 0 になった場合（終了通知がすべてなくなった場合）はグレーアウトされます。

④［閉じる］ボタン

印刷の終了を確認したら、クリックしてダイアログを閉じます。

対処が必要な場合は

セットしている用紙がなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 のポップアップウィンドウが Macintosh の画面上に表示されます。メッセージに従って対処してください。メッセージのエラーが解消されると、自動的に閉じます。

①[詳細]ボタン

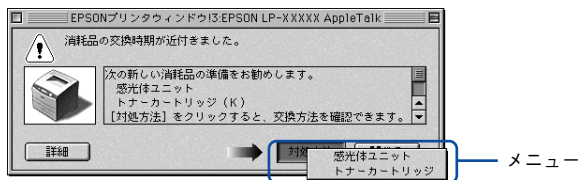
[プリンタ詳細]ウィンドウに切り替わり、消耗品の詳細な情報を表示します。

本書 204 ページ「[プリンタ詳細]ウィンドウ」

②[対処方法]ボタン

順を追って対処方法を詳しく説明します。

参 考

複数の対処が必要な場合、[対処方法]ボタンをクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。必要に応じて項目を選択してください。

③[閉じる]ボタン

ポップアップウィンドウを閉じます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

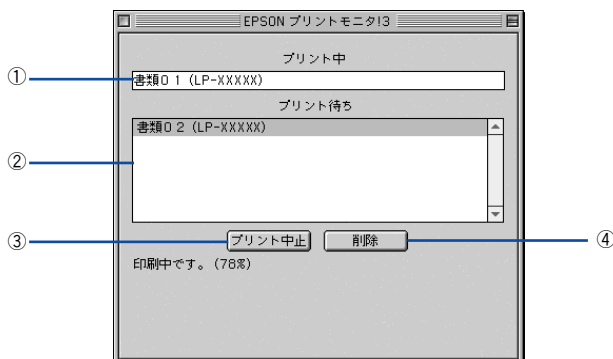
バックグラウンドプリントを行う

バックグラウンドプリントとは、Macintosh がほかの作業を行いながら同時にプリンタで印刷を行うことです。

バックグラウンドプリントを行う場合は、Macintosh ツールバーの一番左の［アップル］メニューから［セレクタ］を選び、［バックグラウンドプリント］の［入］をクリックしてください。

参考
［バックグラウンドプリント］を［入］に設定すると、印刷実行中も Macintosh で他の作業ができますが、Macintosh によってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が長くなることがあります。印刷速度を優先する場合は、［バックグラウンドプリント］を［切］に設定してください。

印刷状況を表示する

［セレクタ］で［バックグラウンドプリント］を［入］にした場合、印刷実行時に EPSON プリントモニタ !3 が起動します。EPSON プリントモニタ !3 は、印刷中にツールバーの一番右の［アプリケーション］メニューから開くことができます。ウィンドウが閉じているときは、［ファイル］メニューの［開く］を選択します。

①プリント中

現在バックグラウンドで印刷中のファイル名が表示されます。

②プリント待ち

印刷待ちをしている印刷ファイル名が表示されます。

③［プリント中止］ボタン

進行中の印刷（［プリント中］に表示されている印刷ファイルの印刷）を中止します。

参 考	印刷を一時停止したり再開するには、EPSON プリントモニタ !3 の［ファイル］メニューから［一時停止］や［印刷再開］を選択します。

④［削除］ボタン

印刷待ちをしている印刷ファイルを削除するには、［プリント待ち］に表示されている印刷ファイルをクリックして、［削除］ボタンをクリックします。

ColorSync について

ColorSync とは

例えばスキャナで取り込んだ画像を印刷する場合、原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いは完全には一致しません。これは、それぞれの機器の色の表現方法の違い、階調表現力の違い、またディスプレイ表示のクセ（偏った色表示をする）などが原因です。

このような場合の原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いをできるだけ一致（カラーマッチング）させるためのカラーマネージメントシステムとしてMacintoshではColorSyncがあります。本機は、このColorSync 3.0に対応しています。

参考	この ColorSync によるカラーマッチングを行うには、画像入力機器、画像取り込みアプリケーションソフト、画像出力機器、すべてが ColorSync に対応している必要があります。

ColorSync を使用して印刷するには

ColorSync 3.0 の場合を例に説明します。ほかのバージョンをお使いの方は、Mac OS ヘルプをご覧ください。

1. **正確な色を再現できるように、ディスプレイのカラー調整（モニタキャリブレーション）を行います。**
ディスプレイの調整が正しく行えない場合や、ディスプレイの劣化により正しく色を再現できない 場合は、ディスプレイとプリンタの色を正確に合わせることができません。調整方法は、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照してください。

2. **ColorSyn で使用するディスプレイプロファイルを選択します。**
最適なディスプレイプロファイルについては、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照してください。
① Apple メニューの［コントロールパネル］から［モニタ］コントロールパネルを開きます。
② ［カラー］ボタンをクリックします。
③ 使用するディスプレイに適したプロファイルを［ColorSync プロファイル］リストから選択します。

参考	ここで選択されたディスプレイプロファイルは、Apple メニューの［コントロールパネル］から［ColorSync］を選択し、［プロファイル］ダイアログの［ディスプレイ］で確認できます（［標準装置のプロファイル］選択時）。そのほかの項目は、設定する必要はありません。

3 **アプリケーションソフトで、ColorSync を設定します。**

設定方法は、お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

4 **印刷実行時に、ColorSync を設定します。**

[プリント]ダイアログの[モード]を[詳細設定]に設定して、メニューから[ColorSync]を選択します。

☞ 本書 170 ページ「[詳細設定]ダイアログ」

参考

- ColorSync を使って印刷する画像をスキャナで取り込むときは、スキャナのドライバ（例 EPSON Scan）で ColorSync を選択してから画像を取り込んでください。
- ColorSync を使用する場合は、アプリケーションソフトを RGB モードに設定して作業してください。CMYK や Lab モードでは、正しく色合わせすることができません。
- 一部のアプリケーションソフト（Adobe PageMaker 6.5J 以降、Photoshop 4.0J 以降、Illustrator 7.0J 以降など）では、ソフトウェア上で ColorSync の設定が行えます。この場合は、プリンタドライバの［詳細設定］ダイアログで［ドライバによる色補正］を選択して、［色補正方法］を［色補正なし］に設定してください。

印刷の中止方法

印刷処理を中止するときは、以下の方法で印刷データを削除します。

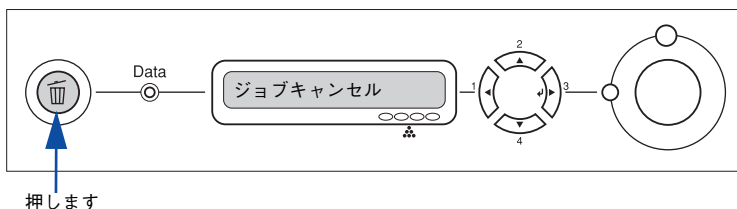
Macintosh からの中止方法

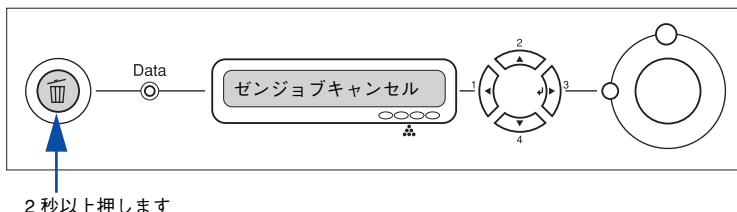
- **コマンド（⌘）キーを押したままピリオド（.）キーを押して、印刷を中止します。**
  アプリケーションソフトによっては、印刷中にダイアログを表示するものがあります。印刷を中止するボタン（[キャンセル] など）をクリックして印刷を強制的に終了します。
- **バックグラウンドプリントを行っている場合は、EPSON プリンタモニタ !3 から印刷を中止します。**

① EPSON プリントモニタ !3 を開いて、印刷状況を確かめます。
本書 209 ページ「印刷状況を表示する」

② EPSON プリントモニタ !3 で印刷を中止したり、待機中の印刷ファイルを削除します。
本書 209 ページ「印刷状況を表示する」

プリンタの操作パネルからの中止方法

● 印刷中のデータを削除するには［ジョブキャンセル］スイッチを押します。

印刷中のデータ（ジョブ単位）が削除されます。

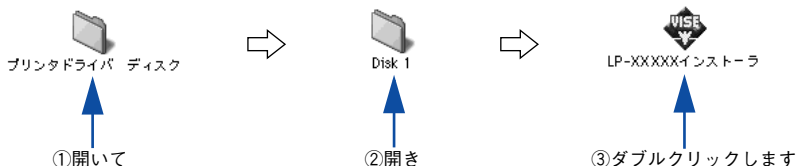
● プリンタが受信したすべての印刷データを削除するには［ジョブキャンセル］スイッチを約 2 秒間押し続けます。

プリンタが受信したすべての印刷データが消去されます。

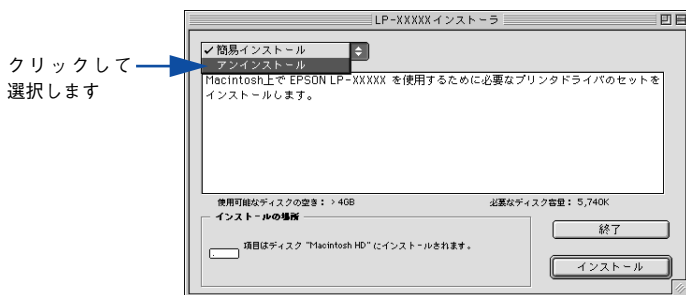
プリンタソフトウェアの削除方法

何らかの理由でプリンタドライバを再インストールする場合や、プリンタソフトウェアをバージョンアップする場合は、すでにインストールしているプリンタソフトウェアを削除（アンインストール）する必要があります。

1. **起動しているアプリケーションソフトを終了し、Macintosh を再起動します。**

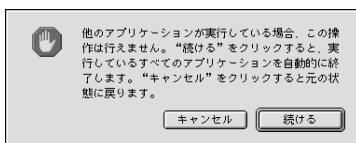
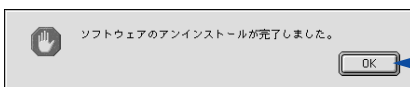
2. **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を Macintosh にセットします。**

3. **EPSONプリンタソフトウェアCD-ROM内の[プリンタドライバ ディスク]-[Disk1]の順に開き、［LP-V500 インストーラ］をダブルクリックします。**
   ［プリンタドライバ ディスク］フォルダが表示されていない場合は、［インストーラ］アイコンが表示されているフォルダ内を下にスクロールしてください。

4. **使用許諾契約書の画面が表示されたら［同意］をクリックします。**

5. **インストーラの画面左上にあるメニューから［アンインストール］を選択します。**

6 ［アンインストール］ボタンをクリックします。

プリンタソフトウェアの削除が始まります。

参考

以下の画面が表示された場合、起動しているアプリケーションソフトが強制的に終了されても問題がないかを確認して［続ける］ボタンをクリックします。アプリケーションソフトを強制的に終了すると作成中のデータが消えてしまう場合などは、［キャンセル］ボタンをクリックしてアンインストールを中断し、アプリケーションソフトを終了してから、プリンタソフトウェアをアンインストールしてください。

7 ［OK］ボタンをクリックします。

8 ［終了］ボタンをクリックします。

以上でプリンタソフトウェアの削除は終了です。

Mac OS X をお使いの方へ

プリンタドライバの詳細説明と、Mac OS X（v10.2 以降）でお使いの際に関係する情報について説明しています。

印刷を始める前に

Mac OS X をお使いの方へのお願い

- Mac OS X でのご利用にあたっては、OS あるいはプリンタドライバの制限事項により使用できない機能があります。制限事項の詳細については下記ホームページにてご確認ください。
  アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp/support
- プリンタドライバに依存しない OS の機能については、Mac OS X の説明書やヘルプも参照してください。

［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］へのプリンタの追加

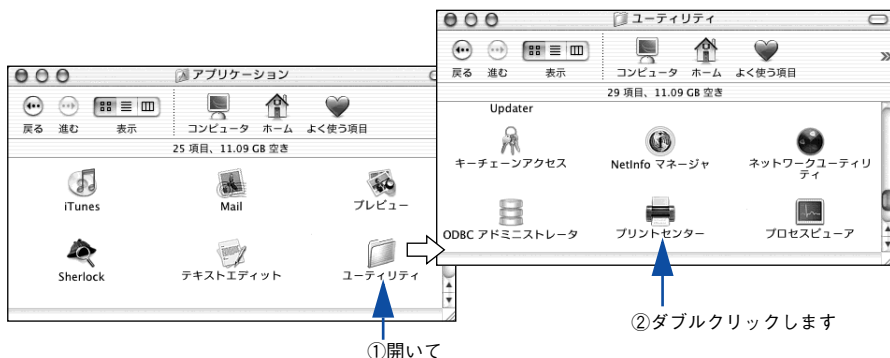
「セットアップガイド」（紙マニュアル）の説明に従って、EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からプリンタソフトウェアのインストールは終了していますか。ここでは、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］にプリンタを追加する手順を詳しく説明します。

- すでに本機を追加している場合は、再度追加する必要はありません。
- 追加したプリンタを削除しない限り、印刷のたびに追加する必要はありません。
- 複数のプリンタを追加している場合は、通常（デフォルトで）使うプリンタを選択できます（プリンタはアプリケーションソフトの［プリント］ダイアログからも選択できます）。

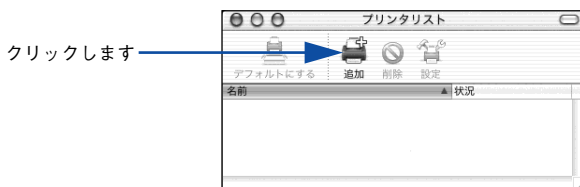
参考

- Mac OS X のバージョンによって、［プリンタ設定ユーティリティ］（Mac OS X v10.3 以降）、［プリントセンター］（Mac OS X v10.2）と名称が異なります。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限り Mac OS X v10.2 の画面を使用しています。
- オプション製品をプリンタに装着した場合は、OS バージョンに応じて以下のように追加してください。
  Mac OS X v10.2：［プリントセンター］にプリンタを再度追加してください（古いプリンタは新しいプリンタに置き換わります）。
  Mac OS X v10.3：［プリンタ設定ユーティリティ］から一旦プリンタを消して、再度追加し直してください。

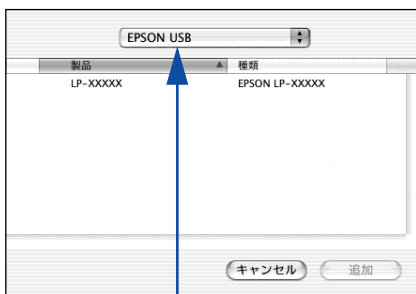
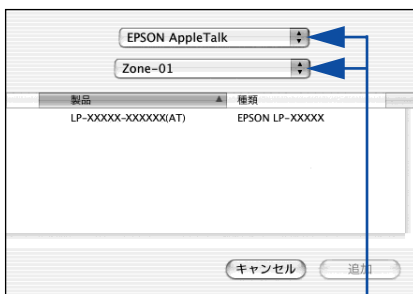
1 プリンタの電源をオン（ I ）にします。

2 ［アプリケーション］フォルダから［ユーティリティ］フォルダを開いて、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］をダブルクリックします。

参 考	Mac OS X v10.3 以降の場合は、［システム環境設定］で［プリントとファックス］をクリックして、［プリント］ダイアログの［プリンタを設定 ...］をクリックしても［プリンタ設定ユーティリティ］が開きます。詳しくは、Mac OS X のヘルプをご覧ください。

3 ［追加］をクリックします。

- USB 接続でもなんらかの理由でプリンタが追加されていない場合やネットワーク接続の場合は、［追加］をクリックして 4 に進みます。
- プリンタが追加されていれば、［追加］をクリックしないでそのまま 6 へ進みます。

参 考	• Mac OS X v10.2 でUSB接続の場合、電源オンで自動的にプリンタは追加されます（プリンタ名が表示されます）。そのまま 6 へ進んでください。 • Mac OS X v10.3 以降の場合は、USB 接続でも自動的に追加されません。4 へ進んで手順通りに手動で追加してください。

4 ［EPSON USB］/［USB］、［EPSON AppleTalk］、［EPSON TCP/IP］または［Rendezvous］を選択します。

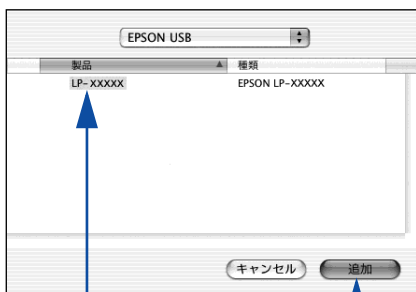
- USB 接続の場合：［EPSON USB］または［USB］を選択します。
- ネットワーク接続の場合：［EPSON AppleTalk］、［EPSON TCP/IP］または［Rendezvous］を選択します。なお、AppleTalk ゾーンを設定している場合は、［AppleTalk Zone］を選択します。

＜ EPSON AppleTalk接続の場合＞

選択します

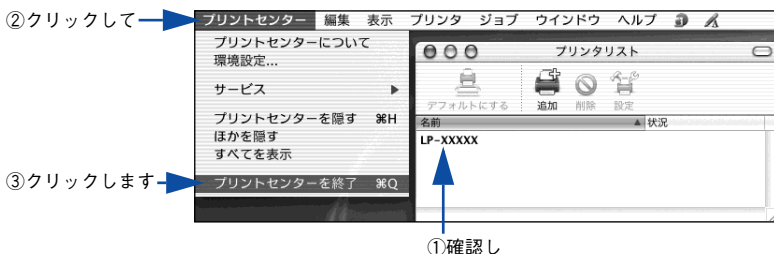
選択します

参 考

- プリンタ名がリストに表示されない場合は、コンピュータとプリンタの接続状態が正しいか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。
- ネットワーク環境に接続している場合は、ネットワークプリンタとして共有できます。
- Mac OS X では AppleTalk はオフ（使用しない）に初期設定されています。AppleTalk が使用できない場合は、［システム環境設定］から［ネットワーク］を開き、［ApplTalk］タブで使用可能になっているか確認してください。
- AppleTalkゾーンの一覧は、ネットワーク上でゾーンを設定している場合に表示されます。プリンタを接続したゾーンを選択してください。どのゾーンにプリンタを接続したかは、ネットワーク管理者にご確認ください。

5 お使いのプリンタ名（LP-V500）を選択して、［追加］をクリックします。

< USB 接続の場合>

< EPSON AppleTalk接続の場合>

6 プリンタ名（LP-V500）がリストに登録されたことを確認して、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］メニューから［プリンタ設定ユーティリティを終了］/［プリントセンターを終了］をクリックします。

参 考

- 複数のプリンタを追加している場合は、通常使うプリンタ（デフォルトプリンタ）として追加されます。
- デフォルトプリンタを変更するには、プリンタの名前をクリックして［デフォルトにする］をクリックします（プリンタ名が太文字で表示されます）。
- 印刷時に［プリント］ダイアログで別のプリンタを選択すると、そのプリンタが新しいデフォルトプリンタになります。
- すでに追加してあるプリンタ名を選択して［削除］をクリックすると、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］からは消えますが、プリンタドライバそのものは削除されずに残っています。

以上でプリンタの追加は終了です。印刷を始めることができます。

☞ 本書 220 ページ「印刷の手順」

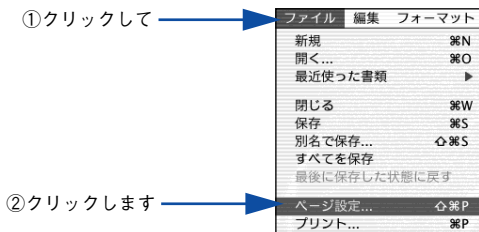
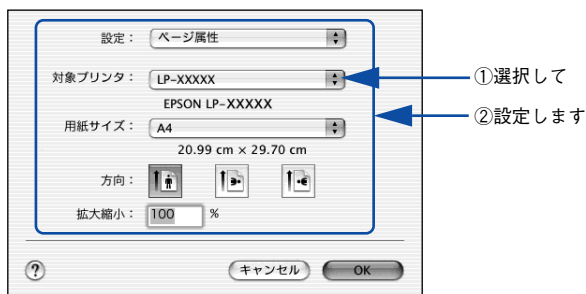
印刷の手順

ページ設定

実際に印刷データを作成する前に、用紙サイズなどを設定します。ここでは、「テキストエディット」を例に説明します。

参 考	用紙設定をする前に、お使いのプリンタが［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］に登録されているか確認してください。 本書 216 ページ「印刷を始める前に」

1 ［アプリケーション］フォルダ内の［テキストエディット］アイコンをダブルクリックして起動します。

2 ［ファイル］メニューから［ページ設定］をクリックします。

3 ［対象プリンタ］メニューからお使いのプリンタ（LP-V500）を選択して、必要な項目を設定します。

設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。
☞ 本書 229 ページ「［ページ設定］ダイアログ」

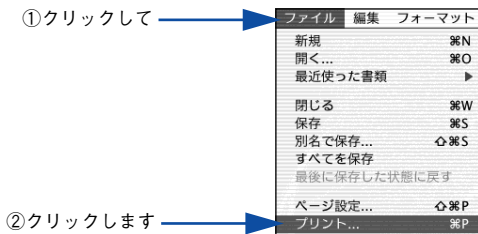
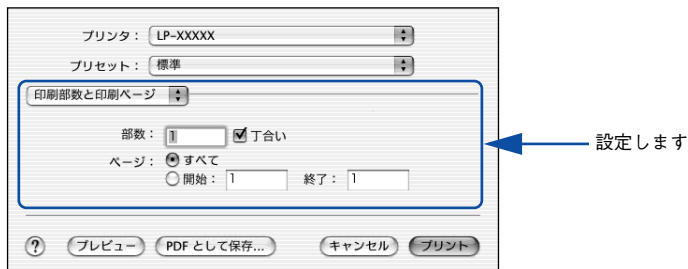
4 ［OK］ボタンをクリックして終了します。

この後、印刷データを作成します。

プリント設定

作成した印刷データを印刷する際に、印刷部数などを設定します。

> **参考** アプリケーションソフトによっては、独自の［プリント］ダイアログを表示する場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1 ［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

2 **印刷に必要な項目を設定します。**

設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。

☞ 本書 233 ページ「[プリント] ダイアログ」
☞ 本書 234 ページ「[印刷部数と印刷ページ] ダイアログ」
☞ 本書 235 ページ「[レイアウト] ダイアログ」
☞ 本書 237 ページ「[出力オプション] ダイアログ」
☞ 本書 238 ページ「[プリンタの設定] ダイアログ」
☞ 本書 250 ページ「[拡張設定] ダイアログ」
☞ 本書 243 ページ「[詳細設定変更] ダイアログ」
☞ 本書 247 ページ「[両面印刷] ダイアログ」
☞ 本書 252 ページ「[ユーティリティ] ダイアログ」
☞ 本書 253 ページ「[一覧] ダイアログ」

3 **[プリント] ボタンをクリックして、印刷を実行します。**

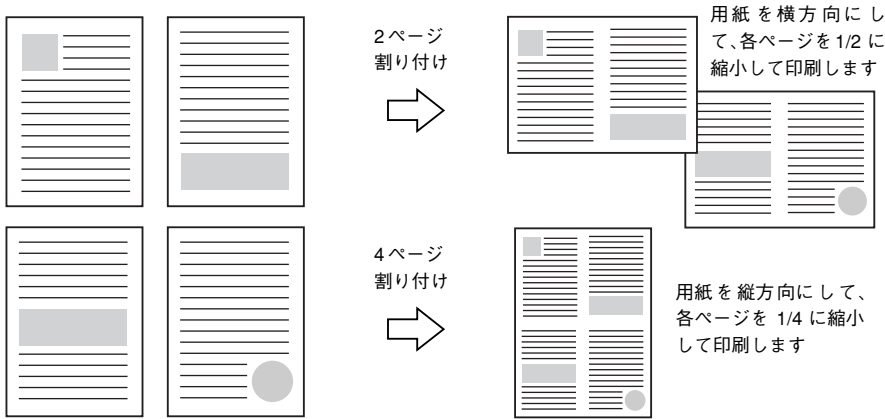
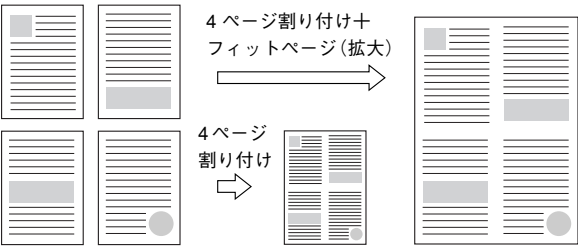
便利な印刷機能

ここでは、本機で利用できるさまざまな機能のうち、便利な印刷機能の概略をまとめて紹介します。

割り付け印刷で用紙を節約

大量の文書を印刷するときに「紙がもったいない」と感じることはありませんか。1 枚ずつ印刷するよりは、2 ページまたは 4 ページごとにまとめて 1 枚の用紙に割り付ければ、総用紙枚数を 1/2 または 1/4 に減らすことができます。

例えば、会議の書類が 100 ページあれば、50 枚または 25 枚の用紙に印刷するだけで済み、ページ数が多ければ多いほど節約効果はぐっと上がります。

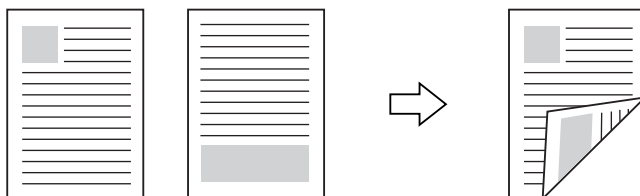
参 考

割り付け印刷は、連続した 2 ページまたは 4 ページ分のデータを縮小して元の指定サイズの用紙に割り付けて印刷します。例えばハガキサイズのページの場合、通常であればそのままハガキサイズの用紙に割り付け印刷しますが、文字が小さくて読みづらく実用的とはいえません。こんなときは、拡大 / 縮小機能を同時に使用して、大きな A4 サイズなどの大きなサイズの用紙に拡大して割り付けると読みやすくなります。

本書 227 ページ「ページを拡大または縮小して印刷」
本書 232 ページ「拡大 / 縮小を自由に設定できる任意倍率印刷」

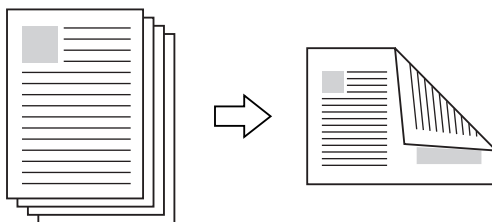
割り付け印刷は［プリント］ダイアログから［レイアウト］ダイアログを開いて設定してください。

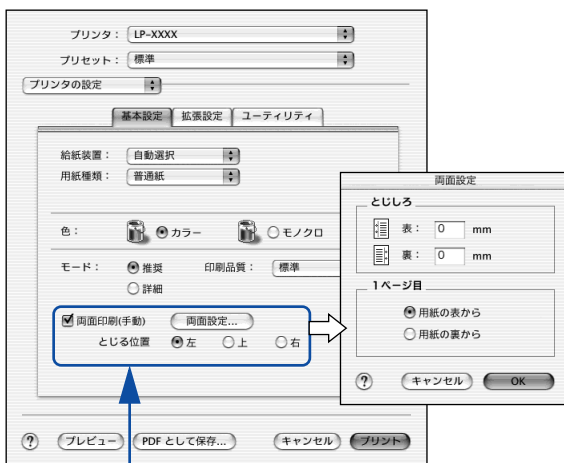
機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

本書 235 ページ「［レイアウト］ダイアログ」
本書 236 ページ「1 枚の用紙に複数のページを割り付けて印刷するには」

両面印刷で用紙を節約

用紙の片面に印刷するだけでは「紙がもったいない」と思うことはありませんか。本機には用紙の表と裏に手動両面印刷する機能が備わっていますので、表面印刷後に裏返った用紙をそのままセットし直せば裏面に印刷することができます。また、オプションの両面印刷ユニットをご利用いただくと、用紙を 1 枚ずつ自動的に裏返して両面印刷を行いますので、片面を印刷した後で文書をセットし直して裏面に印刷する手間が省けます。面倒な手間もなく自動処理され、総用紙枚数を 1/2 に減らすことができます。

さらに、用紙の両面に 2 ページまたは 4 ページ割り付け印刷を行えば、総用紙枚数を 1/4 または 1/8 まで減らすことができます。

＜例＞両面それぞれに2ページ分の割り付け印刷した場合、
4ページの文書なら用紙 1 枚で済みます

本書 223 ページ「割り付け印刷で用紙を節約」
本書 236 ページ「1 枚の用紙に複数のページを割り付けて印刷するには」

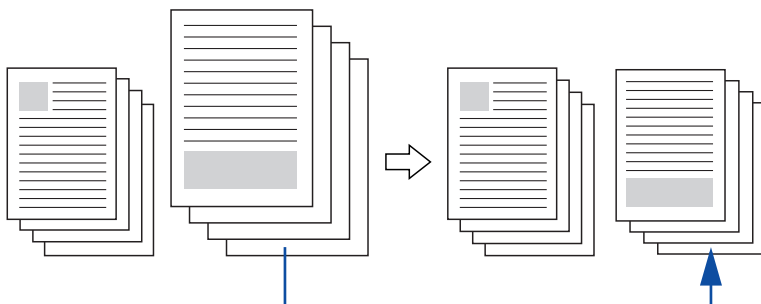
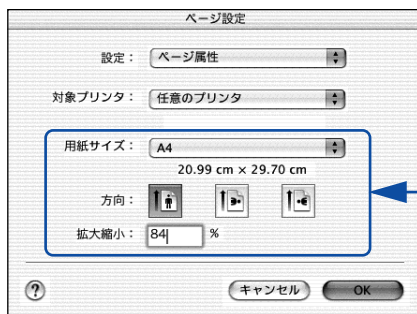
［プリント］ダイアログから［プリンタの設定］－［基本設定］ダイアログ開いて、さらに［両面印刷］ダイアログを開いて両面印刷を設定してください。

両面印刷を設定します

参考	オプションの両面印刷ユニットを装着すると、ダイアログの表示が［両面印刷(手動)］から［両面印刷］に変わります。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

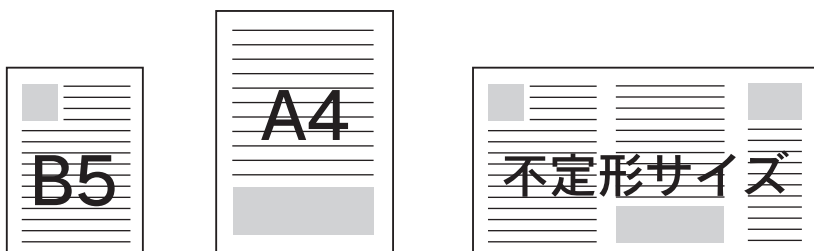
☞ 本書 247 ページ「［両面印刷］ダイアログ」
☞ 本書 248 ページ「両面印刷するには」

ページを拡大または縮小して印刷

文書を印刷してからコピー機で拡大 / 縮小していませんか。プリンタドライバの拡大 / 縮小機能を使えば、文書をそのまま拡大 / 縮小して印刷できますので手間が省けます。「会議には A4 サイズで統一」との急な依頼にも迅速に対応できます。

拡大 / 縮小印刷は［ページ設定］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 229 ページ「［ページ設定］ダイアログ」
☞ 本書 232 ページ「拡大 / 縮小を自由に設定できる任意倍率印刷」

定形サイズ以外の用紙に印刷

B5、A4 などの定形サイズ以外の用紙に印刷したい場合も心配ありません。任意の用紙サイズを不定形紙（カスタム用紙サイズ）として登録しておくことができます。

不定形紙サイズは［ページ設定］ダイアログから［カスタム用紙サイズ］ダイアログを開いて設定してください。

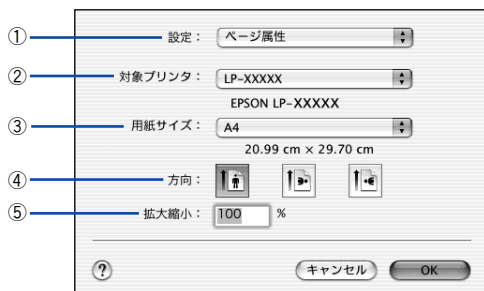
機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

本書 229 ページ「［ページ設定］ダイアログ」
本書 230 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

定義した不定形紙サイズは、［ページ設定］ダイアログの［用紙サイズ］メニューから選択できます。

注意　不定形紙への印刷は、いくつかご注意いただく点があります。以下のページを参照してから印刷を実行してください。
本書 344 ページ「不定形紙への印刷」

［ページ設定］ダイアログ

［ページ設定］ダイアログでは、用紙に関する基本的な項目を設定します。印刷データを作成する前に設定してください。

①設定

［ページ属性］、［カスタム用紙サイズ］、［一覧］ダイアログを切り替えます。

項目	説明
ページ属性	用紙サイズ、印刷方向、拡大・縮小率を設定します。
カスタム用紙サイズ	用紙のカスタム（不定形）サイズを設定できます。設定したカスタム用紙サイズは、［用紙サイズ］メニューから選択できます。 本書 228 ページ「定形サイズ以外の用紙に印刷」 本書 230 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」
一覧	［ページ設定］ダイアログの設定一覧を確認できます。

②対象プリンタ

どのプリンタを対象にページ属性を設定するか、プリンタ名を選択します。また、［プリンタリストを編集］を選択すると、［プリンタ設定ユーティリティ］／［プリントセンター］の［プリンタリスト］を開くことができます。

③用紙サイズ

印刷する用紙のサイズをリストから選択します。

④方向

用紙に対する印刷の向きをクリックして選択します。

⑤拡大縮小

印刷データを拡大／縮小して印刷できます。

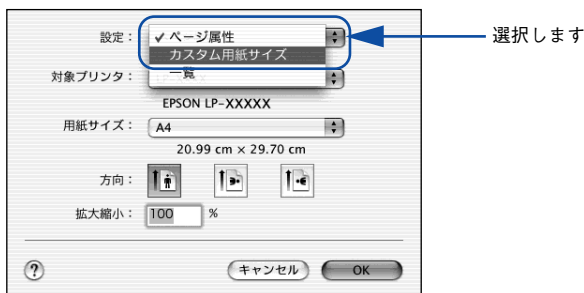
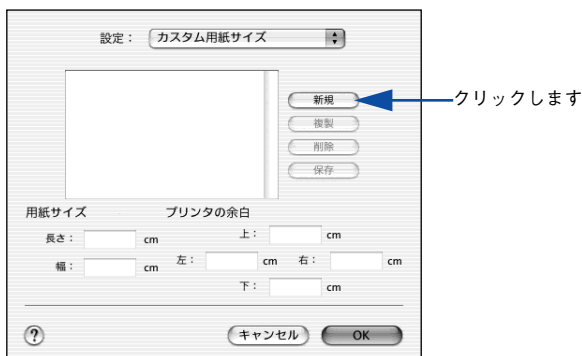
本書 227 ページ「ページを拡大または縮小して印刷」
本書 232 ページ「拡大／縮小を自由に設定できる任意倍率印刷」

任意の用紙サイズを登録するには

［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズをカスタム用紙サイズとして登録することができます。

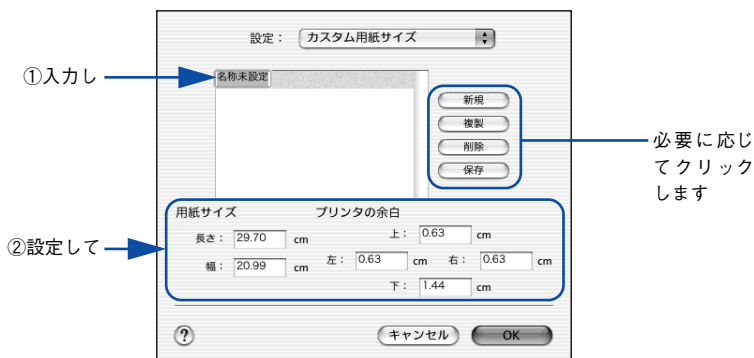
1 **プリンタドライバの［ページ設定］ダイアログを開きます。**

本書 220 ページ「ページ設定」

2 **［設定］メニューから［カスタム用紙サイズ］を選択します。**

3 **［新規］ボタンをクリックします。**

4 **用紙サイズ名、用紙サイズ（長さ、幅）、プリンタの余白（上下左右）を設定し、[OK] ボタンをクリックします。**

本機で使用できる用紙サイズの範囲は以下 *1 の通りです。

- 用紙幅：9.00 ～ 22.00cm（3.54 ～ 8.66 インチ *2）
- 用紙長さ：11.00 ～ 29.70cm（4.33 ～ 11.69 インチ *2）

*1　本機で有効な値です。設定を保存した際に、入力した値が OS の計算により変わる場合があります。
*2　設定の単位をインチにするには、[システム環境設定] から [言語環境] を開き、[数] タブをクリックして [計測単位] を [ヤード・ポンド法] に設定します。

参 考

- すでに登録されている用紙サイズを複製する場合は、リストから複製したいサイズ名をクリックして選択し、[複製] ボタンをクリックします。必要に応じて設定を変更してから [保存] ボタンをクリックします。
- すでに登録されている用紙サイズを削除する場合は、リストから削除したいサイズ名をクリックして選択し、[削除] ボタンをクリックします。
- すでに登録している用紙サイズを変更する場合は、リストから変更したい用サイズ名を選択し、設定を変更して [保存] ボタンをクリックします。
- カスタム用紙サイズの登録は Mac OS X の機能ですので、特定のプリンタドライバに依存することなく、すべてのプリンタドライバで利用できます。また、本機のプリンタドライバを再インストールした場合でも、登録した用紙サイズは保持されます。

5 **[OK] ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。**

ここで定義した用紙サイズが [ページ属性] の [用紙サイズ] リストから選択できるようになります。この後は、通常印刷する手順と同様に印刷してください。

参 考

不定形紙への印刷は、いくつか注意していただく点がありますので、以下のページを参照してから印刷を実行してください。
☞本書 344 ページ「不定形紙への印刷」

拡大 / 縮小を自由に設定できる任意倍率印刷

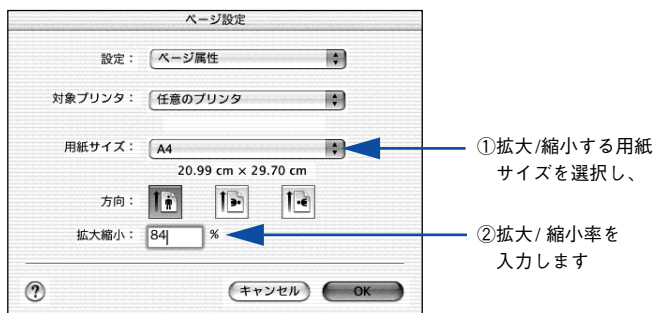
拡大 / 縮小率を自由に設定して印刷することができます。

1 拡大 / 縮小率を計算します。

- 元の用紙サイズの一辺の長さと拡大 / 縮小印刷に使用する用紙サイズの一辺の長さを比較して計算します。
- 拡大/縮小率は計算に使用する辺によって異なりますので、縦または横どちらか同等の辺を基に概数（小数点以下切り捨て）を計算します。

2 プリンタドライバの［ページ設定］ダイアログを開きます。

☞ 本書 220 ページ「ページ設定」

3 拡大 / 縮小印刷に使用する［用紙サイズ］を選択して、［拡大縮小］に 1 で求めた値を入力します。

> **参考**
> ［拡大縮小］で設定した拡大 / 縮小率に合った［用紙サイズ］を選択してください。以下のような場合は、［用紙サイズ］が［拡大縮小］に合っていません。
> - 縮小印刷時に用紙にバランスよくページが配置されない
> - 拡大印刷時に用紙からはみ出て印刷されない部分がある

4 その他の設定を確認して［ページ設定］ダイアログを閉じ、［プリント］ダイアログを表示して印刷を実行します。

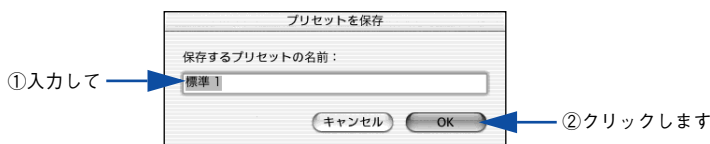
[プリント] ダイアログ

印刷する際、[プリント] ダイアログで印刷に関わる各種の設定を行います。設定を行うダイアログは、メニューから選択してください。

①プリンタ

印刷に使用するプリンタを選択します。また、[プリンタリストを編集] を選択すると、[プリンタ設定ユーティリティ] / [プリントセンター] の [プリンタリスト] を開くことができます。

②プリセット

[プリント] ダイアログのすべての設定を保存し、あとでまとめて呼び出すことができます。必要な設定を変更したら、メニューから [別名で保存] を選択して保存名を指定して保存してください。

保存した設定を変更したり、名称変更や削除もできます。対象となる設定名を [プリセット] メニューから選択して、さらに [保存] 、[名称変更] 、または [削除] をメニュー選択してください。

③設定ダイアログメニュー

[プリント] ダイアログの設定画面を切り替えます。

④プレビュー

印刷されるままの状態を画面で確認できます。

⑤PDF として保存

印刷する代わりに、PDF ファイルとして保存できます。

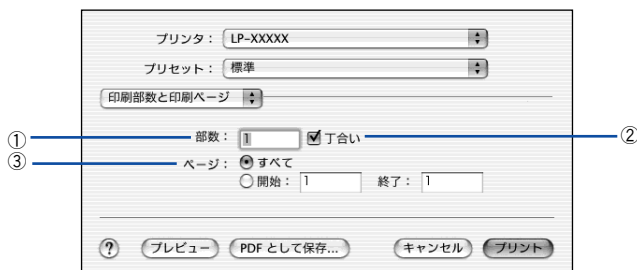
⑥キャンセル

印刷を中止します。

⑦プリント

印刷を実行します。

［印刷部数と印刷ページ］ダイアログ

［プリント］ダイアログで［印刷部数と印刷ページ］を選択すると、印刷部数や印刷範囲を設定できます。

①部数

印刷部数を選択します。通常は 1 ページごとに指定した部数を印刷しますが、②の［丁合い］を選択すると 1 部ごとにまとめて印刷します。

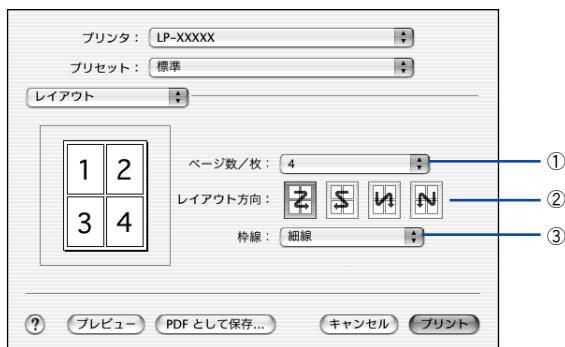
②丁合い

2 部以上印刷する場合に 1 ページ目から最終ページまでを 1 部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、①の［部数］で指定します。

③ページ

すべてのページを印刷する場合は［すべて］を選択します。一部のページを指定して印刷する場合は、開始ページと終了ページを入力します。

［レイアウト］ダイアログ

［プリント］ダイアログで［レイアウト］を選択すると、連続したページを 1 枚の用紙に自動的に縮小割り付けして印刷できます。

①ページ数 / 枚

1 枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。

☞ 本書 223 ページ「割り付け印刷で用紙を節約」

☞ 本書 236 ページ「1 枚の用紙に複数のページを割り付けて印刷するには」

②レイアウト方向

割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。

③枠線

割り付けた各ページの周りに枠線を印刷するときに、線の種類を選択します。

1 枚の用紙に複数のページを割り付けて印刷するには

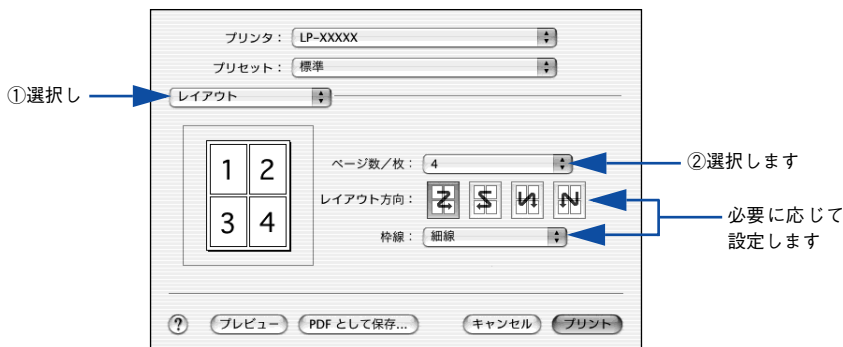
4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に印刷する場合の手順は以下の通りです。

1 プリンタドライバの［プリント］ダイアログを開きます。

☞ 本書 221 ページ「プリント設定」

2 ［レイアウト］ダイアログを開いて、以下の項目を設定します。

［レイアウト］ダイアログの設定項目について詳しくは、以下のページを参照してください。

☞ 本書 235 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

3 ［プリント］ボタンをクリックして印刷を実行します。

［出力オプション］ダイアログ

［プリント］ダイアログで［出力オプション］を選択すると、印刷する代わりにファイルとして保存できます。

①ファイルとして保存

印刷する代わりにファイルとして保存する場合に、チェックマークを付けます。

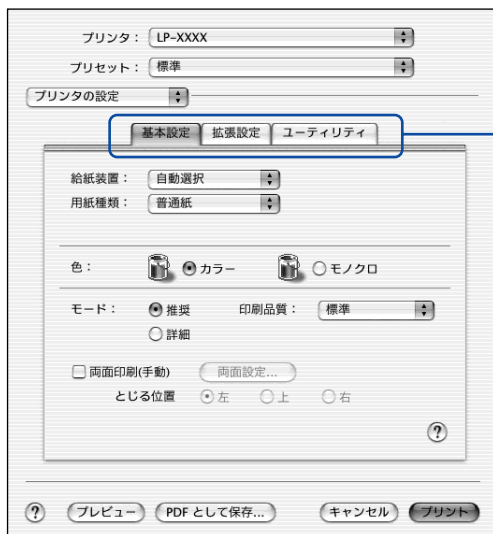
②フォーマット

ファイルとして保存する場合の保存形式（フォーマット）を選択します。

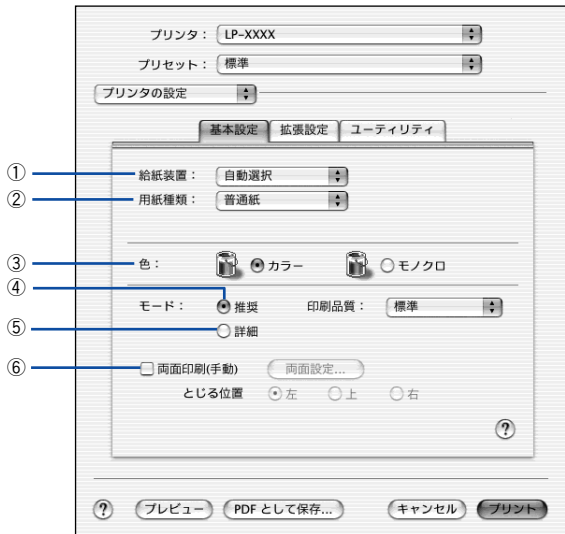
③保存

ファイルとして保存する場合は、［保存］ボタンになります。クリックすると保存名と保存先を指定してから、さらに［保存］ボタンをクリックしてください。

［プリンタの設定］ダイアログ

［プリント］ダイアログで［プリンタの設定］を選択すると、［基本設定］、［拡張設定］、または［ユーティリティ］ダイアログが選択できるようになり、印刷に関わるさまざまな機能が設定できます。

各ダイアログの詳細については、以下のページを参照してください。

本書 239 ページ「［基本設定］ダイアログ」
本書 250 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
本書 252 ページ「［ユーティリティ］ダイアログ」

［基本設定］ダイアログ

①給紙装置

給紙装置を選択します。

項目	説明
自動選択	印刷実行時に、［用紙サイズ］で選択したサイズの用紙がセットされている給紙装置を探して給紙します。
MP トレイ	MP トレイから給紙します。
用紙カセット 1*	オプションの増設 1 段カセットユニットの用紙カセットから給紙します。

* オプションの増設 1 段カセットユニット装着時のみ選択できます（未装着時はグレーで表示されて選択できません）。

参考

- 給紙装置にセットした用紙のサイズは、操作パネルから［キュウシソウチメニュー］を開いて［MP トレイヨウ シサイズ］と［カセットヨウシサイズ］で設定します。
  ☞ 本書 286 ページ「キュウシソウチメニュー」
- 選択した給紙装置から指定されたサイズの用紙が給紙されない場合は、エラーが発生します（［用紙サイズのチェックをしない］をオフに設定している場合）。
  ☞ 250 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

②用紙種類

印刷に使用する用紙種類を選択します。

項目	説明
指定しない	• 普通紙タイプの用紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用しないときに選択します。 • ［給紙装置］は手動で選択する必要があります。
普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき	• 紙厚が64～80g/m² の左記普通紙タイプの用紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用するときに選択します。 • ［給紙装置］には［自動選択］が自動選択されます。
上質紙	• EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙（型番：LPCPPA4）、紙厚が 81 ～ 105g/m² の普通紙に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が選択されますが、［自動選択］や［用紙カセット］に変更することもできます（どの給紙装置からも印刷できます）。
OHP シート	• EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート（型番：LPCOHPS1）に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
ラベル	• ラベル紙に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
厚紙	• 紙厚が 106 ～ 163g/ ㎡の厚紙に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
特厚紙	• 紙厚が 164 ～ 210g/ ㎡の特厚紙に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
コート紙	• EPSON カラーレーザープリンタ用コート紙（型番：LPCCTA4）に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
普通紙（裏面）	• 普通紙の片面印刷後にさらにもう一方の面に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が選択されますが、［自動選択］や［用紙カセット］に変更することもできます（どの給紙装置からも印刷できます）。
上質紙（裏面）	• EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙（型番：LPCPPA4）、紙厚が 81 ～ 105g/m² の普通紙の片面印刷後にさらにもう一方の面に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が選択されますが、［自動選択］や［用紙カセット］に変更することもできます（どの給紙装置からも印刷できます）。
厚紙（裏面）	• 厚紙の片面印刷後にさらにもう一方の面に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
特厚紙（裏面）	• 特厚紙の片面印刷後にさらにもう一方の面に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
コート紙（裏面）	• EPSON カラーレーザープリンタ用コート紙（型番：LPCCTA4）の片面印刷後にさらにもう一方の面に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
ハガキ（裏面）	• 郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、4 連郵便ハガキの裏面に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。

参 考

- 用紙サイズを郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、4 連郵便ハガキ、または封筒サイズにした場合、プリンタドライバの［用紙種類］の設定に関係なく、プリンタ内部では厚紙として印刷を行います。
- 郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、4 連郵便ハガキの片面だけに印刷する場合は特に［用紙種類］を設定する必要はありませんが、両面に印刷する場合で片面の印刷後もう一方の面を印刷するときは［用紙種類］を［ハガキ（裏面）］に設定してください。
- 操作パネルで用紙タイプを設定していない場合は、「用紙タイプ選択機能」は使用できません。

☞本書 286 ページ「キュウシソウチメニュー」
☞本書 346 ページ「用紙タイプ選択機能」

③色

カラー印刷を行うときは、［カラー］を、モノクロ印刷を行うときは［モノクロ］を選択します。

④推奨モード

一般的に推奨できる条件で印刷できます。ほとんどの場合、この［推奨］でよい印刷結果が得られます。［推奨］をクリックすると、［印刷品質］（解像度）を［標準］（300dpi）または［高品質］（600dpi）のどちらかに設定できます。

項目	説明
標準	文字文書の高速印刷（品質より印刷速度を優先する場合）に適しています。
高品質	写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調が変化する画像）の印刷に適しています。

参 考

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、以下のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［印刷品質］を［標準］に設定する。
- ［データ圧縮方法］を［データサイズ優先］に設定する。
  ☞本書 250 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
- ［ページエラー回避］を有効にする。
  ☞本書 250 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
- 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使用しない状態に設定する。
  ☞本書 289 ページ「パラレル I/F セッテイメニュー」
  ☞本書 290 ページ「USB I/F セッテイメニュー」
  ☞本書 292 ページ「ネットワーク I/F セッテイメニュー」

上記の方法でメモリ関連のエラーが解決できない場合は、プリンタのメモリを増設すると解決できる場合があります。

⑤詳細モード

［詳細］をクリックすると、［設定変更］ボタンと詳細設定メニューが表示されます。

モード：　○推奨　推奨（標準）
　　　　　◉詳細　設定変更...

項目	説明
詳細設定メニュー	プリセットメニューから選択します。
［設定変更］ボタン	［詳細設定変更］ダイアログを開きます。 本書 243 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」

カラー印刷時［詳細］をクリックした場合は、以下のプリセットメニューをご利用いただけます。

プリセットメニュー	用途
推奨（標準）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷速度を重視した設定で印刷します。
ワープロ／グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷速度を重視した設定で印刷します。
グラフィック／ＣＡＤ	グラフィック画像や CAD による描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷速度を重視した設定で印刷します。
写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷速度を重視した設定で印刷します。
ColorSync	ColorSync によるカラーマッチング（色合わせ）を行うときに適した設定です。
推奨（高品質）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質ワープロ／グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質グラフィック／ CAD	グラフィック画像や CAD による描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷品質を重視した設定で印刷します。

⑥両面印刷

両面印刷を行います。

本書 225 ページ「両面印刷で用紙を節約」
本書 247 ページ「［両面印刷］ダイアログ」

参考

- 標準状態では［両面印刷（手動）］と表示され、両面印刷は手動で行います。
- オプションの両面印刷ユニット装着時は、［両面印刷］と表示され、自動両面印刷が行えます。

両面印刷できる用紙については以下のページを参照してください。

本書 331 ページ「両面印刷について」

[詳細設定変更] ダイアログ

[基本設定] ダイアログで [詳細] をクリックして [設定変更] ボタンをクリックすると、[詳細設定変更] ダイアログが表示されます。印刷にかかわるさまざまな機能を詳細に設定できます。

カラー印刷の場合

モノクロ印刷の場合

①色

カラー印刷を行うときは、[カラー] を、モノクロ印刷を行うときは [モノクロ] を選択します。

②印刷品質

印刷の解像度を［標準］(300dpi）または［高品質］(600dpi）から選択できます。［高品質］を選択すると、きめ細かく印刷できますが印刷時間は長くなります。品質より印刷速度を優先する場合は、［標準］を選択してください。

項目	説明
標準	文字文書の高速印刷（品質より印刷速度を優先する場合）に適しています。
高品質	写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調が変化する画像）の印刷に適しています。

参考

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、以下のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［印刷品質］を［標準］に設定する。
- ［データ圧縮方法］を［データサイズ優先］に設定する。
  本書 250 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
- ［ページエラー回避］を有効にする。
  本書 250 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
- 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使用しない状態に設定する。
  本書 289 ページ「パラレル I/F セッテイメニュー」
  本書 290 ページ「USB I/F セッテイメニュー」
  本書 292 ページ「ネットワーク I/F セッテイメニュー」

上記の方法でメモリ関連のエラーが解決できない場合は、プリンタのメモリを増設すると解決できる場合があります。

③印刷モード

印刷モードを選択します。

項目	説明
標準（Mac）	印刷処理をコンピュータ側で行う場合に選択します。
CRT 優先	すべてのデータをイメージとして印刷します。グラフィックと文字を重ね合わせて正常に印刷できない場合に選択してください。

④スクリーン（カラー印刷のみ）

スクリーン線数（lpi）を選択します。

項目	説明
自動（階調優先）	写真や図形を印刷する際に階調を優先してスクリーン線数を自動的に設定します（文字の印刷は解像度を優先します）。
自動（解像度優先）	図形や文字を印刷する際に解像度を優先してスクリーン線数を自動的に設定します（写真の印刷は階調を優先します）。
階調優先	階調を優先して印刷します。色調や色の濃淡が無段階に変化する連続階調、写真やグラデーションのあるデータの印刷時に選択してください。
解像度優先	解像度を優先して印刷します。細い線や細かい模様のあるデータの印刷時に選択してください。

参 考	［プリント］ダイアログの［用紙種類］で［OHP シート］を選択している場合は、OHP シート専用のスクリーンが用いられるので設定できません。

⑤RIT
RIT*（Resolution Improvement Technology）を有効にすると大きな文字がきれいに印刷できたり、写真画像の斜線補正や輪郭補正などに効果があります。

*RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷するEPSON独自の印刷機能。

参 考

- RIT 機能を有効にしてグラデーション（無段階に変化する階調）のある画像を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合はRIT 機能を使用しないでください。
- カラー印刷の場合、④の［スクリーン］の関係で RIT 機能が有効にならない場合があります。

⑥トナーセーブ
［詳細設定］を選択すると、トナーセーブ機能を設定できます。カラー、モノクロ印刷とも印刷濃度を抑えることでトナーを節約します（カラー印刷時は色の表現力を低く抑えて印刷します）。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

参 考	トナーセーブ機能を有効にすると、色の濃度を低くして印刷するため、薄い色や細かい線などは印刷されない場合があります。

⑦ドライバによる色補正（カラー印刷のみ）
プリンタドライバによるカラー調整を行います。［ドライバによる色補正］を選択した場合は、以下の設定でカラー調整できます。

ガンマ（カラー印刷のみ）：
ガンマ値は、画像階調の入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位で、この値を変更することで中間調の明るさの見え方が変わります。

項目	説明
1.5	ガンマ値 1.8 に比べて柔らかい感じの画像を印刷することができます。
1.8	通常はこの設定で印刷してください。ガンマ値 1.5 に比べて立体感があり、メリハリのある画像を印刷することができます。
2.2	sRGB 対応製品と色合わせして印刷する場合に選択してください。

色補正方法（カラー印刷のみ）：
色の補正方法を選択できます。

項目	説明
自動（自然な色合い優先）	文字を鮮やかな色合いに、グラフィックとイメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
自動（鮮やかさ優先）	文字とグラフィックを鮮やかな色合いに、イメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
自然な色合い	より自然な発色になるようにカラー調整します。
鮮やかな色合い	より鮮やかな発色になるようにカラー調整します。
色補正なし	カラー調整しません。ColorSync 用プロファイルを作成する際の基準色を印刷するときに選択します。通常は、選択しないでください。

明度：
画像全体の明るさを調整します。

コントラスト：
画像全体のコントラスト（明暗比）を調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを下げると、画像の明暗の差が少なくなります。

彩度（カラー印刷のみ）：
画像全体の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。

シアン、マゼンタ、イエロー（カラー印刷のみ）：
各色の強さを調整します

	-25 ← 0 → +25	
シアン	赤みが強くなります。	青緑（シアン）が強くなります。
マゼンタ	緑色が強くなります。	赤紫（マゼンタ）が強くなります。
イエロー	青色が強くなります。	黄色（イエロー）が強くなります。

⑧ColorSync（カラー印刷のみ）
クリックしてチェックマークを付けると、ColorSync によるカラーマッチング（色合わせ）を行います。詳しくは、以下のページを参照してください。
☞ 本書 267 ページ「ColorSync について」

［両面印刷］ダイアログ

［基本設定］ダイアログで［両面印刷（手動）］/［両面印刷］＊をクリックして、［両面設定］ボタンをクリックすると、［両面設定］ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。

＊　オプションの両面印刷ユニットを装着すると、ダイアログの表示が［両面印刷（手動）］から［両面印刷］に変わります。

①とじる位置

両面印刷するときのとじる位置を選択します。

②とじしろ

両面印刷するときのとじしろ幅を、0 ～ 30mm の範囲で用紙の表と裏でそれぞれ設定します。

③1 ページ目

両面印刷する場合、印刷データの 1 ページ目を用紙の表から印刷するか裏から印刷するかを選択します。

両面印刷ユニットを使って自動両面印刷できる用紙については以下のページを参照してください。

本書 331 ページ「両面印刷について」

両面印刷するには

用紙の表裏、両面に印刷することができます。A4 サイズ（縦長）の印刷データを用紙の左側をとじられるように両面印刷する場合の手順は以下の通りです。

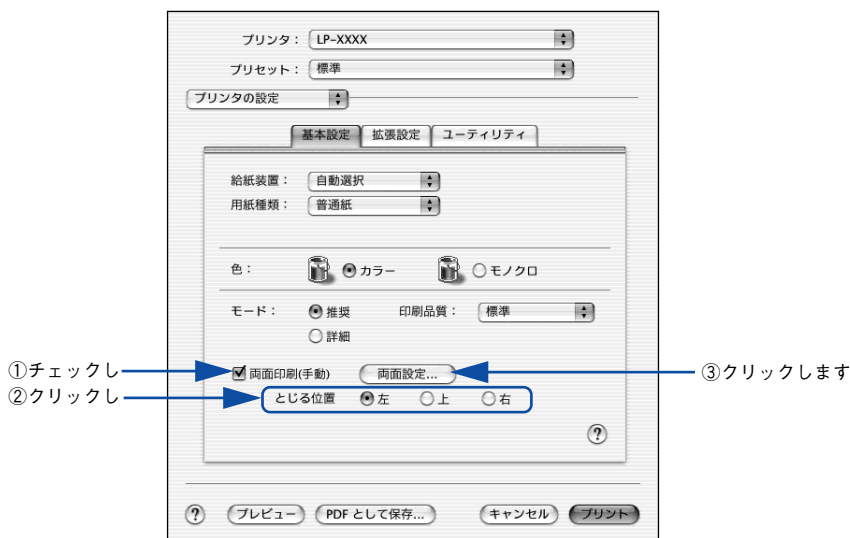
1. **プリンタに両面印刷が可能なサイズの用紙（ここではA4）がセットされていることを確認します。**

   本書 331 ページ「両面印刷について」

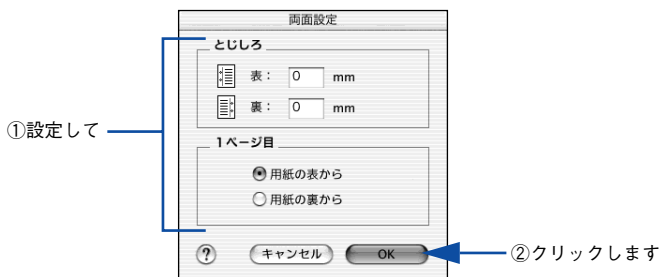
2. **プリンタドライバの［プリント］ダイアログを開きます。**

   本書 221 ページ「プリント設定」

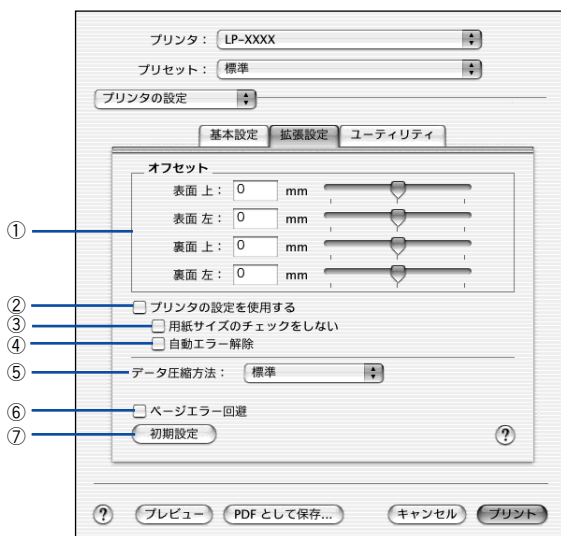
3. **［プリンタの設定］から［基本設定］ダイアログを開きます。**

4. **［両面印刷］（手動）/［両面印刷］をチェックして、［とじる位置］をクリックして選択し、［両面設定］ボタンをクリックします。**

参 考	オプションの両面印刷ユニットを装着すると、ダイアログの表示が［両面印刷(手動)］から［両面印刷］に変わります。

5 **［両面設定］ダイアログの以下の項目を設定します。**

各項目を設定してから、［OK］ボタンをクリックします。

6 **［プリント］ボタンをクリックして印刷を実行します。**

［拡張設定］ダイアログ

［プリンタの設定］ダイアログで［拡張設定］を選択すると、印刷に関わるさまざまな拡張機能を設定できます。

①オフセット

印刷開始位置のオフセット値を表面 / 裏面それぞれに対して［上］（垂直位置）と［左］（水平位置）で設定します。0.5mm 単位で、次の範囲で設定できます。

上（垂直位置）：-9mm（上方向）～ 9mm（下方向）

左（水平位置）：-9mm（左方向）～ 9mm（右方向）

②プリンタの設定を使用する

③［用紙サイズのチェックをしない］、④［自動エラー解除］の項目について、プリンタ本体とプリンタドライバどちらの設定を使用して印刷するかを選択できます。

- チェックマークを付けると、プリンタ本体の設定を使用して印刷します（プリンタドライバでは設定できません）。
- チェックマークを外すと、プリンタドライバでの設定を使用して印刷します（プリンタ本体の設定を無視します）。

③用紙サイズのチェックをしない

プリンタドライバで設定した用紙サイズとプリンタにセットした用紙サイズが合っているか確認しません。それぞれの用紙サイズが異なっていてもエラーを発生することなく印刷します。

④自動エラー解除

プリンタにエラーが発生したときに、一定時間（約 5 秒）経過後にエラー状態を自動的に解除する / しないを選択します。

⑤データ圧縮方法

プリンタドライバからプリンタに送る印刷データの圧縮方法を指定します。印刷結果の画質を優先する場合や、プリンタに送付する印刷データの容量を小さくしたい場合に設定します。

項目	説明
標準	通常はこの設定でお使いください。
画質優先	印刷結果の画質を優先したい場合に選択してください。この場合、通常よりも印刷に時間がかかります。
データサイズ優先	プリンタに送るデータサイズを小さくしたい場合に選択してください。印刷時間は早くなりますが、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

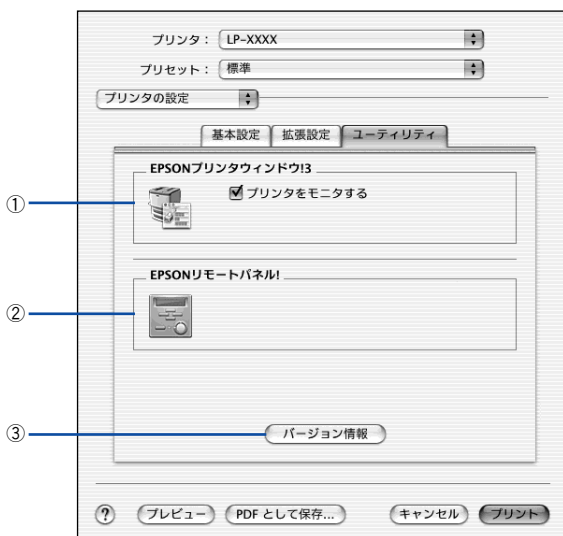
⑥ページエラー回避

ページエラー オーバーランが発生する場合はチェックしてください。チェックすると 1 ページ分のデータをすべて処理できてから印刷を開始して、ページエラーを回避することができます。

⑦初期設定

［拡張設定］ダイアログの設定を初期設定に戻します。

［ユーティリティ］ダイアログ

［プリンタの設定］ダイアログで［ユーティリティ］を選択すると、プリンタのユーティリティ機能を設定できます。

①EPSON プリンタウィンドウ !3

EPSON プリンタウィンドウ !3 を使って、プリンタをモニタする場合は［プリンタをモニタする］にチェックマークを付けます。また、アイコンをクリックすると、EPSON プリンタウィンドウ !3 の画面が表示されます。

本書 256 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」

②EPSON リモートパネル！

EPSON リモートパネル！を起動する場合に、アイコンをクリックします。

本書 265 ページ「EPSON リモートパネル！」

③［バージョン情報］ボタン

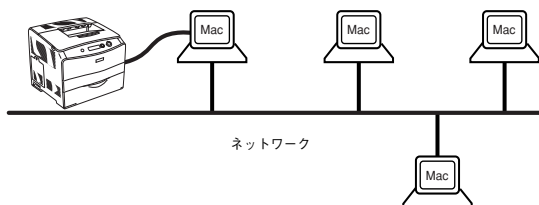
プリンタドライバのバージョン情報を示すダイアログが開きます。

［一覧］ダイアログ

［プリント］ダイアログで［一覧］を選択すると、［プリント］ダイアログのすべての設定を一覧で表示しますので、設定を一度に確認できます。

プリンタを共有するには

プリンタを直接接続した Macintosh がネットワーク環境に接続されていれば、プリンタをほかの Macintosh から共有することができます。

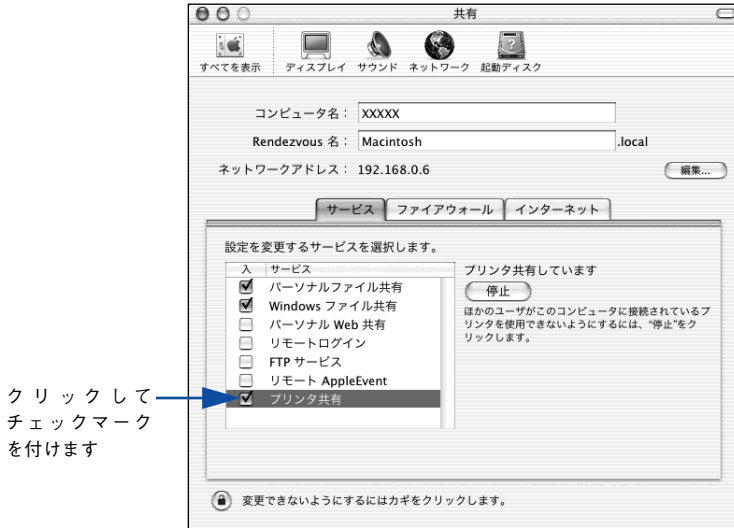
参考

- Mac OS X v10.2 以降のプリンタ共有機能は、各ユーザーの Macintosh が Mac OS X v10.2 以降で起動している場合のみご利用いただけます。
- ネットワーク環境に接続している場合は、ここでの手順に従って設定する必要はありません。ネットワーク上のどの Macintosh からでも直接［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］からプリンタを追加して印刷することができます。
  本書 216 ページ「印刷を始める前に」

プリンタを共有するには

ネットワーク上のほかのユーザーがプリンタを共有できるようにするには、プリンタを直接接続した Macintosh で以下の設定を行ってください。

1. **プリンタの電源をオン (I) にします。**

2. **［Dock］または［アプリケーション］フォルダから［システム環境設定］を開き［共有］をクリックします。**

3 ［プリンタ共有］をクリックしてチェックマークを付けます。

参考
- プリンタの共有を停止する場合は、［停止］をクリックします。
- 上記画面の［コンピュータ名］、［Rendezvous 名］、［ネットワークアドレス］は、ネットワーク環境によって異なります。

4 ［システム環境設定］メニューから［システム環境設定を終了］をクリックします。

以上で、共有の設定は終了です。

共有プリンタを使用するには

ネットワーク上の共有プリンタは、各ユーザーの［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］に自動的に追加されます。通常の方法でアプリケーションソフトの［ページ設定］ダイアログや［プリント］ダイアログを設定して印刷してください。

参考
- Mac OS X v10.2 以降のプリンタ共有機能は、各ユーザーの Macintosh が Mac OS X v10.2 以降で起動している場合のみご利用いただけます。
- 共有プリンタの電源がオフ（〇）でも、各ユーザーの［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］に共有プリンタが表示されたままの場合があります。
- 共有プリンタを直接接続している Macintosh がシステム終了すると、共有プリンタは各ユーザーの［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］から自動的に消えます。
- 各ユーザーの［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］に複数のプリンタが追加されている場合は、共有プリンタをデフォルトプリンタとして選択するか、印刷のたびに共有プリンタを選択してください。

EPSON プリンタウィンドウ !3 とは

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、プリンタの状態をコンピュータ上でモニタできるユーティリティです。また、ネットワークプリンタをモニタしてプリントジョブ情報を表示したり印刷終了のメッセージを表示することもできます。

プリンタエラーを表示します

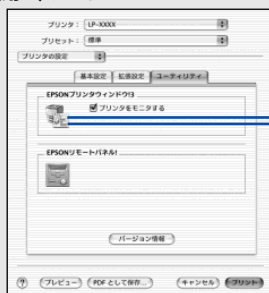
ポップアップウィンドウ

印刷を実行すると、プリンタのモニタを開始し、エラー発生時や消耗品残量が少なくなったときなどのプリンタの状態を表示します。

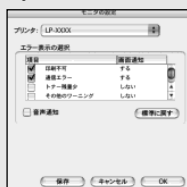
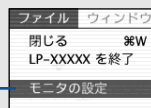
［プリンタ詳細］ウィンドウ

プリンタの状態やトナー、用紙などの消耗品の残量をコンピュータのモニタ上で知ることができます。

EPSON プリンタウィンドウ !3 の画面を開くには

［ユーティリティ］ダイアログの EPSON プリンタウィンドウ !3 アイコンをクリックすると、［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。

動作環境を設定するには

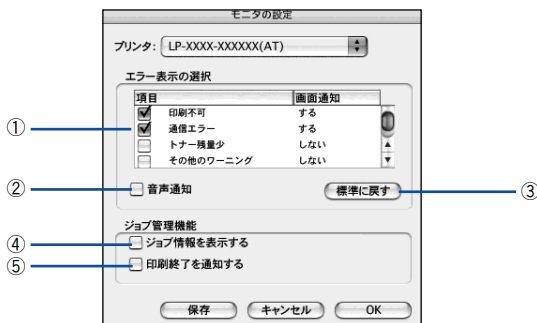
［モニタの設定］ダイアログ

どのような場合にエラー表示するかなどを設定できます。

EPSON プリンタウィンドウ !3 の［ファイル］メニューから［モニタの設定］ダイアログを開くことができます。

ジョブ管理を行うための条件

ジョブ管理機能を使用するには、プリンタが以下の条件でネットワーク接続されている必要があります。

- Open Transport Ver. 1.1.1 以上

[モニタの設定] ダイアログ

EPSON プリンタウィンドウ!3 を起動して、[ファイル] メニューから [モニタの設定] をクリックすると、[モニタの設定] ダイアログが表示されます。EPSON プリンタウィンドウ!3 のモニタ機能を設定します。

①エラー表示の選択

選択項目にあるエラーまたはワーニングを、画面通知するかどうかを選択します。リスト内のエラー状況を選択して[通知する] チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、チェックマークを付けたエラーまたはワーニングが発生したときにポップアップウィンドウが現れ、対処方法が表示されます。

②音声通知

エラー発生時に音声 * でも通知します。

* お使いの Macintosh のサウンド機能が有効な（消音でない）場合のみ。

③[標準に戻す] ボタン

[エラー表示の選択] を標準（初期）設定に戻します。

④ジョブ情報を表示する

ジョブ管理ができる場合に、[プリンタ詳細] ウィンドウにジョブ情報を表示します。

☞ 本書 262 ページ「[ジョブ情報] ウィンドウ」

⑤印刷終了を通知する

ジョブ管理ができる場合に、ジョブの印刷終了時にメッセージを表示します。

☞ 本書 263 ページ「[印刷終了通知] ダイアログ」

参考	ネットワークプリンタのジョブ情報がモニタできるように設定されている場合に、[ジョブ情報を表示する] と [印刷終了を通知する] が表示されます。 ☞本書 257 ページ「ジョブ管理を行うための条件」

プリンタの状態を確かめるには

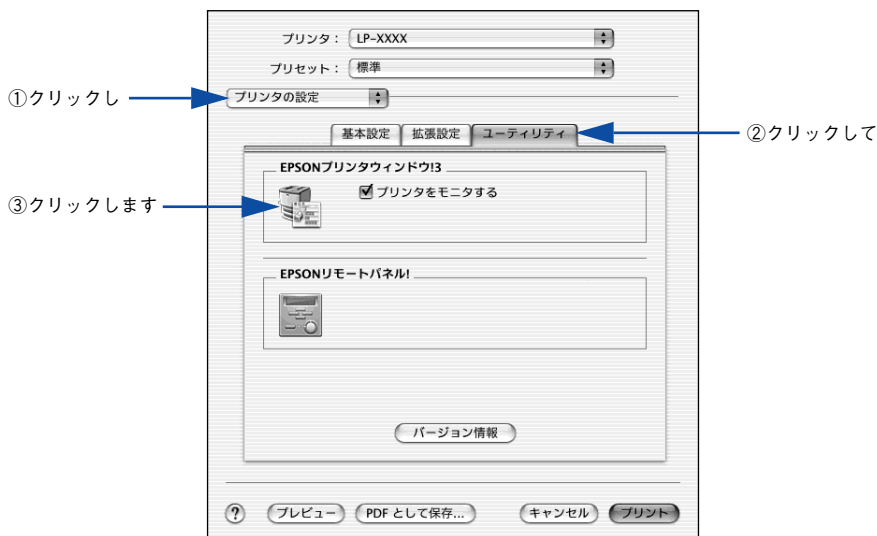
EPSON プリンタウィンドウ !3 でプリンタの状態を確かめるために、次の方法で［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。この［プリンタ詳細］ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。また、印刷中にエラーが発生した場合も［プリンタ詳細］ウィンドウを表示することができます。

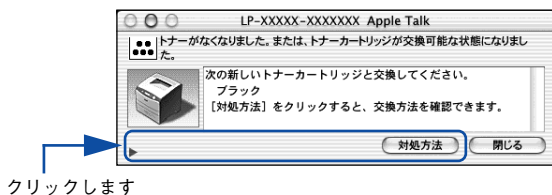
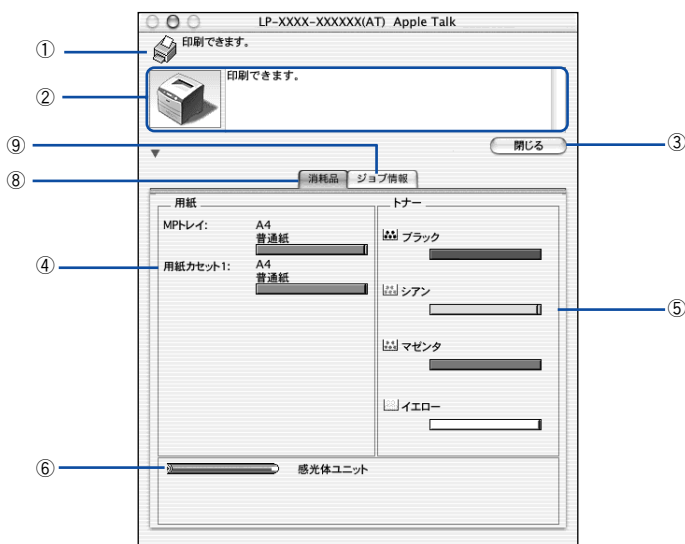
本書 260 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

参 考 EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動する前に、監視したいプリンタが［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］で追加 / 選択されているか確認してください。

［プリンタ詳細］ウィンドウの起動方法

［プリンタの設定］ダイアログで［ユーティリティ］を選択して［EPSON プリンタウィンドウ !3］のアイコンをクリックします。EPSON プリンタウィンドウ !3 が起動し、［プリンタ詳細］ウィンドウが表示されます。

参考

アプリケーションソフトから印刷を実行中にエラーが発生した場合、プリンタの状態を示すポップアップウィンドウがコンピュータのモニタ上に表示されます。

- ▶（[消耗品詳細]）ボタンをクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わります。
- エラーが発生して［対処方法］ボタンが表示された場合は、ボタンをクリックすると対処方法を説明するダイアログが表示されます。

クリックします

[プリンタ詳細] ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ !3 の [プリンタ詳細] ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。

①アイコン / メッセージ

プリンタの状態に合わせてアイコンが表示され、状況をお知らせします。

②プリンタ / メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

本書 264 ページ「対処が必要な場合は」

③[閉じる] ボタン

ウィンドウを閉じます。

④用紙

給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類(タイプ)、そして用紙残量の目安を表示します。

⑤トナー

セットされているトナーカートリッジがあとどれくらい使用できるか、寿命の目安を表示します。

⑥感光体ユニット

セットされている感光体ユニットがあとどれくらい使用できるか、寿命の目安を表示します。

⑧消耗品

ジョブ管理ができる場合に［消耗品］ウィンドウを表示させるときにクリックします。

⑨ジョブ情報

ジョブ管理ができる場合に［ジョブ情報］ウィンドウを表示させるときにクリックします。

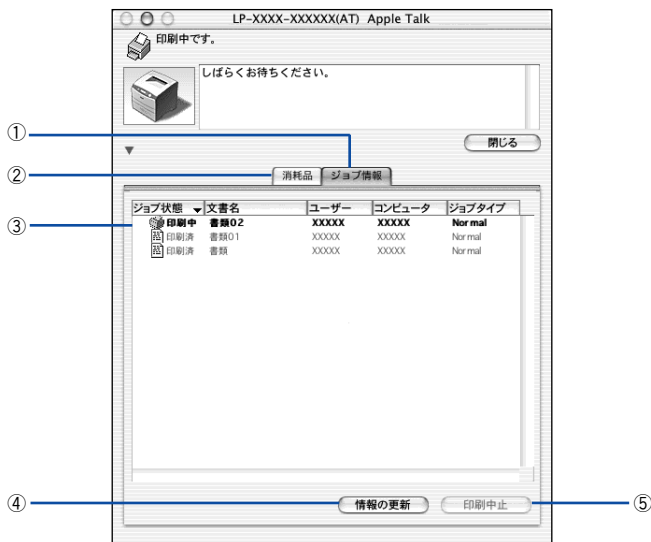
本書262ページ「［ジョブ情報］ウィンドウ」

参考

ネットワークプリンタのジョブ情報がモニタできるように設定されている場合に、［ジョブ情報］が表示されます。

本書257ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

［ジョブ情報］ウィンドウ

ネットワークプリンタのジョブ情報がモニタできるように設定されている場合に表示され、プリントジョブ情報を表示します。

①ジョブ情報

ネットワークプリンタに印刷した情報を表示します。

②消耗品

［プリンタ詳細］ウィンドウで消耗品に関する情報を表示します。

本書 260 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

③ジョブリスト

コンピュータにスプール中のジョブ、ジョブの状態（待機中、印刷中、印刷済、削除中、削除済）、文書名、ユーザー名、コンピュータ名、ジョブタイプを、ジョブごとに表示します。リスト一番左の赤い矢印は、印刷中のジョブのうち実際に印刷を行っているジョブを表しています。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブに関しては、以下の情報は表示しません。

- 印刷済みジョブと削除済みジョブ
- 待機中または印刷中の文書名

参考　プリンタを直接（ローカル）接続したコンピュータから印刷されたジョブは表示されません。

④［情報の更新］ボタン

最新のジョブ情報をプリンタから取得して、リストの表示を更新します。

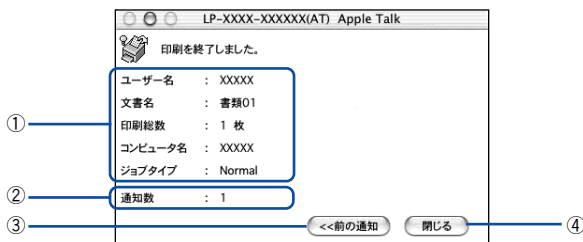
⑤［印刷中止］ボタン

印刷を中止するには、ジョブリストに表示されている印刷中または待機中のジョブをクリックして選択し、［印刷中止］ボタンをクリックします。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブの印刷を中止することはできません。

参 考	印刷中止を実行した後でエラーが発生した場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 のメッセージに従ってエラーを解除してください。 本書 264 ページ「対処が必要な場合は」

［印刷終了通知］ダイアログ

印刷の終了が通知できるように設定されている場合は、ジョブの印刷終了時にメッセージを表示します。設定方法については、以下のページを参照してください。

本書 257 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

①印刷終了通知

印刷が終了したジョブのユーザー名、文書名、印刷総数、コンピュータ名、ジョブタイプを表示します。

②通知数

印刷終了通知の通知数を表示します。

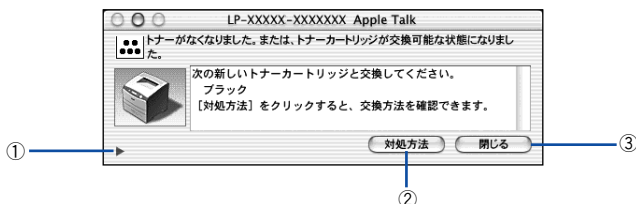
③前の通知

クリックすると、1 つ前の終了通知を表示します。通知数が 0 になった場合（終了通知がすべてなくなった場合）はグレーアウトされます。

④［閉じる］ボタン

印刷の終了を確認したら、クリックしてダイアログを閉じます。

対処が必要な場合は

プリンタに何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 のポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れ、メッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。メッセージのエラーが解除されると自動的にウィンドウが閉じます。

ポップアップウィンドウの下側に、いくつかのボタンがあります。

① ▶（[消耗品詳細]）ボタン

クリックすると、[プリンタ詳細] ウィンドウに切り替わり、消耗品の詳細な情報を表示します。

本書 260 ページ「[プリンタ詳細] ウィンドウ」

②[対処方法] ボタン

順を追って対処方法を詳しく説明します。

③[閉じる] ボタン

ポップアップウィンドウを閉じます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

EPSON リモートパネル！

現在のプリンタの状態、設定値や消耗品の情報などを記載したステータスシートを印刷するには、EPSON リモートパネル！をお使いください。なお、コンピュータとプリンタ間の通信方向により、印刷されるステータスシートが以下のように異なります。

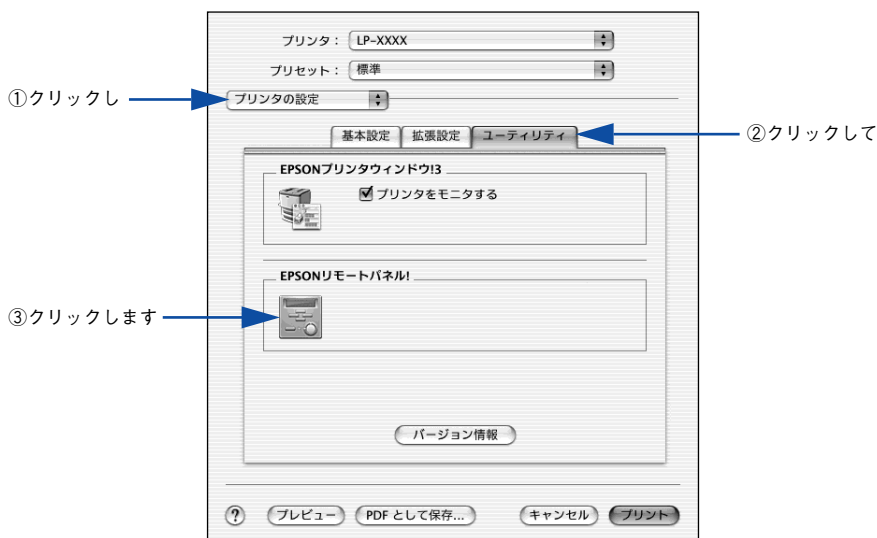
- 双方向通信時：カラー印刷される日本語表記の標準ステータスシート（プリンタの設定情報が取得できる場合）
- 単方向通信時：モノクロ印刷されるカタカナ表記 * の簡易ステータスシート（プリンタの設定情報が取得できない場合）

  * 操作パネルの［プリンタセッテイメニュー］で［ヒョウジゲンゴ］が［English］の場合は、英語表記になります。

397 ページ「ステータスシートでの確認」

EPSON リモートパネル！の操作方法

1 プリンタの電源をオン（ I ）にします。

2 ［プリンタの設定］ダイアログで［ユーティリティ］を選択して、［EPSON リモートパネル！］アイコンをクリックします。

3 プリンタ名（LP-V500）を確認して、［ステータスシート］ボタンをクリックします。

＜例＞ USB 接続の場合

参考

- プリンタの情報が取得できない場合は、警告メッセージが表示されます（プリンタ名は表示されません）。プリンタが正しく接続されているか、またプリンタの電源がオンになっているかどうか確認してください。
- 本機では［設定］ボタンは使用しません（クリックできません）。

4 ［終了］ボタンをクリックします。

＜例＞ USB 接続の場合

以上でステータスシートの印刷は終了です。

ColorSync について

ColorSync とは

例えばスキャナで取り込んだ画像を印刷する場合、原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いは完全には一致しません。これは、それぞれの機器の色の表現方法の違い、階調表現力の違い、またディスプレイ表示のクセ（偏った色表示をする）などが原因です。

このような場合の原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いをできるだけ一致（カラーマッチング）させるためのカラーマネージメントシステムとしてMacintoshではColorSyncがあります。本機は、このColorSync 3.0に対応しています。

参 考 この ColorSync によるカラーマッチングを行うには、画像入力機器、画像取り込みアプリケーションソフト、画像出力機器、すべてが ColorSync に対応している必要があります。

ColorSync を使用して印刷するには

本機で ColorSync を使用する場合は、次の基本手順に従ってください。

1 正確な色を再現できるように、ディスプレイのカラー調整（モニタキャリブレーション）を行います。

ディスプレイの調整が正しく行えない場合や、ディスプレイの劣化により正しく色を再現できない 場合は、ディスプレイとプリンタの色を正確に合わせることができません。調整方法は、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照してください。

2 ColorSyn で使用するディスプレイプロファイルを選択します。

最適なディスプレイプロファイルについては、お使いのディ スプレイの取扱説明書を参照してください。

① [アプリケーション] ー [ユーティリティ] フォルダを開いて [ColorSync ユーティリティ] アイコンをダブルクリックします。
② [装置] アイコンをクリックします。
③ [登録済みの ColorSync 装置] リストにある [ディスプレイ] の三角マークをクリックして、表示されたディスプレイプロファイルをクリックします。
④ [現在のプロファイル] メニュー（三角マーク）を クリックし、[その他] をクリックします。
⑤ 使用するディスプレイに適したプロファイルをダイアログから選択します。

参 考 ディスプレイプロファイルの保存場所は、[ColorSync ユーティリティ] の [プロファイル] アイコンをクリックして探せます。

3 **アプリケーションソフトで、ColorSync を設定にします。**

設定方法は、お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

4 **印刷実行時に、ColorSync を設定します。**

［カラー / グラフィック設定］ダイアログで［ColorSync］を選択します。

本書 243 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」

参考

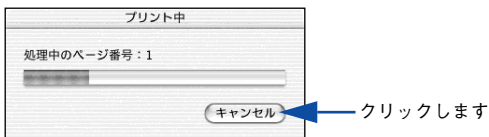
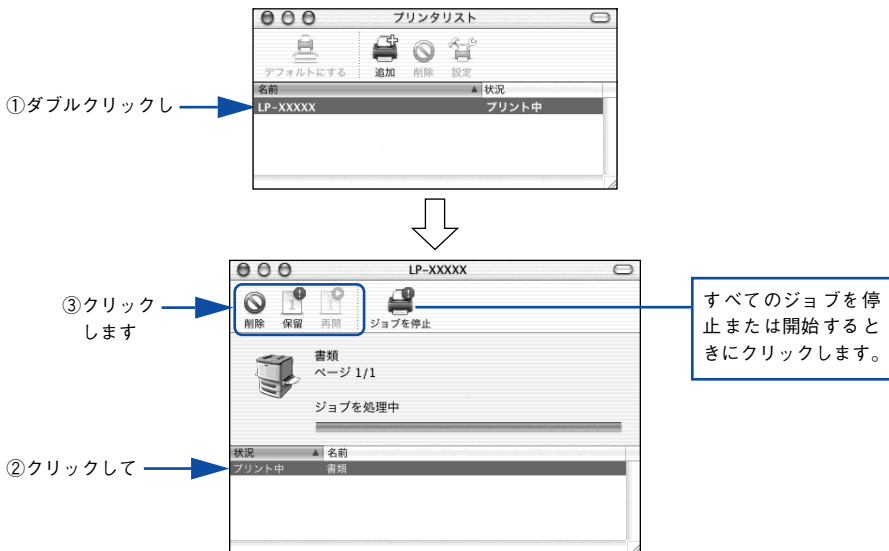
- ColorSync を使って印刷する画像をスキャナで取り込むときは、スキャナのドライバ（例 EPSON Scan）で ColorSync を選択してから画像を取り込んでください。
- ColorSync を使用する場合は、アプリケーションソフトを RGB モードに設定して作業してください。CMYK や Lab モードでは、正しく色合わせすることができません。
- 一部のアプリケーションソフト（Adobe PageMaker 7.0J 以降、Photoshop 6.0J 以降、Illustrator 10.0J 以降など）では、ソフトウェア上で ColorSync の設定が行えます。この場合は、プリンタドライバの［カラー / グラフィック設定］ダイアログで［ドライバによる色補正］を選択して、［色補正方法］を［色補正なし］に設定してください。

印刷の中止方法

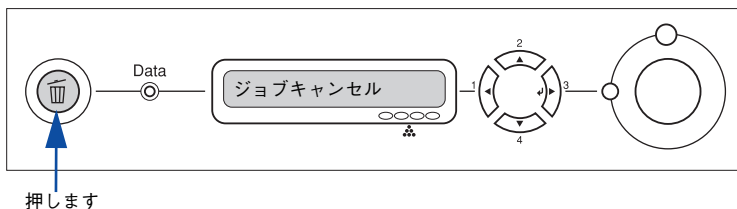
印刷処理を中止するときは、以下の方法でプリンタ上の印刷データを削除します。

プリンタドライバからの中止方法

コンピュータ上の処理が続いているときは、以下のいずれかの方法で削除します。

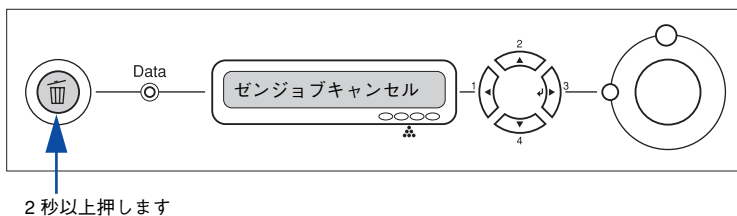
- **アプリケーションソフトによっては、印刷中にダイアログを表示するものがあります。印刷中のダイアログが表示されている場合は、印刷を中止するボタン（［キャンセル］など）をクリックして印刷を強制的に終了します。**

- **印刷中は［Dock］に［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］が現れます。［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］を開き、印刷中のジョブを選択して削除（または保留 / 再開）できます。**

印刷中の最後のページが排紙されると、プリンタの印刷可ランプが点灯します。

プリンタ本体での中止方法

● 印刷中のデータを削除するには［ジョブキャンセル］スイッチを押します。

押します

印刷中のデータ（ジョブ単位）が削除されます。

● プリンタが受信したすべての印刷データを削除するには［ジョブキャンセル］スイッチを約2秒間押し続けます。

2秒以上押します

プリンタが受信したすべての印刷データが消去されます。

プリンタソフトウェアの削除方法

プリンタソフトウェアを削除する手順は以下の通りです。

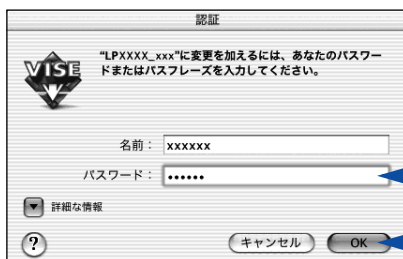
参考	プリンタソフトウェアのアンインストール（削除）は、管理者権限をお持ちの方が行ってください。

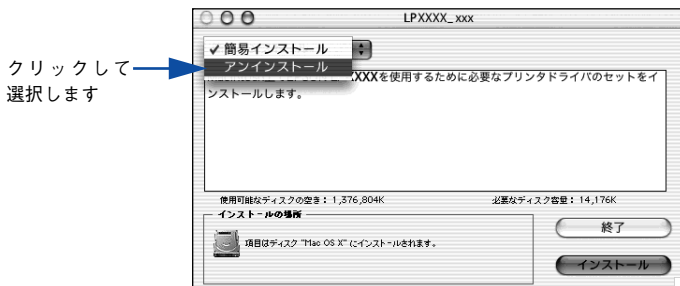
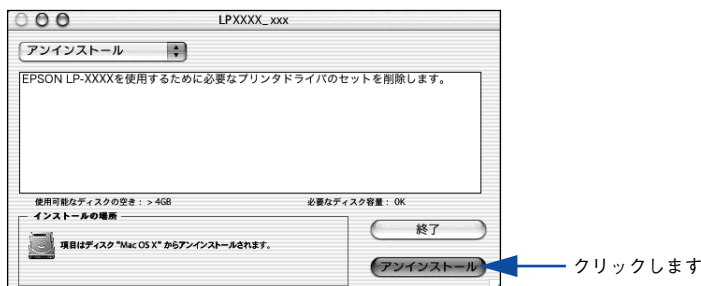
1. 起動しているアプリケーションソフトを終了し、Macintosh を再起動します。

2. EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を Macintosh にセットします。

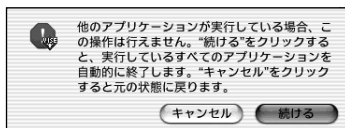
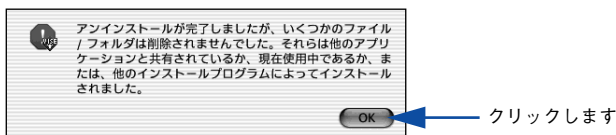
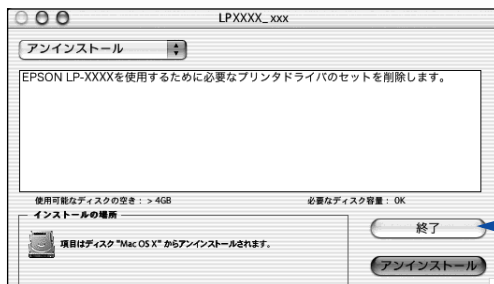
3. デスクトップ上の［EPSON］CD-ROM アイコンをダブルクリックして開きます。

4. EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM 内の［Mac OS X 専用ソフトウェア］－［プリンタドライバ］の順に開き、［LPV500_xxx*］をダブルクリックします。
［プリンタドライバ］フォルダが表示されていない場合は、［インストーラ］アイコンが表示されているフォルダ内を下にスクロールしてください。
* 例えば「10a」のようにインストーラのバージョンを表示します。

5. ［パスワード］を入力して［OK］をクリックします。

6. 使用許諾契約書の画面が表示されたら［同意］をクリックします。

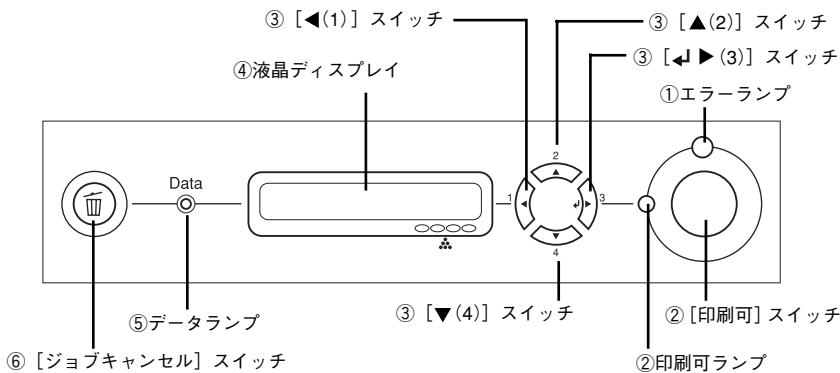
7 インストーラの画面左上にあるメニューから［アンインストール］を選択します。

8 ［アンインストール］ボタンをクリックします。

プリンタソフトウェアの削除が始まります。

参 考

以下の画面が表示された場合、起動しているアプリケーションソフトが強制的に終了されても問題がないかを確認して［続ける］ボタンをクリックします。アプリケーションソフトを強制的に終了すると作成中のデータが消えてしまう場合などは、［キャンセル］ボタンをクリックしてアンインストールを中断し、アプリケーションソフトを終了してから、プリンタソフトウェアをアンインストールしてください。

9 ［OK］ボタンをクリックします。

⑩ ［終了］ボタンをクリックします。

以上でプリンタソフトウェアの削除は終了です。

操作パネルからの設定

操作パネルから設定する場合の説明と、メッセージの内容やスイッチ操作によって実行できる機能について説明しています。

操作パネルの概要

①エラーランプ

エラーが発生したときに点滅または点灯します。

②［印刷可］スイッチ / ランプ

ランプは、印刷できる状態のときに点灯します。スイッチは、プリンタの状態によって処理が異なります。

ランプの状態	プリンタの状態	［印刷可］スイッチの機能
［印刷可］ランプ点灯	印刷可状態	印刷可 / 印刷不可状態を切り替えます。
［印刷可］ランプ消灯、データランプ点灯	印刷不可状態	約 2 秒間押すと、受信している印刷データの最初のページのみ印刷して排紙します。
エラーランプ点滅	自動復帰できるエラーが発生	エラーを解除して印刷可状態へ自動的に復帰します。
エラーランプ点灯	自動復帰できないエラーが発生	適切な処置を行ってエラー状態を解消すると、自動的に印刷可能状態に復帰します。［印刷可］スイッチを押す必要はありません。

③［◀(1)］/［▲(2)］/［↵ ▶(3)］/［▼(4)］スイッチ

設定モードで、プリンタの設定を変更したり、機能を実行するときに使用する設定モードスイッチです。詳しくは、以下のページを参照してください。

☞ 本書 276 ページ「操作パネルによる設定」

④液晶ディスプレイ

プリンタの状態や、機能の設定値を表示します。また、右側にあるトナー色表示（ ○○○○ ）に合わせて、CMYK トナーの残量（目安）を液晶ディスプレイ上に表示します。

⑤データランプ

印刷データが残っているときや処理中に点灯または点滅します。

⑥［ジョブキャンセル］スイッチ

押し方	処理
1 回押す	処理中の印刷データ（ジョブ単位）をキャンセルします。
約 2 秒間押す	処理中の印刷データをすべて削除します。

操作パネルによる設定

ここでは、操作パネルでの設定変更の方法と設定モードの詳細について説明します。通常の印刷に必要な設定はプリンタドライバで設定できますので、基本的に操作パネルで設定する必要はありません。また、操作パネルとプリンタドライバの双方で設定できる項目は、基本的にプリンタドライバの設定が優先されます。ただし、一部の設定項目については、どちらの設定を優先するかをプリンタドライバで選択することができます。

Windows：本書 68 ページ「[拡張設定］ダイアログ」
Mac OS 9：本書 175 ページ「[拡張設定］ダイアログ」
Mac OS X：本書 250 ページ「[拡張設定］ダイアログ」

参 考

操作パネルの設定には、一部の項目および設定値はそれに関するオプションが装着されているときのみ表示されるものがあります。

設定項目の内容をご覧いただき、必要な場合のみ操作パネルで設定してください。ただし、以下の項目については通常の印刷であっても設定する必要があります。

- MP トレイから給紙する場合
  →セットした用紙のサイズとタイプ（種類）を設定してください。
  本書 286 ページ「キュウシソウチメニュー」
- オプションの増設 1 段カセットユニットから給紙する場合
  →セットした用紙のサイズとタイプ（種類）を設定してください。
  本書 286 ページ「キュウシソウチメニュー」

操作パネルで設定を変更する際の注意事項

操作パネルで設定を変更する場合は、次の点に注意してください。

- 下記のメニューはプリンタの持つ特性を実行するためのものです。設定値は変更できません。

設定メニュー	設定項目
プリンタジョウホウメニュー	ステータスシート ネットワークジョウホウ *1 USB ガイブキキジョウホウ *2
リセットメニュー	ワーニングクリア オールワーニングクリア リセット リセットオール セッテイショキカ C トナーカートリッジコウカン M トナーカートリッジコウカン Y トナーカートリッジコウカン K トナーカートリッジコウカン
USB I/F セッテイメニュー	USB カイブキキショキカ *2

*1 ［ネットワークI/F セッテイメニュー］の［ネットワーク I/F］が［ツカウ］に設定されている場合のみ表示されます。

*2 EPSON 製無線プリントアダプタ（型番：PA-W11G）が接続されている場合のみ表示されます。ただし［USB I/F］が［ツカワナイ］に設定されている場合は表示されません。

- 下記のメニューはプリンタの状態を表示するのみで、設定値は変更できません。

設定メニュー	設定項目
プリンタジョウホウメニュー	C トナーザンリョウ M トナーザンリョウ Y トナーザンリョウ K トナーザンリョウ カンコウタイライフ ノベインサツマイスウ カラーインサツマイスウ B/W インサツマイスウ

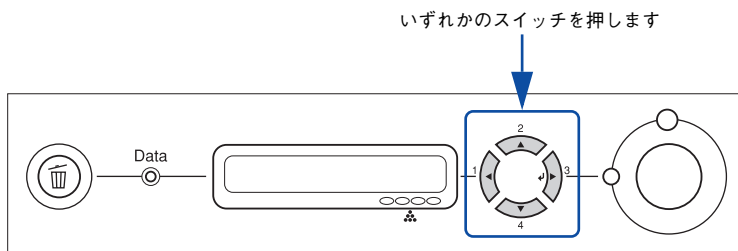
操作手順の概要

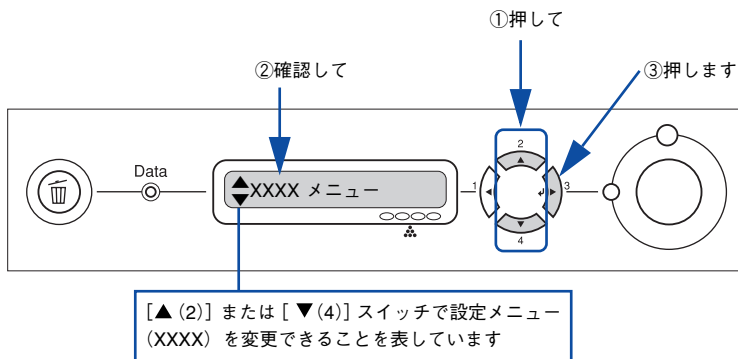
操作パネルでプリンタの設定を変更する場合は、液晶ディスプレイに［インサツカノウ］または［セツデン］と表示されている状態から、次の手順で操作します。

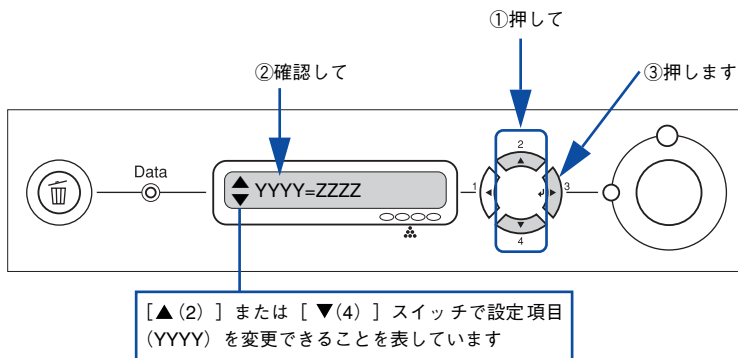
1 以下のページを参照して、変更または実行したい設定メニュー、設定項目、設定値を確認します。

本書 281 ページ「設定項目の説明」

2 液晶ディスプレイ右のいずれかのスイッチを押して、設定モードに入ります。

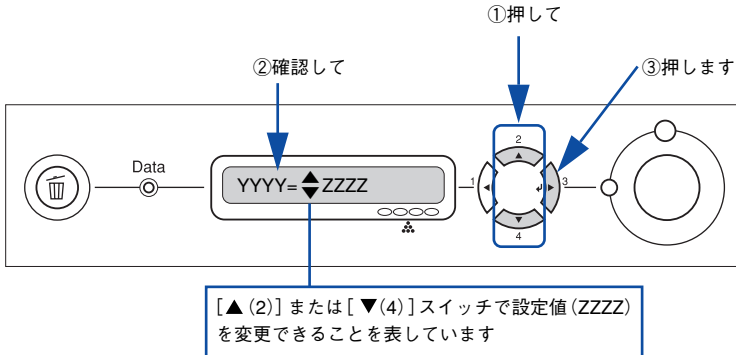
設定モードに入ると、液晶ディスプレイに［プリンタジョウホウメニュー］と表示されます。

3 設定メニューを選択します。

①［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して設定メニューの表示を切り替えます。
② 1 で確認した設定メニューが表示されていることを確認します。
③［↵▶(3)］スイッチを押します。
　次の手順（設定項目の階層）へ進みます。

4 **設定項目を選択します。**

① [▲(2)] または [▼(4)] スイッチを押して設定項目（YYYY）の表示を切り替えます。
② **1** で確認した設定項目が表示されていることを確認します。
③ 設定値を変更する設定項目の場合は、[↵▶(3)] スイッチを押します。なお、設定値を表示するだけの設定項目や設定値のない設定項目もあります。

- 液晶ディスプレイに設定項目（YYYY）と設定値（ZZZZ）が表示されている場合は、次の **5**（設定値の階層）へ進んでください。

- 液晶ディスプレイに設定項目（YYYY）だけが表示されている場合は、設定項目（YYYY）の機能が実行されます。ここで操作は終了です。機能実行後に、自動的に設定モードを抜けて通常の操作モードへ戻ります。

5 **設定値を選択します。**

①［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して設定値（ZZZZ）の表示を切り替えます。
② ❶ で確認した設定値が表示されていることを確認します。
③［↵▶(3)］スイッチを押します。
設定値が有効になり、設定項目の階層へ戻ります。

参考

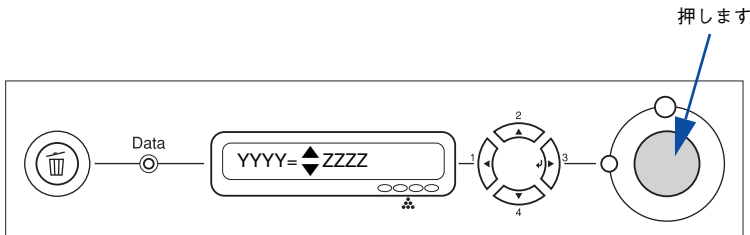
- ［↵▶(3)］スイッチを押さないと、設定値が有効になりません。必ず押してください。
- 一部の設定は、プリンタの電源を一旦オフにして、再度オンにしてから有効になります。詳細は、以下のページを参照してください。
  本書 281 ページ「設定項目の説明」

6 **さらに設定を変更する場合は、❸ から ❹ までの手順を繰り返します。**

- ほかの設定メニューへ移動する場合は、［◀(1)］スイッチを 1 回押します。
- 設定を終了する場合は、❼ へ進みます。

7 **［印刷可］スイッチを押して、設定モードを終了します。**

- ［印刷可］スイッチを押すと、設定の途中でも［インサツカノウ］または［セツデン］と表示されている状態へ戻ることができます。
- ［◀(1)］スイッチを押すと、ひとつ前の階層へ戻ります。

設定モードが終了し、［インサツカノウ］または［セツデン］状態に戻ります。

設定項目の説明

本機は、用途に合わせてさまざまな設定ができます。ここでは、設定モードで変更できる設定メニューや設定項目、および設定値について説明します。

参考

- 次の一覧表で設定値の欄に「–」と記載している設定項目には、変更する設定値がありません。[↵ ▶ (3)] スイッチを押すと、各項目の設定を表示または印刷したり、機能を実行します。
- プリンタに取り付けていないオプション用の設定は表示されません。

[　　　] で表示された項目は、プリンタドライバで設定可能な項目です。この項目の設定は、プリンタドライバの設定が優先されます。ただし、プリンタドライバの［拡張設定］ダイアログで［プリンタの設定を使用する］を選択した場合、［ヨウシサイズフリー］と［ジドウエラーカイジョ］は操作パネルの設定が優先されます。

☞ Windows：本書 68 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 175 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 250 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

設定メニュー	設定項目	設定値	ページ
プリンタジョウホウメニュー	ステータスシート	–	285
	ネットワークジョウホウ *1	–	285
	USB ガイブキキジョウホウ *2	–	285
	C トナーザンリョウ	–	285
	M トナーザンリョウ	–	285
	Y トナーザンリョウ	–	285
	K トナーザンリョウ	–	285
	カンコウタイライフ	–	285
	ノベインサツマイスウ	–	285
	カラーインサツマイスウ	–	285
	B/W インサツマイスウ	–	285

設定メニュー	設定項目	設定値	ページ
キュウシソウチメニュー	MP トレイヨウシサイズ	A4（初期設定）、A5、B5、ハガキ（郵便ハガキ）、W ハガキ（往復郵便ハガキ）、Q ハガキ（4 連郵便ハガキ）、LT（Letter）、HLT（Half Letter）、GLT（Government Letter）、EXE（Executive）、ヨウ 0（洋形 0 号）、ヨウ 4（洋形 4 号）、ヨウ 6（洋形 6 号）、チョウ 3（長形 3 号）、チョウ 4（長形 4 号）、カク 3（角形 3 号）	286
	カセットヨウシサイズ *3	A4（初期設定）、LT（Letter）	286
	MP トレイタイプ	フツウシ（普通紙 / 初期設定）、ジョウシツシ（上質紙）、レターヘッド、サイセイシ（再生紙）、イロツキ（色付き）、OHP シート、ラベル	286
	カセットタイプ *3	フツウシ（普通紙 / 初期設定）、ジョウシツシ（上質紙）、レターヘッド、サイセイシ（再生紙）、イロツキ（色付き）	286
プリンタセッテイメニュー	ヒョウジゲンゴ	ニホンゴ（初期設定）、English	287
	セツデンジカン	30min（初期設定）、60min、120min、180min	287
	MP トレイ	ユウセンスル（初期設定）、ユウセンシナイ、	287
	ヨウシサイズフリー	OFF（初期設定）、ON	287
	ジドウエラーカイジョ	シナイ（初期設定）、スル	287
	LCD コントラスト	0 ～ 15（初期設定 7）	287
リセットメニュー	ワーニングクリア	－	288
	オールワーニングクリア	－	288
	リセット	－	288
	リセットオール	－	288
	セッテイショキカ	－	288
	C トナーカートリッジコウカン	－	288
	M トナーカートリッジコウカン	－	288
	Y トナーカートリッジコウカン	－	288
	K トナーカートリッジコウカン	－	288
パラレル I/F セッテメニュー	パラレル I/F*4	ツカウ（初期設定）、ツカワナイ	289
	ソウホウコウ *4	ECP（初期設定）、ニブル	289

設定メニュー	設定項目	設定値	ページ
USB I/F セッテイメニュー	USB I/F*4	ツカウ（初期設定）、ツカワナイ	290
	USB SPEED*4	HS（初期設定）、FS	290
	USB ガイブキキセッテイ *5	シナイ（初期設定）、スル	290
	IP アドレスセッテイ *6	パネル、ジドウ、PING	290
	IP*6	0.0.0.0 ～255.255.255.255 *7	291
	SM*6	0.0.0.0 ～255.255.255.255	291
	GW*6	0.0.0.0 ～255.255.255.255	291
	NetWare*6	ON、OFF	291
	AppleTalk*6	ON、OFF	291
	MS Network*6	ON、OFF	291
	Rendezvous*6	ON、OFF	291
	USB ガイブキキショキカ *6	ー	291
ネットワーク I/F セッテイメニュー	ネットワーク I/F*4	ツカウ（初期設定）、ツカワナイ	292
	ネットワークセッテイ *8	シナイ（初期設定）、スル	292
	IP アドレスセッテイ *9	ジドウ（初期設定）、PING、パネル	292
	IP*9	0.0.0.0 ～255.255.255.255 （初期設定：192.168.192.168）*10	292
	SM*9	0.0.0.0 ～255.255.255.255 （初期設定：255.255.255.0）	292
	GW*9	0.0.0.0 ～255.255.255.255 （初期設定：255.255.255.255）	293
	AppleTalk*9	ON（初期設定）、OFF	293
	MS Network*9	ON（初期設定）、OFF	293
	Rendezvous*9	ON（初期設定）、OFF	293
	Link Speed*9	AUTO（初期設定）、100 Full、 100 Half、10 Full、10 Half	293

*1 ［ネットワークI/F セッテイメニュー］の［ネットワーク I/F］が［ツカウ］に設定されている場合のみ表示されます。

*2 オプションの無線プリントアダプタ装着時で、[USB I/F セッテイメニュー］の［USB I/F］が［ツカウ」に設定されている場合のみ表示されます。

*3 オプションの増設 1 段カセットユニット装着時のみ表示されます。

*4 設定を変更した場合は、プリンタの電源を一旦オフにして、再度オンにする必要があります（電源を再度オンにした後に、設定が有効となります）。

*5 オプションの無線プリントアダプタ装着時のみ表示されます。[USB ガイブキキセッテイ］を［スル］に設定しても、設定モードから抜けると［シナイ］に戻ります（［スル］の状態で設定した機能は有効です）。

*6 オプションの無線プリントアダプタが装着され、[USB ガイブキキセッテイ］を［スル］に設定すると、設定が表示されて変更できるようになります（初期設定値はオプションの無線プリントアダプタ側で保持しており、[USB ガイブキキショキカ］を実行すると元の初期設定値に戻ります）。

*7 ［USB I/F セッテイメニュー］の［IP アドレスセッテイ］を［ジドウ］に設定すると、DHCP サーバから取得した IP アドレスが表示されて設定を変更できません。また、[IP アドレスセッテイ］を［パネル］または［PING］に設定した際の IP アドレスは記憶されますので、[IP アドレスセッテイ］を［ジドウ］から［パネル］または［PING］に戻した場合はその記憶した設定値を表示します。

*8 ［ネットワークセッテイ］を［スル］に設定しても、設定モードから抜けると［シナイ］に戻ります（［スル］の状態で設定した機能は有効です）。

*9 ［ネットワークセッテイ］を［スル］に設定すると、設定が表示されて変更できるようになります。

*10 ［ネットワーク I/F セッテイメニュー］の［IP アドレスセッテイ］を［ジドウ］に設定すると、DHCP サーバから取得した IP アドレスが表示されて設定を変更できません。また、［IP アドレスセッテイ］を［パネル］または［PING］に設定した際の IP アドレスは記憶されますので、［IP アドレスセッテイ］を［ジドウ］から［パネル］または［PING］に戻した場合はその記憶した設定値を表示します（［192.168.192.168］は、操作パネルで設定を行っていない場合の初期設定値です）。

プリンタジョウホウメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ステータスシート	現在のプリンタ設定の一覧（ステータスシート）を印刷します。
設定値	－	設定値はありません。［↵▶(3)］スイッチを押して印刷します。
設定項目	ネットワークジョウホウ	［ネットワークセッテイメニュー］の［ネットワーク I/F］を［ツカウ］に設定してプリンタを起動したときのみ表示されます。ネットワークインターフェイスに関する情報を印刷します。
設定値	－	設定値はありません。［↵▶(3)］スイッチを押して印刷します。
設定項目	USB ガイブキキジョウホウ	オプションの無線プリントアダプタ（型番：PA-W11G）が接続され、［USB I/F セッテイメニュー］の［USB I/F］を［ツカウ］に設定してプリンタを起動したときのみ表示されます。接続したオプションの無線プリントアダプタ（型番：PA-W11G）に関する情報を印刷します。
設定値	－	設定値はありません。［↵▶(3)］スイッチを押して印刷します。
設定項目	C トナーザンリョウ	C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）それぞれの ET カートリッジ内のトナーの残量を 7 段階で表示します。
	M トナーザンリョウ	
	Y トナーザンリョウ	
	K トナーザンリョウ	
設定値	－	表示のみで変更はできません。 ［印刷可］スイッチを押して終了します。
設定項目	カンコウタイライフ	感光体ユニットの寿命を 7 段階で表示します。
設定値	－	表示のみで変更はできません。 ［印刷可］スイッチを押して終了します。
設定項目	ノベインサツマイスウ	プリンタを購入してから現在までに印刷した累計枚数を表示します。
設定値	－	表示のみで変更はできません。 ［印刷可］スイッチを押して終了します。
設定項目	カラーインサツマイスウ	プリンタが現在までにカラー印刷した枚数を表示します。
設定値	－	表示のみで変更はできません。 ［印刷可］スイッチを押して終了します。
設定項目	B/W インサツマイスウ	プリンタが現在までにモノクロ印刷した枚数を表示します。
設定値	－	表示のみで変更はできません。 ［印刷可］スイッチを押して終了します。

キュウシソウチメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	MP トレイヨウシサイズ	MP トレイにセットした用紙サイズを設定します。
設定値	A4（初期設定）、A5、B5、ハガキ（郵便ハガキ）、W ハガキ（往復郵便ハガキ）、Q ハガキ（4 連郵便ハガキ）、LT（Letter）、HLT（Half Letter）、GLT（Government Letter）、EXE（Executive）、ヨウ 0（洋形 0 号）、ヨウ 4（洋形 4 号）、ヨウ 6（洋形 6 号）、チョウ 3（長形 3 号）、チョウ 4（長形 4 号）、カク3（角形 3 号）	

設定項目	カセットヨウシサイズ	オプションの増設 1 段カセットユニット装着時のみ表示されます。
設定値	A4（初期設定）、LT（Letter）	

設定項目	MP トレイタイプ	MP トレイにセットした用紙タイプを設定します。同じサイズで異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。
設定値	フツウシ（普通紙 / 初期設定）、ジョウシツシ（上質紙）、レターヘッド、サイセイシ（再生紙）、イロツキ（色付き）、OHP シート、ラベル	

設定項目	カセットタイプ	オプションの増設 1 段カセットユニット装着時のみ表示され、用紙カセットにセットした用紙タイプを設定します。給紙装置ごとに異なるタイプの用紙をセットして使用する場合、給紙装置ごとに用紙のタイプを設定してください。同じサイズで異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。
設定値	フツウシ（普通紙 / 初期設定）、ジョウシツシ（上質紙）、レターヘッド、サイセイシ（再生紙）、イロツキ（色付き）	

プリンタセッテイメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ヒョウジゲンゴ	液晶ディスプレイの表示を、日本語にするか、英語にするかを選択します。
設定値	ニホンゴ（初期設定）	日本語で表示します。
	English	英語で表示します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	セツデンジカン	印刷待機時の消費電力を節約できます。最後の印刷が終了してから、設定した時間が経過すると節電状態になります。節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとウォーミングアップを行ってから、印刷を開始します。
設定値	30min（初期設定）	節電状態になるまでの時間を 30 分に設定します。
	60min	節電状態になるまでの時間を 60 分に設定します。
	120min	節電状態になるまでの時間を 120 分に設定します。
	180min	節電状態になるまでの時間を 180 分に設定します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	MP トレイ	［給紙装置］の設定が［自動選択］、かつ標準の MP トレイとオプション増設 1 段カセットユニットの用紙カセットに同サイズの用紙がセットされている場合に、MP トレイからの給紙を優先するかどうかを設定します。
設定値	ユウセンスル（初期設定）	MP トレイからの給紙を優先します。
	ユウセンシナイ	用紙カセット（オプションの増設 1 段カセットユニット）からの給紙を優先します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ヨウシサイズフリー	［ヨウシコウカン xxxxx yyyy］のエラーを表示するかしないかを設定します。
設定値	OFF（初期設定）	上記のエラー状態を検出した場合、エラーメッセージを表示します。
	ON	上記のエラーメッセージを表示しません。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ジドウエラーカイジョ	［ページエラーオーバーラン］、［ヨウシコウカン xxxxx yyyy］、［メモリオーバー　メモリガタリマセン］、［リョウメンインサツ　デキマセン］、［リョウメンインサツ　メモリガタリマセン］、のエラーが発生した場合、自動的にエラーを解除するか、そのまま動作を一時停止するかを設定します。
設定値	シナイ（初期設定）	上記のエラーが発生した場合、プリンタの動作を一時停止します。［印刷可］スイッチまたは［ジョブキャンセル］スイッチを押すと、印刷を再開します。
	スル	上記のエラーが発生した場合、メッセージを約 5 秒間表示した後、エラーを自動的に解除して動作を継続します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	LCD コントラスト	液晶ディスプレイに表示される文字の濃度を設定します。
設定値	0 ～ 15 （初期設定 7）	数字が小さいほど薄く、大きいほど濃く表示されます。

リセットメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ワーニングクリア	操作パネルの液晶ディスプレイに表示されているすべてのワーニングメッセージ（消耗品など交換部品に関するもの以外）を消します。
設定値	ー	設定値はありません。[↵ ▶(3)] スイッチを押して実行します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	オールワーニングクリア	操作パネルの液晶ディスプレイに表示されているすべてのワーニングメッセージを消します。
設定値	ー	設定値はありません。[↵ ▶(3)] スイッチを押して実行します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	リセット	プリンタをリセットします。液晶ディスプレイに「リセットシテクダサイ」と表示されたときに行ってください。現在稼働中のインターフェイスに対して、メモリに保存された印刷データを破棄します。
設定値	ー	設定値はありません。[↵ ▶(3)] スイッチを押して実行します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	リセットオール	プリンタをリセットオールします。電源をオンにした直後の状態までプリンタを初期化するときに行ってください。すべてのインターフェイスに対してメモリに保存された印刷データを破棄します。
設定値	ー	設定値はありません。[↵ ▶(3)] スイッチを押して実行します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	セッテイショキカ	プリンタのパネル設定値（インターフェイスの設定は除く *）をすべて初期化します（工場出荷時の設定に戻します）。
設定値	ー	設定値はありません。[↵ ▶(3)] スイッチを押して実行します。

＊ インターフェイスの設定を含めたすべてのパネル設定値を初期化するには、[ジョブキャンセル] スイッチを押したまま本機の電源をオンにします。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	C トナーカートリッジコウカン M トナーカートリッジコウカン Y トナーカートリッジコウカン K トナーカートリッジコウカン	設定項目で選択した色の ET カートリッジを交換します。選択した色の ET カートリッジが交換位置で停止します。
設定値	ー	設定値はありません。[↵ ▶(3)] スイッチを押して実行します。[オマチクダサイ] から [✻トナーカートリッジコウカン] へ表示が変わったら、A カバーを開けてから指定✻（C, M, Y, K）色の ET カートリッジを交換し、A カバーを閉じます。

参 考

- トナーが残り少なくなり [✻✻✻✻トナーガスクナクナリマシタ] と表示されてトナーを交換する場合は、上記の設定項目で交換するトナーを指定して ET カートリッジを交換してください。
- トナーが完全に無くなると、液晶ディスプレイに [✻✻✻✻トナーカートリッジコウカン] と表示され、トナーの無くなった ET カートリッジが交換位置で停止します（上記の設定項目で交換するトナー色を指定する必要はありません）。新しい ET カートリッジと交換するまで、印刷は再開できません。

パラレル I/F セッテイメニュー

パラレルインターフェイスに対する設定項目です。変更した設定を有効にするには、必ず設定後にリセットオールまたは電源を一旦オフにして、再度オンにしてください。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	パラレル I/F	パラレルインターフェイスを使用するかしないか（インターフェイス自動選択の対象に含めるかどうか）を選択します。
設定値	ツカウ（初期設定）	パラレルインターフェイスを使用します。
	ツカワナイ	パラレルインターフェイスを使用しません。

設定項目	ソウホウコウ	パラレルインターフェイスの双方向通信（IEEE 1284 準拠）のモード設定を行います。
設定値	ECP（初期設定）	双方向通信について、ECP モードに対応します。
	ニブル	双方向通信について、ニブルモードに対応します。

参考

- ［ニブル］と［ECP］は、どちらも双方向通信のモードです。
- ［ECP］で使用するには、コンピュータのパラレルインターフェイスやアプリケーションソフトが ECP モードに対応している必要があります。
- コンピュータやアプリケーションソフトで特に指定がない場合は［ニブル］に設定してください。

USB I/F セッテイメニュー

USB インターフェイスおよび USB インターフェイスに装着したオプションの無線プリントアダプタ（型番：PA-W11G）に対する設定項目です。変更した設定を有効にするには、設定後約 5 秒（設定した内容をプリンタに保存する間）待ってからリセットオールまたは電源を一旦オフにして、再度オンにしてください。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	USB I/F	USB インターフェイスを使用するかしないか（インターフェイス自動選択の対象に含めるかどうか）を選択します。
設定値	ツカウ（初期設定）	USB インターフェイスを使用します。
	ツカワナイ	USB インターフェイスを使用しません。

設定項目	USB SPEED	USB インターフェイスの動作モードを選択します。お使いの機器に対応したモードを選択してください。詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
設定値	HS（初期設定）	すべての USB 接続機器に対応しています。通常は、この設定で使用します。
	FS	［HS］で正しく動作しない場合は、この設定で使用します。

設定項目	USB ガイブキキセッテイ	装着したオプションの無線プリントアダプタの設定を、操作パネルで行うか行わないかを選択します。
設定値	シナイ（初期設定）	ネットワークの設定項目は設定できなくなります。プリンタが印刷可能な状態になると、自動的に［シナイ］に設定され、設定を変更できなくなります。
	スル	操作パネルでネットワークの設定を行うときに選択します。

設定項目	IP アドレスセッテイ	TCP/IP の IP アドレスの設定方法を選択します。［USB ガイブキキセッテイ］を［スル］に設定した場合に設定できます。
設定値	パネル（初期設定）	IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイアドレスの値として、操作パネルで設定した値を使用します。
	ジドウ	ネットワーク上にある DHCP サーバから IP アドレスを自動取得します。
	PING	ネットワークから ARP コマンド /PING コマンドで設定した IP アドレスの値を使用します。

参 考

- 操作パネルから IP アドレスを設定する方法については、以下のページを参考にしてください。
  本書 295 ページ「IP アドレスを操作パネルから設定するには」
- ARP コマンド /PING コマンドからの IP アドレスを設定する方法については、オプションの無線プリントアダプタ（型番：PA-W11G）の取扱説明書をご覧ください。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	IP*	TCP/IP の IP アドレスを設定します。[USB ガイブキキセッテイ] を［スル］に設定した場合に設定できます。
設定値	000.000.000.000 ～ 255.255.255.255	任意の値に設定します。設定値はネットワーク管理者にお尋ねください。

* ［USB I/F セッテイメニュー］の［IP アドレスセッテイ］を［ジドウ］に設定すると表示されません。

設定項目	SM	TCP/IP の Subnet Mask を設定します。[USB ガイブキキセッテイ］を［スル］に設定した場合に設定できます。
設定値	000.000.000.000 ～ 255.255.255.255	任意の値に設定します。設定値はネットワーク管理者にお尋ねください。

設定項目	GW	TCP/IP の Gateway アドレスを設定します。[USB ガイブキキセッテイ］を［スル］に設定した場合に設定できます。
設定値	000.000.000.000 ～ 255.255.255.255	任意の値に設定します。設定値はネットワーク管理者にお尋ねください。

設定項目	NetWare	オプションの無線プリントアダプタ（型番：PA-W11G）を装着した本機がNetWare 環境で使用できるかどうかを選択します。[USB ガイブキキセッテイ］を［スル］に設定した場合に設定できます。
設定値	ON（初期設定）	NetWare 環境で使用できます。
	OFF	NetWare 環境で使用できません。

設定項目	AppleTalk	オプションの無線プリントアダプタ（型番：PA-W11G）を装着した本機が AppleTalk ネットワークで使用できるかどうかを選択します。[USB ガイブキキセッテイ］を［スル］に設定した場合に設定できます。
設定値	ON（初期設定）	AppleTalk ネットワークで使用できます。
	OFF	AppleTalk ネットワークで使用できません。

設定項目	MS Network	オプションの無線プリントアダプタ（型番：PA-W11G）を装着した本機が MS Network を使用できるかどうかを選択します。[USB ガイブキキセッテイ］を［スル］に設定した場合に設定できます。
設定値	ON（初期設定）	MS Network を使用できます。
	OFF	MS Network を使用できません。

設定項目	Rendezvous	オプションの無線プリントアダプタ（型番：PA-W11G）を装着した本機が Rendezvous を使用できるかどうかを選択します。[USB ガイブキキセッテイ］を［スル］に設定した場合に設定できます。
設定値	ON（初期設定）	Rendezvous を使用できます。
	OFF	Rendezvous を使用できません。

設定項目	USB ガイブキキショキカ	オプションの無線プリントアダプタ（型番：PA-W11G）の設定を初期化します。[USB ガイブキキセッテイ］を［スル］に設定した場合に実行できます。
設定値	ー	設定値はありません。[↵ ▶（3）］スイッチを押して実行します。

ネットワーク I/F セッテイメニュー

本機のネットワークインターフェイスに対する設定項目です。変更した設定を有効にするには、設定後約 5 秒（設定した内容をプリンタに保存する間）待ってからリセットオールまたは電源を一旦オフにして、再度オンにしてください。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ネットワーク I/F	ネットワークインターフェイスを使用するかしないか（インターフェイス自動選択の対象に含めるかどうか）を選択します。
設定値	ツカウ（初期設定）	ネットワークインターフェイスを使用します。
	ツカワナイ	ネットワークインターフェイスを使用しません。

設定項目	ネットワークセッテイ	ネットワークインターフェイスの設定を、操作パネルで行うか行わないかを選択します。
設定値	シナイ（初期設定）	ネットワークの設定項目は設定できなくなります。プリンタが印刷可能な状態になると、自動的に［シナイ］に設定され、設定を変更できなくなります。
	スル	操作パネルでネットワークの設定を行うときに選択します。

設定項目	IP アドレスセッテイ	TCP/IP の IP アドレスの設定方法を選択します。［ネットワークセッテイ］を［スル］に設定した場合に設定できます。
設定値	ジドウ（初期設定）	ネットワーク上にある DHCP サーバから IP アドレスを自動取得します。
	PING	ネットワークから ARP コマンド /PING コマンドで設定した IP アドレスの値を使用します。
	パネル	IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイアドレスの値として、操作パネルで設定した値を使用します。

参考

- 操作パネルから IP アドレスを設定する方法については、以下のページを参照してください。
本書 295 ページ「IP アドレスを操作パネルから設定するには」
- ARP コマンド /PING コマンドからの IP アドレスを設定する方法については、同梱の「ネットワーク設定ガイド」（PDF）をご覧ください。

設定項目	IP*	TCP/IP の IP アドレスを設定します。［ネットワークセッテイ］を［スル］に設定した場合に設定できます。
設定値	000.000.000.000 ～ 255.255.255.255	任意の値に設定します。設定値はネットワーク管理者にお尋ねください。

* ［ネットワーク I/F セッテイメニュー］の［IP アドレスセッテイ］を［ジドウ］に設定すると表示されません。

設定項目	SM	TCP/IP の Subnet Mask を設定します。［ネットワークセッテイ］を［スル］に設定した場合に設定できます。
設定値	000.000.000.000 ～ 255.255.255.255	任意の値に設定します。設定値はネットワーク管理者にお尋ねください。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	GW	TCP/IP の Gateway アドレスを設定します。［ネットワークセッテイ］を［スル］に設定した場合に設定できます。
設定値	000.000.000.000 ～ 255.255.255.255	任意の値に設定します。設定値はネットワーク管理者にお尋ねください。

設定項目	AppleTalk	本機が AppleTalk ネットワークで使用できるかどうかを選択します。［ネットワーク セッテイ］を［スル］に設定した場合に設定できます。
設定値	ON（初期設定）	AppleTalk ネットワークで使用できます。
	OFF	AppleTalk ネットワークで使用できません。

設定項目	MS Network	本機が MS Network を使用できるかどうかを選択します。［ネットワークセッテイ］を［スル］に設定した場合に設定できます。
設定値	ON（初期設定）	MS Network を使用できます。
	OFF	MS Network を使用できません。

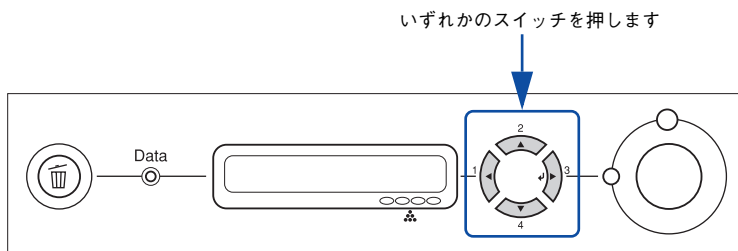
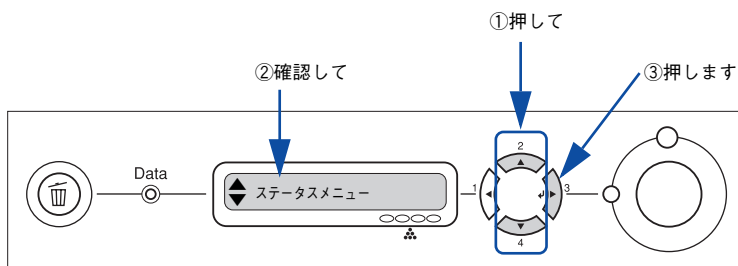
設定項目	Rendezvous	本機が Rendezvous を使用できるかどうかを選択します。［ネットワークセッテイ］を［スル］に設定した場合に設定できます。
設定値	ON（初期設定）	Rendezvous を使用できます。
	OFF	Rendezvous を使用できません。

設定項目	Link Speed	ネットワークインターフェイスのデータ転送速度 / 通信方式を設定します。［ネットワークセッテイ］を［スル］に設定した場合に実行できます。
設定値	Auto（初期設定）	データ転送速度 / 通信方式を自動判別します。
	100 Full	100BASE-TX 全二重のデータ転送速度 / 通信方式に設定します。
	100 Half	100BASE-TX 半二重のデータ転送速度 / 通信方式に設定します。
	10 Full	10BASE-T 全二重のデータ転送速度 / 通信方式に設定します。
	10 Half	10BASE-T 半二重のデータ転送速度 / 通信方式に設定します。

発生しているワーニングを確認するには

現在発生しているワーニングを液晶ディスプレイで確認することができます。

1 液晶ディスプレイ下のいずれかのスイッチを押して、設定モードに入ります。

設定モードに入ると、液晶ディスプレイに［プリンタジョウホウメニュー］と表示されます。

2 ［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して［ステータスメニュー］を表示させ、［↵▶(3)］スイッチを押します。

現在のワーニングメッセージが液晶ディスプレイに表示されます。複数のワーニングが発生している場合は、［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押すと、ワーニングメッセージの表示が切り替わります。

IP アドレスを操作パネルから設定するには

ネットワークインターフェイスの IP アドレスなどの TCP/IP の設定は、プリンタの操作パネルから変更できます。ここでは、IP アドレスを操作パネルから設定する方法を説明します。

参考

- 操作パネル以外の設定方法については、同梱の「ネットワーク設定ガイド」（PDF）をご覧ください。
- IP アドレスの取得方法には［パネル］［ジドウ］［PING］のいずれかを選択できますが、操作パネルから IP アドレスの設定を行う場合は、［パネル（初期設定）］を選択してください。

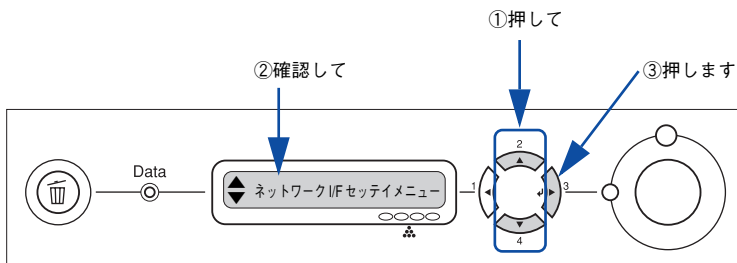
標準ネットワークインターフェイスとオプションの無線プリントアダプタ（型番：PA-W11G）によって、IP アドレスの設定手順が多少異なります。

標準ネットワークインターフェイスの場合

本機の標準ネットワークインターフェイスの設定は以下の手順に従ってください。

1 液晶ディスプレイ下のいずれかのスイッチを押して、設定モードに入ります。

設定モードに入ると、液晶ディスプレイには［プリンタジョウホウメニュー］と表示されます。

2 ［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して［ネットワークI/F セッテイメニュー］を表示させ、［↵ ▶(3)］スイッチを押します。

③ 液晶ディスプレイに[ネットワーク I/F =ツカウ]と表示されていることを確認します。

[ネットワーク I/F =ツカワナイ] になっている場合は、次の操作を行います。
① [↲▶(3)] スイッチを押して設定値の階層に進みます。
② [▲(2)] または [▼(4)] スイッチを押して、[ネットワーク I/F =ツカウ] にします。
③ [↲▶(3)] スイッチを押します。

④ [▲(2)] または [▼(4)] スイッチを押して [ネットワークセッテイ] を表示させ、設定値を [シナイ] から [スル] にします。

① [ネットワークセッテイ=シナイ] の表示で [↲▶(3)] スイッチを押して、設定値の階層に進みます。
② [▲(2)] または [▼(4)] スイッチを押して [ネットワークセッテイ=スル] にします。
③ [↲▶(3)] スイッチを押します。

⑤ [▲(2)] または [▼(4)] スイッチを押して [IP アドレスセッテイ=パネル] に設定します。

[IP アドレスセッテイ=ジドウ] または [IP アドレスセッテイ= PING] になっている場合は、次の操作を行います。
① [↲▶(3)] スイッチを押して設定値の階層に進みます。
② [▲(2)] または [▼(4)] スイッチを押して、[IP アドレスセッテイ=パネル] にします。
③ [↲▶(3)] スイッチを押します。

⑥ 各アドレスを設定します。

① [▲(2)] または [▼(4)] スイッチを押して、設定するアドレスを選択します。

設定項目	意味
IP	IP アドレスを設定します。(初期設定:192.168.192.168)
SM	サブネットマスクを設定します。(初期設定:255.255.255.0)
GW	ゲートウェイアドレスを設定します。(初期設定:255.255.255.255)

② [↲▶(3)] スイッチを押して設定値の階層に進みます。
③ [◀(1)] または [↲▶(3)] スイッチを押して 1/2/3/4 バイト目を選択し、[▲(2)] または [▼(4)] スイッチを押して希望の数値を選択します。
④ [↲▶(3)] スイッチを押します。

⑦ 各アドレスの設定が終了したら、[印刷可] スイッチを押します。

設定モードを終了して [インサツカノウ] と表示されますが、ネットワークインターフェイスの初期化が終了するまでしばらくお待ちください。

注意

設定直後は、ネットワークインターフェイスの初期化(ネットワークインターフェイスのランプが赤色に点灯)が行われるため、プリンタの電源をオフにしたり、プリンタをリセットまたはリセットオールしたり、[ネットワークジョウホウ] を印刷したりしないでください。

8 **ネットワーク設定を有効にします。**

プリンタの電源をオフ（○）にして再度電源をオン（｜）にするか、設定モードの［リセットメニュー］から［リセットオール］を実行します。

> **参考**
> IP アドレスが正しく登録されたか確認するには、ネットワークインターフェイスの初期化が終了してから、［プリンタジョウホウメニュー］の［ネットワークジョウホウ］を印刷してください。
> 本書 285 ページ「プリンタジョウホウメニュー」

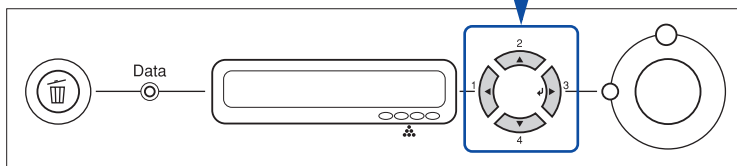
以上でネットワークインターフェイスの IP アドレスなどの設定は終了です。

オプションの無線プリントアダプタの場合

オプションの無線プリントアダプタ（型番：PA-W11G）の設定は以下の手順に従ってください。

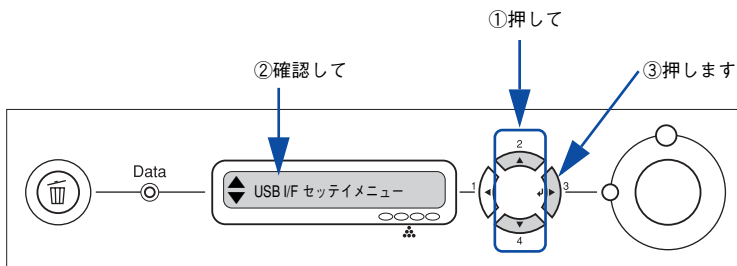
1 **液晶ディスプレイ下のいずれかのスイッチを押して、設定モードに入ります。**

設定モードに入ると、液晶ディスプレイには［プリンタジョウホウメニュー］と表示されます。

いずれかのスイッチを押します

2 **［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して［USB I/F セッテイメニュー］を表示させ、［↵ ▶(3)］スイッチを押します。**

①押して

②確認して

③押します

3 **液晶ディスプレイに［USB I/F ＝ツカウ］と表示されていることを確認します。**

［USB I/F ＝ツカワナイ］になっている場合は、次の操作を行います。
① ［↵ ▶(3)］スイッチを押して設定値の階層に進みます。
② ［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して、［USB I/F ＝ツカウ］にします。
③ ［↵ ▶(3)］スイッチを押します。

4 **［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して［USB ガイブキキセッテイ］を表示させ、設定値を［シナイ］から［スル］にします。**

① ［USB ガイブキキセッテイ＝シナイ］の表示で［↵ ▶(3)］スイッチを押して、設定値の階層に進みます。
② ［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して［USB ガイブキキセッテイ＝スル］にします。
③ ［↵ ▶(3)］スイッチを押します。

5 **［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して［IP アドレスセッテイ＝パネル］に設定します。**

［IP アドレスセッテイ＝ジドウ］または［IP アドレスセッテイ＝ PING］になっている場合は、次の操作を行います。
① ［↵ ▶(3)］スイッチを押して設定値の階層に進みます。
② ［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して、［IP アドレスセッテイ＝パネル］にします。
③ ［↵ ▶(3)］スイッチを押します。

6 **各アドレスを設定します。**

① ［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して、設定するアドレスを選択します。

設定項目	意味
IP	IP アドレスを設定します。
SM	サブネットマスクを設定します。
GW	ゲートウェイアドレスを設定します。

② ［↵ ▶(3)］スイッチを押して設定値の階層に進みます。
③ ［◀(1)］または［↵ ▶(3)］スイッチを押して 1/2/3/4 バイト目を選択し、［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して希望の数値を選択します。
④ ［↵ ▶(3)］スイッチを押します。

7 **各アドレスの設定が終了したら、［印刷可］スイッチを押します。**

設定モードを終了して［インサツカノウ］と表示されますが、オプションの無線プリントアダプタの初期化が終了するまでしばらくお待ちください。

注 意

設定直後は、オプションの無線プリントアダプタの初期化（NETWORK/DATA ランプが消灯し、USB ランプが緑点滅）が行われるため、プリンタの電源をオフにしたり、プリンタをリセットまたはリセットオールしたり、[USB ガイブキキジョウホウ] を印刷したりしないでください。ランプの点灯状態については、無線プリントアダプタ（型番：PA-W11G）の取扱説明書を参照してください。

8 ステータスシートを印刷して、設定が有効になっていることを確認します。

ステータスシートを印刷するには、オプションの無線プリントアダプタの初期化（NETWORK/DATA ランプが消灯し、USB ランプが緑点滅）が終了してから、[プリンタジョウホウメニュー] の [USB ガイブキキジョウホウ] を印刷してください。

☞ 本書 285 ページ「プリンタジョウホウメニュー」

以上でオプションの無線プリントアダプタの IP アドレスなどの設定は終了です。

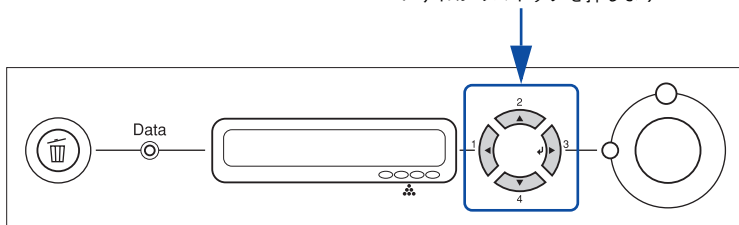
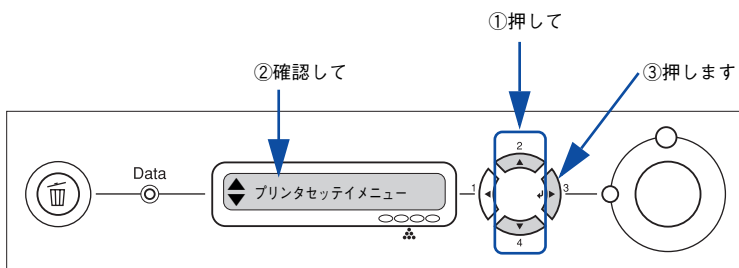
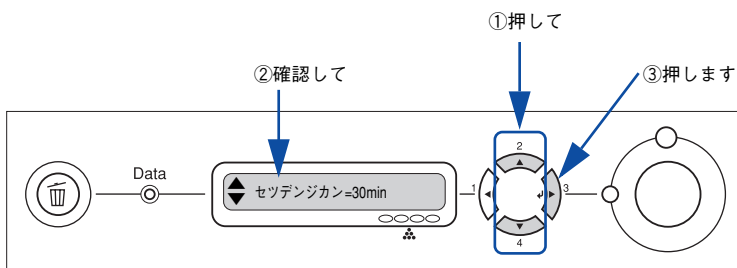
印刷待機時の消費電力を効率よく節約するには

節電機能とは、印刷待機時の消費電力を節約する機能です。設定時間（初期設定は30分）が経過すると節電状態になります。使用状況に応じて設定時間を変更することにより、効率的に消費電力を節約できます。ここでは、操作パネルから節電状態に入るまでの時間を設定する方法を説明します。

参考

- 変更した設定は、すべてのインターフェイスに対して有効です。
- 節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまずウォーミングアップを行いますので、印刷開始まで数分かかる場合があります。

1 **液晶ディスプレイ下のいずれかのスイッチを押して、設定モードに入ります。**

設定モードに入ると、液晶ディスプレイには［プリンタジョウホウメニュー］と表示されます。

2 **［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して［プリンタセッテイメニュー］を表示させ、［↵▶(3)］スイッチを押します。**

3 ［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して［セツデンジカン＝（現在の設定値)］を表示させ、［↵ ▶(3)］スイッチを押します。

4 ［▲(2) ］または［▼(4) ］スイッチを押して節電モードに入るまでの時間を変更し、［↵ ▶(3)］スイッチを押します。

変更した設定値（30min、60min、120min、180min）が有効となり、設定項目の階層へ戻ります。

5 ［印刷可］スイッチを 1 回押すか、［◀(1)］スイッチを 2 回押して、設定モードを終了します。

設定モードが終了し、液晶ディスプレイに［インサツカノウ］または［セツデン］と表示されます。

以上で節電状態に入るまでの時間の設定は終了です。

プリンタの状態や設定値を印刷するには

プリンタの現在の状態や設定値を印刷したものをステータスシートといいます。ステータスシートを印刷すると、プリンタの現在の情報を確認できます。次の場合に、ステータスシートを印刷してください。

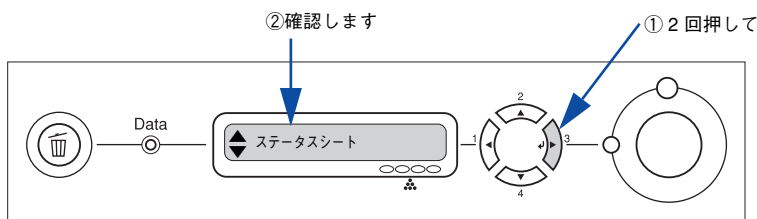
- プリンタの動作に異常がないかを確認する場合
- プリンタの現在の設定を確認したい場合
- プリンタにオプションを取り付けた場合（取り付けたオプションが正しく認識されると、ステータスシートの印刷内容にそのオプションが追加されます）

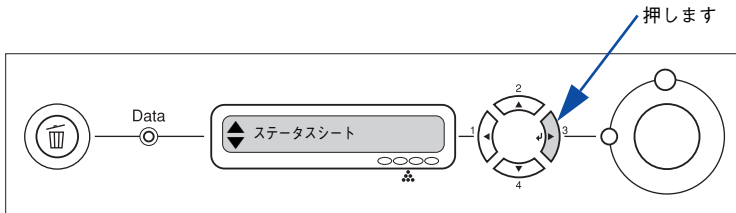
参 考

- ステータスシートには、モノクロ印刷されるカタカナ表記*の簡易ステータスシートとカラー印刷される日本語表記の標準ステータスシートの 2 種類があります。操作パネルからは簡易ステータスシートが印刷できます。
  * 操作パネルの［プリンタセッテイメニュー］で［ヒョウジゲンゴ］が［English］の場合は、英語表記になります。
  本書 397 ページ「ステータスシートでの確認」
- プリンタドライバからは、標準/簡易どちらのステータスシートも印刷できます（ただし、標準ステータスシートが印刷できるのは、EPSON プリンタウィンドウ!3がインストールされている状態でコンピュータとプリンタの間で双方向通信できる場合のみです）。
  Windows：本書 64 ページ「［環境設定］ダイアログ」
  Mac OS 9：本書 191 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」
  Mac OS X：本書 265 ページ「EPSON リモートパネル !」

1 **MP トレイに A4 サイズの用紙をセットします。**
本書 324 ページ「MP トレイへの用紙のセット」

2 **プリンタの［電源］スイッチをオンにし、液晶ディスプレイに［インサツカノウ］と表示されていることを確認します。**

3 **［↵▶(3)］スイッチを 2 回押して［ステータスシート］と表示させせます。**

4 **再度［↵▶(3)］スイッチを押して、ステータスシートを印刷します。**

- 液晶ディスプレイの表示とデータランプが点滅し、ステータスシートが印刷されます（印刷を開始するまで数秒時間がかかります）。
- 印刷が終了すると印刷可ランプが点灯し、液晶ディスプレイに［インサツカノウ］と表示されます。

参 考 ステータスシートが印刷できないときは、以下のページを参照してください。
☞本書 421 ページ「困ったときは」

以上でステータスシートの印刷は終了です。なお、ここで印刷されるステータスシートはモノクロ印刷の簡易ステータスシートです。詳しくは 302 ページの「参照」説明をご覧ください。印刷例は以下のページを参照してください。
☞ 本書 397 ページ「ステータスシートでの確認」

リセットの仕方

リセット

リセットは、液晶ディスプレイに［リセットシテクダサイ］と表示されたときに行います。リセットすると、現在使用中のインターフェイスに対して、メモリに保存された印刷データを破棄し、エラーを解除します。以下のページを参照して、操作パネルでリセットします。

本書288ページ「リセット」

注意

- ［リセットシテクダサイ］と表示された場合に、リセットオールを行わないように注意してください。リセットオールを行うと、メモリに保存された印刷データがすべて破棄され、電源をオンにした直後の状態まで初期化されます。
- プリンタが印刷データの処理をしているときにパネル設定を変更すると、［リセットシテクダサイ］と表示されることがあります。このときに正しくリセットを行わないとパネル設定で変更した内容が有効になりません。設定の変更は印刷データ処理終了後、またはリセット後に実行してください。

リセットオール

リセットオールを行うと、印刷中の印刷データの処理を中止します。また、電源をオンにした直後の状態まで初期化され、すべてのインターフェイスに対してメモリに保存された印刷データを破棄します。リセットオールは、操作パネルの設定モードで行います。以下のページを参照してください。

本書288ページ「リセットオール」

液晶ディスプレイの表示メッセージについて

操作パネルの液晶ディスプレイには、メッセージが表示されます。表示されるメッセージには、ワーニングメッセージ、エラーメッセージ、ステータスメッセージの 3 種類があります。

ワーニングメッセージ

プリンタに何らかの問題が発生すると、注意を促すワーニングメッセージを表示します。以下の説明を参照して適切な処置をしてください。メッセージはアイウエオ順に掲載してあります。

参考

液晶ディスプレイに表示されるワーニングメッセージは、操作パネルの［リセットメニュー］から［ワーニングクリア］または［オールワーニングクリア］を実行して消すことができます。

- ［ワーニングクリア］は、消耗品関係以外のワーニングメッセージをすべて消します。消耗品などのワーニングメッセージだけを残したいときに実行してください。
  本書 288 ページ「ワーニングクリア」
- ［オールワーニングクリア］は、すべてのワーニングメッセージを消します。
  本書 288 ページ「オールワーニングクリア」

表示・説明	処置
＊＊＊＊ゲンゾウ　コウカンマヂカ 各色（CMYK）の現像ユニットを交換する時期が近づいています。	このままの状態でも印刷可能ですが、良好な印刷品質を保つために早めに交換されることをお勧めします。交換は、本機を購入した販売店または保守サービス実施店へご連絡ください。
＊＊＊＊トナーガスクナクナリマシタ 「＊＊＊＊」に表示される色のETカートリッジのトナー残量が少なくなりました。	このままの状態でも印刷可能です。新しい ET カートリッジを用意してください。「トナーカートリッジコウカン」のメッセージが表示されたら、新しい ET カートリッジと交換してください。 本書 399 ページ「トナーカートリッジの交換」
インサツ　デキマセンデシタ 印刷データに問題があるため、印刷できませんでした。	正しいプリンタドライバから印刷してください。パネル設定モードの［リセットメニュー］にある［ワーニングクリア］を実行すると表示は消えます。 本書 288 ページ「ワーニングクリア」

表示・説明	処置
カイゾウドヲ　オトシマシタ メモリ不足により、指定された解像度での印刷ができず、何らかの省略を行って印刷しました。	● 印刷処理を中止するには、コンピュータ側で印刷処理を中止してから、［ジョブキャンセル］スイッチを押します。印刷後に操作パネル表示を消すには、［ワーニングクリア］を実行します。 本書288 ページ「ワーニングクリア」 ● 再度改めて印刷するときは、以下のいずれかの処置を行ってください。 (1) アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げたり、保存（圧縮）形式を変更してデータ容量を減らす。 (2) プリンタドライバで［印刷品質］を［標準］に設定する。 (3) プリンタドライバ＊で［データ圧縮方法］を［データサイズ優先］に設定する。 ＊Mac OS 9 では設定できません。 (4) プリンタドライバで［ページエラー回避］を有効にする。 (5) 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使わないように設定する。 上記の方法でメモリ関連のエラーが解決できない場合は、プリンタのメモリを増設すると解決できる場合があります。
カラーチョウセイ　カクニン 印刷データに対して行われたカラー調整が、本機に搭載されているスクリーンと整合性がとれないまま、印刷しました（選択したプリンタドライバが正しくありません）。	● 正しいプリンタドライバから印刷してください。再度ワーニングが発生する場合は、エプソンインフォメーションセンターまでお問い合わせください。 ● 最新のプリンタドライバにバージョンアップしてください。
カンコウタイユニット　コウカンマヂカ 感光体ユニットを交換する時期が近付いています。	このままの状態でも印刷可能です。新しい感光体ユニットを用意してください。「カンコウタイユニットコウカン」のメッセージが表示されたら、新しい感光体ユニットと交換してください。 本書 406 ページ「感光体ユニットの交換」
セッテイヘンコウ　デキマセン	操作パネル表示を消すには、［ワーニングクリア］を実行します。 本書 288 ページ「ワーニングクリア」
テイチャクユニット　コウカン　マヂカ 定着ユニットを交換する時期が近付いています。	このままの状態でも印刷可能ですが、できるだけ早めに定着ユニットを交換してください。交換は、本機を購入した販売店または保守サービス実施店へご連絡ください。交換しないまま使い続けると、故障につながります。
ヒジュンセイヒントナーカートリッジ 装着されたET トナーカートリッジは本機専用の純正 ET カートリッジではありません。	● 本機専用の純正ET カートリッジを取り付けてください。メッセージは自動的に消えます。 ● パネル設定モードの［リセットメニュー］にある［オールワーニングクリア］または［リセット］を実行すると表示は消えます。ただし、本機専用の純正 ET カートリッジを取り付けない限り、電源が再度オンになるたびに同じワーニングメッセージが表示されます。 本書288 ページ「オールワーニングクリア」 本書288 ページ「リセット」

表示・説明	処置
ヨウシサイズ　カクニン 給紙した用紙と設定されている用紙サイズが異なっています。	● ［ワーニングクリア］を実行します。 本書288 ページ「ワーニングクリア」 ● ［プリンタセッテイメニュー］の［ヨウシサイズフリー］を［ON］に設定すると、「ヨウシサイズカクニン」のメッセージは表示されなくなります。 本書287 ページ「ヨウシサイズフリー」
ヨウシタイプ　カクニン 印刷時に設定したサイズとタイプ（種類）の用紙がセットされている給紙装置が見つからないため、用紙サイズのみ一致する給紙装置から給紙しました。	● パネル設定モードの［リセットメニュー］にある［ワーニングクリア］を実行すると表示は消えます。 本書288 ページ「ワーニングクリア」 ● 各給紙装置にセットしている用紙のタイプと、操作パネルの［キュウシソウチメニュー］で設定した用紙タイプを確認してください。 本書286 ページ「キュウシソウチメニュー」 本書346 ページ「用紙タイプ選択機能」

エラーメッセージ

トラブルが発生した場合に、エラーメッセージを表示して印刷を停止します。印刷を再開するには、以下の説明を参照して、エラー状態の解除に必要な処置を行ってください。メッセージはアイウエオ順に掲載してあります。

参考

- 用紙が詰まったときの対処については、以下のページを参照してください。
  本書 440 ページ「用紙が詰まったときは」
- 消耗品の交換については、消耗品に添付の取扱説明書または以下のページを参照してください。
  本書 398 ページ「プリンタのメンテナンス」

表示・説明	処置
＊＊＊＊ガ　アイテイマス 「＊＊＊＊」に表示されるカバーが開いています。または確実に閉じていません。	「＊＊＊＊」には開いているカバーが表示されます。 A：A カバー（本体前側のトナーカートリッジ交換口） B：B カバー（本体上面の感光体ユニット交換口） C：C カバー（本体上部背面の排紙口） D：D カバー（オプション両面印刷ユニット全体） DM：DM カバー（オプション両面印刷ユニット背面） E：E カバー（本体背面の給紙経路下部） F：F カバー（本体背面の給紙経路上部） G:G カバー(オプション増設 1 段カセットユニット背面) 表示されているカバーを閉じると、エラー状態が解除されます。
＊＊＊＊カートリッジガ　アリマセン 「＊＊＊＊」に表示される色のトナーカートリッジがセットされていません。	「＊＊＊＊」には C、M、Y、K のいずれかが表示され、取り付けが必要なトナーカートリッジの色を示しています。 C：シアン　　M：マゼンタ Y：イエロー　　K：ブラック 表示される色のトナーカートリッジの取り付けを行います。取り付けた後、A カバーを閉じるとエラー状態が解除されます（複数のトナーカートリッジが取り付けられていない場合は、A カバーを閉じると続けて次に取り付けるトナーカートリッジの色を表示します）。 本書 399 ページ「トナーカートリッジの交換」
＊＊＊＊トナーガ　コショウデス 取り付けたトナーカートリッジの情報を読み書きできません。	A カバーを開けてトナーカートリッジを取り付け直すか、別の新しいトナーカートリッジに交換して A カバーを閉じると、エラーは解除されます。
＊＊＊＊トナーガタダシクアリマセン 取り付けたトナーカートリッジが正しくありません。	A カバーを開けて正しいトナーカートリッジに交換し、A カバーを閉じるとエラーは解除されます。

表示・説明	処置
＊＊＊＊トナーカートリッジ　コウカン ● 「＊＊＊＊」に表示される色のトナーカートリッジがなくなりました。 ● 操作パネルの［リセットメニュー］から［＊トナーカートリッジコウカン］を実行してトナーカートリッジが交換位置に移動しました。	● 「＊＊＊＊」には C、M、Y、Kのいずれかが表示され、交換が必要なトナーカートリッジの色を示しています。 C：シアン　　M：マゼンタ Y：イエロー　K：ブラック ● エラーランプが点灯している場合は、表示される色のトナーカートリッジの交換を行います。取り付けた後、A カバーを閉じるとエラー状態が解除されます（複数のトナーカートリッジを交換する必要がある場合は、A カバーを閉じると続けて次に交換するトナーカートリッジの色を表示します）。 本書 399 ページ「トナーカートリッジの交換」
＊＊＊＊ヒジュンセイヒン　トナー 非純正品のトナーカートリッジが取り付けられています。	● A カバーを開けて正しいトナーカートリッジに交換し、A カバーを閉じるとエラーは解除されます。 ● ［印刷可］スイッチを押すと、［ヒジュンセイヒントナーカートリッジ］というワーニング表示に替わります。
N/W モジュール　エラー ネットワークプログラムがない、または正しくありません。	正しいネットワークプログラムを書き込んでください。
OHP シート　ガ　タダシクアリマセン プリンタドライバの［用紙種類］で［OHP シート］を選択しているのに OHP シート以外の用紙が給紙されたり、［OHP シート］以外を選択しているのに OHP シートが給紙されると、E カバー付近で紙詰まりが発生します。	詰まった紙を取り除いて、指定した種類の用紙をセットしてください。 本書 446 ページ「プリンタ内部（E カバー）で用紙が詰まった場合は」
Optional RAM Error メモリを認識できません。	一旦電源をオフにし、正しいメモリを取り付けてください。
Service Req ＊＊＊＊＊ サービスコールエラーが発生しました。「＊＊＊＊＊」の部分はエラーの分類とコード番号を表します。	一旦電源をオフにし、数分後にオンにします。再度発生したときは、液晶ディスプレイの表示を書き写してから、本機を購入された販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。

表示・説明	処置
カミヅマリ ＊＊＊＊＊ 「＊＊＊＊＊」の部分に表示される箇所で用紙詰まりが発生しました。用紙詰まりが複数の箇所で発生している場合、「＊＊＊＊＊」の部分には液晶ディスプレイに表示可能な範囲まで表示されます。	以下のページを参照して、「＊＊＊＊＊」の部分に表示される箇所から詰まった用紙を取り除いてください。 C：C カバー（本体上部背面の排紙口） 本書453 ページ「排紙口（C カバー）で用紙が詰まった場合は」 D：D カバー（オプション両面印刷ユニット全体） 本書459 ページ「両面印刷ユニット（D カバー）で用紙が詰まった場合は」 DM：DM カバー（オプション両面印刷ユニット背面） 本書459 ページ「両面印刷ユニット（D カバー）で用紙が詰まった場合は」 E：E カバー（本体背面の給紙経路下部） 本書446 ページ「プリンタ内部（E カバー）で用紙が詰まった場合は」 F：F カバー（本体背面の給紙経路上部） 本書449 ページ「プリンタ内部（F カバー）で用紙が詰まった場合は」 MP E：MP トレイ、E カバー 本書 443 ページ「給紙口（MP トレイ）で用紙が詰まった場合は」 LC G：用紙カセット、G カバー （オプション増設 1 段カセットユニット） 本書456 ページ「増設 1 段カセットユニット（LC/G カバー）で用紙が詰まった場合は」 詰まった用紙をすべて取り除き、カバーを閉じるとエラー状態が解除され、詰まった用紙の印刷データから印刷を再開します。
カンコウタイヲ　ヌイテクダサイ セットアップ時すべてのトナーカートリッジを取り付ける前に感光体ユニットが取り付けられていました。	B カバーを開けて感光体ユニットを取り外して、B カバーを閉じるとエラー状態が解除されます。先にトナーカートリッジを取り付けてください。
カンコウタイ　ガ　コショウデス 取り付けた感光体ユニットの情報を読み書きできません。	B カバーを開けて感光体ユニットを取り付け直すか、別の新しい感光体ユニットに交換して B カバーを閉じると、エラーは解除されます。
カンコウタイ　ガ　ダダシクアリマセン 取り付けた感光体ユニットが正しくありません。	B カバーを開けて正しい感光体ユニットに交換し、B カバーを閉じるとエラーは解除されます。
カンコウタイユニット　ガ　アリマセン 感光体ユニットがセットされていません。または正しくセットされていません。	感光体ユニットの取り付けを行います。取り付け後、B カバーを閉じるとエラー状態が解除されます。 本書 406 ページ「感光体ユニットの交換」

表示・説明	処置
カンコウタイユニット　コウカン 感光体ユニットが、品質保証できる寿命を超えました。	• エラーランプが点灯している場合は、感光体ユニットの交換を行います。取り付け後、B カバーを閉じるとエラー状態が解除されます。 本書406 ページ「感光体ユニットの交換」 • エラーランプが点滅している場合は、［印刷可］スイッチを押すことで一時的にエラーを解除できます（「カンコウタイユニットコウカンマヂカ」に表示が変わります）。この状態でも印刷できますが、できるだけ速やかに感光体ユニットを交換してください（寿命が切れると、印刷できなくなります）。新しい感光体ユニットと交換して、B カバーを閉じるとエラー状態が解除されます。
サービスヘレンラククダサイ ＊＊＊＊ サービスコールエラーが発生しました。「＊＊＊＊」の部分はエラーの分類とコード番号を表します。	一旦電源をオフにし、数分後にオンにします。再度発生したときは、液晶ディスプレイの表示を書き写してから、本機を購入された販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。
シュドウリョウメン 手動両面印刷を行い、片面の印刷が終了したため印刷を停止しました。 （手動両面印刷時に MP トレイに用紙がなくなった場合も、同じエラーとなります。）	• 排紙された用紙を MP トレイにセットし、［印刷可］スイッチを押して印刷を再開します。 本書333 ページ「手動で両面印刷するには」 • 手動両面印刷時に用紙がなくなった場合は、MP トレイに用紙をセットし、［印刷可］スイッチを押して印刷を再開します。 • 印刷を継続しない場合は、［ジョブキャンセル］スイッチを押します。
データ　イジョウ 印刷の途中でプリンタドライバのスプールファイルを削除して、次に別の印刷を実行しました。 または、通信エラーで受信したデータに異常があります。	• ［プリンタセッテイメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］が［シナイ］（初期設定）に設定されている場合は、以下の 2 つのうち、どちらかの操作を行ってください。 (1) ［印刷可］スイッチを押します。エラーの発生したデータの復旧処理をしないで、次の印刷を開始します。 (2) ［ジョブキャンセル］スイッチを押します。印刷を終了します。 • ［プリンタセッテイメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］を［スル］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後に、エラー状態が解除されます。エラーの発生したデータの復旧処理をしないで、次の印刷を開始します。
ノウド　エラー　インサツ　フノウ CMYK 色の印刷濃度（合計値）が高すぎて印刷できず、用紙詰まりが発生しました。	詰まった用紙を取り除いて、プリンタの電源を入れ直してください。再印刷する前に、アプリケーションソフトで印刷濃度の合計値が下がるように CMYK 色の値を設定してください。 本書 440 ページ「用紙が詰まったときは」

表示・説明	処置
ページエラー　オーバーラン 印刷を開始したがデータが間に合わず印刷を停止しました。	● ［プリンタセッテイメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］が［シナイ］（初期設定）に設定されている場合は、以下の 2 つのうち、どちらかの操作を行ってください。 (1) ［印刷可］スイッチを押すと、再印刷します。 (2) 印刷を中止する場合は、［ジョブキャンセル］スイッチを押します。 ● ［プリンタセッテイメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］を［スル］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後にエラー状態が解除されて再印刷します。 ● Windows や Mac OS X からの印刷時にこのエラーが頻繁に発生する場合は、プリンタドライバで［ページエラー回避］* をオンにしてください。 * Mac OS 9 にこの機能はありません。
メモリオーバー　メモリガタリマセン 処理中にメモリ不足、メモリに対する不正な処理が発生し、動作が続行できなくなりました。	● ［プリンタセッテイメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］が［シナイ］（初期設定）に設定されている場合は、以下の 2 つのうち、どちらかの操作を行ってください。 (1) ［印刷可］スイッチを押します。 (2) ［ジョブキャンセル］スイッチを押します。 ● ［プリンタセッテイメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］を［スル］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後に、エラー状態が解除されます。 ● 再度改めて印刷するときは、以下のいずれかの処置を行ってください。 (1) アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げたり、保存（圧縮）形式を変更してデータ容量を減らす。 (2) プリンタドライバで［印刷品質］を［標準］に設定する。 (3) プリンタドライバ * で［データ圧縮方法］を［データサイズ優先］に設定する。 * Mac OS 9 では設定できません。 (4) プリンタドライバで［ページエラー回避］を有効にする。 (5) 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使わないように設定する。 上記の方法でメモリ関連のエラーが解決できない場合は、プリンタのメモリを増設すると解決できる場合があります。

表示・説明	処置
ヨウシコウカン xxxxx yyyy 給紙をしようとした給紙装置「xxxxx」にセットされている用紙サイズと、印刷する用紙サイズ「yyyy」が異なっています。	• ［プリンタセッテイメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］が［シナイ］（初期設定）に設定されている場合は、以下の3つのうち、いずれかの操作を行ってください。 (1) 給紙装置「xxxxx」にサイズ「yyyy」の用紙をセットし、［印刷可］スイッチを押して印刷します。 本書322ページ「給紙装置と用紙のセット方法」 (2) 用紙を交換しないで［印刷可］スイッチを押します。セットされている用紙に印刷します。 (3) 印刷を中止する場合は、［ジョブキャンセル］スイッチを押します。 • ［プリンタセッテイメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］を［スル］に設定されている場合は、一定時間（5秒）後にエラー状態が解除され、セットされている用紙に印刷します。
ヨウシナシ xxxxx yyyy 以下のような場合に表示されます。 (1)印刷のために給紙しようとした給紙装置「xxxxx」に、「yyyy」サイズの用紙がセットされていません。 (2)すべての給紙装置に用紙がセットされていません。	(1) の場合： 給紙装置「xxxxx」にサイズ「yyyy」の用紙をセットすると、エラー状態が解除されて印刷されます。 本書322ページ「給紙装置と用紙のセット方法」 (2) の場合： いずれかの給紙装置に用紙をセットすると、エラー状態が解除されて印刷されます。
リョウメンインサツ　デキマセン 両面印刷実行時、用紙のサイズまたは種類が両面印刷不可能なため、両面印刷の実行を中止しました。	• ［プリンタセッテイメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］が［シナイ］（初期設定）に設定されている場合は、以下の2つのうち、いずれかの操作を行ってください。 (1) ［印刷可］スイッチを押すと、セットされている用紙に片面印刷します。 (2) 印刷を中止する場合は、［ジョブキャンセル］スイッチを押します。 • ［プリンタセッテイメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］を［スル］に設定されている場合は、一定時間（5秒）後にエラー状態が解除され、セットされている用紙に片面印刷します。

表示・説明	処置
リョウメンインサツ　メモリガタリマセン 両面印刷実行時、印刷データを扱うためのメモリが足りないため、裏面側が印刷できません。この場合、表面側のみ印刷して排紙します。	• 以下の 2 つのうち、どちらかの操作を行ってください。 (1) 表面側のみ印刷された用紙を裏返してもう一度セットし、[印刷可] スイッチを押すと片面印刷で印刷を再開します。 本書 333 ページ「手動で両面印刷するには」 (2) [ジョブキャンセル] スイッチを押して、印刷を中止します。 • 再度改めて印刷するときは、以下のいずれかの処置を行ってください。 (1) アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げたり、保存（圧縮）形式を変更してデータ容量を減らす。 (2) プリンタドライバで[印刷品質]を[標準]に設定する。 (3) プリンタドライバ * で [データ圧縮方法] を [データサイズ優先] に設定する。 * Mac OS 9 では設定できません。 (4) プリンタドライバで [ページエラー回避] を有効にする。 (5) 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使わないように設定する。 上記の方法でメモリ関連のエラーが解決できない場合は、プリンタのメモリを増設すると解決できる場合があります。
リョウメン　ヨウシサイズ　エラー 両面印刷時、片面を印刷した用紙と異なるサイズの用紙をセットしました。	正しいサイズの用紙をセットして [印刷可] スイッチを押してください。

ステータスメッセージ

プリンタが正常に動作している場合は、ステータメッセージ（現在の状態）を表示します。メッセージはアイウエオ順に掲載してあります。

表示	説明
RAM　CHECK	RAMを確認中です。
ROM　CHECK	ROMを確認中です。
インサツカノウ （液晶ディスプレイの右側にKCMY各トナー残量を7段階で表示します。）	印刷可状態で、プリンタに送られているデータがない状態です。
ウォームアップ	ウォーミングアップ中です。
エラーカイジョ　デキマセン	エラーを解除できません。
オフライン （液晶ディスプレイの右側にKCMY各トナー残量を7段階で表示します。）	印刷データの作成やデータ受信は行いますが、印刷動作を開始しない状態です。［印刷可］スイッチを押すと、現在の状態を表示します。
オマチクダサイ	ETカートリッジが交換位置に移動中ですので、しばらくお待ちください「xトナーカートリッジコウカン」と表示されたらAカバーを開けて指定色のETカートリッジを交換し、Aカバーを閉じます。
システムチェック	自己診断と、初期化を行っています。
ジョブ　キャンセル	● 操作パネルの［ジョブキャンセル］スイッチ操作によって印刷中の処理を中止しました。 ● コンピュータ側のプリンタドライバによって印刷中の処理を中止しました。
セツデン （液晶ディスプレイの右側にKCMY各トナー残量を7段階で表示します。）	操作パネルで指定した時間が経過し、節電状態になっています。データの受信、またはリセットで解除されます。
ゼンジョブ　キャンセル	操作パネルの［ジョブキャンセル］スイッチ操作によって印刷処理を全て中止しました。
プリンタ　チョウセイチュウ	良好な印刷品質を保つために、プリンタが印刷機能の自動調整を行っています。しばらくお待ちください。なお、印刷実行中にこのメッセージが表示された場合は、印刷処理を一時中断します。自動調整が完了すると操作パネル表示が消え、自動的に印刷を再開します。
ヨウシ　ハイシチュウ	プリンタ内に残っている印刷データを、［印刷可］スイッチによって印刷・排紙中です。
リセット	現在使用中のインターフェイスに対してメモリに保存されたデータを破棄し、エラーを解除中です。
リセット　オール	印刷を中止後、プリンタの電源をオンにした直後の状態まで初期化し、すべてのインターフェイスに対してメモリに保存されたデータを破棄しています。しばらくお待ちください。

表示	説明
リセット　シテクダサイ	印刷実行中にパネル設定を変更しました。以下の 2 つのうち、どちらかの操作を行ってください。 (1)操作パネルの［リセットメニュー］から［リセット］または［リセットオール］を行います。直後に変更が反映されますが、印刷データは全て削除されます。 本書304 ページ「リセットの仕方」 (2)［印刷可］スイッチを押します。印刷実行後に変更が反映されます。

使用可能な用紙と給紙 / 排紙

ここでは、印刷できる用紙とできない用紙、用紙のセット方法や特殊紙へ印刷する際の諸注意などについて説明しています。

用紙について

印刷できる用紙の種類

EPSON 製の用紙

次のEPSON製用紙が使用できます。

	使用可能な用紙	型番（サイズ）	説明
普通紙	EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙	LPCPPA4（A4）	普通紙への印刷において、最良の印刷品質を得ることできる上質普通紙です。MP トレイまたは用紙カセット（オプションの増設1段カセットユニット）のどちらからでも給紙できます。
特殊紙	EPSON カラーレーザープリンタ用コート紙	LPCCTA4（A4）	EPSONカラーレーザープリンタ専用のコート紙です。光沢のある美しい仕上がりの印刷が可能です。カタログ、パンフレットなどにご使用ください。MP トレイからのみ給紙できます。 本書342 ページ「コート紙への印刷」
	EPSON カラーレーザープリンタ用OHP シート	LPCOHPS1（A4）	EPSON カラーレーザープリンタ専用のOHPシートです。MP トレイからのみ給紙できます。 本書343 ページ「OHP シートへの印刷」

注 意

- 上記以外の EPSON 製専用紙は、本機で使用しないでください。プリンタ内部での紙詰まりや故障の原因となります。
- 上記の EPSON 製専用紙を使用する場合は、プリンタドライバの［用紙種類］を［上質紙］、［上質紙（裏面）］*、［OHP シート］、［コート紙］または［コート紙（裏面）］* に必ず設定してください。
  * 片面印刷後にさらにもう一方の面に印刷する場合に設定してください。

参 考

EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙の両面に印刷する場合は、用紙の梱包紙の開封面側（包装紙の合わせ目のある側）を先に印刷面として印刷してください。

一般の用紙

EPSON 製の専用紙以外では、ここで紹介する用紙に印刷することができます。これ以外の用紙は使用しないでください。特殊紙への印刷の際は、用紙別にご注意いただく事項が異なりますので以下のページを参照ください。

☞ 本書 335 ページ「特殊紙への印刷」

使用可能な一般の用紙		説明
普通紙	コピー用紙	一般の複写機などで使用する用紙です。紙厚は64 ～ 105g/m^2 の範囲内のものが使用可能です。
	上質紙	紙厚は81 ～ 105g/m^2 の範囲内のものが使用可能です。
	再生紙 *1	紙厚は64 ～ 105g/m^2 の範囲内のものが使用可能です。
特殊紙	郵便ハガキ *2	郵便ハガキが使用可能です。往復郵便ハガキ /4 連郵便ハガキの場合は、折り跡のないものをお使いください。 ☞ 本書 335 ページ「ハガキへの印刷」
	封筒 *3	使用できる定形サイズの封筒は洋形 0 号 /4 号 /6 号、長形 3 号 /4 号、角形 3 号です。紙厚が 75 ～ 105g/m^2 の範囲内のものをお使いください。 ☞ 本書 338 ページ「封筒への印刷」
	厚紙	以下の範囲内の用紙（ケント紙を含む）をお使いください。 • 厚紙：紙厚が 106 ～ 163g/m^2 の範囲内の用紙 • 特厚紙：紙厚が 164 ～ 210g/m^2 の範囲内の用紙 ☞ 本書 340 ページ「厚紙への印刷」
	ラベル紙	レーザープリンタ用またはコピー機用のラベル紙で、台紙全体がラベルで覆われているものをお使いください。 ☞ 本書 341 ページ「ラベル紙への印刷」
	コート紙	紙厚が 105 ～ 210g/m^2 の範囲内のコート紙が使用可能です。 ☞ 本書 342 ページ「コート紙への印刷」
	不定形紙	用紙幅が 90.0 ～ 220.0mm、用紙長が 110.0 ～ 297.0mm、紙厚が 64 ～ 210g/m^2 の範囲内のものをお使いください。 ☞ 本書 344 ページ「不定形紙への印刷」

*1 再生紙は、一般の室温環境下（温度 15 ～ 25 度、湿度 40 ～ 60% の環境）以外でご使用になると、印刷品質が低下したり、紙詰まりなどの不具合が発生することがありますのでご注意ください。また、再生紙の使用において給紙不良や紙詰まりが発生しやすい場合は、用紙を裏返して使用することにより症状が改善されることがあります。

*2 絵入りのハガキなどを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着して給紙できなくなる場合がありますので、ご注意ください。
☞ 本書 415 ページ「給紙ローラの清掃」

*3 封筒の紙種、保管および印刷環境、印刷方法によっては、しわが目立つ場合がありますので、事前に試し印刷をすることをお勧めします。

参考

- 用紙の種類によっては特に印刷面の指定がない場合でも、印刷する面によって排紙後の用紙の状態に差が出ることがあります。
- 用紙がカールなどしてきれいに排紙されない場合は印刷面を替えて用紙をセットしてください。
- 用紙を大量に購入する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態をご確認ください。また、大量に印刷する場合も、試し印刷をして思い通りの印刷結果になることを確認してください。
- ハガキや封筒などの特殊紙に連続印刷する場合で、思い通りの位置に印刷されなかったり、用紙が二重送りされてしまうようなときは、用紙を1枚ずつセットして印刷してください。

印刷できない用紙

プリンタ（給紙ローラ、感光体、定着器）の故障の原因となる用紙

- インクジェットプリンタ用特殊紙：スーパーファイン紙、光沢紙、光沢フィルム、郵便ハガキ（インクジェット紙）など
- アイロンプリント紙
- 他のモノクロレーザープリンタ、カラーレーザープリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタなどのプリンタや、複写機で印刷したプレプリント紙
- 他のプリンタで一度印刷した後の裏紙
- 他のカラーレーザープリンタやカラー複写機専用OHPシート
- モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用以外のラベル紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙、酸性紙、和紙
- 糊、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 表面に特殊コートが施された用紙、表面加工されたカラー用紙
- バインダ用の穴が開いている用紙
- 貼り合わせた用紙

給紙不良、紙詰まりを起こしやすい用紙

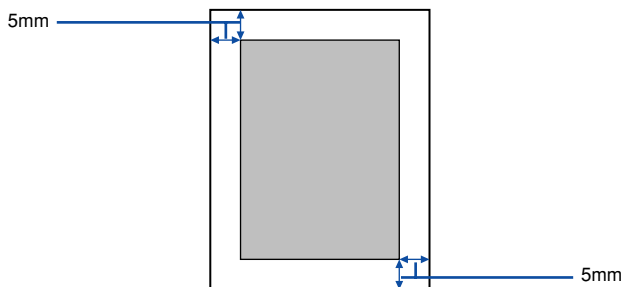
- 薄すぎる用紙（63g/m^2以下）、厚すぎる用紙（210g/m^2を超える）
- 濡れている（湿っている）用紙
- 表面が平滑すぎる（ツルツル、スベスベしすぎる）用紙、粗すぎる用紙
- 表と裏で粗さが大きく異なる用紙
- 折り跡、カール、破れのある用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- ミシン目のある用紙
- 簡単にはがれてしまうラベル紙
- 吸湿して波打ちしている用紙を使用している

耐熱温度約180度以下で変質、変色する用紙

- 表面に特殊コート（またはプレプリント）が施された用紙

印刷できる領域

印刷保証領域は、印刷の実行と印刷結果の画質を保証する領域です。用紙の各端面から5mmを除く領域の印刷を保証します。

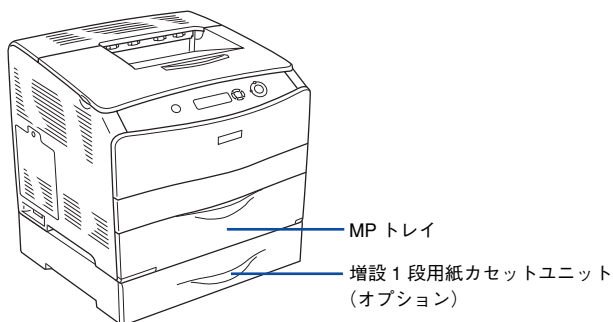
参考

アプリケーションソフトによっては印刷可能領域が上記より小さくなる場合があります。

用紙の保管

用紙は以下の点に注意して保管してください。

- 直射日光を避けて保管してください。
- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙を濡らさないでください。
- 用紙を立てたり、斜めにしないで、水平な状態で保管してください。
- ほこりがつかないよう、包装紙などに包んで保管してください。

給紙装置と用紙のセット方法

本機には、標準装備されている MP トレイのほかにオプションの増設 1 段カセットユニットを 1 段装着することができます。

各給紙装置にセットできる用紙サイズと容量

本機の給紙装置で使用できる用紙の種類は次の通りです。特殊紙を使用する場合は、必ず MP トレイにセットしてください。また、特殊紙は用紙別にセット方法や注意事項が異なりますので以下のページを参照してください。

本書 335 ページ「特殊紙への印刷」

給紙方法		用紙種類		用紙サイズ （ ）内は操作パネルの液晶ディスプレイ上での表記です。	紙厚	容量 *2
標準装備の給紙装置	MP トレイ *1	普通紙（コピー用紙、上質紙、再生紙）		A4、A5、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Government Letter（GLT）、Executive（EXE）	64 ～ 105g/m2	200 枚 *4
		EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙		A4	82g/m2	180 枚 *5
		特殊紙	郵便ハガキ	100 × 148mm（ハガキ）	190g/m2	75 枚 *5
			往復郵便ハガキ	148 × 200mm（W ハガキ）		
			4 連郵便ハガキ	200 × 296mm（Q ハガキ）		
			封筒	洋形 0 号、洋形 4 号、洋形 6 号、長形3 号、長形4 号、角形3 号	75 ～ 105g/m2	20 枚 *5
			ラベル紙	A4、Letter（LT）	91 ～210g/m2	75 枚 *5
			厚紙	A4、A5、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Government Letter（GLT）、Executive（EXE）	106～163g/m2	20mm 以下
			特厚紙		164～210g/m2	
			コート紙		105～210g/m2	
			不定形紙 *3	幅：90.0 ～ 220.0mm 長さ：110.0 ～ 297.0mm	64 ～ 105g/m2	
					106～163g/m2	
					164～210g/m2	
			EPSON カラーレーザープリンタ用コート紙	A4	105g/m2	180 枚 *6
			EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート	A4	140g/m2	75 枚 *5
オプション	増設 1段カセットユニット（LPA4CZ1CU2）	普通紙（コピー用紙、上質紙、再生紙）		A4、Letter（LT）	64 ～ 105g/m2	500 枚 *7
		EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙		A4	82g/m2	

*1 プリンタの操作パネルとプリンタドライバで用紙サイズを設定する必要があります。

*2 セットできる用紙の高さは用紙ガイド内側の最大セット枚数表示までです。最大セット枚数表示を超えてセットした場合は、給紙不良などの原因となります。

*3 不定形紙に印刷する場合は、プリンタドライバのユーザー定義サイズ / カスタム用紙サイズを設定してから印刷してください。

*4 64g/m2 で200 枚、80g/m2 で 180 枚、または総厚20mm までセット可能。

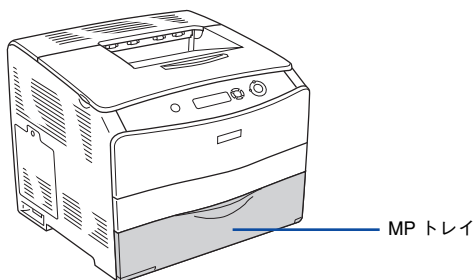
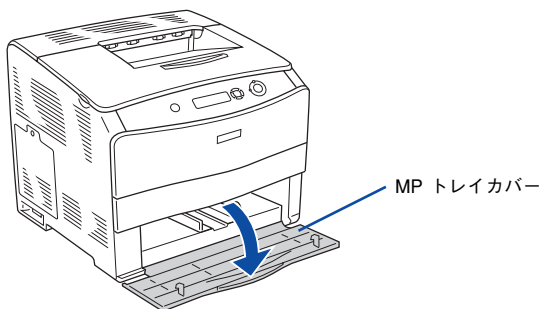
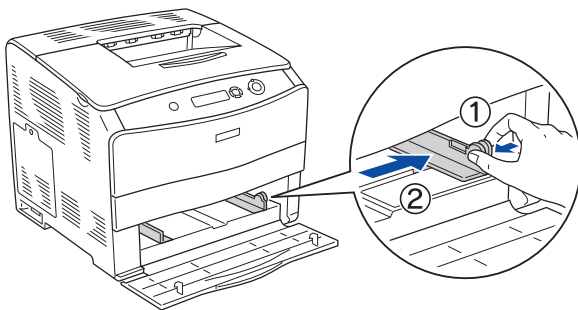
*5 または総厚 20mm までセット可能。用紙の製造会社によってセットできる枚数は異なります。

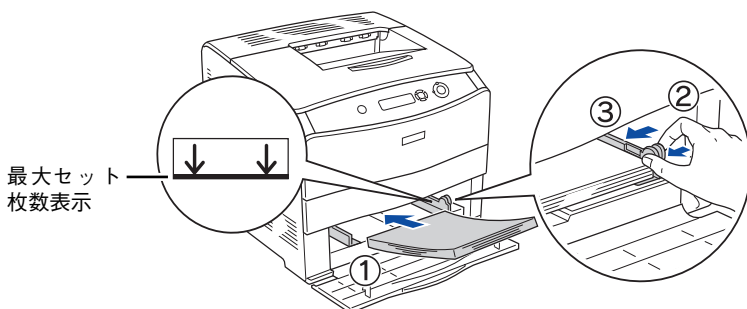
*6 または総厚 20mm までセット可能。使用環境によって異なります。

*7 または総厚 56mm までセット可能。用紙の製造会社によってセットできる枚数は異なります。

MP トレイへの用紙のセット

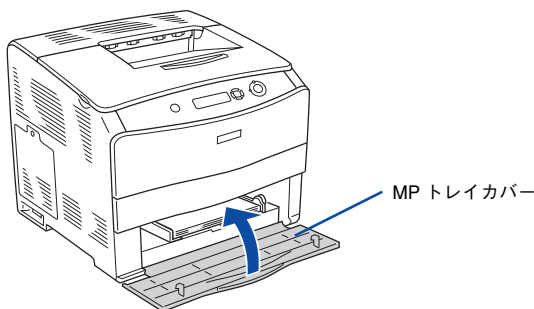
本機に標準装備されている給紙装置は、本機で印刷可能なすべての用紙をセットできる MP トレイです。セットできる用紙の種類や容量については、以下のページを参照してください。

本書 323 ページ「各給紙装置にセットできる用紙サイズと容量」

1. MP トレイのカバーを開けます。

2. 右側の用紙ガイドのツマミ部分をつまんだまま外側へずらします。

3 **用紙の先端が MP トレイの奥に突き当たるように用紙をセットします。**

①印刷する面を上にして、給紙方向に対して縦長にセットします。
②用紙ガイドのツマミをつまみます。
③用紙ガイドを用紙サイズに合わせます。

⚠注意	用紙をセットするときは用紙の側面で手をこすってけがをしないように注意してください。薄い用紙の側面は鋭利な状態になっていて危険です。

注意	用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。用紙ガイドを用紙サイズに合わせないと、用紙が斜めに給紙されて紙詰まりが発生します。

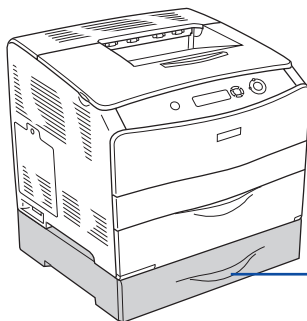
参考
- 用紙の四隅をそろえてセットします。
- 用紙は最大 200 枚（普通紙 64g/m²）までセットできます。用紙ガイド内側の最大セット枚数表示を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。

4 **MP トレイのカバーを閉じます。**

以上で MP トレイへの用紙のセットは終了です。

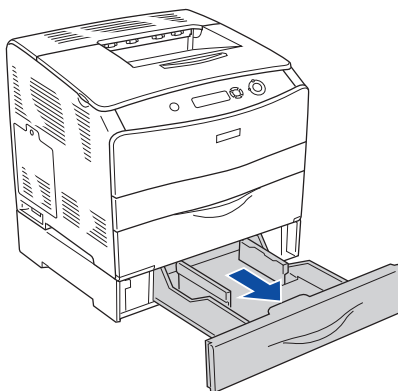
参考
- MP トレイにセットした用紙のサイズと種類（タイプ）は、操作パネルの［キュウシソウチメニュー］の［MP トレイヨウシサイズ］と［MP トレイタイプ］で設定してください。
- ［キュウシソウチメニュー］の設定はステータスシートを印刷すると確認できます。
本書 302 ページ「プリンタの状態や設定値を印刷するには」

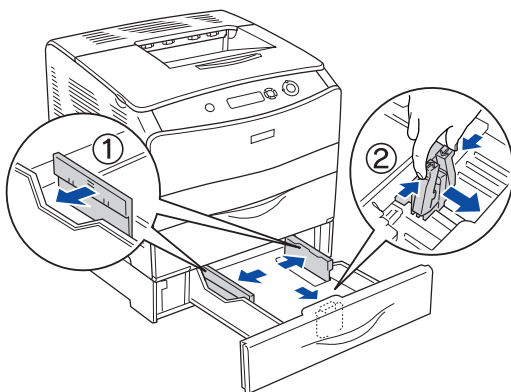
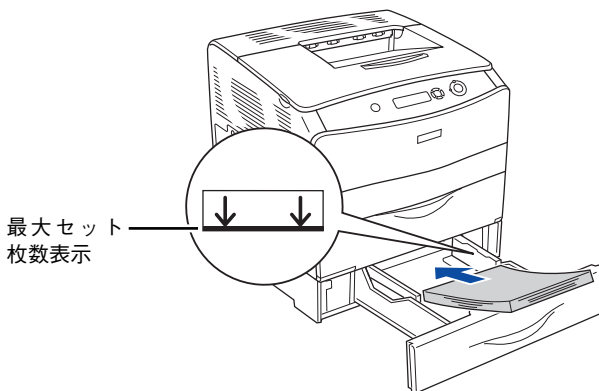
用紙カセットへの用紙のセット

本機には標準装備されている MP トレイのほかに、オプションの増設 1 段カセットユニットを取り付けて、用紙カセットとしてご利用いただけます。セットできる用紙の種類や容量については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 323 ページ「各給紙装置にセットできる用紙サイズと容量」

参考	オプションの増設 1 段カセットユニット装着時は、プリンタドライバには［用紙カセット］、操作パネルの液晶ディスプレイには［カセット］として表示されます。

ここでは、プリンタに装着した増設 1 段カセットユニット（用紙カセット）への用紙のセット方法を説明します。

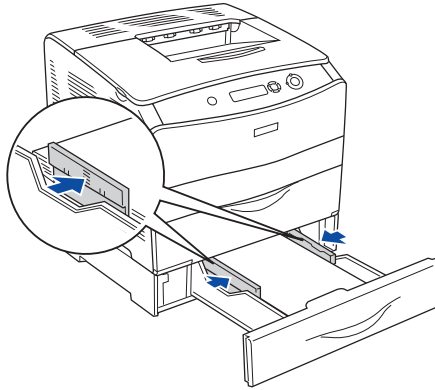
1　用紙カセットを増設 1 段カセットユニットから引き出します。

2 **用紙ガイド（左右）/（手前）を用紙がセットできるように移動します。**

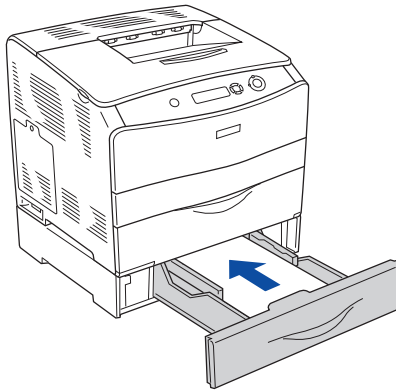
①用紙ガイド（左右）をつまんだまま、用紙がセットできるように広げます。
②用紙ガイド（手前）のツマミをつまんだまま、セットする用紙サイズに合わせます。

3 **印刷する面を上にして、給紙方向に対して縦長に用紙をセットします。**

⚠注意	用紙をセットするときは用紙の側面で手をこすってけがをしないように注意してください。薄い用紙の側面は鋭利な状態になっていて危険です。

参考

- 用紙の四隅をそろえセットします。
- 用紙は最大 500 枚（普通紙 64g/m²）までセットできます。用紙ガイド（横）内側の最大セット枚数表示を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。

4 **用紙ガイド（左右）を用紙の端に合わせて移動します。**

用紙ガイド（左右）をつまんだまま動かし、用紙の両端に合わせます。

注意	用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。用紙ガイドを用紙サイズに合わせないと、用紙が斜めに給紙されて紙詰まりが発生します。

5 **用紙カセットを増設 1 段カセットユニットにセットします。**

以上で用紙カセットへの用紙のセットは終了です。

参考

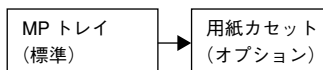
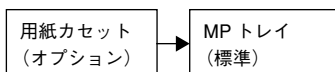
- 用紙カセットにセットした用紙のサイズと種類（タイプ）は、操作パネルの［キュウシソウチメニュー］の［カセットヨウシサイズ］と［カセットタイプ］で設定してください。
- ［キュウシソウチメニュー］の設定はステータスシートを印刷すると確認できます。
本書 302 ページ「プリンタの状態や設定値を印刷するには」

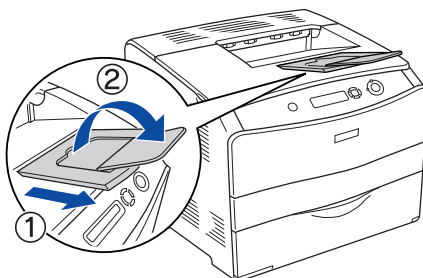
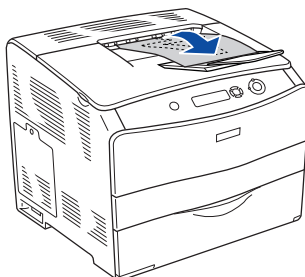
給紙装置の優先順位

プリンタドライバで［給紙装置］を［自動選択］に設定すると、印刷実行時にプリンタが各給紙装置の用紙サイズ * を次の順番で調べ、プリンタドライバで設定した用紙サイズと一致するサイズの用紙がセットされている給紙装置から給紙します。初めに見つけた給紙装置の用紙がなくなった場合、同じサイズの用紙がセットされている、次の給紙装置に自動的に切り替えて給紙します。

* 給紙装置にセットした用紙のサイズは、操作パネルから［キュウシソウチメニュー］を開いて［MP トレイヨウシサイズ］と［カセットヨウシサイズ］で設定します。

本書 286 ページ「キュウシソウチメニュー」

●増設 1 段カセットユニット（オプション）装着時

普通紙の場合、給紙装置を組み合わせることで最大 700 枚を連続して給紙できます。

排紙方法について

本機上部の排紙トレイの先端には、排紙サポートがあります。
① 排紙サポートを引き出して使用してください。
② 排紙性が悪い場合は、さらに排紙延長トレイを開いて使用してください。

本機は印刷面を下（フェイスダウン）にしてプリンタ上部の排紙トレイに排紙します。普通紙（紙厚 64g/m^2 の場合）の場合で 250 枚まで排紙できます。

両面印刷について

手動で両面印刷を行う場合や、オプションの両面印刷ユニットを装着して自動両面印刷を行う場合は、以下の用紙に両面印刷することができます。

用紙種類	用紙サイズ
普通紙	A4、B5、Letter（LT）、Executive（EXE）
EPSON 製カラーレーザープリンタ用上質普通紙	A4

両面印刷を行う場合は、プリンタドライバで以下の設定を行います。

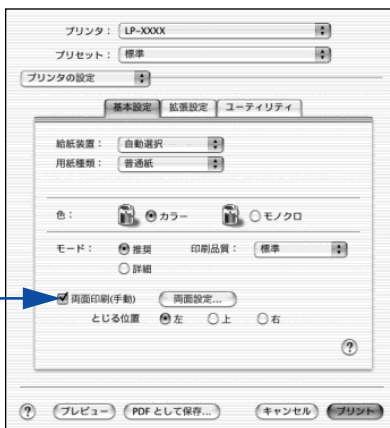
- Windows：[基本設定] ダイアログを開いて、[両面印刷]（手動）/ [両面印刷] をチェックします。
  ☞ Windows：本書 30 ページ「[基本設定] ダイアログ」
- Mac OS 9：[レイアウト] ダイアログを開いて、[両面印刷]（手動）/ [両面印刷] をチェックします。
  ☞ Mac OS 9：本書 177 ページ「[レイアウト] ダイアログ」
- Mac OS X：[基本設定] ダイアログを開いて、[両面印刷]（手動）/ [両面設定] をチェックします。
  ☞ Mac OS X：本書 247 ページ「[両面印刷] ダイアログ」

参考 オプションの両面印刷ユニットを装着すると、ダイアログの表示が［両面印刷（手動）］から［両面印刷］に変わります。

Windows の場合

チェックします

Mac OS 9 の場合

チェックします

両面印刷時の注意事項

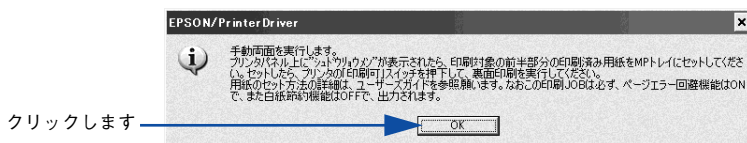
- 用紙の表側に印刷するデータと用紙の裏側に印刷するデータで用紙サイズの設定が異なる場合は、両面印刷できません。この場合、両方とも用紙の表側に印刷して出力します。
- A4、B5、Letter（LT）、Executive（EXE）以外のサイズの用紙および特殊紙には両面印刷できません。

参 考　自動両面印刷時に用紙詰まりが発生する場合は、給紙方向の用紙の余白を10mm 以上に設定してください。

手動で両面印刷するには

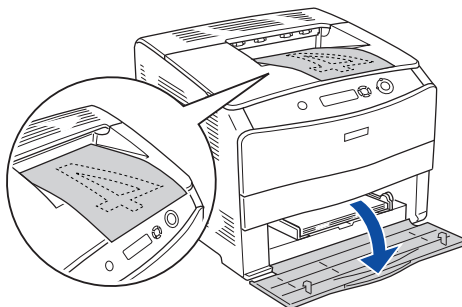
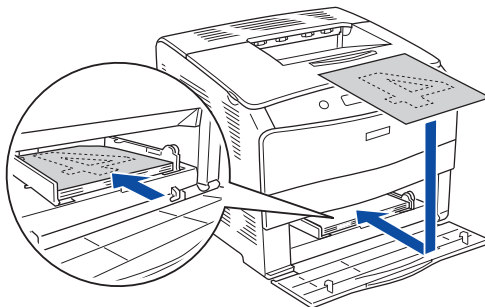
オプションの両面印刷ユニットを装着していない場合でも、片面を印刷して排紙された用紙をそのまま MP トレイにセットすれば手動で両面印刷することができます。

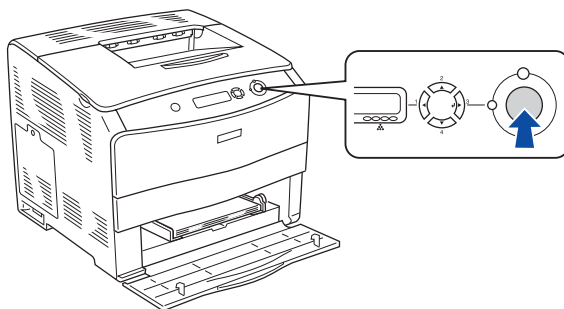
1. プリンタドライバで［両面印刷（手動)］を設定して印刷を実行します。

2. 以下の画面が表示されたら説明を読んで［OK］をクリックします。

> **参 考**
> Mac OS X には白紙節約機能がありませんので、上記の画面説明とは一部異なります。

3. 片面がすべて印刷されて排紙されたら、液晶ディスプレイに「シュドウリョウメン」と表示されていることを確認します。

   手動両面印刷は、印刷ジョブ単位または部単位で行いますので、片面がすべて印刷終了して［シュドウリョウメン］と表示されるまでしばらく待ちます。

4. MP トレイのカバーを開けます。

5 排紙されたすべての用紙をそのままの向きで MP トレイにセットします。

注 意	・用紙の向きを変更しないでください。変更すると表裏の印刷面が上下逆になります。 ・排紙された用紙が反っている場合は、用紙がまっすぐになるように反りを十分直してからセットしてください。 ・用紙の先端が MP トレイの奥に突き当たるように用紙をセットしてください。

6 操作パネルの［印刷可］ボタンを押し、裏面の印刷を行います。

参 考	・印刷を継続しない場合は、［ジョブキャンセル］スイッチを押します。 ・手動両面印刷は、印刷ジョブ単位または部単位で行います。複数の印刷ジョブや部単位印刷で手動両面印刷する場合は、上記の手順を繰り返してください。

以上で手動両面印刷は終了です。

特殊紙への印刷

ここでは、ハガキなど特殊紙への印刷方法について説明します。

注意

特殊紙に印刷する場合は、以下の設定、操作、説明を必ずお守りください。印刷不良の原因となります。

参考

- 特殊紙は、MP トレイにセットしてください。増設 1 段カセットユニット（オプション）からの特殊紙の印刷はできません。
- 特殊紙に印刷すると、通常の印刷に比べて印刷速度が遅くなります。これは、特殊紙への良好な印刷を行うために、プリンタ内部で印刷速度の調整を行っているためです。
- ハガキや封筒などの特殊紙に連続印刷する場合で、思い通りの位置に印刷されなかったり、用紙が二重送りされてしまうようなときは、用紙を 1 枚ずつセットして印刷してください。

ハガキへの印刷

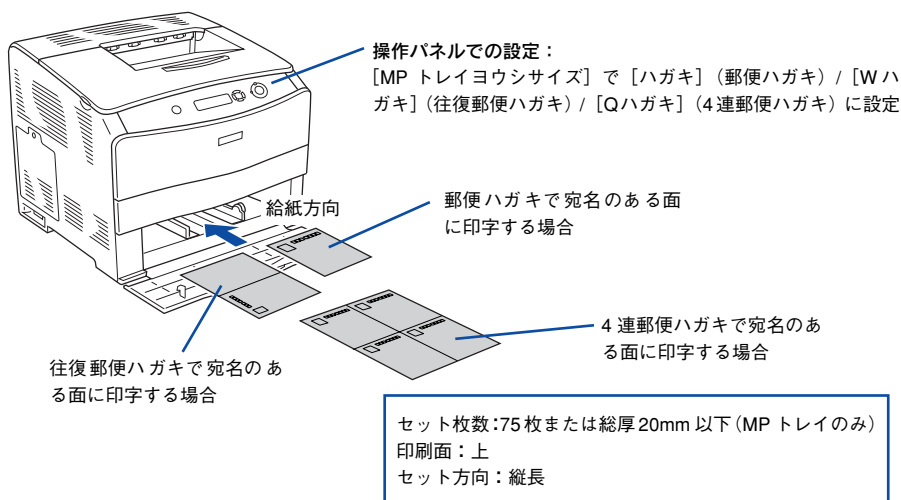
郵便ハガキ、往復郵便ハガキ *、または 4 連郵便ハガキ * を使用できます。

*　往復郵便ハガキや 4 連郵便ハガキは、折り跡のないものを使用してください。

注意

以下のハガキは使用しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。

- インクジェットプリンタ用の専用ハガキ
- 表面に特殊コート、糊付けが施されたハガキ、圧着ハガキ
- 熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで印刷した後のハガキ
- 中央に折り跡のあるハガキ
- 私製ハガキ、絵ハガキなどの厚い（210g/m² を超える）ハガキ
- 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のあるハガキ
- 他のプリンタや複写機で一度印刷したハガキ
- 大きく反っているハガキ（反りを修正してご使用ください。）
- 絵入りハガキを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着して給紙できなくなる場合があります。

参考

- 印刷する前に、同サイズの用紙で試し印刷をして印刷位置や印刷方向などの確認をしてください。
- ハガキの先端が MP トレイの奥に突き当たるようにセットしてください。
- 奥までしっかりセットしても給紙されなかった場合は、先端を数ミリ上に反らせてセットしてください。
- 裏面（または表面）に印刷したハガキの反対面に印刷する場合は、ハガキの反りを直してからプリンタにセットしてください。
- 印刷する面を上に向けてセットしてください。宛名を印刷をする場合は、宛名面を上にしてセットします。両面印刷する場合は、良好な印刷結果を得るために、通信面を先に印刷してから、宛名面を印刷してください。

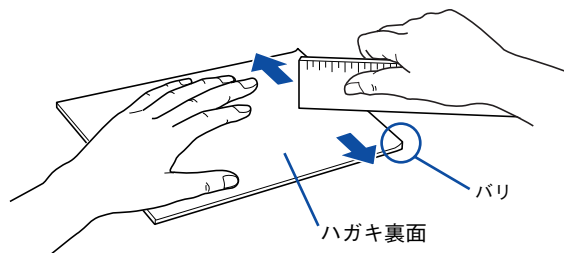
プリンタドライバの設定		ダイアログ	項目	設定値
郵便ハガキ	Windows	基本設定	用紙サイズ	［ハガキ 100 × 148mm］
			給紙装置	［MP トレイ］
			用紙種類	［指定しない］、［ハガキ（裏面）］ *1
	Mac OS 9	用紙設定	用紙サイズ	［ハガキ］
		プリント	給紙装置	［MP トレイ］
			用紙種類	［指定しない］、［ハガキ（裏面）］ *1
	Mac OS X（v10.2 以降）	ページ設定	用紙サイズ	［ハガキ］
		プリンタの設定（基本設定）	給紙装置	［MP トレイ］
			用紙種類	［指定しない］、［ハガキ（裏面）］ *1

プリンタドライバの設定		ダイアログ	項目	設定値
往復郵便ハガキ	Windows	基本設定	用紙サイズ	[往復ハガキ 148 × 200mm]
			給紙装置	[MP トレイ]
			用紙種類	[指定しない]、[ハガキ（裏面）] *1
	Mac OS 9	用紙設定	用紙サイズ	[往復ハガキ]
		プリント	給紙装置	[MP トレイ]
			用紙種類	[指定しない]、[ハガキ（裏面）] *1
	Mac OS X（v10.2 以降）	ページ設定	用紙サイズ	[往復ハガキ]
		プリンタの設定（基本設定）	給紙装置	[MP トレイ]
			用紙種類	[指定しない]、[ハガキ（裏面）] *1
4 連郵便ハガキ	Windows	基本設定	用紙サイズ	[4 連ハガキ 200 × 296mm]
			給紙装置	[MP トレイ]
			用紙種類	[指定しない]、[ハガキ（裏面）] *1
	Mac OS 9	用紙設定	用紙サイズ	[4 連ハガキ]
		プリント	給紙装置	[MP トレイ]
			用紙種類	[指定しない]、[ハガキ（裏面）] *1
	Mac OS X（v10.2 以降）	ページ設定	用紙サイズ	[4 連ハガキ]
		プリンタの設定（基本設定）	給紙装置	[MP トレイ]
			用紙種類	[指定しない]、[ハガキ（裏面）] *1

*1 片面印刷後さらにもう一方の面に印刷する場合は、[用紙種類] を [ハガキ（裏面）] に設定してください。

ハガキの「バリ」除去について

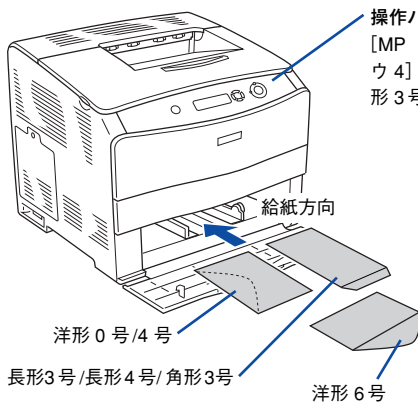
ハガキによっては、裏面に「バリ」(裁断時のかえり) が大きいために、給紙できない場合があります。印刷する前にハガキ裏面を確認し「バリ」がある場合には以下の方法に従って除去してください。

ハガキを水平な所に置いて、定規などを「バリ」がある部分に垂直にあてて矢印方向に 1 ～ 2 回こすり、「バリ」を除去します。

注 意 「バリ」除去の際に発生した紙粉をよく払ってから給紙してください。ハガキに紙粉が付着したまま給紙すると、用紙が給紙できなくなるおそれがあります。

封筒への印刷

本機で使用可能な封筒のサイズは、洋形 0 号 /4 号 /6 号、長形 3 号 /4 号、角形 3 号のみです。紙厚は 75g/m² ～ 105g/m² のものをお勧めします。封筒の品質は、製造メーカーによって異なります。また、封筒の紙種、保管および印刷環境、印刷方法によっては、しわが目立つ場合がありますので、事前に試し印刷することをお勧めします。また、大量の封筒を購入する前にも、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。

注意

- 以下の封筒は使用しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。特に糊付け加工が施されている封筒は、致命的な故障の原因になる場合がありますので絶対に使用しないでください。
  - 封の部分に糊付け加工が施されている封筒
  - 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のある封筒
  - リボン、フックなどが付いている封筒
  - 他のプリンタや複写機で一度印刷した封筒
  - 二重封筒
  - 窓付きの封筒
  - フラップが開いた状態で 110.0mm 以下の封筒
  - フラップの形状が三角の封筒
  - 耐熱温度約180度以下で変質する可能性のあるインクで印刷がされた封筒
- 封筒の裏面（フラップ側）へは印刷できません。

操作パネルでの設定：
［MP トレイヨウシサイズ］で［ヨウ0］（洋形 0 号）/［ヨウ 4］（洋形 4 号）/［ヨウ6］（洋形6 号）/［チョウ3］（長形 3 号）/［チョウ 4］（長形 4 号）/［カク 3］（角形 3 号）に設定

セット枚数：20枚または総厚20mm以下（MPトレイのみ）
印刷面：上
セット方向：
洋形 0 号 /4 号：フラップ部を閉じたまま、縦長にセット
洋形 6 号：フラップ部を開いたまま、フラップ部が給紙方向に対して後方になるように横長にセット
長形 3 号/ 長形 4 号/ 角形 3 号：フラップ部を開いたまま、フラップ部が給紙方向に対して後方になるように縦長にセット

参考

- 封筒の先端が MP トレイの奥に突き当たるようにセットしてください。
- 奥までしっかりセットしても給紙されなかった場合は、先端を数ミリ上に反らせてセットしてください。

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	[洋形 0 号 120 × 235mm]、[洋形 4 号 105 × 235mm]、[洋形 6 号 98 × 190mm]、[長形 3 号 120 × 235mm]、[長形 4 号 90 × 205mm]、[角形 3 号 216 × 277mm]
		給紙装置	[MP トレイ]
Mac OS 9	用紙設定	用紙サイズ	[洋形 0 号]、[洋形 4 号]、[洋形 6 号]、[長形 3 号]、[長形 4 号]、[角形 3 号]
	プリント	給紙装置	[MP トレイ]
Mac OS X（v10.2 以降）	ページ設定	用紙サイズ	[洋形 0 号]、[洋形 4 号]、[洋形 6 号]、[長形 3 号]、[長形 4 号]、[角形 3 号]
	プリンタの設定（基本設定）	給紙装置	[MP トレイ]

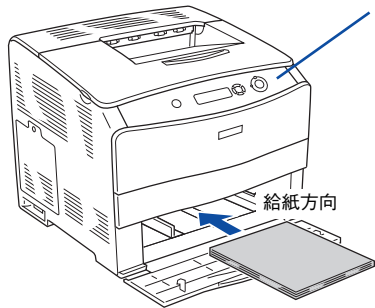
参考

印刷結果が思う向きにならない場合は、[180 度回転]（Windows）/ [180 度回転印刷]（Mac OS 9*）をご利用ください。

* Mac OS X（v10.2 以降）では設定できません。

☞Windows：本書 43 ページ「[応用設定] ダイアログ」
☞Mac OS 9：本書 158 ページ「[用紙設定] ダイアログ」

厚紙への印刷

本機では、紙厚 106 ～ 163g/m² の厚紙または紙厚 164 ～ 210g/m² の特厚紙を使用できます。厚紙の品質は、製造メーカーによって異なります。大量の厚紙を購入する前や大量の印刷を行う前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。

操作パネルでの設定：
セットした用紙サイズを［MP トレイヨウシサイズ］で設定

セット枚数：
　厚紙：総厚 20mm 以下（MP トレイのみ）
　特厚紙：総厚 20mm 以下（MP トレイのみ）
印刷面：上
セット方向：横長または縦長（用紙サイズにより異なる）
本書 324 ページ「MP トレイへの用紙のセット」

参考
- 用紙の先端が MP トレイの奥に突き当たるように用紙をセットしてください。
- 厚紙の裏面へ印刷する場合は、反りを十分直してからセットしてください。

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
		給紙装置	[MP トレイ]
		用紙種類 *1	[厚紙]、[特厚紙]、[厚紙（裏面）]、[特厚紙（裏面）]
Mac OS 9	用紙設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	プリント	給紙装置	[MP トレイ]
		用紙種類 *1	[厚紙]、[特厚紙]、[厚紙（裏面）]、[特厚紙（裏面）]
Mac OS X（v10.2 以降）	ページ設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	プリンタの設定（基本設定）	給紙装置	[MP トレイ]
		用紙種類 *1	[厚紙]、[特厚紙]、[厚紙（裏面）]、[特厚紙（裏面）]

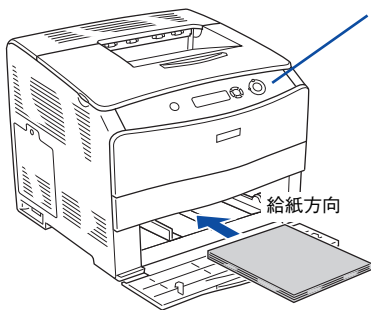
*1 紙厚が 106 ～ 163g/m² の場合は［厚紙］または［厚紙（裏面）］に、紙厚 164 ～ 210g/m² の場合は［特厚紙］または［特厚紙（裏面）］に設定してください。なお、片面印刷後にさらにもう一方の面に印刷する場合はそれぞれ［・・・（裏面）］に設定してください。

注意
本機で使用できる厚紙は、紙厚を基準に厚紙（紙厚 106 ～ 163g/m²）と特厚紙（紙厚 164 ～ 210g/m²）に分かれています。使用する用紙の紙厚に合わせて、［用紙種類］を正しく設定してください。用紙の紙厚と［用紙種類］の設定が合っていないと、紙詰まりが発生します。

ラベル紙への印刷

本機では、A4 または Letter サイズのラベル紙（レーザープリンタ用またはコピー機用のラベル紙）のみ印刷することができます。ラベル紙の品質は、製造メーカーによって異なります。大量のラベル紙を購入する前や大量の印刷を行う前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。

- 用紙の先端が MP トレイの奥に突き当たるように用紙をセットしてください。

> **注 意**
> 以下のラベル紙は使用しないでください。故障の原因になります。
> - 簡単にはがれてしまうラベル紙
> - 一部がはがれているラベル紙
> - 糊がはみ出しているラベル紙
> - 台紙全体がラベルで覆われていない（台紙がむき出しになっている）ラベル紙
> - インクジェットプリンタ用のラベル紙

操作パネルでの設定：
- ［MP トレイヨウシサイズ］を［A4］または［LT］に設定
- ［MP トレイタイプ］を［ラベル］に設定

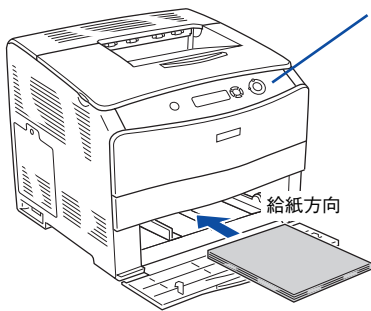
セット枚数：75 枚または総厚 20mm 以下（MP トレイのみ）
印刷面：ラベルが貼ってある面を上
セット方向：縦長

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	[A4 210 × 297mm]、[LT 8.5 × 11in]
		給紙装置	[MP トレイ]
		用紙種類	[ラベル]
Mac OS 9	用紙設定	用紙サイズ	[A4]、[Letter]
	プリント	給紙装置	[MP トレイ]
		用紙種類	[ラベル]
Mac OS X（v10.2 以降）	ページ設定	用紙サイズ	[A4]、[Letter]
	プリンタの設定（基本設定）	給紙装置	[MP トレイ]
		用紙種類	[ラベル]

コート紙への印刷

本機では EPSON 製カラーレーザープリンタ用コート紙（型番：LPCCTA4/ サイズ：A4）が使用できます（以下、「専用コート紙」と記載）。一般のコート紙を使用する場合は、紙厚が 105 ～ 210g/m² のコート紙が使用できます。ただし、コート紙の品質は、製造メーカーによって異なります。大量のコート紙を購入する前や大量の印刷を行う前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。

注意

- 用紙は密閉可能な袋もしくは容器に入れ、湿気の多い場所、乾燥し過ぎた場所での保管は避けてください。
- 用紙の先端が MP トレイの奥に突き当たるように用紙をセットしてください。
- 湿気の多い場所、乾燥し過ぎた場所での使用は避けてください。画像不良や、重送などの給紙不良を起こす場合があります。印刷に使用する分だけプリンタにセットしてください。
- 専用コート紙の両面に印刷する場合は、梱包紙の開封面側（梱包紙の合わせ目のある側）を印刷面として先に印刷してください。
- 専用コート紙は表面に特殊な加工を施しているため、使用する温湿度条件によっては重送などの給紙不良を起こす場合があります。このような場合は、MP トレイから 1 枚ずつ給紙してください。

操作パネルでの設定：
セットした用紙サイズを［MP トレイヨウシサイズ］で設定

セット枚数：総厚 20mm 以下（MP トレイのみ）
印刷面：上
セット方向：縦長

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
		給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類	［コート紙］、［コート紙（裏面）］*1
Mac OS 9	用紙設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	プリント	給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類	［コート紙］、［コート紙（裏面）］*1
Mac OS X（v10.2 以降）	ページ設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	プリンタの設定（基本設定）	給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類	［コート紙］、［コート紙（裏面）］*1

*1 片面印刷後にさらにもう一方の面に印刷する場合は［コート紙（裏面）］に設定してください。

OHP シートへの印刷

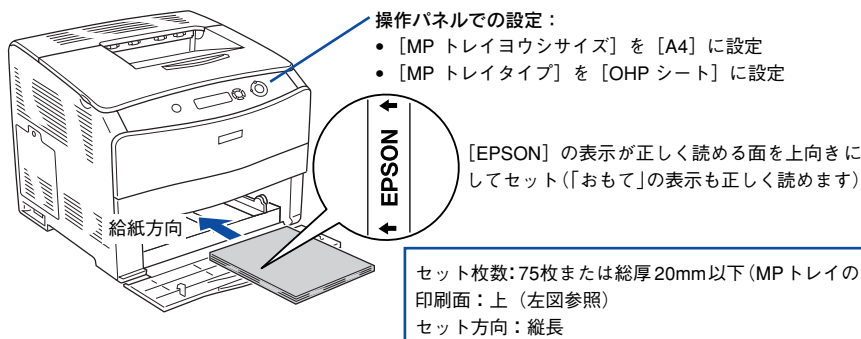
本機では、EPSON カラーレーザープリンタ専用 OHP シート（型番：LPCOHPS1/ サイズ：A4）を使用してください（以下「専用 OHP シート」と記載）。

注 意

- 専用 OHP シートは、手の脂が付かないように、手袋をはめるなどしてお取り扱いください。OHP シートに手の脂が付着すると、印刷不良の原因になる場合があります。
- 印刷直後の専用 OHP シートは熱くなっていますのでご注意ください。
- 用紙の先端が MP トレイの奥に突き当たるように用紙をセットしてください。
- 専用 OHP シートには裏表がありますので、下図を参考に表面を上に向けてセットしてください。

操作パネルでの設定：
- ［MP トレイヨウシサイズ］を［A4］に設定
- ［MP トレイタイプ］を［OHP シート］に設定

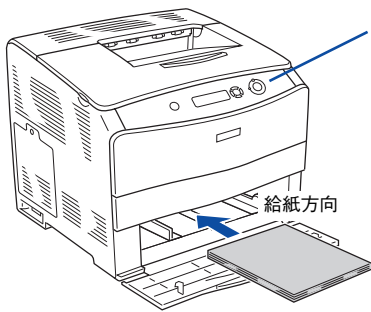
［EPSON］の表示が正しく読める面を上向きにしてセット（「おもて」の表示も正しく読めます）

セット枚数：75枚または総厚 20mm以下（MP トレイのみ）
印刷面：上（左図参照）
セット方向：縦長

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	[A4 210 × 297mm]
		給紙装置	[MP トレイ]
		用紙種類	[OHP シート]
Mac OS 9	用紙設定	用紙サイズ	[A4]
	プリント	給紙装置	[MP トレイ]
		用紙種類	[OHP シート]
Mac OS X（v10.2 以降）	ページ設定	用紙サイズ	[A4]
	プリンタの設定（基本設定）	給紙装置	[MP トレイ]
		用紙種類	[OHP シート]

不定形紙への印刷

本機で使用できる不定形紙のサイズは、用紙幅 90.0～220.0mm、用紙長 110.0～297.0mm です。大量の不定形紙を購入する前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態をご確認ください。

- 用紙の先端が MP トレイの奥に突き当たるように用紙をセットしてください。

> **注意**
> 不定形紙に印刷する場合は、必ずプリンタドライバの［ユーザー定義サイズ］（Windows）/［カスタム用紙（サイズ）］（Macintosh）で用紙サイズを指定してください。用紙サイズの異なる定形紙などを選択して印刷し続けた場合、プリンタ内部の定着器が破損する場合があります。

操作パネルでの設定：
特に設定の必要はありません。

セット枚数（紙厚によって異なる）
　普通紙 64 ～ 80g/m²：200 枚または総厚 20mm 以下（MP トレイのみ）
　上質紙 81 ～ 105g/m²：総厚 20mm 以下（MP トレイのみ）
　厚紙 106 ～ 163g/m²：総厚 20mm 以下（MP トレイのみ）
　特厚紙 164 ～ 210g/m²：総厚 20mm 以下（MP トレイのみ）
印刷面：上
セット方向：横長または縦長（用紙サイズにより異なる）
本書 324 ページ「MP トレイへの用紙のセット」

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	［ユーザー定義サイズ］で設定
		給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類	セットした用紙の種類に合わせて設定 *
Mac OS 9	用紙設定	用紙サイズ	［カスタム用紙］で設定
	プリント	給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類	セットした用紙の種類に合わせて設定 *
Mac OS X（v10.2 以降）	ページ設定	用紙サイズ	［カスタム用紙サイズ］で設定
	プリンタの設定（基本設定）	給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類	セットした用紙の種類に合わせて設定 *

* ［用紙種類］を［普通紙］、［上質紙］、［厚紙］、［特厚紙］、［コート紙］に設定して片面印刷した後にさらにもう一方の面に印刷する場合は、［普通紙（裏面）］、［上質紙（裏面）］、［厚紙（裏面）］、［特厚紙（裏面）］、［コート紙（裏面）］に設定してください。

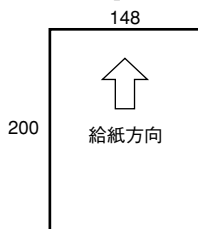
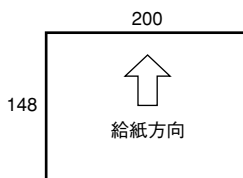
> **参考**
> アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。

印刷の手順

不定形紙への印刷は以下の手順で行ってください。

1. **印刷する不定形紙の用紙サイズをユーザー定義サイズ/カスタム用紙サイズとしてあらかじめプリンタドライバの［用紙サイズ］に登録します。**
   ☞ Windows：本書 34 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」
   ☞ Mac OS 9：本書 160 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」
   ☞ Mac OS X：本書 230 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

2. **［ユーザー定義サイズ］/［カスタム用紙（サイズ）］で設定した用紙方向に合わせて、プリンタに用紙をセットします。**

<例> ユーザー定義サイズを「用紙幅 148mm × 用紙長 200mm」に設定した場合

<例> ユーザー定義サイズを「用紙幅 200mm × 用紙長 148mm」に設定した場合

3. **印刷データで設定している用紙サイズと同じ用紙サイズを、❶ で登録した［用紙サイズ］リストの中から選択して、印刷を実行します。**

用紙タイプ選択機能

用紙タイプ選択機能を用いると、印刷実行時に各給紙装置の用紙サイズとタイプを調べ、目的の用紙がセットされている給紙装置から自動的に給紙できるようになります。これにより同サイズの異なるタイプ（種類）の用紙をセットしている場合などの誤給紙を防ぐことができます。用紙タイプ選択機能を使用するには、以下の手順に従ってください。

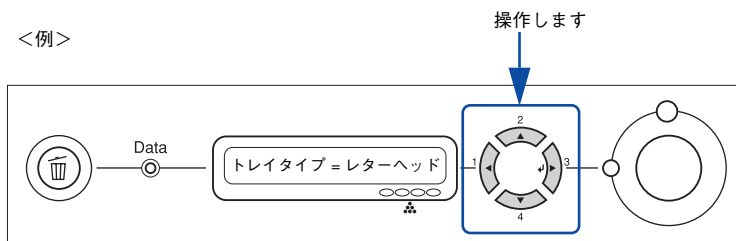
1 **各給紙装置にセットした用紙のタイプを設定します。**

操作パネルで設定モードに入り、［キュウシソウチメニュー］の［MP トレイタイプ］と［カセットタイプ］から使用する給紙装置の用紙タイプを設定します。

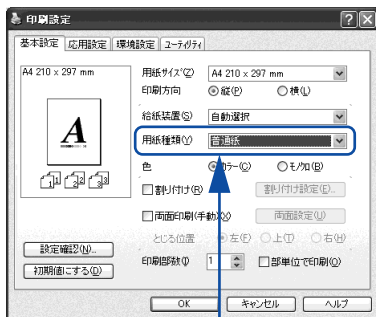
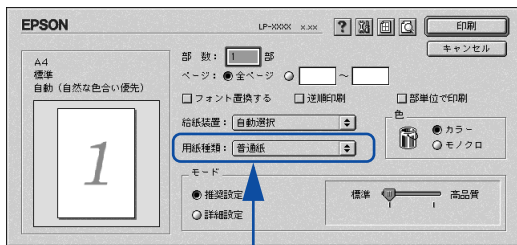
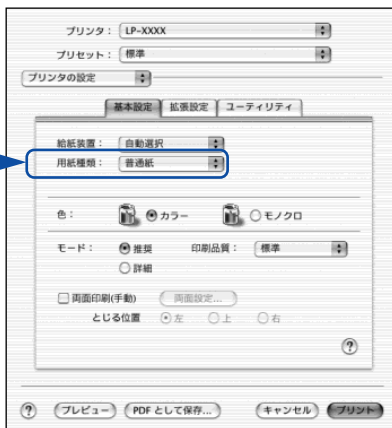
設定値：普通紙、上質紙、レターヘッド、再生紙、色付き、OHP シート＊、ラベル＊

＊ ［キュウシソウチメニュー］で［カセットタイプ］を選択した場合は設定できません。

本書 286 ページ「キュウシソウチメニュー」

＜例＞

2 **印刷実行時に、使用する用紙のタイプをプリンタドライバの［用紙種類］から選択します。**

印刷を実行すると、指定した用紙がセットされている給紙装置から自動的に給紙します。

☞ Windows：本書 30 ページ「［基本設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 163 ページ「［プリント］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 239 ページ「［基本設定］ダイアログ」

Mac OS 9 の場合

Mac OS X の場合

参考	［用紙種類］を選択すると［給紙装置］が自動的に選択されるので、［給紙装置］を選択する必要はありません。

添付されているフォントについて

本製品の CD-ROM に収録されているバーコードフォント（Windows のみ）の使い方と、TrueType フォントのインストール方法について説明しています。

EPSON バーコードフォントの使い方（Windows）

通常バーコードを作成するには、データキャラクタ（バーコードに登録する文字）のほかに様々なコードやキャラクタを指定したり、OCR-B* フォント（バーコード下部の文字）を指定する必要があります。EPSON バーコードフォントは、これらのバーコードやキャラクタを自動的に設定し、各バーコードの規格に従ってバーコードシンボルを簡単に作成、印刷することができるフォントです。

* OCR-B：光学的文字認識に用いる目的で開発され JISX9001 に規定された書体の名称。

EPSON バーコードフォントは、次の種類のバーコードをサポートしています。EPSON バーコードフォントは、本機に同梱のプリンタドライバ上でのみ使用可能です。

バーコードの規格	フォント名称	OCR-B	チェックデジット*	備考
JAN	EPSON JAN-8	あり	あり	JAN（短縮バージョン）のバーコードを作成します。
	EPSON JAN-8 Short	あり	あり	JAN（短縮バージョン）の、バーの高さを短くしたバーコードを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
	EPSON JAN-13	あり	あり	JAN（標準バージョン）のバーコードを作成します。
	EPSON JAN-13 Short	あり	あり	JAN（標準バージョン）の、バーの高さを短くしたバーコードを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
UPC-A	EPSON UPC-A	あり	あり	UPC-A のバーコードを作成します。
UPC-E	EPSON UPC-E	あり	あり	UPC-E のバーコードを作成します。
Code39	EPSON Code39	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON Code39 CD	なし	あり	
	EPSON Code39 CD Num	あり	あり	
	EPSON Code39 Num	あり	なし	
Code128	EPSON CODE128	なし	あり	Code128のバーコードを作成します。
Interleaved 2of5	EPSON ITF	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON ITF CD	なし	あり	
	EPSON ITF CD Num	あり	あり	
	EPSON ITF Num	あり	なし	
NW-7（CODABAR）	EPSON NW-7	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON NW-7 CD	なし	あり	
	EPSON NW-7 CD Num	あり	あり	
	EPSON NW-7 Num	あり	なし	
新郵便番号	EPSON J-Postal Code	なし	あり	新郵便番号に対応したバーコードを作成します。

* チェックデジット：読み取りの正確性を保つために、所定の計算式に基づいて計算されたキャラクタ。

注意事項

トナーの濃度や紙質あるいは、お使いのアプリケーションソフトウェアによっては、印刷されたバーコードが読み取り機で読み取れない場合があります。お使いの読み取り機で認識テストしてからご利用いただくことをお勧めします。

プリンタドライバの設定について

バーコードを印刷するには、プリンタドライバで次のように設定してください。

ダイアログ	項目	設定値
基本設定	割り付け	チェックマークなし（OFF）
応用設定	拡大 / 縮小	チェックマークなし（OFF）
応用設定 （応用設定ー詳細設定）	印刷品質	高品質（600dpi）
応用設定ー詳細設定	トナーセーブ	チェックマークなし（OFF）

文字の装飾 / 配置について

- 文字の装飾（ボールド / イタリック / アンダーライン等）、網掛けは行わないでください。
- 背景色は、バーコード部分とのコントラストが低下する色を避けてください。
- 文字の回転を行う場合、回転角度は 90 度、180 度、270 度以外は指定しないでください。
- 文字間隔の変更は行わないでください。
- アプリケーションソフトが文字間隔の自動調整機能や、スペース（空白）部分で単語間隔の自動調整機能を持っている場合、その機能を使用しないように設定してください。
- 文字の縦あるいは横方向のみを拡大 / 縮小しないでください。
- アプリケーションソフトのオートコレクト機能は使用しないでください。
（例＜＝＞ ⇨ ⇔）

入力時の注意について

- バーコードフォントを選択したままスペースを入力すると、スペースがバーコードの一部となる場合があり、バーコードとして使用できません。
- アプリケーションソフトウェアで改行を示すマークの表示 / 非表示を選択できる場合、バーコードの部分とそうでない部分が区別しやすいよう、改行マークが表示される設定で使用することをお勧めします。
- 入力した文字をバーコードに変換する際に、バーコードとして必要なキャラクタを自動的に追加するため、バーコードの長さは文字入力時よりも長くなる場合があります。バーコードの周囲の文字列がバーコードと重複しないように注意してください。
- バーコードのフォントサイズは、本書「各バーコードについて」の表中に記載されている保証サイズで作成していただくことをお勧めします。保証サイズ以外のサイズで作成した場合、読み取り機で読み取れないことがあります。
本書 357 ページ「各バーコードの概要」

システム条件

EPSON バーコードフォントをご利用いただくには、Windows でのシステム条件のほかに以下の条件が必要です。

☞ 本書 494 ページ「Windows システム条件」

ハードディスク：15 ～ 30KB の空き容量（書体ごとに異なります）

バーコードフォントのインストール

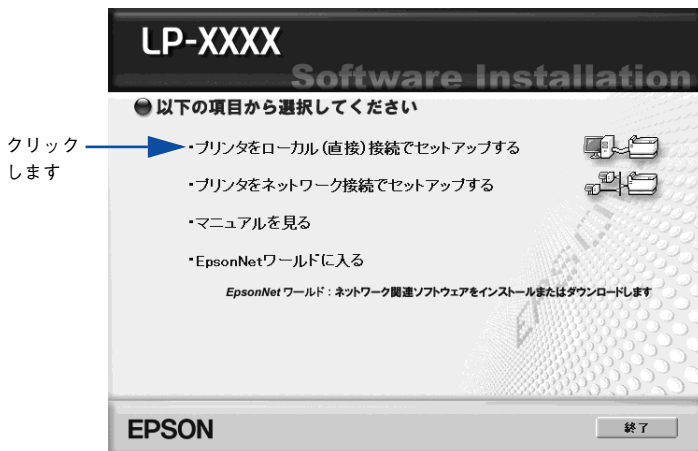
1 **Windows を起動してから、EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

2 **ウィルスチェックプログラムに対処します。**

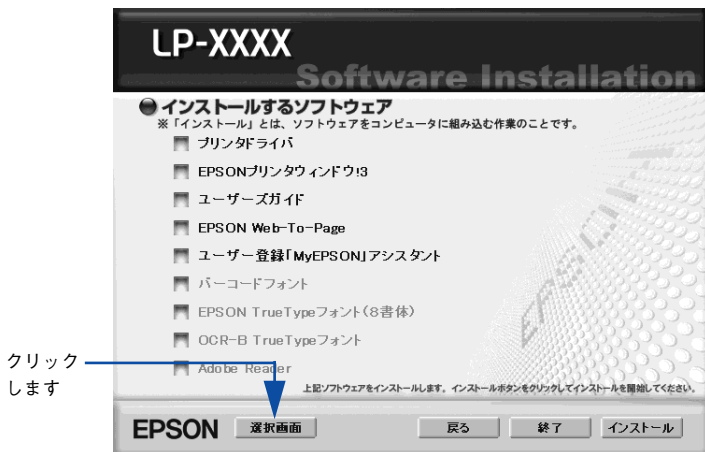
- ウィルスチェックプログラムの実行中は、[インストール中止] をクリックしてウィルスチェックプログラムを終了させてから作業を再開します。
- ウィルスチェックプログラムがないまたは停止中は、[続ける] をクリックして次へ進みます。

参 考	上記の画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ] ー [CD-ROM] ー [EPSETUP.EXE] をダブルクリックしてください。

3 **使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、[同意する] をクリックします。**

4 ［プリンタをローカル（直接）接続でセットアップする］を選択して次に進みます。

- Windows 2000/XP をお使いの場合は、5 へ進みます。
- Windows 98/Me/NT4.0/Server 2003 をお使いの場合は 6 へ進みます。

5 ［ソフトウェアのインストール］を選択して次に進みます。

以下の画面は Windows 2000/XP をお使いの場合のみ表示されます。

6 ［選択画面］ボタンをクリックします。

7 以下の画面が表示されたら、［バーコードフォント］にチェックを付けて［インストール］ボタンをクリックします。

参考 その他の項目（プリンタドライバや EPSON プリンタウィンドウ !3 など）がインストール済みの場合は、それぞれのチェックを外してください。各項目をクリックすることで、チェックする / しないが切り替わります。

8 EPSON バーコードフォントの使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。

9 **インストールするバーコードフォントをチェックして［セットアップ実行］ボタンをクリックします。**

使用しないバーコードフォントは、クリックしてチェックマークを外してください。インストールされません。

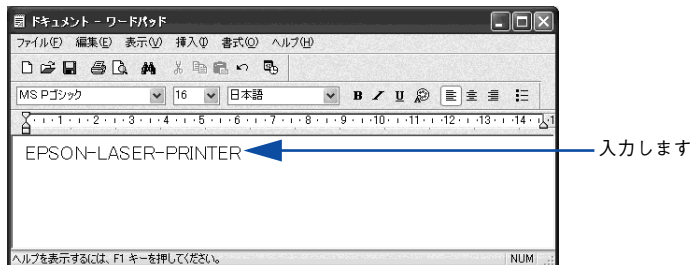
10 **インストール終了のダイアログが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。**

11 **インストーラの終了画面が表示されたら、［終了］ボタンをクリックします。**

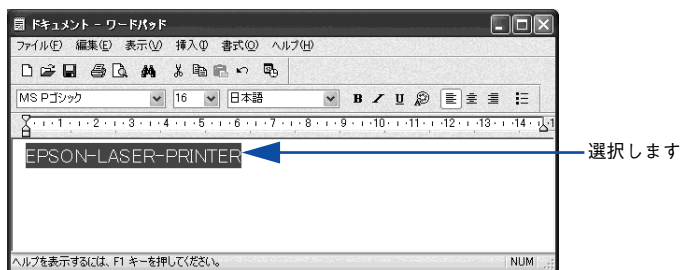
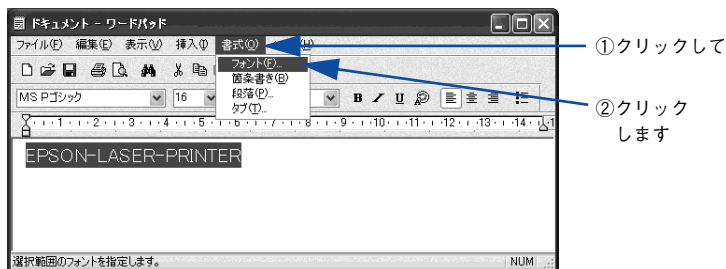
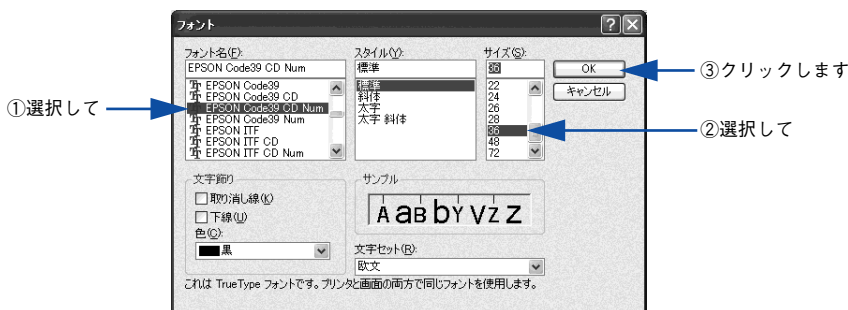
以上でEPSON バーコードフォントが Windows のフォントフォルダにインストールされました。

バーコードの作成

ここでは Windows XP に添付のワードパッドを例に、EPSON バーコードフォントの印刷手順を説明します。

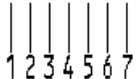
1 **ワードパッドを起動し、バーコード変換する文字を入力します。**

参 考	文字はすべて半角（1Byte）で入力してください。

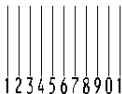
2 **入力した文字をマウスでドラッグして選択します。**

選択した範囲が反転表示になります。

3 **［書式］メニューをクリックし、［フォント］をクリックします。**

4 ［フォント］の一覧から印刷したいEPSON バーコードフォントを選択し［サイズ］でフォントのサイズを設定し、［OK］ボタンをクリックします。

参 考	● 推奨または使用可能なフォント（キャラクタ）サイズは、バーコードフォントの種類と OS のバージョンによって異なります。 本書 357 ページ「各バーコードの概要」 ● アプリケーションソフトによっては、フォントの選択肢をそのフォント自身で表示する場合があり、バーコードフォントが正常に表示されないことがあります。

5 入力した文字が、モニタ上で次のようにバーコードフォント表示されていることを確認します。

6 印刷を実行します。

入力したデータがバーコードとして印刷されます。

参 考	入力したデータが不適当な場合などプリンタドライバがエラーと判断した場合は、画面表示と同様のフォントが出力されます。この場合バーコードとして読み取りはできません。

各バーコードの概要

各バーコードの仕様や、入力するデータキャラクタの詳細 / 構成などについては、それぞれのバーコードの規格に関する文献を参照してください。

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-8（JAN 短縮バージョン）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-8 は「JIS X 0501」として規格化された JAN の短縮バージョン（8 桁）です。
• EPSON バーコードフォントは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは 7 桁です。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">7 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">52 ～ 130pt（Windows NT/2000/XP/Server 2003 は 96pt まで）
保証サイズは 52pt、65pt（標準）、97.5pt、130pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• チェックキャラクタ　• OCR-B　• センターバー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-8 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td>1234 5670</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-8 Short（JAN 短縮バージョン トランケーション）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-8 ShortはJAN-8のバーコードの高さを標準ポイントで11mmにしたもので､それ以外はJAN-8と同じ仕様です。
• バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。
• 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501 では定められていません。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">7 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">36 ～90pt
保証サイズは 36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• チェックキャラクタ　• OCR-B　• センターバー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-8 Short に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td>1234 5670</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-13（標準バージョン）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-13 は「JIS X 0501」として規格化された JAN の標準バージョン（13 桁）です。
• EPSON バーコードフォントでは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは 12 桁です。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">12 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">60 ～ 150pt（Windows NT/2000/XP/Server 2003 は 96pt まで）
保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• チェックキャラクタ　• OCR-B　• センターバー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-13 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123456789012</td><td>123456789012</td><td>1 234567 890128</td></tr>
</table>

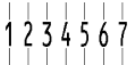
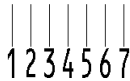
<table>
<tr><th colspan="4">JAN-13 Short（JAN 短縮バージョン トランケーション）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-13 ShortはJAN-13のバーコードの高さを標準ポイントで11mmにしたもので、それ以外はJAN-13と同じ仕様です。
• バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。
• 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501 では定められていません。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">12 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">36 ～90pt
保証サイズは 36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• チェックキャラクタ　• OCR-B　• センターバー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-13 Short に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123456789012</td><td>123456789012</td><td>1 234567 890128</td></tr>
</table>

UPC-A			
・UPC-A は､アメリカのUniversal Product Codeで制定されたUPC-AのRegularタイプです｡(UPC Symbol Specification Manual) ・Regular UPC コードのみサポートし、補足コードはサポートしていません。			
入力可能なキャラクタ	数字（0 ～ 9）		
入力するキャラクタの桁数	11 桁		
キャラクタのサイズ	60 ～ 150pt（Windows NT/2000/XP/Server 2003 は 96ptまで） 保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 ・レフト / ライトマージン　・レフト / ライトガードバー ・チェックデジット　・OCR-B　・センターバー			
印刷例	入力時	EPSON UPC-A に変換	印刷
	12345678901	12345678901	1 23456 78901 2

UPC-E			
・UPC-E は、アメリカのUniversal Product Code で制定された UPC-A のZero Suppression（余分な 0 を削除）タイプです。(UPC Symbol Specification Manual)			
入力可能なキャラクタ	数字（0 ～ 9）		
入力するキャラクタの桁数	6 桁		
キャラクタのサイズ	60 ～ 150pt（Windows NT/2000/XP/Server 2003 は 96ptまで） 保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 ・レフト / ライトマージン　・レフト / ライトガードバー ・OCR-B　・チェックデジット　・ナンバーシステム「0」のみ			
印刷例	入力時	EPSON UPC-E に変換	印刷
	123456	123456	0 123456 5

<table>
<tr><th colspan="4">Code39</th></tr>
<tr><td colspan="4">

- Code39 は「JIS X 0503」として規格化されたものです。
- EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で4 種類のフォントを用意しています。
- 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントはCode39 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
- スペースを“_”（アンダーライン）に割り当てています。スペースを表すバーコードを入力したい場合は、“_”（アンダーライン）を入力してください。
- 1 行に2 つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間はTAB で区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code39 を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。

</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">英数字（A ～ Z、0 ～9）
記号（－　.　スペース　$　/　＋　%）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt（WindowsNT/2000/XP/Server 2003 は 96pt まで）</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• 左 / 右クワイエットゾーン　• スタート / ストップキャラクタ　• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON Code39 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON Code39 CDNum に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td>1 2 3 4 5 6 7 S</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Code128</th></tr>
<tr><td colspan="4">
・Code128 は「JIS X 0504」として規格化されたものです。
・EPSON バーコードフォントはコードセット A、B、C をサポートしています。入力するキャラクタのコードセットが途中で変わった場合、自動的にコードセットの変換コードを挿入します。
・入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは Code128 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
・アプリケーションによっては行末に存在するスペースを削除したり、連続する複数個のスペースをタブなどに置き換えるなどの処理を自動的に行うものがあります。これらのアプリケーションでは、スペースを含むバーコードが正しく印刷されない場合があります。
・1 行に 2 つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間は TAB で区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code128 を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。
</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">全ての ASCII 文字（95 文字）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">26 ～ 104pt（Windows NT/2000/XP/Server 2003 は 96pt まで）
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
・左 / 右クワイエットゾーン
・スタート / ストップキャラクタ
・コードセットの変更キャラクタ
・チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON Code128 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1234567</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Interleaved 2of5</th></tr>
<tr><td colspan="4">

- Interleaved 2of5 は、アメリカで規格化されたものです。（USS Interleaved 2-of-5）
- EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で4 種類のフォントを用意しています。
- 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは Interleaved 2of5 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
- Interleaved 2of5 は、キャラクタを 2 個一組で扱います。キャラクタの合計数が奇数個の場合、EPSON バーコードフォントは自動的にキャラクタの先頭に 0 を追加して偶数個になるようにします。

</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">OCR-B の有無により異なります。（Windows NT/2000/XP/Server 2003 は 96pt まで）
OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。

- 左 / 右クワイエットゾーン
- スタート / ストップキャラクタ
- チェックデジット
- 文字列先頭への 0 の挿入（合計文字数が偶数でない場合のみ）

</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON ITF に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1234567</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON ITF CD Num に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>12345670</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">NW-7（CODABAR）</th></tr>
<tr><td colspan="4">
● NW-7 は「JIS X 0503」として規格化されたものです。
● EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で 4 種類のフォントを用意しています。
● 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは NW-7 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
● スタート / ストップキャラクタのどちらかを入力すると、EPSON バーコードフォントは残りのスタート / ストップキャラクタが同じになるように自動的に挿入されます。
● スタート / ストップキャラクタを入力しない場合は、両方とも自動的に A を挿入します。
</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 〜 9）、記号（－　＄　：　／　．　＋）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">OCR-B の有無により異なります。（Windows NT/2000/XP/Server 2003 は 96pt まで）
OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
● 左 / 右クワイエットゾーン　● スタート / ストップキャラクタ（入力しない場合）
● チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON NW-7 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON NW-7CDNum に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>A 1 2 3 4 5 6 7 4 A</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">新郵便番号（カスタマ・バーコード）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• バーコードの詳細については、郵政省より発行の資料を参照してください。
• EPSON バーコードフォントで入力する場合、次のように新郵便番号（3 桁）ー新郵便番号（4 桁）ー住所表示番号（バーコードに変換後 13 桁まで）入力します。
• 住所表示番号は入力時は桁数の制限はありませんが､バーコードに変換後 13 桁を超える部分は省略されます。また住所表示番号が 13 桁に満たない場合は、13 桁になるように末尾にコードを挿入します。
• アプリケーションソフトにおいて、印刷領域やレイアウト枠は余裕をもって設定してください。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）、英文字（A ～Z）、記号（ー）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし。ただし住所表示番号については、バーコードに変換後
13 桁を超える桁数の文字は省略されます。</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">8 ～ 11.5pt
保証サイズは 8pt、9pt、10pt、11.5pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• バーコードの上下左右 2mm の空白
• 入力時のー（ハイフン）の削除
• スタート / ストップコード
• 住所表示番号の 13 桁調整
• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON J-Postal Code に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123-4567</td><td>1 2 3 – 4 5 6 7</td><td></td></tr>
</table>

TrueType フォントのインストール方法

ここでは、本製品に添付の TrueType フォントのインストール方法を説明します。本製品に添付の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM には EPSON TrueType フォントが収録されています。TrueType フォントをインストールすることにより、アプリケーションソフトの書体に追加され、ポップやビジネス文書に表現力豊かな書類を作成することができます。

参 考
CD-ROM に収録されている OCR-B フォントセットには、OCR-B 規格で規定されている文字以外のものも含まれています。OCR-B フォントの保証サイズは 12 ポイントです。また、OCR-B フォントとして読み取り用に使用される際は、トナー状況や用紙の種類によって読み取れない場合がありますので、事前に読み取り機で読み取れることを確認してからお使いください。

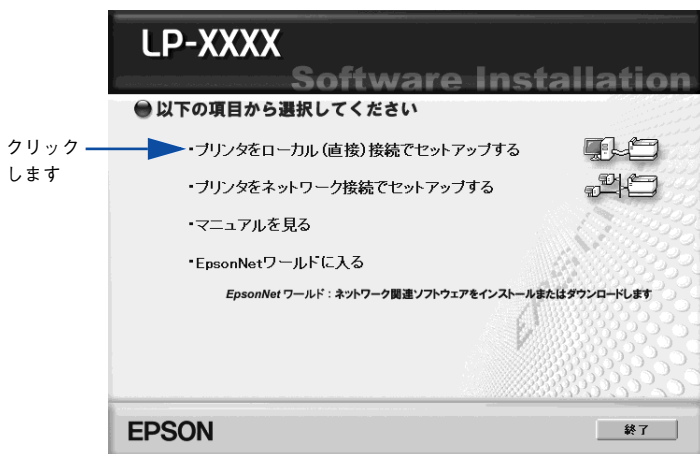
Windows でのインストール

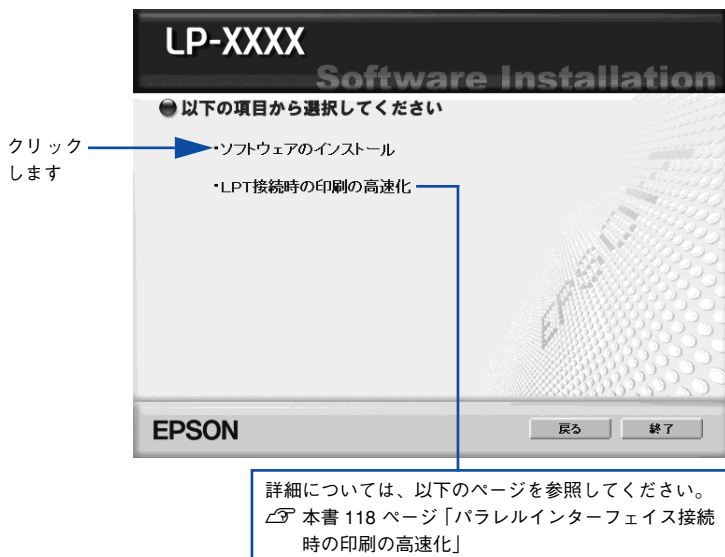
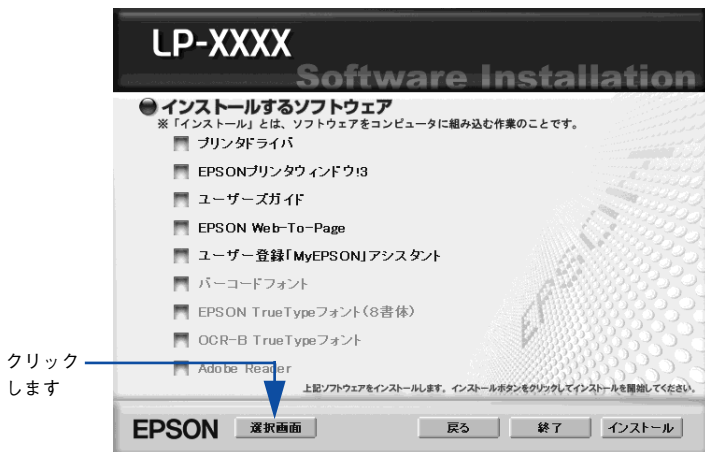
1. Windows を起動してから、EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

2. ウィルスチェックプログラムに対処します。
   - ウィルスチェックプログラムの実行中は、[インストール中止] をクリックしてウィルスチェックプログラムを終了させてから作業を再開します。
   - ウィルスチェックプログラムがないまたは停止中は、[続ける] をクリックして次へ進みます。

参 考
上記の画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ] ─ [CD-ROM] ─ [EPSETUP.EXE] をダブルクリックしてください。

3 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。

4 ［プリンタをローカル（直接）接続でセットアップする］を選択して次に進みます。

- Windows 2000/XP をお使いの場合は、5 へ進みます。
- Windows 98/Me/NT4.0/Server 2003 をお使いの場合は 6 へ進みます。

5 ［ソフトウェアのインストール］を選択して次に進みます。
以下の画面は Windows 2000/XP をお使いの場合のみ表示されます。

6 ［選択画面］ボタンをクリックします。

7 以下の画面が表示されたら、インストールするフォントにチェックを付けて［インストール］ボタンをクリックします。

参 考 その他の項目（プリンタドライバや EPSON プリンタウィンドウ !3 など）がインストール済みの場合は、それぞれのチェックを外してください。各項目をクリックすることで、チェックする / しないが切り替わります。

8 フォントの使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。

フォントのインストールが始まります。

9 インストール終了のダイアログが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。

参考　［EPSON TrueType フォント（8 書体）］と［OCR-B TrueType フォント］の両方を 7 で選択した場合は、続けて 8 と 9 を 2 度繰り返します。

10 インストーラの終了画面が表示されたら、［終了］ボタンをクリックします。

以上でTrueTypeフォントがWindowsのフォントフォルダにインストールされました。

Macintosh でのインストール

Mac OS 8.9-9.x には以下の手順で EPSON TrueType フォントがインストールできます。なお、Mac OS X へのインストールはできません。

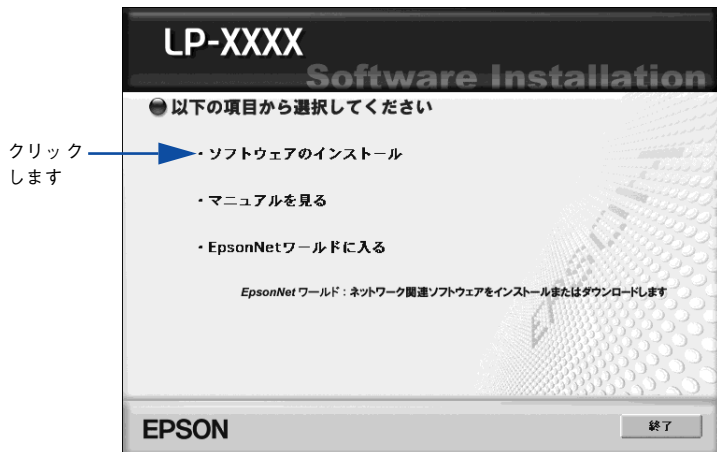
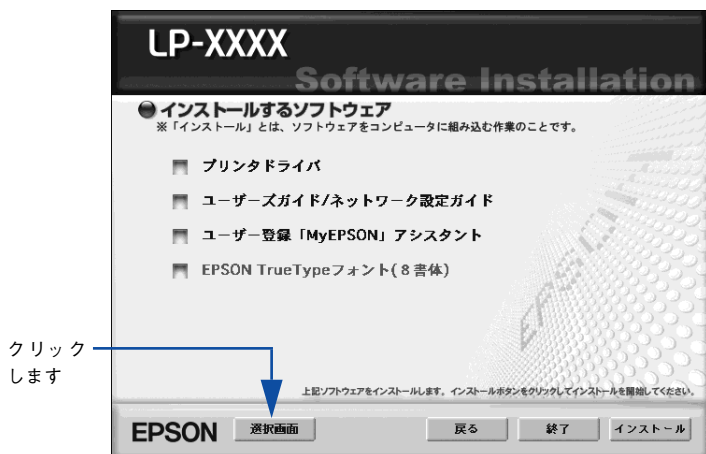
1 EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を Macintosh にセットします。

2 ［Mac OS 9 用］インストーラをダブルクリックします。

3 ウィルスチェックプログラムに対処します。

- ウィルスチェックプログラムの実行中は、［インストール中止］をクリックしてウィルスチェックプログラムを終了させてから作業を再開します。
- ウィルスチェックプログラムがないまたは停止中は、［続ける］をクリックして次へ進みます。

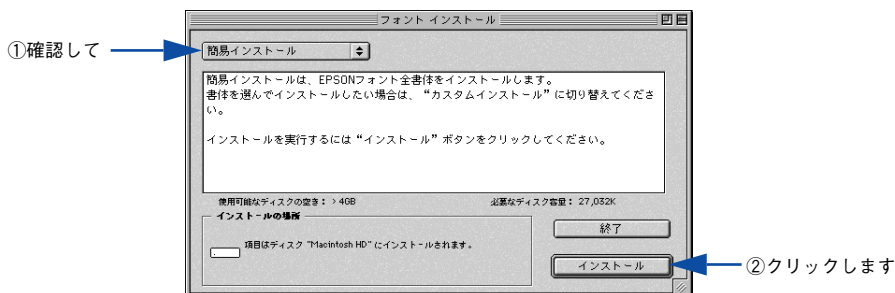
4 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。

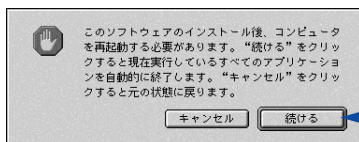
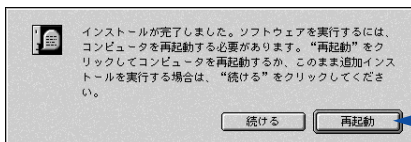
5 ［ソフトウェアのインストール］をクリックします。

6 ［選択画面］ボタンをクリックします。

7 次の画面が表示されたら、[EPSON TrueType フォント (8 書体)] にチェックを付けて [インストール] ボタンをクリックします。

参考	その他の項目（プリンタドライバなど）がインストール済みの場合は、それぞれのチェックを外してください。各項目をクリックすることで、チェックする / しないが切り替わります。

8 フォントの使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、[同意します] をクリックします。

9 [簡易インストール] が選択されていることを確認して、[インストール] をクリックします。

フォントのインストールが始まります。

参考 ［カスタムインストール］を選択すると、フォントを選択してインストールできます。使用するフォントをクリックしてチェックマークを付けてください。チェックマークの付かないフォントはインストールされません。

10 次の画面が表示されたら、［続ける］ボタンをクリックします。

11 次の画面が表示されたら、［再起動］ボタンをクリックします。

以上でフォントのインストールは終了です。

オプションと消耗品について

ここでは、オプションと消耗品の紹介と装着方法について説明します。

オプションと消耗品の紹介

本機で使用可能なオプション（別売品）と消耗品の紹介をします。以下の記載内容は2004 年 12 月現在のものです。

参 考

Ethernet（イーサネット）インターフェイスケーブル

本機のネットワークインターフェイスを使用する場合は、市販の Ethernet インターフェイスケーブル（ストレートケーブル）を使用してください。Ethernet ケーブルは、シールドツイストペアケーブル（カテゴリー 5）を使用してください。10Base-T、100Base-TX のどちらでも使えます。

パラレルインターフェイスケーブル

本機のパラレルインターフェイスに接続するパラレルインターフェイスケーブルは、コンピュータによって異なります。主なコンピュータの機種（シリーズ）でご使用いただけるパラレルインターフェイスケーブルは、次の通りです。

型番	機種	メーカー
PRCB4N	DOS/V 仕様機	EPSON、IBM、富士通、東芝、他各社
	PC-98NX シリーズ	NEC

参 考

- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータと本機の間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。
- ECP モード対応コンピュータをECP モードで接続する場合、PRCB4N をご使用ください。

接続方法については「セットアップガイド」（紙マニュアル）を参照してください。

USB インターフェイスケーブル

USB インターフェイスコネクタ装備のコンピュータと本機を接続する場合は、以下のオプションのケーブルを使用してください。

型番	商品名
USBCB2	EPSON USB ケーブル

参 考

USB ハブ（複数の USB 機器を接続するための中継機）を使用して接続する場合は、コンピュータに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続してご使用いただくことをお勧めします。また、お使いのハブによっては動作が不安定になるものがありますので、そのような場合はコンピュータの USB ポートに直接接続してください。

接続方法については「セットアップガイド」（紙マニュアル）を参照してください。

無線プリントアダプタ

プリンタのUSBインターフェイスポートに接続して、さらにネットワークに接続するための無線プリントアダプタです。

型番	商品名	備考
PA-W11G	IEEE802.11g対応無線プリントアダプタ	IEEE802.11b および IEEE802.11g に準拠した無線プリントアダプタです。無線傍受防止機能WEP128bit および WPA-Personal（TKIP）に対応しています。

取り付け方法についてはオプション製品に添付の取扱説明書を参照してください。機器の設定については、以下のページを参照してください。

本書290ページ「USB I/F セッテイメニュー」

増設1段カセットユニット

用紙カセットが1段装備されたユニットです。本機の下に増設することができます。

型番	商品名	備考
LPA4CZ1CU2	増設1段カセットユニット 用紙カセット（容量500枚）× 1段	使用できる用紙サイズ：A4、Letter

取り付け方法については、以下のページを参照してください。

本書384ページ「増設1段カセットユニットの取り付け」

両面印刷ユニット

A4サイズの用紙の両面に自動的に印刷するための装置です。

型番	商品名	備考
LPA4CRU2	両面印刷ユニット	使用できる用紙 • 用紙種類：普通紙、EPSON製カラーレーザープリンタ用上質普通紙 • サイズ：A4、B5、Letter（LT）、Executive（EXE） • 用紙厚：64～105g/m²

取り付け方法および使用方法は以下のページを参照してください。

本書389ページ「両面印刷ユニットの取り付け」
本書331ページ「両面印刷について」

専用紙

本機では、以下のEPSON製専用紙を使用できます。

型番（サイズ）	商品名	備考
LPCPPA4（A4）	EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙	普通紙への印刷において、最良の印刷品質を得ることできる上質普通紙です。MPトレイまたは用紙カセット（オプションの増設1段カセットユニット）のどちらからでも給紙できます。
LPCCTA4（A4）	EPSON カラーレーザープリンタ用コート紙	EPSON カラーレーザープリンタ専用のコート紙です。光沢のある美しい仕上がりの印刷が可能です。カタログ、パンフレットなどにご使用ください。MP トレイからのみ給紙できます。 本書 342 ページ「コート紙への印刷」
LPCOHPS1（A4）	EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート	EPSON カラーレーザープリンタ専用の OHP シートです。MP トレイからのみ給紙できます。 本書 343 ページ「OHP シートへの印刷」

注意

- 上記以外の EPSON 製専用紙は、本機で使用しないでください。プリンタ内部での紙詰まりや故障の原因となります。
- 上記の EPSON 製専用紙を使用する場合は、プリンタドライバの［用紙種類］を［上質紙］、［上質紙（裏面）］*、［コート紙］、［コート紙（裏面）］* または［OHP シート］に必ず設定してください。

  * 片面印刷後にさらにもう一方の面に印刷する場合に設定してください。

参考

EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙の両面に印刷する場合は、用紙の梱包紙の開封面側（包装紙の合わせ目のある側）を先に印刷面として印刷してください。

増設メモリ

プリンタの内部メモリ（標準搭載メモリ容量 32MB）を最大256MB* まで増設することができます。メモリを増設することにより、サイズの大きいデータや複雑なデータを高解像度で印刷できるようになります。

* 本機の最大増設メモリ容量は 256MB です。標準搭載 32MB メモリに 256MB メモリを増設しても 288MB にはなりません。

使用できるメモリの詳細については、下記エプソン販売のホームページから本機のオプション情報をご覧ください。

http://www.i-love-epson.co.jp

取り付け方法については、以下のページを参照してください。

本書 381 ページ「増設メモリの取り付け」

トナーカートリッジ

トナー カートリッジは、トナーの色によって 4 種類あり、最大印刷可能枚数によって型番が異なります。本機で使用可能なトナーカートリッジは次の通りです。

型番	商品名（色）	寿命
LPCA4ETC4C	ET カートリッジ（シアン）	各色約 1,500 ページ（A4、画占率 5%）
LPCA4ETC4M	ET カートリッジ（マゼンタ）	
LPCA4ETC4Y	ET カートリッジ（イエロー）	
LPCA4ETC5K	ET カートリッジ（ブラック）	各色約 4,000 ページ（A4、画占率 5%）
LPCA4ETC5C	ET カートリッジ（シアン）	
LPCA4ETC5M	ET カートリッジ（マゼンタ）	
LPCA4ETC5Y	ET カートリッジ（イエロー）	

1 つのトナーカートリッジで 1,500 ページまたは 4,000 ページ（A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合 *1）まで印刷できます。ただし、使用状況（電源オン／オフの回数や紙詰まり処理の回数など）や印刷の仕方（連続印刷 ／ 間欠印刷 *2）によりトナー消費量は異なります。

*1 最良の印刷品質を確保するために、A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数が上記数値より少なくなる場合があります。お客様の使用条件、使用環境によっては半分以下になる場合があります。

*2 間欠印刷とは 1 回あたりの印刷枚数が 1 ～数枚程度の少ない印刷のことです。

参 考　製品に同梱されているトナーカートリッジは約 1500 ページ（A4、画占率 5%）相当分の印刷ができます。

交換方法については以下のページを参照してください。

☞ 本書 399 ページ「トナーカートリッジの交換」

感光体ユニット

本機では、以下の感光体ユニットが使用できます。

型番	商品名	感光体ユニットの寿命
LPCA4KUT3	感光体ユニット	約 14,000 ページ（詳細は下記参照）

感光体ユニットの寿命は、A4 サイズの紙に面積比で各色約 5%、モノクロとカラーの比率が 1：2、2P/J 間欠印刷を行った場合 *1、約 14000 ページ *2 です。また、以下のように条件によって寿命は異なります。

- モノクロ連続印刷時（A4 サイズの紙に面積比で約 5%）：約 42,000 ページ
- モノクロ 1P/J 間欠印刷時（A4 サイズの紙に面積比で約 5%）：約 20,900 ページ
- カラー連続印刷時（A4 サイズの紙に面積比で各色約 5%）：約 10,500 ページ
- カラー 1P/J 間欠印刷時（A4 サイズの紙に面積比で各色約 5%）：約 10,500 ページ

ただし、使用状況（電源オン／オフの回数、紙詰まり処理の回数、厚紙などの特殊紙の印刷など）や印刷の仕方（連続印刷 / 間欠印刷 *2）により異なります。

*1 間欠印刷とは 1 回あたりの印刷枚数が 1 〜数枚程度の少ない印刷のことです。2P/J 間欠印刷とは、2 枚連続印刷して、間隔をおいた印刷のことです。

*2 最良の印刷品質を確保するために、A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数が上記数値より少なくなる場合があります。また、使用環境によっては印刷可能ページ数は半分以下になる場合があります。

交換方法については以下のページを参照してください。

本書 406 ページ「感光体ユニットの交換」

使用済みトナーカートリッジの回収について

資源の有効利用と地球環境保全のために

エプソン純正トナーカートリッジは、カートリッジ本体はもちろん、その梱包材などすべてを再利用できるリサイクル体制を整え、資源の有効利用と廃棄物ゼロの実現を目指しています。地球に優しい製品を提供する、エプソンが考える高性能のひとつです。

トナーカートリッジの回収については、カートリッジの梱包箱と添付の説明書をご確認ください

使用済みトナーカートリッジの梱包方法

使用済みトナーカートリッジの梱包には、新しいカートリッジの梱包箱を使用します。再梱包の方法については、カートリッジの梱包箱をご覧ください。

回収方法

エプソンでは、環境保全活動の一環として、

- 回収ポストを全国の取扱販売店様に設置
- 宅配便等を利用した回収

により、使用済みトナーカートリッジの回収を進めています。

回収方法の詳細につきましては、エプソン純正トナーカートリッジの梱包箱に同梱されております「ご案内シート」をご覧ください。また、エプソン販売株式会社のホームページ「I Love EPSON」でもご確認いただけます。
http://www.i-love-epson.co.jp/

環境保全のため、使用済みトナーカートリッジの回収にご協力いただきますようお願いいたします。

通信販売のご案内

EPSON製品の消耗品・オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソンOAサプライ株式会社の通信販売をご利用ください（2004年12月現在）。

ご注文方法

インターネットで	ホームページ：http://www.epson-supply.co.jp
お電話で	電話番号：0120－251－528（フリーダイヤル）
	受付時間：月～金曜日　AM9:00～PM6:15 土曜日　AM9:00～PM5:00 （祝祭日、弊社指定休日を除く）

※電話番号のかけ間違いにご注意ください。

お届け方法

当日配送	当日PM4:30までのご注文受付分は、即日配送手配いたします（在庫分のみ）。
お届け予定日	本州・四国・九州…翌日
	北海道・沖縄…翌々日

お支払い方法

代金引換	商品お受け取り時に、商品と引き換えに宅配便配送員へ代金をお支払いください。
クレジットカード	お取扱いカード：UC、JCB、VISA、Master、NICOS
コンビニエンスストア振込（前払い）	ご注文承り後、注文明細入り見積書と請求書、振込用紙をお送りいたします。請求書到着後、2週間以内にお振り込みください。ご入金確認後、商品を発送させていただきます。利用可能なコンビニエンスストアなどの詳細については、上記のホームページまたは電話にてご確認ください。
銀行振込	法人でのお申し込みに限ります。事前にご審査、ご登録が必要になります。

送料

お買い上げ金額の合計が4,725円以上（税込）の場合は、全国どこへでも送料は無料です。4,725円未満（税込）の場合は、全国一律525円（税込）です。

消耗品カタログの送付

プリンタ消耗品・関連商品のカタログをお送りいたします。カタログの配送につきましては、会員登録が必要になります。入会金、年会費は不要です。詳細については、上記のホームページまたは電話にてご確認ください。

増設メモリの取り付け

ここでは、増設メモリを取り付ける方法について説明します。装着できる増設メモリについては、以下のページを参照してください。

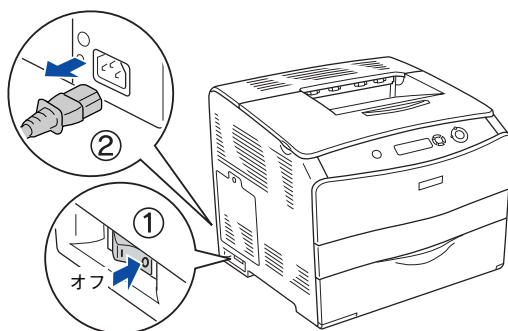
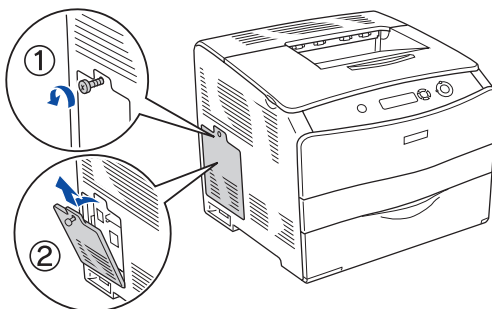
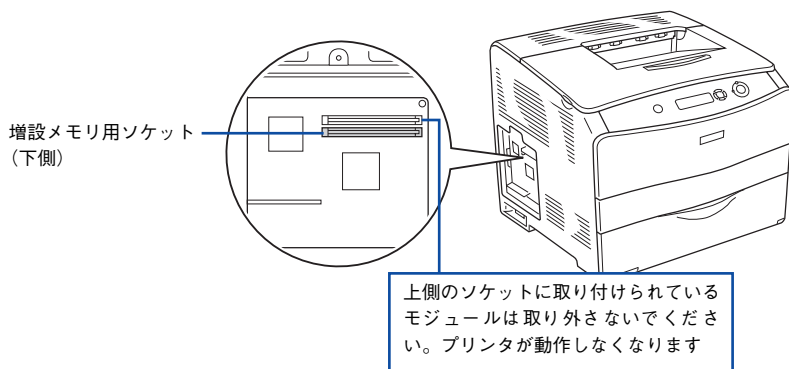
☞ 本書 376 ページ「増設メモリ」

取り付けは以下の手順に従って行ってください。プラスドライバを使用しますので、あらかじめご用意ください。

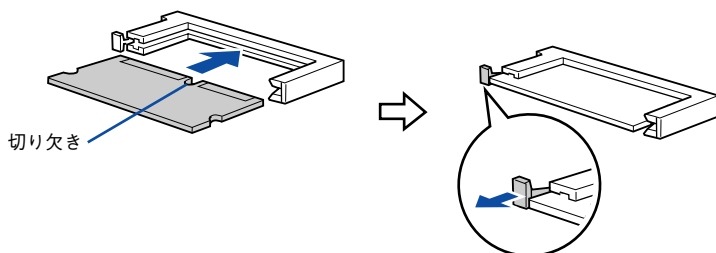
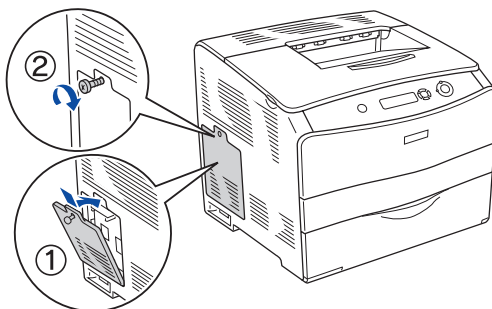
警告 指示されている以外の分解は行わないでください。内部には高電圧の部分があり、感電のおそれがあります。

 本作業は必ず電源コードを抜いた状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

注 意 増設メモリの取り付けの際、静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。

1 **プリンタの電源をオフ（〇）にし、電源コードを取り外します。**

2 **左カバーのネジ（1 本）を外して、左カバーを取り外します。**

3 プリンタ本体内の増設メモリ用ソケットの位置を確認します。

4 増設メモリを取り付けます。

> **注意**
> - 取り付ける際に、必要以上に力をかけないでください。部品を損傷するおそれがあります。作業は慎重に行ってください。
> - 取り付ける方向を逆にしないように注意してください。

① 増設メモリの下図の切り欠きがソケット内側の凸部分に合うように取り付け位置を決めて、ソケットの外枠にメモリを差し込みます。
② ソケット下側のボタンが飛び出すまで増設メモリの上部両端をゆっくりと均等に押し込みます。

5 **左カバーをプリンタに取り付けてから、ネジ（1 本）で固定します。**

6 **取り外した電源コードを元通りに取り付けて、プリンタの電源をオン（ | ）にします。**

7 **ステータスシートを印刷して、プリンタが増設メモリを正しく認識していることを確認します。**

ステータスシートを印刷すると、オプションが正しく取り付けられているか確認できます。

本書 397 ページ「ステータスシートでの確認」

正しく取り付けられているときは、［メモリ］または［実装メモリ容量］の項目に標準搭載メモリ 32MB と増設したメモリ容量の合計値 * が印刷されます。

* 本機の最大増設メモリ容量は 256MB です。標準搭載 32MB メモリに 256MB メモリを増設しても 288MB にはなりません。

参 考

- Windows をお使いの場合は、取り付けたオプションの設定をする必要があります。なお、EPSON プリンタウィンドウ !3 がインストールされていてコンピュータとプリンタが双方向通信できる場合は自動的にオプション情報が取得できますので、設定の必要はありません。
  本書 394 ページ「オプション装着時の設定」
- 本機は、メモリが効率的に使用されるような設定をプリンタのコントローラが自動的に行っていますので、キャッシュバッファや受信バッファの容量の設定は基本的に不要です。

以上で増設メモリの取り付けは終了です。

増設 1 段カセットユニットの取り付け

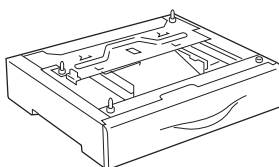
ここでは、本機に増設 1 段カセットユニットを取り付ける手順について説明します。装着できる増設 1 段カセットユニットについては、以下のページを参照してください。

☞ 本書 375 ページ「増設 1 段カセットユニット」

- オプションの取り付けは電源コードを取り外した状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。
- 本機を持ち上げる際は必ず 2 人以上で作業を行ってください。
  本機の重量は、約 28kg（消耗品含む）です。プリンタ本体を持ち上げる場合は、必ずプリンタ左右側面下部のくぼみの部分に手をかけて持ち上げてください。他の部分を持って持ち上げると、プリンタの落下によるけがの原因となります。またプリンタ本体に無理な力がかかるため、プリンタの損傷の原因となります。
  ☞ 本書 419 ページ「プリンタの輸送と移動」
- プリンタ本体を持ち上げる場合は、ひざを十分に曲げるなどして無理のない姿勢で作業を行ってください。無理な姿勢で持ち上げると、けがやプリンタの破損の原因となります。
- プリンタ本体を移動する場合は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。転倒などによる事故の原因となります。
- プリンタ本体をキャスター（車輪）付きの台などに載せる場合は、必ずキャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。固定しないと作業中に思わぬ方向に動いて、けがやプリンタの損傷の原因となります。
- 移動時は、増設 1 段カセットユニットにプリンタを載せたまま全体を持ち上げて運ばないでください。必ずプリンタと増設 1 段カセットユニットは別々に運んでください。

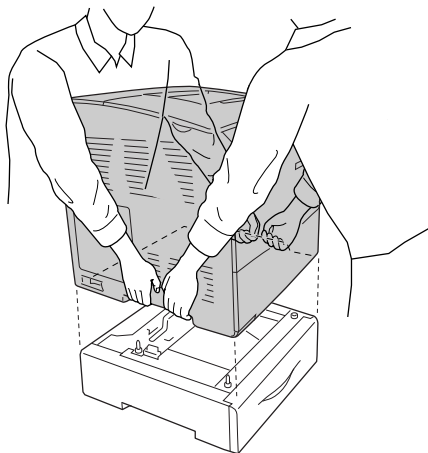
参 考

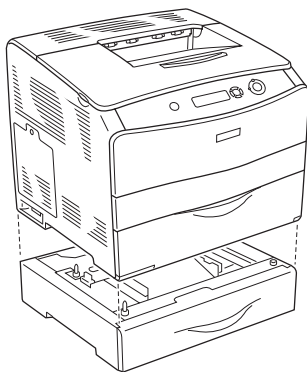
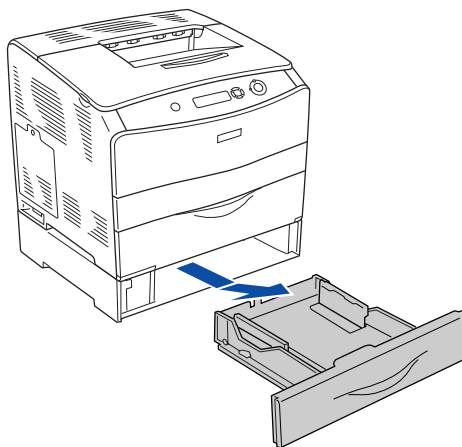
増設 1 段カセットユニットの取り付けを始める前に、ユニットに損傷のないことを確認し、保護材を取り外してください。万一損傷している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

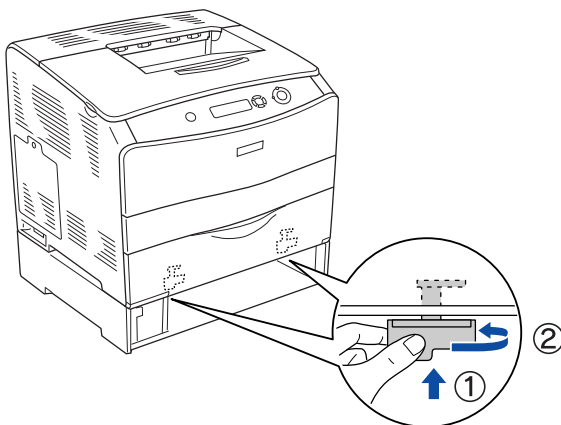
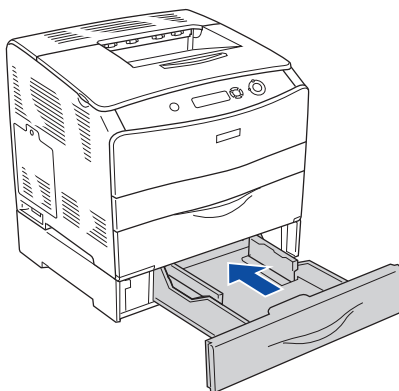
増設 1 段カセットユニット

取り付けは以下の手順に従って行ってください。

1. **プリンタの電源をオフ（〇）にし、電源コードを取り外します。**

2. **増設１段カセットユニットを水平な設置場所に置きます。**

3. **図のように２人で本機を持ち上げ、水平に保ちます。**

4 **増設 1 段カセットユニットの上にプリンタ本体を置きます。**

プリンタ本体の前面と増設 1 段カセットユニットの前面を図のように合わせ、増設 1 段カセットユニットのピンとプリンタ底面の穴が合うようにして、ゆっくり置きます。

5 **用紙カセットを増設 1 段カセットユニットから引き抜きます。**

6 **連結具（2 箇所）で増設 1 段カセットユニットとプリンタを固定します。**

① 連結具を押し上げます（用紙カセット挿入口の内側左右 2 箇所に付いています）。
② 連結具を回転して固定します。

7 **用紙カセットを増設 1 段カセットユニットにセットします。**

8 **取り外した電源コードを元通りに取り付けて、プリンタの電源をオン（ | ）にします。**

9 **ステータスシートを印刷して､増設 1 段カセットユニットが正しく認識されていることを確認します。**

ステータスシートを印刷すると、オプションが正しく取り付けられているか確認できます。

本書 397 ページ「ステータスシートでの確認」

正しく取り付けられているときは、［キュウシソウチ］または［給紙装置］の項目に［カセット 1］が印刷されます。

参考

- Windowsをお使いの場合は、取り付けたオプションの設定をする必要があります。なお、EPSON プリンタウィンドウ !3 がインストールされていてコンピュータとプリンタが双方向通信できる場合は自動的にオプション情報が取得できますので、設定の必要はありません。
  本書394ページ「Windowsでのオプション設定」
- Macintoshをお使いの場合は、取り付けたオプションをプリンタドライバに認識させる必要があります。
  本書396ページ「Macintoshでのオプション設定」

以上で増設1段カセットユニットの取り付けは終了です。

増設1段カセットユニットに用紙をセットする方法は、以下のページを参照してください。
本書326ページ「用紙カセットへの用紙のセット」

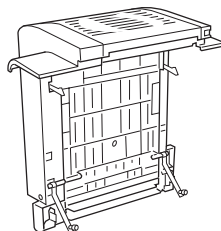
両面印刷ユニットの取り付け

ここでは、両面印刷ユニットを取り付ける方法について説明します。装着できる両面印刷ユニットについては、以下のページを参照してください。

☞ 本書 375 ページ「両面印刷ユニット」

参 考

両面印刷ユニットには、以下の同梱品が入っています。取り付けの前に同梱品の不足や損傷のないこと、保護材を取り外してあることを確認してから作業を始めてください。万一、不足しているものや損傷しているものがある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

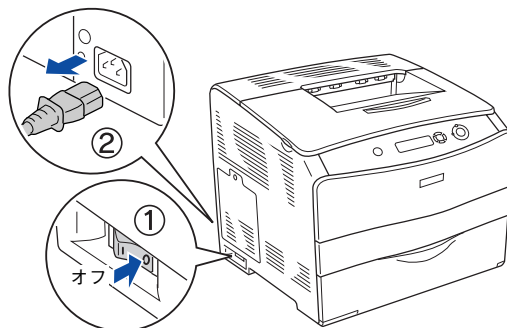
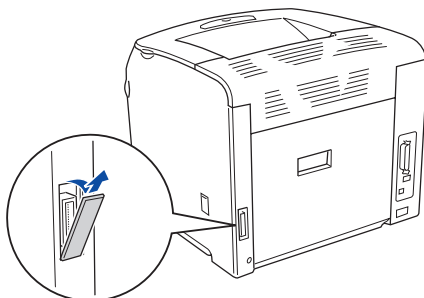
両面印刷ユニット　　ネジ（2 本）　　コネクタカバー

取り付けは以下の手順に従って行ってください。取り付け作業にはプラスドライバが必要です。

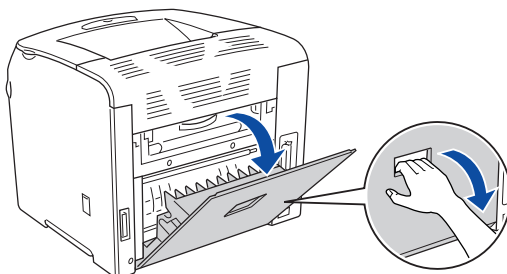
指示されている以外の分解はしないでください。けがや感電、火傷の原因となります。

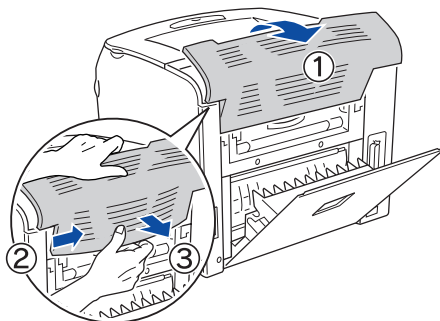
オプションの装着は電源コードを抜いた状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

注 意

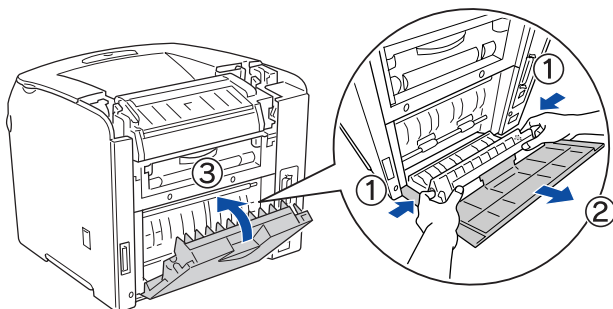
プリンタの電源がオン（Ｉ）の状態で両面印刷ユニットを取り付けると、故障の原因になる場合があります。

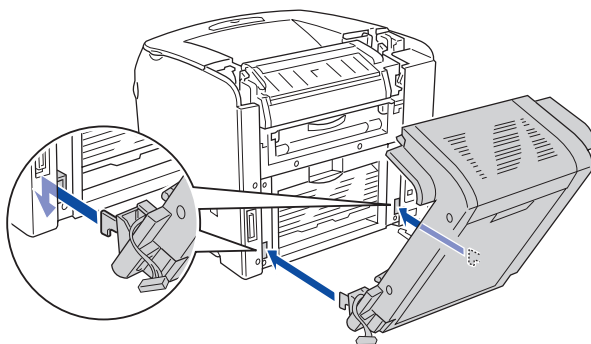
1 プリンタの電源をオフ（○）にし、電源コードを取り外します。

2 プリンタ背面のコネクタカバーを取り外します。

参 考	取り外したコネクタカバーは、なくさないように保管してください。後日両面印刷ユニットを取り外した場合に、コネクタカバーを取り付けてください。

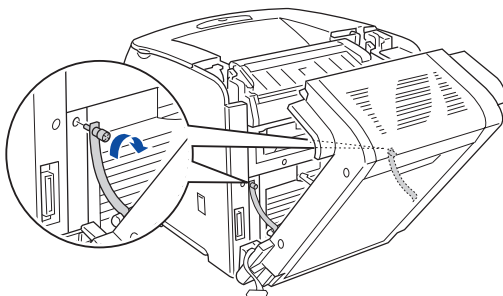
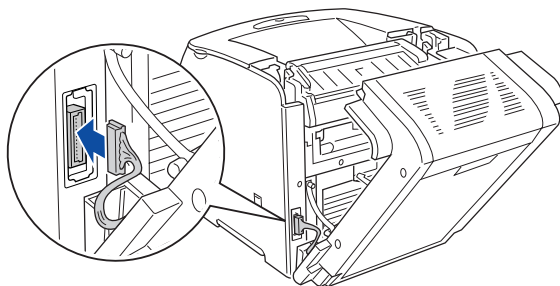
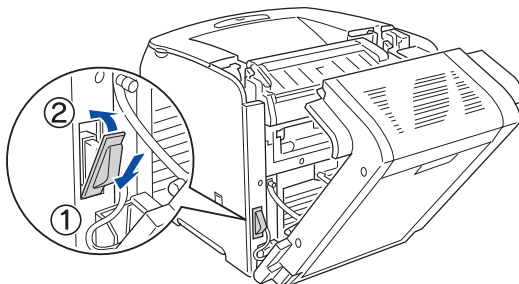
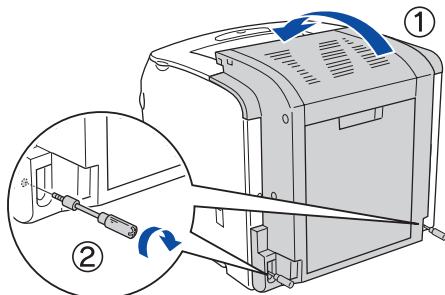
3 プリンタのＥカバーを開けます。

4 プリンタのＣカバーを開けて取り外します。

①Ｃカバーを開けます。
②Ｃカバーの中央を持ってたわませながら左側の突起部から外します。
③Ｃカバーを左後方へゆっくり引き抜いて取り外します。

参 考	取り外したＣカバーは、なくさないように保管してください。後日両面印刷ユニットを取り外した場合に、Ｃカバーを取り付けてください。

5 **背面カバーをＥカバーから取り外して、Ｅカバーを閉じます。**

① 背面カバーを固定している左右のノッチを押します。
② ノッチを押したまま背面カバーを上方向へ引き上げます。
③Ｅカバーを閉じます。

参 考	取り外した背面カバーは、なくさないように保管してください。後日両面印刷ユニットを取り外した場合に、背面カバーを取り付けてください。

6 **両面印刷ユニット下側のフック（左右２箇所）をプリンタ側の穴にはめ込んで取り付けます。**

注 意	左右のフックが穴にしっかりはめ込まれて、両面印刷ユニットが落下しないことを確認してください。

7 両面印刷ユニットの左右ストラップのネジをプリンタに固定します。

8 両面印刷ユニットの接続ケーブルをプリンタ側のコネクタに差し込みます。

9 両面印刷ユニットに付属のコネクタカバーを取り付けます。

10 Dカバーを閉じてから、両面印刷ユニットに付属のネジ（2本）を取り付けます。

注 意	Dカバーを閉じる際､接続ケーブルがプリンタとDカバーの間からはみ出て挟まらないように注意してください。

11 取り外した電源コードを元通りに取り付けて、プリンタの電源をオン（ | ）にします。

12 ステータスシートを印刷して、両面印刷ユニットが正しく認識されていることを確認します。

ステータスシートを印刷すると、オプションが正しく取り付けられているか確認できます。
本書397ページ「ステータスシートでの確認」
正しく取り付けられているときは､［オプション］の項目に［両面印刷ユニット］が印刷されます。

参 考

- Windowsをお使いの場合は､取り付けたオプションの設定をする必要があります。なお、EPSONプリンタウィンドウ!3がインストールされていてコンピュータとプリンタが双方向通信できる場合は自動的にオプション情報が取得できますので、設定の必要はありません。
  本書394ページ「Windowsでのオプション設定」
- Macintoshをお使いの場合は、取り付けたオプションをプリンタドライバに認識させる必要があります。
  本書396ページ「Macintoshでのオプション設定」

以上で両面印刷ユニットの取り付けは終了です。

両面印刷する方法は、以下のページを参照してください。
本書331ページ「両面印刷について」

オプション装着時の設定

Windows でのオプション設定

メモリや給紙装置などのオプションを装着した場合、Windows プリンタドライバで装着状況を確認させる必要があります。Windows プリンタドライバのインストール後、以下の手順に従ってください。

参 考
- EPSONプリンタウィンドウ!3がインストールされていてコンピュータとプリンタが双方向通信できる場合は自動的にオプション情報が取得できますので、設定の必要はありません。
- Windows NT4.0/2000/Server 2003 の場合は管理者権限（Administrators）のあるユーザーとして、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンする必要があります。

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

- **Windows XP の場合**

①［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
　［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、❷ へ進みます。
②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③［プリンタと FAX］をクリックします。

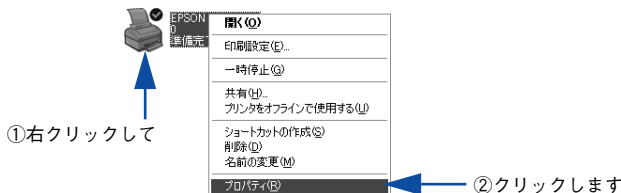
- **Windows Server 2003 の場合**

［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］-［プリンタと FAX］にカーソルを合わせ、❷ へ進みます。［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、❷ へ進みます。

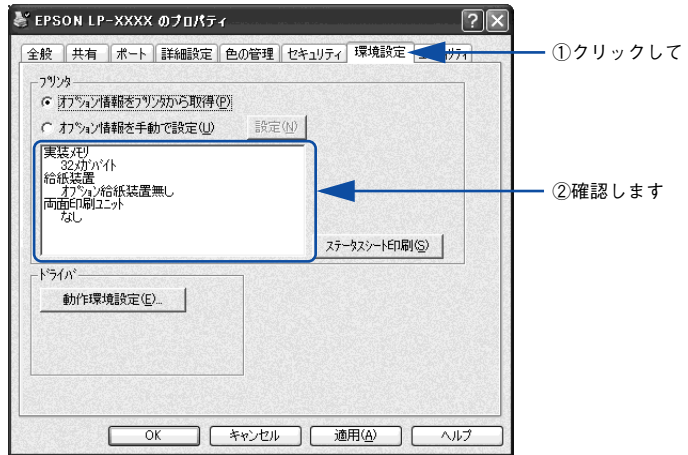
- **Windows 98/Me/NT4.0/2000 の場合**

［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

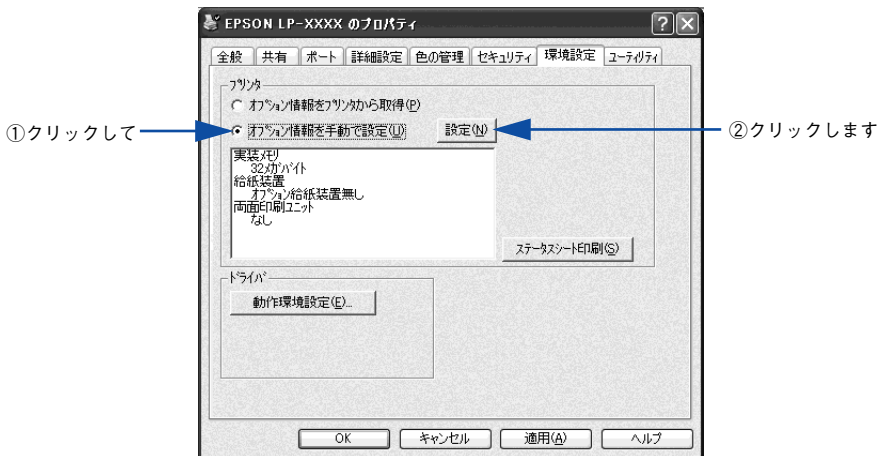
2 LP-V500 のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

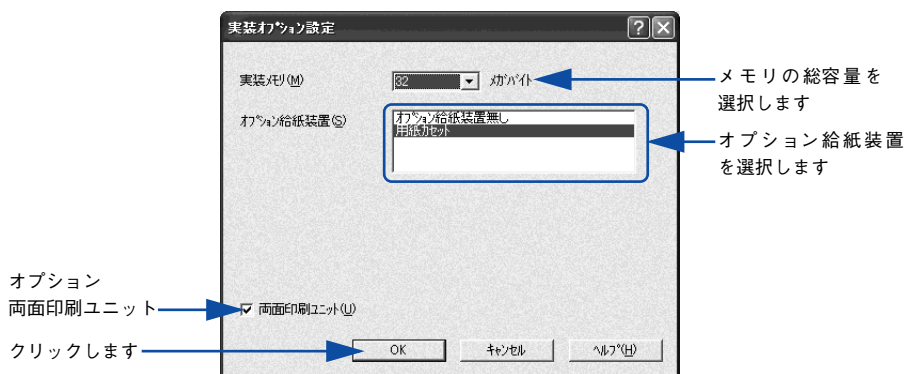
このときに、プリンタのオプション装着状況の確認を開始します。

参 考
通信エラーが発生した場合は、［OK］ボタンをクリックしてエラーダイアログを閉じてください。手動でオプション情報を設定できます。

3 ［環境設定］タブをクリックし、オプション情報リストを確認します。

- ［オプション情報をプリンタから取得］が選択された状態で自動的にオプション情報が取得できれば、装着したオプションをリストに表示します。6 へ進みます。

- 装着しているオプションがリストに表示されない場合は、手動でオプション情報を設定します。4 へ進みます。

4 ［オプション情報を手動で設定］をクリックして、［設定］ボタンをクリックします。

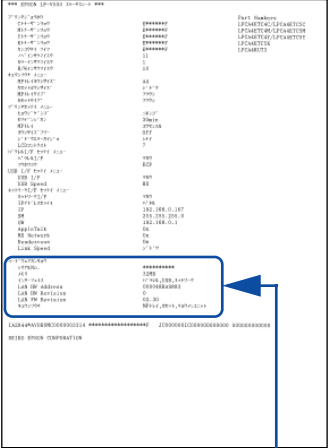
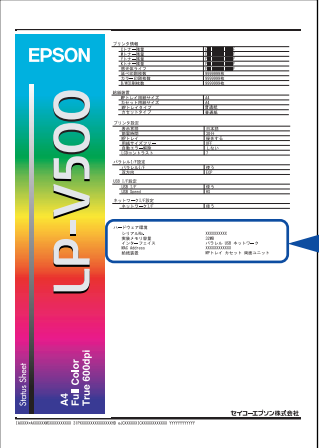
［実装オプション設定］ダイアログが開きます。

5 **装着したオプションを選択して、[OK] ボタンをクリックします。**

- [実装メモリ] リストから、増設したメモリの容量を含めてプリンタの総メモリ容量を選択します。
- [オプション給紙装置] リストで、装着したオプション給紙装置名をクリックして選択します。
- [両面印刷ユニット] をクリックしてチェックマークを付けると、装着したオプションの両面印刷ユニットが使用できます。

設定の詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 67 ページ「[実装オプション設定] ダイアログ」

6 **[OK] ボタンをクリックしてプリンタのプロパティを閉じます。**

以上でオプションの設定は終了です。

参考	ステータスシートを印刷すると、オプションが正しく装着されているか確認できます。 ☞ 本書 397 ページ「ステータスシートでの確認」

Macintosh でのオプション設定

給紙装置などのオプションを装着した場合、Macintosh プリンタドライバで装着状況を確認させる必要があります。Macintosh プリンタドライバのインストール後、以下の手順に従ってください。

- Mac OS 9 では、プリンタドライバを [セレクタ] で再選択してください。
  ☞ 本書 145 ページ「印刷を始める前に」
- Mac OS X では、[プリンタ設定ユーティリティ] / [プリントセンター] にプリンタを追加し直してください。
  ☞ 本書 216 ページ「[プリンタ設定ユーティリティ] / [プリントセンター] へのプリンタの追加」

ステータスシートでの確認

ステータスシートを印刷すると、プリンタや取り付けたオプションが正常に使用できるか確認できます。オプションを取り付けたらステータスシートを印刷して確認してください。本機では、簡易ステータスシートと標準ステータスシートを印刷することができます。

簡易ステータスシート	標準ステータスシート
現在のプリンタの状態や設定値、消耗品の情報、装着オプションの情報が印刷されます。	カラー印刷例と現在のプリンタの状態や設定値、消耗品の情報、装着オプションの情報が印刷されます。
＜サンプル印刷例＞	＜サンプル印刷例＞
オプションの情報を確認します	オプションの情報を確認します
印刷手順については､以下のページを参照してください。 本書 302 ページ｢プリンタの状態や設定値を印刷するには｣	印刷手順については､以下のページを参照してください。 Windows:本書 64 ページ｢［環境設定］ダイアログ｣ Mac OS 9：本書 191 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」 Mac OS X：本書 265 ページ「EPSON リモートパネル !」

参 考　プリンタドライバから印刷した場合、コンピュータの設定やプリンタとの接続環境によって、簡易ステータスシートが印刷されることがあります。

プリンタのメンテナンス

ここでは、メンテナンス方法や輸送 / 移動時の注意事項などについて説明しています。

トナーカートリッジの交換

トナーカートリッジについて

トナーカートリッジは印刷画像を用紙上に形成するトナーの入った装置です。シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの 4 色を使用して印刷画像の色を再現します。

型番	商品名（色）	寿命
LPCA4ETC4C	ET カートリッジ（シアン）	各色約 1,500 ページ*
LPCA4ETC4M	ET カートリッジ（マゼンタ）	
LPCA4ETC4Y	ET カートリッジ（イエロー）	
LPCA4ETC5K	ET カートリッジ（ブラック）	各色約 4,000 ページ*
LPCA4ETC5C	ET カートリッジ（シアン）	
LPCA4ETC5M	ET カートリッジ（マゼンタ）	
LPCA4ETC5Y	ET カートリッジ（イエロー）	

* 印刷可能ページ数は、A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合です。ただし、使用状況や印刷の仕方によってトナーの消費量は異なります。お客様の使用条件、使用環境によっては半分以下になる場合があります。

注 意

本機は純正トナーカートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、プリンタ本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、プリンタ本体の性能が発揮できない場合があります。純正品以外のものをご使用したことにより発生した不具合については保証いたしませんのでご了承ください。

参 考

製品に同梱されているトナーカートリッジは約 1500 ページ（A4、画占率 5%）相当分の印刷ができます。

トナーカートリッジの交換時期

1 つのトナーカートリッジで 1,500 ページまたは 4,000 ページ（A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合 *1）まで印刷できます。ただし、使用状況（電源オン／オフの回数や紙詰まり処理の回数など）や印刷の仕方（連続印刷 / 間欠印刷 *2）によりトナー消費量は異なりますので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。

*1 最良の印刷品質を確保するために、A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数が上記数値より少なくなる場合もあります。

*2 間欠印刷とは 1 回あたりの印刷枚数が 1 ～数枚程度の少ない印刷のことです。

参 考

操作パネルの［プリンタジョウホウメニュー］や EPSON プリンタウィンドウ !3 は、トナー残量の目安を表示することができます。ただし、あくまで目安ですので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。印刷がかすれている場合、交換を促すエラーメッセージが表示された場合は、すぐに交換してください。

☞操作パネル：285 ページ「プリンタジョウホウメニュー」
☞Windows：本書 74 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
☞Mac OS 9：本書 201 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
☞Mac OS X：本書 256 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」

トナーカートリッジ交換時の注意

警告　トナーカートリッジは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

注意　交換作業中は、指定以外のプリンタ内部に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。

- トナーカートリッジにトナーを補充しないでください。正常に印刷できないなどの原因となるおそれがあります。
- トナーカートリッジ装着部の色を確認して、同じ色のトナーカートリッジを装着してください。
- トナーのなくなったトナーカートリッジは再利用しないでください。
- 寒い所から暖かい所に移動した場合は、トナーカートリッジを室温に慣らすため未開封のまま 1 時間以上待ってから使用してください。
- トナーが手や衣服に付いたときは、すぐに水で洗い流してください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなります。

トナーカートリッジ保管上の注意

子供の手の届かないところに保管してください。

- トナーカートリッジは、必ず専用の梱包箱に入れ、水平に置いた状態で保管してください。
- 温度範囲 0 ～ 35 ℃、湿度範囲 15 ～ 80% の環境で保管してください。
- 高温多湿になる場所には置かないでください。

使用済みトナーカートリッジの回収について

資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。使用済みトナーカートリッジの回収方法については、新しいトナーカートリッジに添付されておりますご案内シート、または以下のページを参照してください。

本書 379 ページ「使用済みトナーカートリッジの回収について」

やむを得ず、使用済みトナーカートリッジを処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

警告　トナーカートリッジは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

トナーカートリッジの交換手順

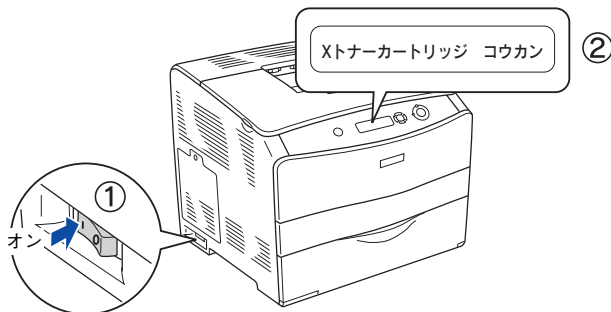
トナーが完全になくなると、液晶ディスプレイに［＊＊＊＊トナーカートリッジコウカン］と表示され、トナーの無くなったトナーカートリッジが交換位置で停止します。また、EPSON プリンタウィンドウ !3 でも交換を促すメッセージを表示します。

参 考	トナーが完全になくなると、新しいトナーカートリッジと交換するまで、印刷は再開できません。

トナーカートリッジの交換は以下の手順に従ってください。なお、交換の前に、必ず以下のページを参照して注意点を確認してください。

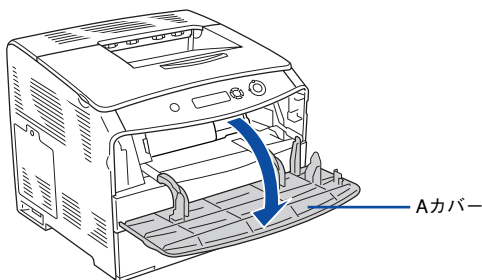
本書 400 ページ「トナーカートリッジ交換時の注意」

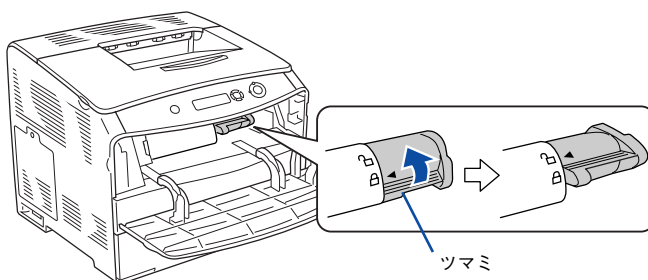
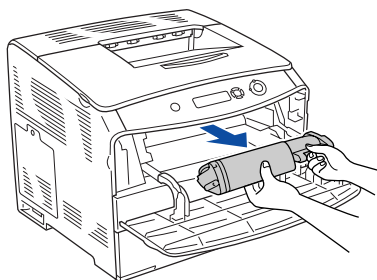
1 交換するトナーカートリッジの色（KCMY）を確認します。

① プリンタの電源がオフ（○）の場合はオン（｜）にします。
② 操作パネルの液晶ディスプレイのメッセージを確認します。

表示されている色（K：ブラック、C：シアン、M：マゼンタ、Y：イエロー）の新しいカートリッジを取り付けます。

参 考	トナーが残り少なくなり［＊＊＊＊トナーガスクナクナリマシタ］と表示されてトナーを交換する場合は、操作パネルの［リセットメニュー］から［X トナーカートリッジコウカン］を実行（交換する KCMY トナーを指定）してから 2 へ進んでください（交換するトナーカートリッジを装着口に移動させる必要があります）。 本書 288 ページ「リセットメニュー」

2 プリンタのＡカバーを開けます。

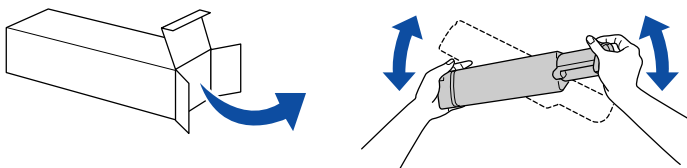
注 意

電源をオン（｜）にした直後は、プリンタの初期動作が終了するまでＡカバーを開けないでください。プリンタの内部機構が動作していないこと（動作音が聞こえないこと）を確認してからＡカバーを開けてください。

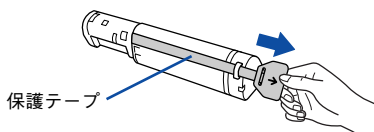
3 トナーカートリッジ右側のツマミを上げて、ロックを解除します。

4 使用済みのトナーカートリッジを手前にゆっくり引き抜きます。

参 考

使用済みのトナーカートリッジについては、以下のページを参照してください。

本書 400 ページ「使用済みトナーカートリッジの回収について」

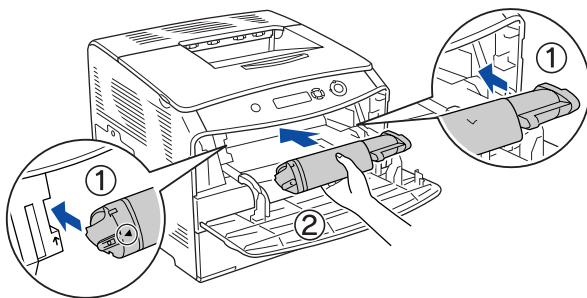
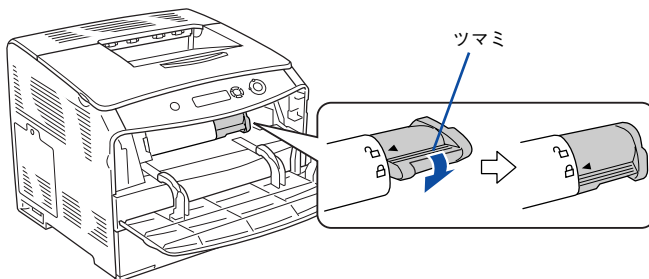
5 **新しいトナーカートリッジを梱包箱と袋から取り出して、図のように左右に傾けてかるく3～4 回振ります。**

トナーカトリッジ内のトナーが均一な状態になります。

参 考	トナーカートリッジの入っていた梱包箱や袋は、使用済みのトナーカートリッジを回収する際に必要となります。梱包箱や袋は、今回取り外した使用済みトナーカートリッジの回収にご利用いただくか、次回の交換時まで大切に保管してください。

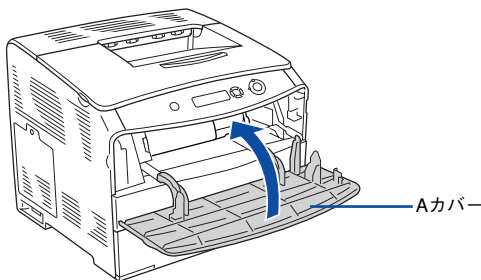
6 **トナーカートリッジの保護テープを矢印の方向へゆっくり引き抜きます。**

注 意	テープを引き抜いた後、カートリッジを振ったり、衝撃を与えないでください。

7 **トナーカートリッジを取り付けます。**

① トナーカートリッジの▲マークと装着口の▲マークを合わせます（右端も装着口に合うように、トナーカートリッジは水平に持ちます）。

② トナーカートリッジを装着口の奥までゆっくり差し込み、指先で均等に押さえ付けてしっかりセットされていることを確認します。

8 トナーカートリッジ右側のツマミを下げて固定（ロック）します。

注意

- ツマミを下げる前に、トナーカートリッジを指先で均等に押さえて動かないか必ず再度確認してください。トナーカートリッジがしっかりセットされていないと、トナーが漏れます。
- ツマミを最後までしっかりと下げて固定してください。正しく固定されていないと、トナー供給不足やトナー漏れなどの原因となり、プリンタの故障につながります。

9 プリンタのＡカバーを閉じます。

参考

トナーカートリッジをセットしたら、必ずAカバーを閉じてください。続けて他の色のトナーカートリッジをセットする場合も、必ずAカバーを一旦閉じてください。

10 液晶ディスプレイのメッセージを確認して、他の色のトナーカートリッジを交換する必要があれば、2 から 10 の手順を繰り返します。

トナーカートリッジの交換を促すメッセージが表示されなくなったら、次に進みます。

注意

トナーが残り少なくなり［＊＊＊＊トナーガスクナクナリマシタ］と表示されてトナーを交換する場合は、操作パネルの［リセットメニュー］から交換するトナーの色を指定してから 2 へ戻ってください（交換するトナーカートリッジを装着口に移動させる必要があります）。

本書 288 ページ「リセットメニュー」

11 **印刷可能な状態になるまで待機します。**

液晶ディスプレイに「インサツカノウ」と表示されたら、トナーカートリッジの交換は終了です。

参考	液晶ディスプレイに「ヨウシナシ xxxxx yyyy」と表示された場合は、用紙をセットしてから「インサツカノウ」と表示されることを確認してください。

感光体ユニットの交換

ここでは、感光体ユニットの交換方法を説明しています。

感光体ユニットについて

感光体ユニットは、感光体に電荷を与えて印刷する画像を作る装置です。感光体ユニットは、感光体ユニット（感光体、感光体クリーナ、帯電器）と廃トナーボックスが一体となったユニットです。

型番	商品名	感光体ユニットの寿命
LPCA4KUT3	感光体ユニット	約 14,000 ページ（詳細は下記参照）

注 意

本機は純正感光体ユニット使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、プリンタ本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、プリンタ本体の性能が発揮できない場合があります。

感光体ユニットの交換時期

感光体ユニットの寿命は、A4 サイズの紙に面積比で各色約 5%、モノクロとカラーの比率が 1：2、2P/J 間欠印刷を行った場合 *1、約 14,000 ページ *2 です。また、以下のように条件によって寿命は異なります。

- モノクロ連続印刷時（A4 サイズの紙に面積比で約 5%）：約 42,000 ページ
- モノクロ 1P/J 間欠印刷時（A4 サイズの紙に面積比で約 5%）：約 20,900 ページ
- カラー連続印刷時（A4 サイズの紙に面積比で各色約 5%）：約 10,500 ページ
- カラー 1P/J 間欠印刷時（A4 サイズの紙に面積比で各色約 5%）：約 10,500 ページ

ただし、使用状況（電源オン／オフの回数、紙詰まり処理の回数、厚紙などの特殊紙の印刷など）や印刷の仕方（連続印刷 / 間欠印刷 *2）により異なります。

*1 間欠印刷とは 1 回あたりの印刷枚数が 1 〜数枚程度の少ない印刷のことです。2P/J 間欠印刷とは、2 枚連続印刷して、間隔をおいた印刷のことです。

*2 最良の印刷品質を確保するために、A4サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数が上記数値より少なくなる場合があります。また、使用環境によっては印刷可能ページ数は半分以下になる場合があります。

参 考

操作パネルの［プリンタジョウホウメニュー］や EPSON プリンタウィンドウ !3 は、感光体の寿命の目安を表示することができます。また、交換を促すエラーメッセージが表示された場合は、すぐに交換してください。

操作パネル：285 ページ「プリンタジョウホウメニュー」
Windows：本書 74 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
Mac OS 9：本書 201 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
Mac OS X：本書 256 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」

感光体ユニットが劣化すると印刷品質が悪くなりますが、トナーカートリッジの劣化やトナーの消耗などによっても同様に印刷品質が低下し、以下のような現象が発生します。

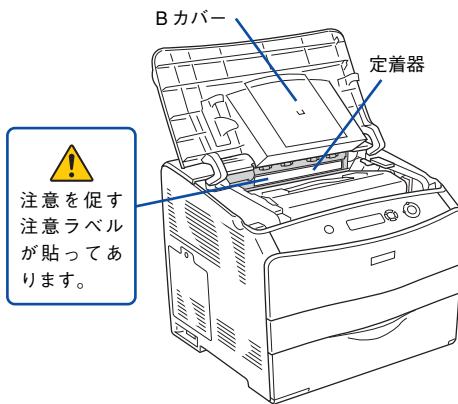
- 印刷が薄くかすれる、不鮮明になる。
- 周期的に汚れが発生する。
- 黒点または黒線が印刷される。

そのため、感光体ユニットを交換する前にまず以下の点をチェックし、その上で感光体ユニットを交換してください。

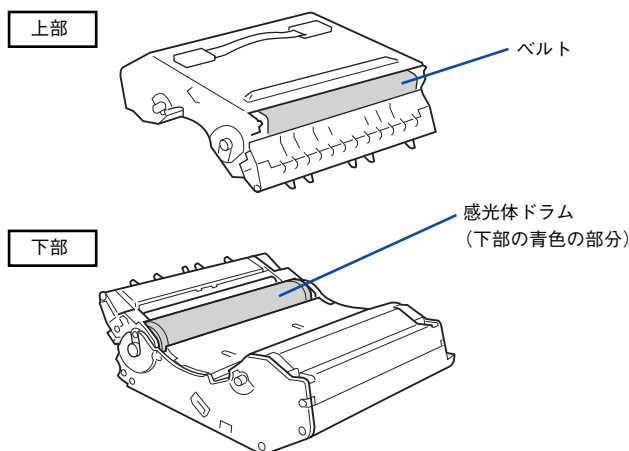
- トナーが十分残っているか確認してください。
  操作パネルの［プリンタジョウホウメニュー］でトナーカートリッジのトナーが十分残っているか確認してください。
  ☞ 本書 285 ページ「プリンタジョウホウメニュー」
  EPSON プリンタウィンドウ !3 がインストールされている場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 でもトナーカートリッジのトナー残量を確認できます。
  ☞ Windows：本書 74 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
  ☞ Mac OS 9：本書 201 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
  ☞ Mac OS X：本書 256 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
- 印刷が薄い場合は、［トナーセーブ］が設定されていないか確認してください。
  ☞ Windows：本書 46 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
  ☞ Mac OS 9：本書 170 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
  ☞ Mac OS X：本書 238 ページ「［プリンタの設定］ダイアログ」

感光体ユニット交換時の注意

警告　感光体ユニットは、絶対に火の中に入れないでください。付着したトナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

注意
- プリンタ上部のBカバーを開けたときは定着器部分に手を触れないようご注意ください。内部は高温（約180度以下）になっているため、火傷のおそれがあります。

- 交換作業中は、指定以外のプリンタ内部に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。

- 感光体ユニットの感光体（青色の部分）には絶対に手を触れないでください。印刷品質が低下します。感光体の表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと良好な印刷ができなくなります。また、感光体の表面にものをぶつけたり、こすったりしないでください。
- 寒い場所から暖かい場所に感光体ユニットを移動した場合は、室温に慣らすため未開封のまま1時間以上待ってから作業を行ってください。
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも3分以上放置しないでください。感光体ユニットをプリンタに装着せずに放置する場合は、保護カバーを取り付け、光が当たらないように専用の遮光袋に入れてください。
- 感光体ユニットを置く場合は、感光体の表面に傷が付かないよう、平らな机の上に置いてください。
- 感光体ユニットは斜めや、逆さにしないでください（トナーが漏れます）。

- 感光体ユニットの上部のベルトと下部の感光体ドラム（青色の部分）には絶対に手を触れないでください。印刷品質が低下します。

保管上の注意

子供の手の届かないところに保管してください。

- 感光体ユニットは、必ず専用の梱包箱に入れ、水平に置いた状態で保管してください。
- 感光体ユニットを強い光に当てたり、日の当たる場所に放置しないでください。
- 万一、感光体ユニットを使用しないのに梱包袋を開封してしまった場合、感光体ユニットを梱包袋に入れ、開封した箇所をしっかりと閉じて保管してください。
- 直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
  温度範囲：0 ～ 35 度
  湿度範囲：15 ～ 80%
- 高温多湿になる場所には置かないでください。

使用済み感光体ユニットについて

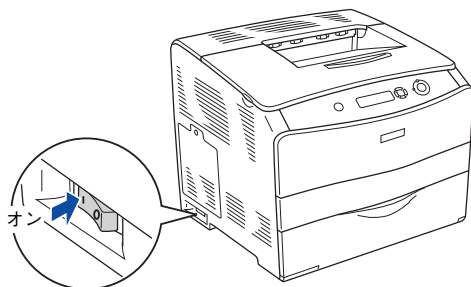
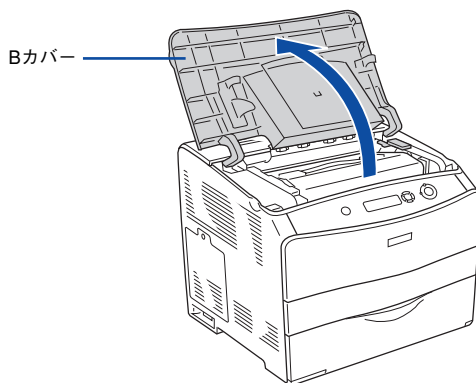
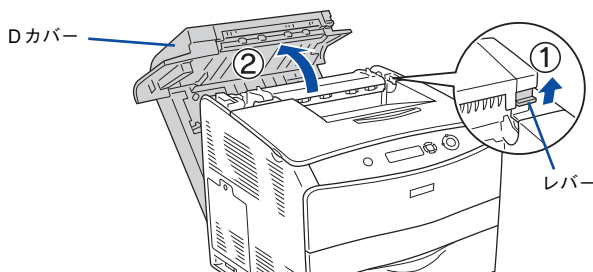
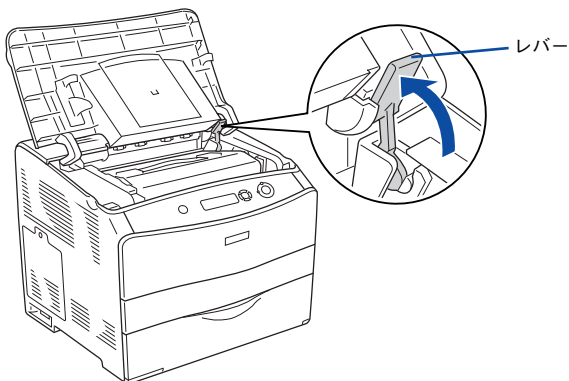
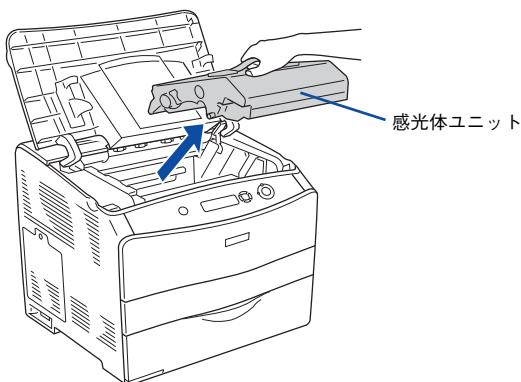
使用済み感光体ユニットを処分される場合は、ポリ袋などに入れて必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

警告
感光体ユニットは、絶対に火の中に入れないでください。付着したトナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

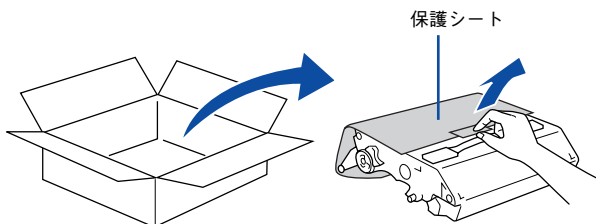
感光体ユニットの交換方法

感光体ユニットの交換は以下の手順に従ってください。なお、交換の前に、必ず以下のページを参照して注意点を確認してください。

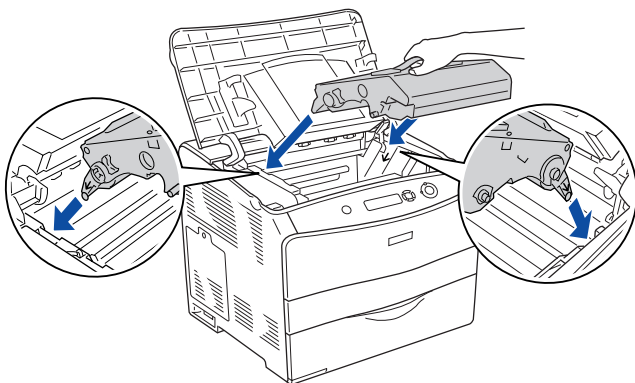
本書 408 ページ「感光体ユニット交換時の注意」

1. **プリンタの電源がオフ（○）の場合はオン（ | ）にします。**

2. **プリンタの B カバーを開けます。**

参考　オプションの両面印刷ユニットを装着している場合は、レバーを押し上げて D カバーを先に開けてから B カバーを開けてください。

3 プリンタの内側右にある黄色いレバーを上げてロックを解除します。

4 感光体ユニットの取っ手を持ち、ゆっくりと引き上げます。

参 考

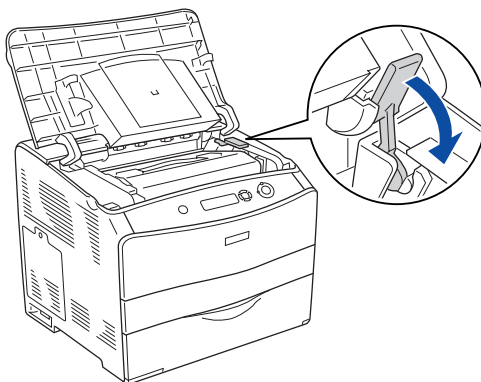
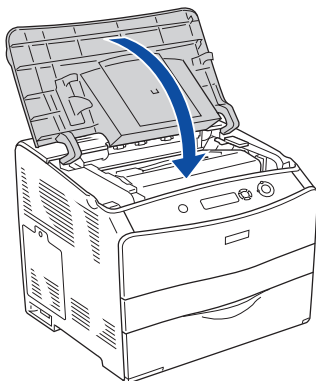
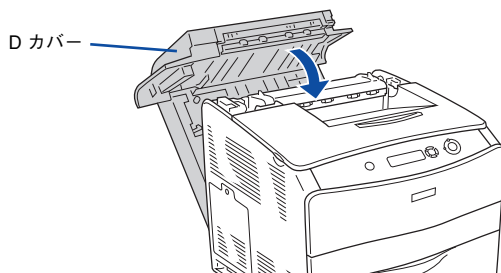
- 使用済みの感光体ユニットは水平に持ってください。逆さに持ったり振ったりすると、トナーがこぼれます。
- 使用済みの感光体ユニットについては、以下のページを参照してください。
  本書 409 ページ「使用済み感光体ユニットについて」

5 新しい感光体ユニットを梱包箱から取り出し、保護シートを取り外します。

注 意

- 上部のベルトと下部の感光体（青色）部分には絶対手を触れないでください。感光体の表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと良好な印刷ができなくなります。また、感光体の表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも3分以上放置しないでください。感光体ユニットをプリンタに装着せずに放置する場合は、保護シートを取り付け、光が当たらないように専用の遮光袋に入れてください。

6 **感光体ユニットの取っ手を持ち、左右の黄色い部分をプリンタ側装着口の矢印に合わせて、カチッと音がするまでゆっくり押し込みます。**

注 意

感光体ユニットの上部のベルトと下部の感光体ドラム（青色の部分）を他の部品に接触させないよう注意してください。

7 **プリンタの内側右にある黄色いレバーを下げて固定します。**

8 Bカバーを閉じます。

参考 オプションの両面印刷ユニットを装着している場合は、B カバーを閉じてから D カバーを閉じてください。

9 **印刷可能な状態になるまで待機します。**

液晶ディスプレイに「インサツカノウ」と表示されたら、感光体ユニットの交換は終了です。

プリンタの清掃

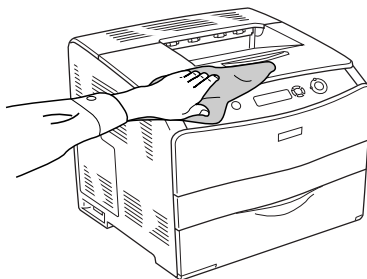
プリンタを良好な状態で使っていただくために、ときどき次のようなお手入れをしてください。

プリンタの外装表面が汚れたら

プリンタの外装表面が汚れたときは、水を含ませて固くしぼった布で、ていねいに拭いてください。

清掃作業は、電源をオフ（〇）にしてコンセントから電源コードを抜いた後で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

注意

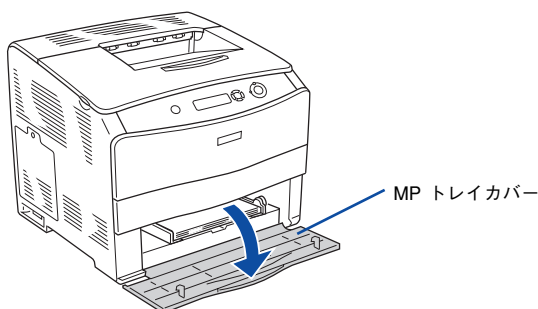
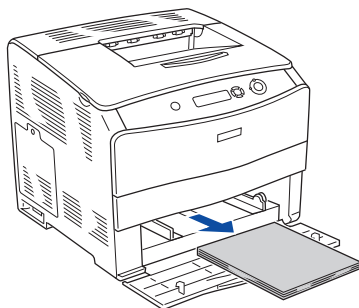
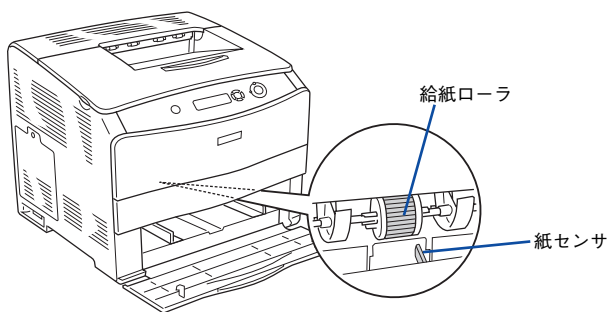
- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。プリンタのケースが変色、変形するおそれがあります。
- プリンタを水に濡らさないよう注意して清掃してください。
- 固いブラシや布などでケースを拭かないでください。ケースに傷が付くおそれがあります。

給紙ローラの清掃

用紙が頻繁に詰まる場合や正常に給紙できない場合は、MP トレイの給紙ローラをクリーニングしてください。

- 作業中は、指示以外の部分に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。
- 清掃作業は、電源をオフ（〇）にしてコンセントから電源コードを抜いた後で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

注 意

- 指示以外のローラやギアには手を触れないでください。故障の原因になります。
- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。変形、変色のおそれがあります。
- プリンタ内部を水で濡らさないように注意してください。
- 固いブラシや布などでは拭かないでください。傷が付くおそれがあります。

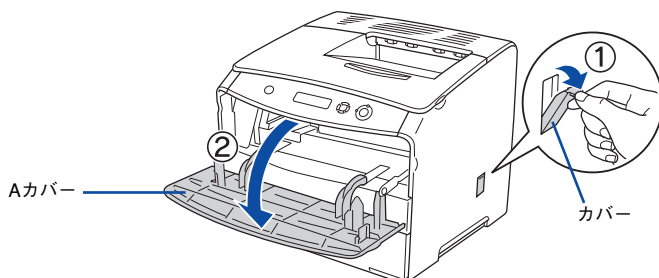
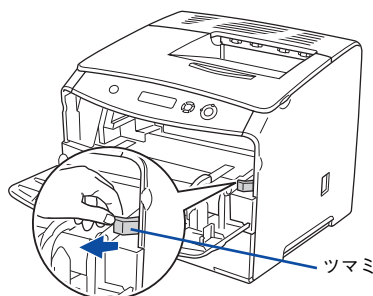
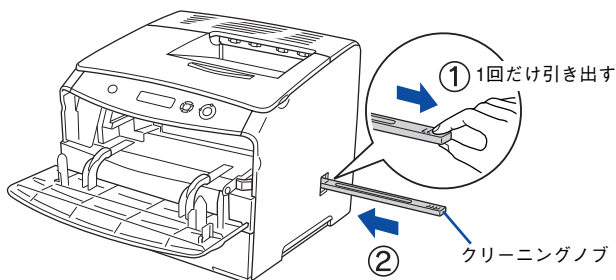
1. MP トレイのカバーを開けます。

2. MP トレイから用紙を取り除きます。

3 MP トレイ内部の給紙ローラのゴム部分を、水に浸してから固く絞った布でていねいに拭きます。

注意	MP トレイ奥中央（給紙ローラ手前）の紙センサを破損しないように注意してください。

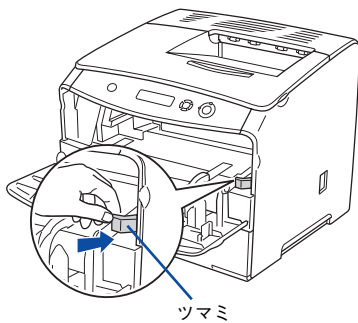
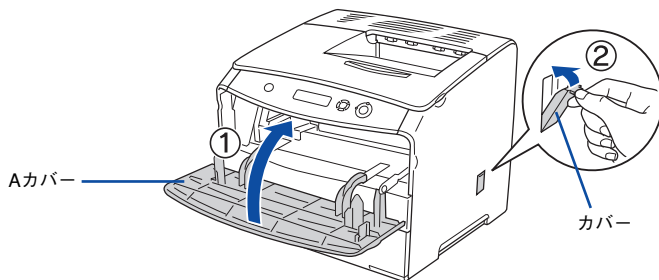
4 用紙の先端が MP トレイの奥に突き当たるように用紙をセットして、MP トレイのカバーを閉じます。

以上で給紙ローラの清掃は終了です。

プリントヘッドの清掃

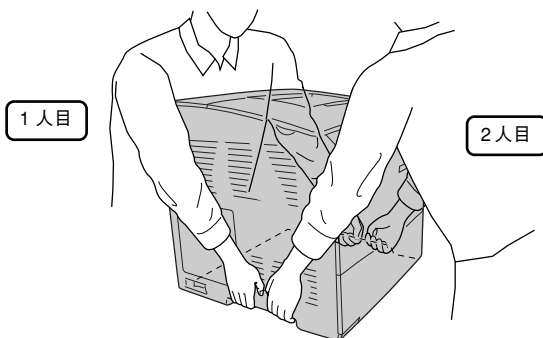
プリンタ内部のプリントヘッドにトナーが落ちて付着していると、白く筋状に印刷が抜けて、きれいに印刷できないことがあります。プリントヘッドを清掃してください。

1 プリンタ右側面のカバーを開けて、A カバーを開けます。

2 プリンタ内側のツマミを引き出して、プリンタ右側面の内カバーを開けます。

3 クリーニングノブをゆっくりと 1 回引き出し戻します。

注 意	クリーニングノブは 1 回だけ完全に最後まで引き出して、戻すときは確実に最後まで入れてください。

4　プリンタ内側のツマミを押し込んで、プリンタ右側面の内カバーを閉じます。

5　A カバーを閉じて、プリンタ右側面のカバーを閉じます。

以上でプリンタ内部の清掃は終了です。

プリンタの輸送と移動

プリンタを運搬したり、移動するときには、以下のように作業を行ってください。

- 本機を持ち上げる際は必ず2人以上で作業を行ってください。本機の重量は、約28kg（消耗品含む）です。プリンタ本体を持ち上げる場合は、必ずプリンタ両側下にあるくぼみ部分に手を添えて持ち上げてください。他の部分を持って持ち上げると、プリンタの落下によるけがの原因となります。またプリンタ本体に無理な力がかかるため、プリンタの損傷の原因となります。

- プリンタ本体を持ち上げる場合は、ひざを十分に曲げるなどして無理のない姿勢で作業を行ってください。無理な姿勢で持ち上げると、けがやプリンタの破損の原因となります。
- プリンタ本体を移動する場合は、前後左右に10度以上傾けないでください。転倒などによる事故の原因となります。
- プリンタ本体をキャスター（車輪）付きの台などに載せる場合は、必ずキャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。固定しないと作業中に思わぬ方向に動いて、けがやプリンタの損傷の原因となります。

近くへの移動

はじめに本機の電源をオフ（○）にして、以下の付属品を取り外してください。振動を与えないように水平にていねいに移動してください。

- 電源コード
- インターフェイスケーブル
- MP トレイ内の用紙
- 増設 1 段カセットユニット（オプション装着時のみ）
- 両面印刷ユニット（オプション装着時のみ）

注 意

- オプションの増設 1 段カセットユニットを装着している場合は、プリンタ本体と分離して別々に運んでください。
- オプションの両面印刷ユニットを装着している場合は、取り外して別々に運んでください。

運搬するときは

本機を輸送する場合は以下の手順で準備してください。

1 **MP トレイの用紙を取り除いて、電源コード、インターフェイスケーブル、感光体ユニット、およびオプション品（増設 1 段カセットユニットおよび両面印刷ユニット）を取り外します。**

2 **保護材や梱包材を使用して梱包します。**

震動や衝撃からプリンタ本体を守るために本製品の購入時に使用されていた保護材や梱包材を使用して、購入時と同じ状態に梱包する必要があります。本機を輸送する場合は、本機をお買い上げの販売店にご相談ください。

困ったときは

ここでは、困ったときの対処方法について説明しています。

印刷実行時のトラブル

プリンタの電源が入らない

電源コードが抜けていたり、ゆるんでいませんか？

電源コードをプリンタとコンセントに、確実に差し込んでください。

コンセントに電源は来ていますか？

コンセントがスイッチ付きの場合はスイッチをオンにします。ほかの電化製品をそのコンセントに差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

正しい電圧（AC100V、15A）のコンセントに接続していますか？

コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。
コンピュータの背面などに設けられているコンセントには接続しないでください。

参考	以上3点を確認の上で［電源］スイッチをオン（Ｉ）にしても電源が入らない場合は、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店へご相談ください。

ブレーカが動作してしまう

ブレーカの定格は十分ですか？

ブレーカの定格が十分であるにもかかわらずブレーカが動作してしまう場合は、他の機器を別の配線に接続してみてください。または本機用に専用配線を用意してください。

印刷できない

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください。予備のケーブルをお持ちの方は、差し替えてご確認ください。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本プリンタの仕様に合っていますか？

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルか確認します。

☞ 本書 374 ページ「オプションと消耗品の紹介」

プリンタがデータを処理できません。

扱うデータ容量が大きすぎるなどの原因でプリンタ側でデータの処理ができません。プリンタにメモリを増設するか、印刷品質（解像度）を下げて印刷してください。

プリンタが印刷できない状態です。

プリンタの操作パネル上にある液晶ディスプレイの表示、またはランプの状態を確認します。以下のページを参照して、エラーを解除してから、[印刷可] スイッチを押します。

☞ 本書 305 ページ「液晶ディスプレイの表示メッセージについて」

コンピュータが画像を処理できません。

コンピュータの CPU やメモリによっては画像データを処理できない場合があります。印刷品質（解像度）を下げて印刷するか、メモリを増設してください。

ネットワーク上の設定は正しいですか？

- ネットワーク上のほかのコンピュータから印刷できるか確認してください。ほかのコンピュータから印刷できる場合は、プリンタまたはコンピュータ本体に問題があると考えられます。接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などを確認してください。印刷できない場合は、ネットワークの設定に問題があると考えられます。ネットワーク管理者にご相談ください。
- 同梱の「ネットワーク簡単セットアップガイド（Windows）」（紙マニュアル）や「ネットワーク設定ガイド」（PDF）を参照して、ネットワークの設定を確認してください。

プリンタドライバの［印刷品質］の設定が［高品質］になっていませんか？

[高品質] に設定されている場合は、解像度 600dpi で印刷します。この設定で印刷するとプリンタのメモリが足りなくなり、メモリ関連のエラーが発生する場合があります。[印刷品質] を [標準]（300dpi）にすると印刷できる場合があります。

☞ Windows：本書 43 ページ「[応用設定] ダイアログ」
☞ Windows：本書 46 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 163 ページ「[プリント] ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 170 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 239 ページ「[基本設定] ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 243 ページ「[詳細設定変更] ダイアログ」

お使いのプリンタのプリンタドライバが正しくインストールされていますか？

Windows の場合

お使いのプリンタのプリンタドライバが、［コントロールパネル］の［プリンタとFAX］/［プリンタ］フォルダにアイコンとして登録されていますか ？ また、アプリケーションソフトによっては、印刷時に印刷するプリンタを選択できない場合もありますので、以下の手順に従って通常使うプリンタとして選択されているか確認してください。

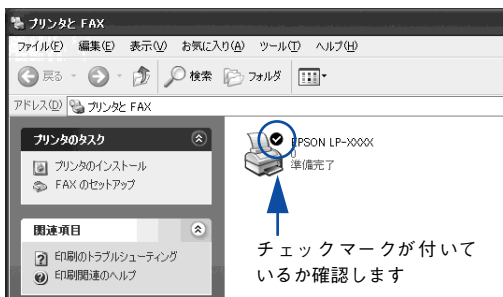
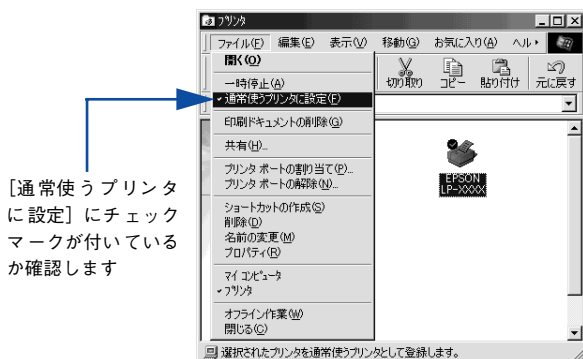
1. **Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。**
   - **Windows XP の場合**

   ① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。
   ② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
   ③ ［プリンタと FAX］をクリックします。
   - **Windows Server 2003 の場合**

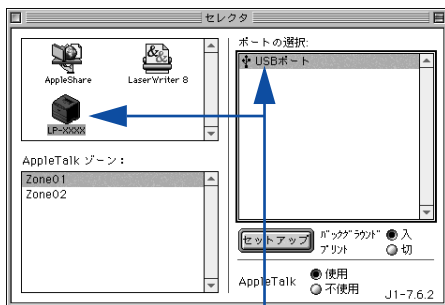
   ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］-［プリンタと FAX］にカーソルを合わせ、2 へ進みます。［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。
   - **Windows 98/Me/NT4.0/2000 の場合**

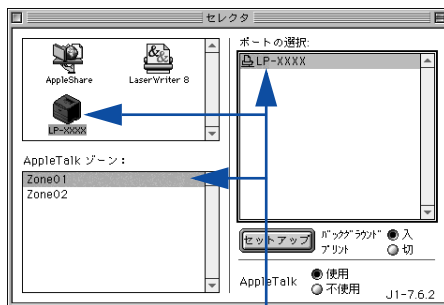
   ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

2. **［通常使うプリンタに設定］になっているか確認します。**
   - **Windows XP/Server 2003 の場合**

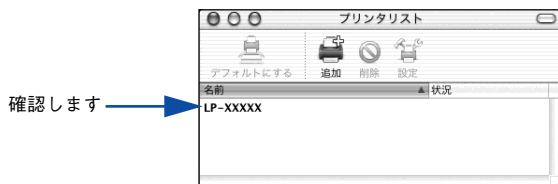
   ［プリンタと FAX］内のプリンタアイコンにチェックマークが付いていれば、［通常使うプリンタに設定］の状態になっています。プリンタアイコンにチェックマークが付いていない場合は、使用するプリンタ名を右クリックし、表示されたメニューで［通常使うプリンタに設定］を選択します。

- **Windows 98/Me/NT4.0/2000 の場合**
  お使いのプリンタ名（LP-V500）を選択し、[ファイル] メニューの [通常使うプリンタに設定] が選択されているか確認します。

Mac OS 9 の場合

お使いの機種のプリンタドライバが、[セレクタ] で正しく選択されているか、選択したプリンタが実際に接続したプリンタと合っているか確認してください。

< USB 接続の場合>

選択したプリンタドライバが正しいか確認します

<ネットワーク接続の場合>

選択したプリンタドライバが正しいか確認します

Mac OS Xの場合

お使いのプリンタが [プリンタ設定ユーティリティ] / [プリントセンター] の [プリンタリスト] に追加されているか、また複数のプリンタが追加されている場合は通常使うデフォルトプリンタとして選択されているか（プリンタ名が太文字で表示されているか）確認してください。

Windows のプリンタまたはプリントマネージャのステータスが「一時停止」になっていませんか？

印刷途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、プリンタまたはプリントマネージャのステータスが「一時停止」になります。このままの状態で印刷を実行しても印刷されません。

プリンタフォルダから確認する場合

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

- Windows XP の場合

① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。
② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

- Windows Server 2003 の場合

［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］-［プリンタと FAX］にカーソルを合わせ、2 へ進みます。［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

- Windows 98/Me/NT4.0/2000 の場合

［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

2 使用するプリンタ名をクリックして［ファイル］メニュー内の［一時停止］または［プリンタをオフラインにする］にチェックが付いている場合はクリックして外します。

プリントマネージャから確認する場合

1 **Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。**

- **Windows XP の場合**

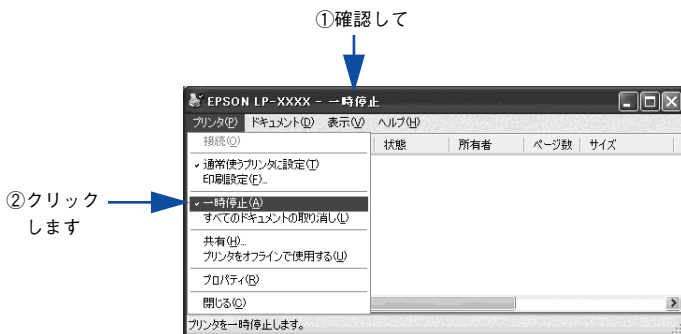
①［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。
②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③［プリンタと FAX］をクリックします。

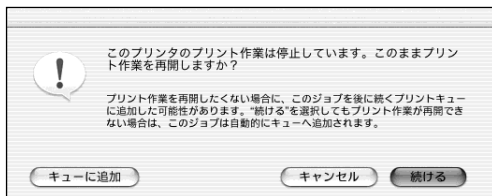
- **Windows Server 2003 の場合**

［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］-［プリンタと FAX］にカーソルを合わせ、2 へ進みます。［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

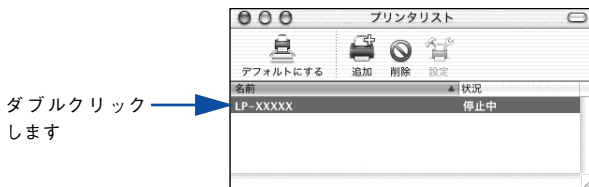
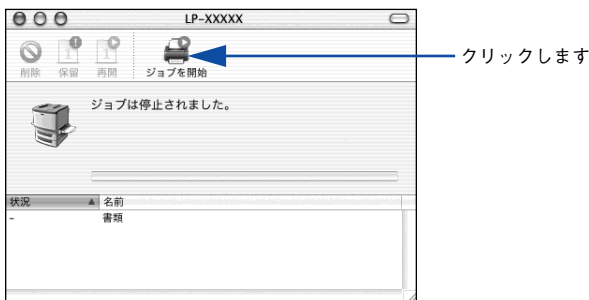
- **Windows 98/Me/NT4.0/2000 の場合**

［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

2 **お使いのプリンタのアイコンをダブルクリックし、プリンタが一時停止状態の場合は［プリンタ］メニューの［一時停止］をクリックしてチェックを外します。**

Mac OS X でプリンタが一時停止になっていませんか？

Mac OS X の場合、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］でプリンタが一時停止なっていると、印刷を実行してもメッセージが表示されてそのままでは印刷できません。

［続ける］をクリックすると、プリンタ作業が再開されます。［続ける］をクリックしても印刷が再開されない場合や、［キューに追加］をクリックした場合は、以下の手順に従ってください。

① ［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］を開きます（印刷実行時は「Dock」から開けます）。

② プリンタ名（LP-V500）をダブルクリックします。

③ ［ジョブを開始］をクリックします。

Windows プリンタドライバの［接続ポート］の設定が合っていません。

プリンタドライバの［接続ポート］の設定を実際に接続しているポートに合わせてください。

☞ 本書 112 ページ「プリンタ接続先の変更」

Windows 上でお使いいただいている場合、中間スプールフォルダの設定を変更してみてください。

プリントサーバにWindowsを使ってプリンタを共有する場合は、プリンタの中間スプールフォルダを以下のように設定してください。

① ハードディスクに十分な空き容量を確保して、任意のフォルダを作成します。
② Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 の場合は、そのフォルダをどのユーザーの印刷データでも処理できるようにします。
③ そのフォルダを、中間スプールフォルダとして設定します。
本書 71 ページ「[動作環境設定] ダイアログ」

これにより、クライアントから送られた印刷データをプリントサーバでスプール（一時的に保存）して共有プリンタで印刷できるようになります。

参 考	Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 で中間スプールフォルダをどのユーザーからでも処理できるように、フォルダの共有化が必要です。さらに、そのフォルダへのアクセス権はすべてのユーザー（Everyone）に設定し、フルコントロールを［許可］の状態にしてください。設定方法の詳細は、各 OS の取扱説明書をご覧ください。

ステータス（状態）が画面表示できない

DMA 転送の設定になっていませんか ?

DMA 転送の設定になっているとステータスを画面表示（モニタ）することができないことがあります。この場合は、コンピュータのBIOS設定を「ECP」（またはENHANCED）以外にして、DMA 転送の設定を解除してください。
本書 118 ページ「パラレルインターフェイス接続時の印刷の高速化」
詳細はお使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

Windows の双方向通信機能の設定を解除しませんでしたか？

Windows にインストールされた EPSON プリンタウィンドウ !3 は、双方向通信機能が有効になっていないとプリンタのステータス（状態）に関する情報を取得できません（印刷はできます）。

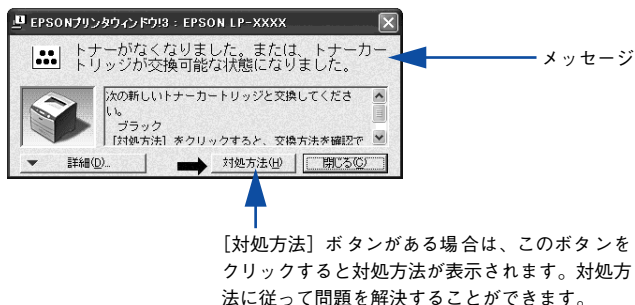
- Windows 98/Me をお使いの場合、プリンタドライバの［詳細］ダイアログで［スプールの設定］ボタンをクリックして［プリンタスプールの設定］ダイアログを開き、［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］を選択してください。
- Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 の場合、プリンタドライバの［ポート］ダイアログで［双方向サポートを有効にする］が選択されているか確認してください。

プリンタがエラー状態になっている

コンピュータ画面上にワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されていませんか？

問題が発生すると、コンピュータの画面上にポップアップウィンドウが開き、ワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されます。メッセージが表示されている場合は、その内容に従って必要な処理を行ってください。

<例> Windows の EPSON プリンタウィンドウ !3 の場合

［対処方法］ボタンがある場合は、このボタンをクリックすると対処方法が表示されます。対処方法に従って問題を解決することができます。

操作パネルの液晶ディスプレイにワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されていませんか？

ワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されていたら、以下のページを参照して適切な処置をしてください。

☞ 本書 305 ページ「ワーニングメッセージ」
☞ 本書 308 ページ「エラーメッセージ」

「LPT1 に書き込みができませんでした」エラーが発生する

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。

Windows プリンタドライバの設定を確認してください。

以下の項目を確認してください。

- プリンタプロパティの［ポート］タブの［印刷するポート］（Windows 98/Me の場合は［詳細］タブの「印刷先のポート」）が正しく設定されているかを確認して印刷を実行してください。
- Windows 2000/XP/Server 2003 の場合、プリンタプロパティの［詳細詳細］タブで［プリンタに直接印刷データを送る］の設定に変更して印刷を行ってみてください。
- Windows NT4.0 の場合、プリンタプロパティの［スケジュール］タブで［プリンタに直接印刷データを送る］の設定に変更して印刷を行ってみてください。
- Windows 98/Me の場合、プリンタプロパティの［詳細］タブの［スプールの設定］で［プリンタに直接印刷データを送る］の設定に変更して印刷を行ってみてください。
- ECP モードでご利用の場合、ECP モード対応のケーブルで接続していることを確認し、コンピュータの BIOS 設定を「ECP」（ECP がない場合は「Bi-directional」）に、ポートを「ECP プリンタポート（LPT1）」など（お使いの Windows によってポート名が異なる場合があります）に設定して印刷を行ってみてください。BIOS 設定について詳しくはお使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

Macintosh でプリンタを選択していない

正しいプリンタドライバが選択されていますか？

Mac OS 9 の場合

［セレクタ］で本機のプリンタドライバと正しい接続ポートを選択してください。

☞ 本書 145 ページ「印刷を始める前に」

Mac OS X の場合

［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］で本機のプリンタドライバをデフォルトプリンタとして選択するか、［プリント］ダイアログで本機を選択してください。

☞ 本書 216 ページ「［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］へのプリンタの追加」
☞ 本書 233 ページ「［プリント］ダイアログ」

正しいゾーン、プリンタが選択されていますか？

Mac OS 9の場合

AppleTalk ゾーンを設定したネットワークに接続されている本機を選択する場合は、本機が接続されているゾーンを管理者の方に確認して、[セレクタ] で正しい [AppleTalk ゾーン] と本機を選択してください。

本書 145 ページ「印刷を始める前に」

Mac OS Xの場合

AppleTalk ゾーンを設定したネットワークに接続されている本機を、[プリンタ設定ユーティリティ] / [プリントセンター] の [EPSON AppleTalk] から追加する場合は、本機が接続されているゾーンを管理者の方に確認して、[プリンタ設定ユーティリティ] / [プリントセンター] で正しい [AppleTalk Zone] を選択して本機を追加してください。

本書 216 ページ「[プリンタ設定ユーティリティ] / [プリントセンター] へのプリンタの追加」

Macintosh でプリンタが認識されない

QuickDraw GX を使用していませんか？

本プリンタドライバは、Mac OS 9 の QuickDraw GX に対応していません。QuickDraw GX を使用停止にしてください。

本書 496 ページ「Macintosh システム条件」

Mac OS X で AppleTalk が有効になっていますか？

[プリンタ設定ユーティリティ] / [プリントセンター] で [EPSON AppleTalk] を選択して本機を追加する場合は、AppleTalk がオン（使用可能）である必要があります。Mac OS X では AppleTalk はオフ（使用しない）に初期設定されています。AppleTalk が使用できない場合は、[システム環境設定] から [ネットワーク] を開き、[ApplTalk] タブで使用可能になっているか確認してください。

Mac OSX：本書 216 ページ「 [プリンタ設定ユーティリティ] / [プリントセンター] へのプリンタの追加」

AppleTalk ネットワークゾーンの設定が違いませんか？

Mac OS 9 の場合

AppleTalk ゾーンを設定したネットワークに接続されている本機を選択する場合は、本機が接続されているゾーンを管理者の方に確認の上、正しく選択してください。

本書 145 ページ「印刷を始める前に」

Mac OS X の場合

AppleTalk ゾーンを設定したネットワークに接続されている本機を、[プリンタ設定ユーティリティ] / [プリントセンター] の [EPSON AppleTalk] から追加する場合は、本機が接続されているゾーンを管理者の方に確認の上、正しく追加してください。

本書 216 ページ「[プリンタ設定ユーティリティ] / [プリントセンター] へのプリンタの追加」

プリンタ名またはホスト名、IP アドレスを変更していませんか？

変更したプリンタ名またはホスト名、IP アドレスネットワークを管理者に確認して、正しいプリンタを選択または追加してください。

Mac OS 9：本書 145 ページ「印刷を始める前に」

Mac OSX：本書 216 ページ「[プリンタ設定ユーティリティ] / [プリントセンター] へのプリンタの追加」

エラーが発生する

プリンタのメモリ容量は十分ですか？

プリンタのメモリが足りないとメモリ関連のエラーが発生します。以下のいずれかの方法でエラーを回避して印刷できる場合があります。

- カラー印刷では、データの保存（圧縮）形式を変える（例：JPEG 形式のような非可逆圧縮を使用し、データ容量を減らす）。
- プリンタドライバの［印刷品質］を［標準］に設定する。
  Windows：本書 43 ページ「［応用設定］ダイアログ」
  Windows：本書 46 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
  Mac OS 9：本書 163 ページ「［プリント］ダイアログ」
  Mac OS 9：本書 170 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
  Mac OS X：本書 239 ページ「［基本設定］ダイアログ」
  Mac OS X：本書 243 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」
- 使用していないインターフェイスを［ツカワナイ］に設定する。
  本書 289 ページ「パラレル I/F」
  本書 290 ページ「USB I/F」
  本書 292 ページ「ネットワーク I/F」

上記の方法でメモリエラーを回避できない場合は、プリンタへのメモリの増設をお勧めします。メモリエラーを回避できる場合があります。

Macintosh をお使いの場合、正しいバージョンの OS を使用していますか？

プリンタドライバの動作可能環境は、Mac OS 9 または Mac OS X（v10.2 以降）です。
本書 496 ページ「Macintosh システム条件」

Mac OS 9 のシステムメモリの空き容量は十分ですか？

Mac OS 9 用のプリンタドライバは、Macintosh 本体のシステムメモリの空きエリアを使用してデータを処理します。コントロールパネルの RAM キャッシュを減らしたり、使用していないアプリケーションソフトを終了して、メモリの空き容量を増やしてください。

給排紙されない

プリンタをプリンタの底面より小さな台の上に設置していませんか？

プリンタの底面より小さな台の上に設置すると正常な給排紙ができません。プリンタの設置場所を確認してください。

プリンタは水平な場所に設置されていますか？
プリンタの下にはさまれている物はありませんか？

設置場所が水平でなかったり、プリンタの下に異物がはさまれていると正常に排紙されない場合があります。プリンタの設置場所の環境を再確認してください。

本機で印刷可能な用紙を使用していますか？

印刷可能な用紙を使用してください。

本書 318 ページ「印刷できる用紙の種類」

両面印刷時に、両面印刷可能な用紙を使用していますか？

両面印刷で使用できる用紙については、以下のページを参照してください。

本書 331 ページ「両面印刷について」

セットする前に用紙をさばきましたか？

複数枚セットする際に、用紙をさばいてからセットすると給紙時の問題が発生しなくなる場合があります。

用紙カセットがプリンタに正しくセットされていますか？

増設 1 段カセットユニット装着時は、用紙カセットを正しくセットしてください。

本書 326 ページ「用紙カセットへの用紙のセット」

セットしている用紙とプリンタドライバの設定は一致していますか？

ステータスシートまたは操作パネルで、MP トレイ / 用紙カセットの用紙サイズを確認してください。

Windows：本書 64 ページ「［環境設定］ダイアログ」
Mac OS 9 ：本書 191 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」
Mac OS X：本書 265 ページ「EPSON リモートパネル！」
操作パネル ：本書 286 ページ「キュウシソウチメニュー」
操作パネル：本書 302 ページ「プリンタの状態や設定値を印刷するには」

プリンタドライバで使用したい給紙装置を選択していますか？

プリンタドライバで使用する給紙装置を選択してください。

Windows：本書 30 ページ「［基本設定］ダイアログ」
Mac OS 9：本書 163 ページ「［プリント］ダイアログ」
Mac OS X：本書 239 ページ「［基本設定］ダイアログ」

アプリケーションソフトの給紙装置の設定は合っていますか？

給紙装置の設定は、アプリケーションソフトの設定が優先する場合があります。アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して給紙装置の設定を確認してください。

給紙ローラが汚れていませんか？
給紙ローラを拭いてください。
☞ 本書 415 ページ「給紙ローラの清掃」

ハガキ、封筒、厚紙の先端が下向きに反っていませんか？
先端を数ミリ上に反らしてからセットしてください。

紙詰まりエラーが解除されない

詰まった用紙をすべて取り除きましたか？
プリンタのカバー付近を確認してください。それでもエラーが解除されない場合は用紙を取り除く際に用紙が破れてプリンタ内部に残っているかもしれません。このような場合には無理に取り除こうとせずに、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店にご連絡ください。

用紙を二重送りしてしまう

用紙どうしがくっついていませんか？
用紙がくっついて給紙される場合は、用紙をよくさばいてください。ラベル紙の場合は、1 枚ずつセットしてください。

ハガキや封筒の先端が下向きに反っていませんか？
先端を数ミリ上に反らしてからセットしてください。

本機に合った用紙を使用していますか？
用紙の仕様を確認し、印刷可能な用紙をお使いください。
☞ 本書 318 ページ「印刷できる用紙の種類」

用紙がカールする

正しい印刷面へ印刷していますか？
特に印刷面の指定がない場合でも、逆の面へ印刷することによって用紙がカールしなくなることがあります。印刷面を変えて印刷してみてください。

定着部での用紙詰まりが連続して発生する

定着ローラが汚れている可能性があります。

以下の手順で定着ローラを清掃します。

① 詰まった用紙があれば、詰まった用紙を取り除きます。
② [ジョブキャンセル] スイッチを押して、印刷データをキャンセルします。
③ A4 サイズ 1 ページ分のデータを作成します。
用紙の下半分に数文字程度のテキストが入っているモノクロのデータを作成してください。
④ プリンタに A4 サイズの用紙を 5 枚以上セットします。
⑤ プリンタドライバの設定を以下のようにします。
用紙種類：[厚紙] を選択
用紙サイズ：セットした用紙サイズを選択
部単位印刷：[5] を指定
⑥ ③で作成したデータを印刷します。

参 考	上記の作業を行ってもまだ汚れが残る場合は、同じ作業を繰り返し行ってください。

「通信エラーが発生しました」と表示される

プリンタに電源が入っていますか？

コンセントにプラグが差し込まれているのを確認し、プリンタの電源をオン（ | ）にします。

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。またケーブルが断線していないか、変に曲っていないかを確認してください（予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください）。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本機の仕様に合っていますか？（ローカル接続時）

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認します。

☞ 本書 374 ページ「パラレルインターフェイスケーブル」
☞ 本書 374 ページ「USB インターフェイスケーブル」

プリンタドライバの設定で双方向通信機能を選択していますか？（ローカル接続時）

Windows に EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしている場合は、必ず双方向通信機能の設定を有効にしてください。

- Windows 98/Me の場合、プリンタドライバの［詳細］ダイアログで［スプールの設定］ボタンをクリックして［プリンタスプールの設定］ダイアログを開き、［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］が選択されているか確認してください。
- Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 の場合、プリンタドライバの［ポート］ダイアログで［双方向サポートを有効にする］が選択されているか確認してください。

インターフェイスが使用できますか？

操作パネルで特定のインターフェイスが使用できないように設定されていると、そのインターフェイスは使用できません。使用できるように設定してください。

☞ 本書：289 ページ「パラレル I/F セッテイメニュー」
☞ 本書：290 ページ「USB I/F セッテイメニュー」
☞ 本書：292 ページ「ネットワーク I/F セッテイメニュー」

他のインターフェイスから印刷していませんか？

印刷の終了後に再度印刷を実行してみてください。

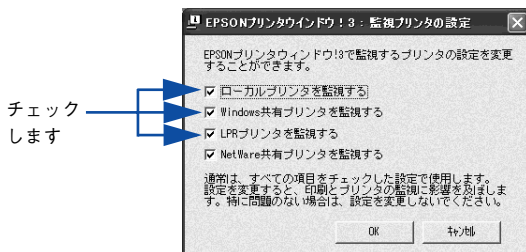
ネットワークプリンタとして本機をお使いの場合に、印刷プロトコルとしてNet BEUI、IPP を使用していませんか？

お使いのネットワーク環境（NetBEUI 接続時や EpsonNet Internet Print 使用時など）によっては、EPSON プリンタウィンドウ !3 がネットワークプリンタを監視できないために印刷を実行すると通信エラーとなる場合があります。エラーが表示されても印刷は正常に終了します。このような場合には、［ユーティリティ］タブ内の［印刷中プリンタのモニタを行う］のチェックを外してお使いください。

☞ 本書 73 ページ「［ユーティリティ］ダイアログ」

［監視プリンタの設定］ユーティリティで、プリンタを監視しない設定にしていませんか？

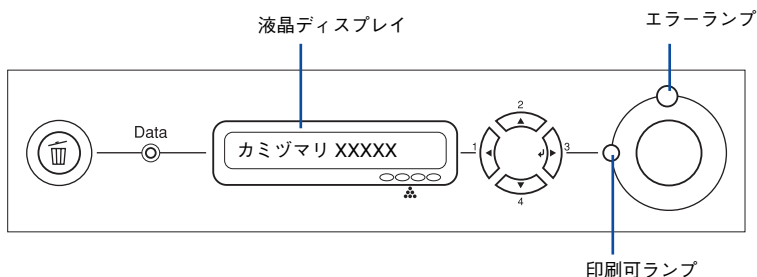
［監視プリンタの設定］ユーティリティで、［ローカルプリンタを監視する］、［Windows共有プリンタを監視する］、［LPR プリンタを監視する］をチェックしないと、本機を監視することができず、正常に印刷できません。必ずチェックしてください。

本書 84 ページ「監視プリンタの設定」

印刷が途中で中断されてしまう

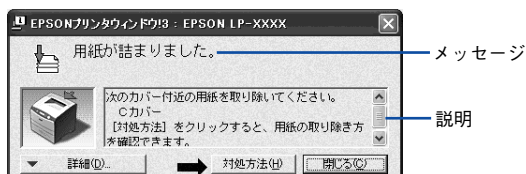
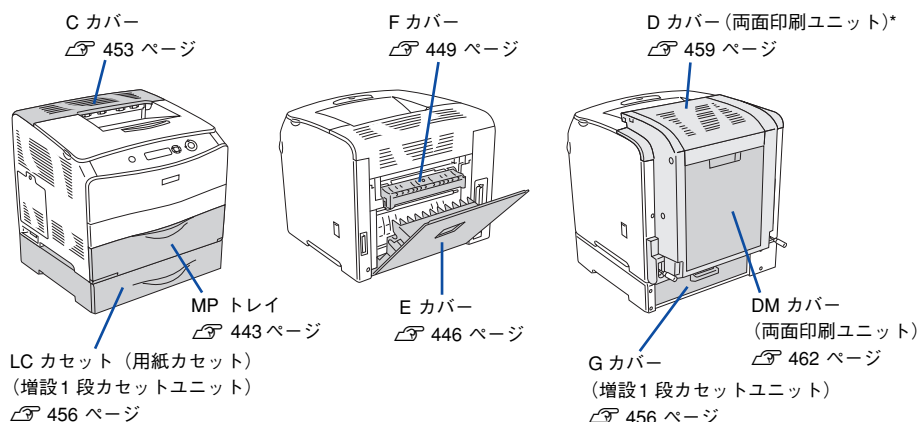
コンピュータのパラレルポートの BIOS 設定を、「ECP」または「ENHANCED」に変更していますか？

コンピュータのパラレルポートの BIOS 設定が「ECP」または「ENHANCED」以外になっていると、印刷が途中で中断されてしまうことがあります。この場合は、印刷データを効率よくプリンタに送るために、コンピュータの BIOS 設定を「ECP」または「ENHANCED」に設定してください。また、コンピュータの BIOS 設定を「ECP」または「ENHNACED」に設定できない、設定しても印刷が途中で中断されてしまう場合は、プリンタドライバで「全ページをスプールしてから印刷」を選択してください。

用紙が詰まったときは

紙詰まりが発生したときは、操作パネルの印刷可ランプが消灯し、エラーランプが点灯してお知らせします。液晶ディスプレイには、「カミヅマリ XXXXX」のようなメッセージが表示されます。「XXXXX」には、紙詰まりが発生した箇所が表示されます。本書の手順に従って用紙を取り除いてください。

注 意　プリンタドライバの［用紙種類］で［OHP シート］を選択しているのに OHP シート以外の用紙が給紙されたり、［OHP シート］以外を選択しているのに OHP シートが給紙されると、E カバー付近で紙詰まりが発生して「OHP シートガタダシクアリマセン」と表示されます。

また、EPSON プリンタウィンドウ!3 が紙詰まりをお知らせします。EPSON プリンタウィンドウ!3 では、「用紙が詰まりました。」というメッセージと、紙詰まりが発生した箇所を示す説明が表示されます。［対処方法］ボタンをクリックすると、詰まった用紙を取り除く手順を説明します。説明に従って用紙を取り除いてください。

☞ Windows：本書 74 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
☞ Mac OS 9：本書 201 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
☞ Mac OS X：本書 256 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」

以下のいずれかの箇所から詰まった用紙を取り除きます。詰まった用紙を取り除く箇所は、操作パネルのディスプレイ、またはEPSON プリンタウィンドウ!3 の表示で確認できます。

* オプションの両面印刷ユニット装着時に E カバー、F カバーで紙詰まりが発生した場合は、先に D カバーを開ける必要があります。

紙詰まりの原因

紙詰まりの主な原因は次のようなものです。紙詰まりが繰り返し発生するときは、以下の点を確認してください。印刷できない用紙について詳しくは、以下のページを参照してください。

本書 320 ページ「印刷できない用紙」

- プリンタが水平に設置されていない
- MP トレイまたは用紙カセットが正しくセットされていない
- 本機で使用できない用紙を使用している
- 給紙ローラが汚れている

  本書 415 ページ「給紙ローラの清掃」

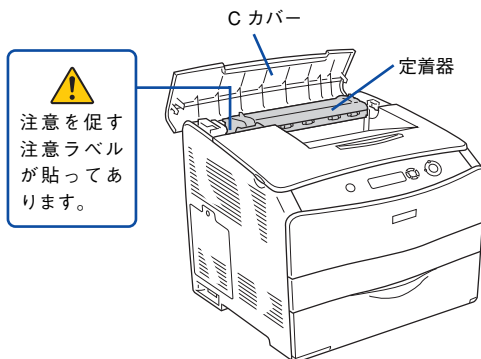
注 意

- 用紙を取り除く際に、用紙を破かないよう注意してください。用紙が破れた場合は、破れた用紙が残らないようすべて取り除いてください。
- 印刷中に用紙を継ぎ足さないでください。複数枚の紙を同時に給紙して紙詰まりの原因となる可能性があります。
- 紙詰まりが頻繁に発生する場合は、用紙を 1 枚ずつセットして印刷を行ってください。

用紙取り出し時の注意

詰まった用紙を取り出すときは、次の点に注意してください。

- 詰まった用紙は、破れないように両手でゆっくり取り除いてください。無理に取り除くと、用紙がやぶれて取り除くことが困難になり、さらに別の用紙詰まりを引き起こします。
- 用紙が破れた場合は、破れた用紙が残らないようすべて取り除いてください。

- プリンタ上部のCカバー（両面印刷ユニット装着時はDカバー）を開けたときは定着器部分に手を触れないようご注意ください。内部は高温（約180度以下）になっているため、火傷のおそれがあります。

- プリンタ内部に手を入れるときは十分に注意してください。けがをするおそれがあります。

注意

破れた用紙が取り除けない場合や、以降の説明箇所以外の場所に用紙が詰まって取り除けない場合は、保守契約店（保守契約されている場合）、販売店、またはエプソン修理窓口へご相談ください。

給紙口（MP トレイ）で用紙が詰まった場合は

プリンタの給紙口で用紙が詰まった場合、以下のメッセージが表示されます。

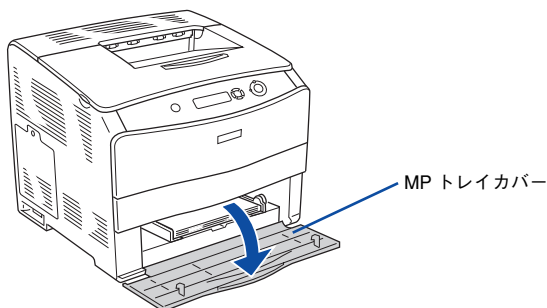
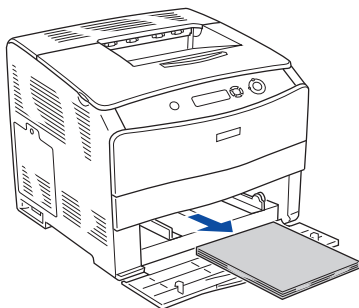
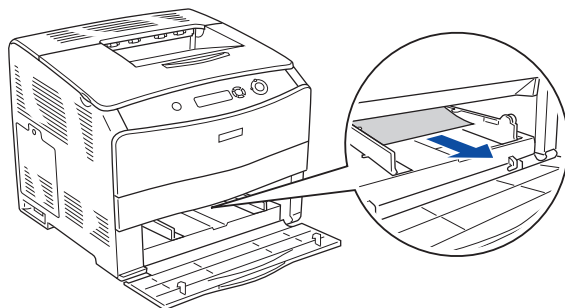
表示部	メッセージ
操作パネルの液晶ディスプレイ	• カミヅマリ MP E • カミヅマリ MP D E（両面印刷ユニット装着時）
EPSON プリンタウィンドウ !3	用紙が詰まりました。 次のカバー付近の用紙を取り除いてください。 MP トレイ E カバー

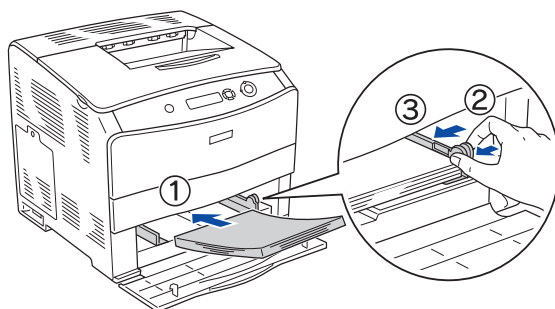
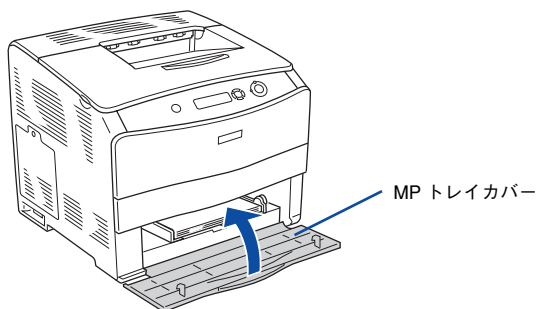
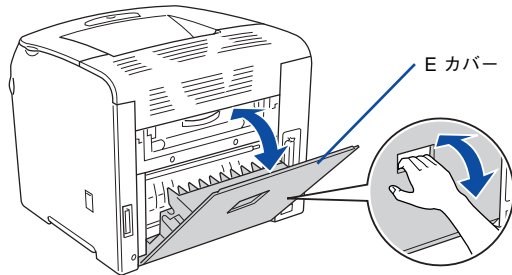
注 意

MP トレイで紙が詰まった場合、必ず E カバーでの紙詰まりも表示します（オプションの両面印刷ユニット装着時は、D カバーでの紙詰まりも表示します）。以下の手順 6 で E カバー（D カバー）を開閉する際に、E カバーでの紙詰まりも確認してください。E カバーで紙が詰まっている場合は、以下のページを参照してください。

本書 446 ページ「プリンタ内部（E カバー）で用紙が詰まった場合は」

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

1. **MP トレイのカバーを開きます。**

2. **セットしてある用紙をすべて取り除きます。**

3 詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

4 用紙の先端がMPトレイの奥に突き当たるように、用紙をセットし直します。

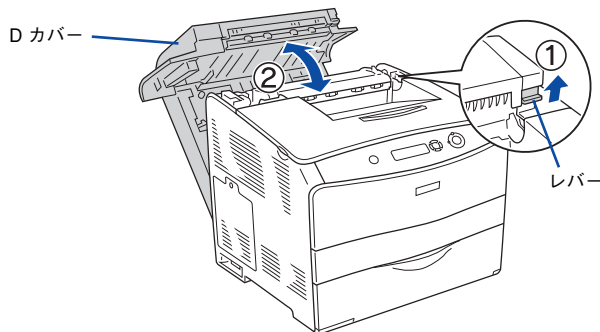
①印刷する面を上にして、給紙方向に対して縦長にセットします。
②用紙ガイドのツマミをつまみます。
③用紙ガイドを用紙サイズに合わせます。

5 MPトレイのカバーを閉じます。

6 E カバーを開閉します。

用紙詰まりのエラー状態は、E カバーを開閉することで解除されます。詰まった用紙が完全に取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。

注 意

エラー状態が解除されない場合は、E カバーに詰まった紙がないか確認してください。

本書 446 ページ「プリンタ内部（E カバー）で用紙が詰まった場合は」

参 考

- E カバーはしっかり閉じてください。
- オプションの両面印刷ユニットを装着している場合は、レバーを押し上げて D カバーを開閉してください。D カバーはしっかり閉じてください。

プリンタ内部（E カバー）で用紙が詰まった場合は

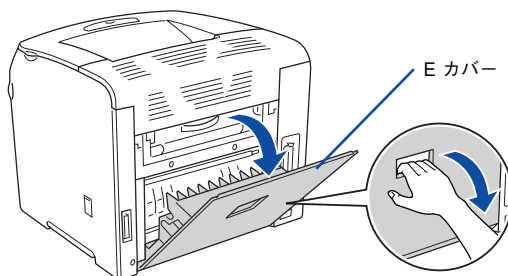
プリンタ内部で用紙が詰まった場合、以下のメッセージが表示されます。

表示部	メッセージ
操作パネルの液晶ディスプレイ	• カミヅマリ E • OHP シートガタダシクアリマセン（OHP シートエラー時）
EPSON プリンタウィンドウ !3	• 用紙が詰まりました。 次のカバー付近の用紙を取り除いてください。 E カバー • 専用OHP シートが正しくセットされていません。 印刷時の指定と、給紙装置にセットされている用紙種類が異なっているため、用紙が詰まりました。

注 意

- E カバーだけでなく他の箇所での紙詰まりを同時に表示することがあります。表示されたカバーを確かめてから E カバーも確かめてください。
  本書 443 ページ「給紙口（MP トレイ）で用紙が詰まった場合は」
  本書 449 ページ「プリンタ内部（F カバー）で用紙が詰まった場合は」
  本書 453 ページ「排紙口（C カバー）で用紙が詰まった場合は」
  本書 456 ページ「増設 1 段カセットユニット（LC/G カバー）で用紙が詰まった場合は」
  本書 459 ページ「両面印刷ユニット（D カバー）で用紙が詰まった場合は」
  本書 462 ページ「両面印刷ユニット（DM カバー）で用紙が詰まった場合は」
- プリンタドライバの［用紙種類］で［OHP シート］を選択しているのに OHP シート以外の用紙が給紙されたり、［OHP シート］以外を選択しているのに OHP シートが給紙されると、E カバー付近で紙詰まりが発生して［OHP シートガタダシクアリマセン］と表示します。プリンタドライバの［用紙種類］と使用する用紙の種類は必ず合わせてください。

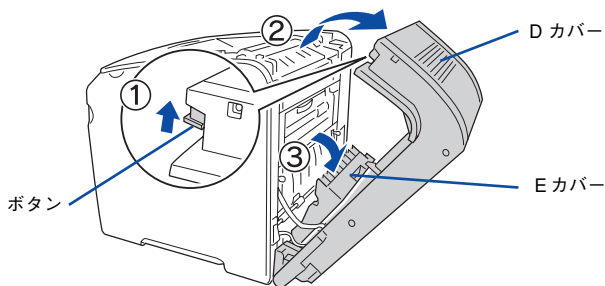
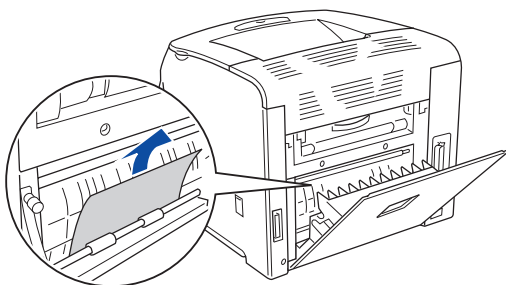
以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

1 **E カバーを開けます。**

注 意

液晶ディスプレイに［OHP シートガタダシクアリマセン］と表示されてプリンタが停止した場合は、MP トレイの用紙を取り除きます。

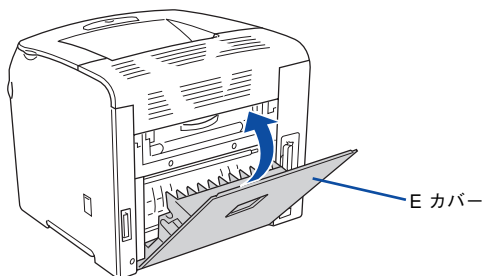
参考

オプションの両面印刷ユニットを装着している場合は、ボタンを押し上げて先にＤカバーを開けてからＥカバーを開けてください。

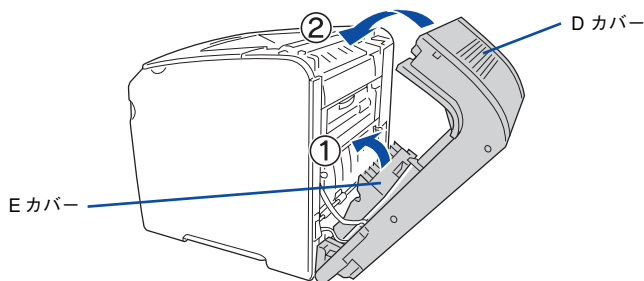
①
②
③
D カバー
E カバー
ボタン

2 詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

注意

［OHP シートガタダシクアリマセン］と表示されてプリンタが停止していた場合は、以下どちらかの対処を行ってください。

- プリンタドライバの［用紙種類］で選択した用紙種類に合った用紙を MP トレイにセットしてください。特に OHP シートを使用する場合は必ず専用の OHP シートを MP トレイにセットしてください。
- ご希望の用紙が手元にない場合は、［ジョブキャンセル］スイッチを押して印刷を中止してください。

3 Eカバーを閉じます。

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後 E カバーを閉じることで解除されます。詰まった用紙が完全に取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。

参 考

- E カバーをしっかり閉じてください。
- オプションの両面印刷ユニットを装着している場合は、先に E カバーを閉じてから D カバーをしっかり閉じてください。

プリンタ内部（F カバー）で用紙が詰まった場合は

プリンタ内部で用紙が詰まった場合、以下のメッセージが表示されます。

表示部	メッセージ
操作パネルの液晶ディスプレイ	カミヅマリ F
EPSON プリンタウィンドウ !3	用紙が詰まりました。 次のカバー付近の用紙を取り除いてください。 F カバー

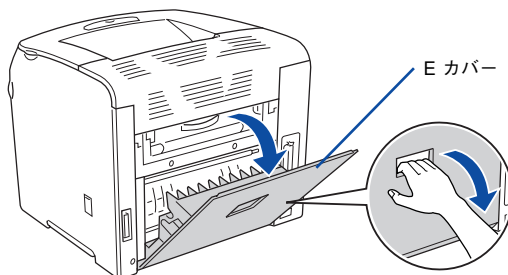
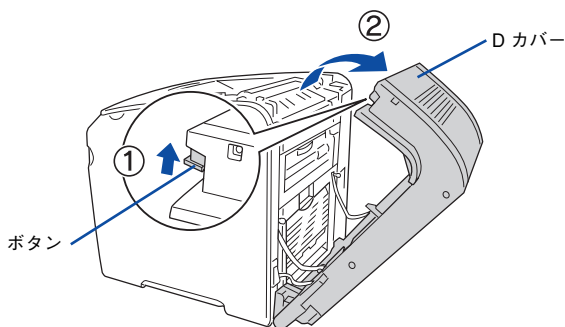
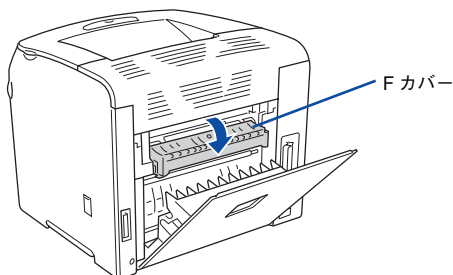
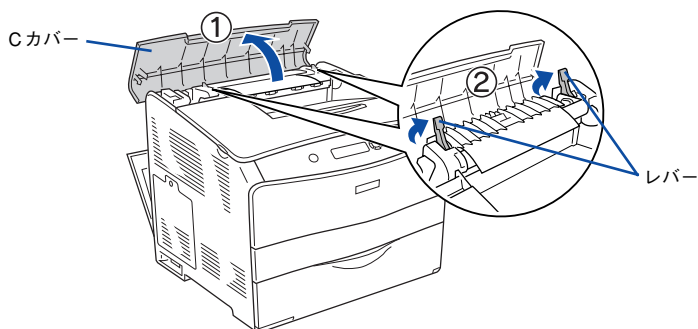
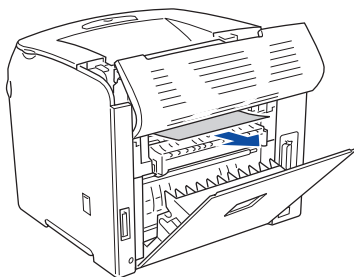
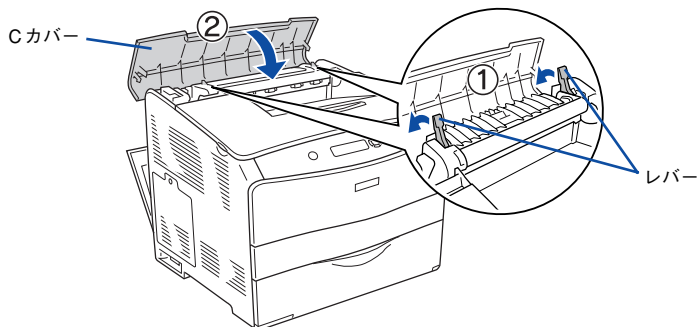
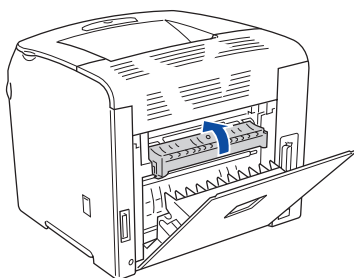
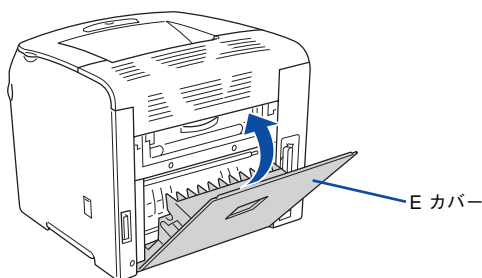
注 意

F カバーで紙が詰まった場合、E カバー、C カバー 、D カバーのいずれかも同時に紙詰まりを表示します。表示されたカバーをすべて確かめてください。

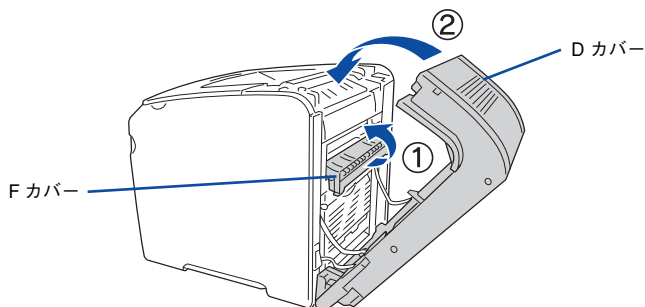
☞本書 446 ページ「プリンタ内部（E カバー）で用紙が詰まった場合は」
☞本書 453 ページ「排紙口（C カバー）で用紙が詰まった場合は」
☞本書 459 ページ「両面印刷ユニット（D カバー）で用紙が詰まった場合は」

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

1. **E カバーを開けます。**

参 考

オプションの両面印刷ユニットを装着している場合は、ボタンを押し上げて D カバーを開けください。

2 Fカバーを開けます。

3 Cカバーを開けて、定着器左右の緑色のレバーを上げます。

4 詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

5 定着器左右の緑色のレバーを下げて、C カバーを閉じます。

6 F カバーを閉じます。

7 E カバーを閉じます。

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後 E カバーを閉じることで解除されます。詰まった用紙が完全に取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。

参考

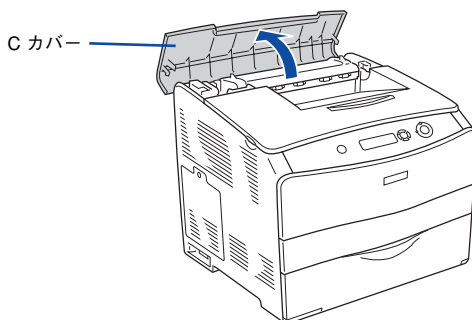
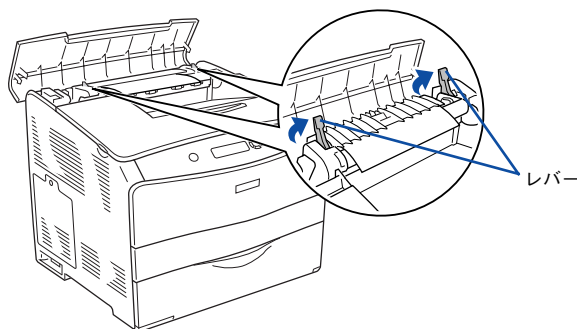
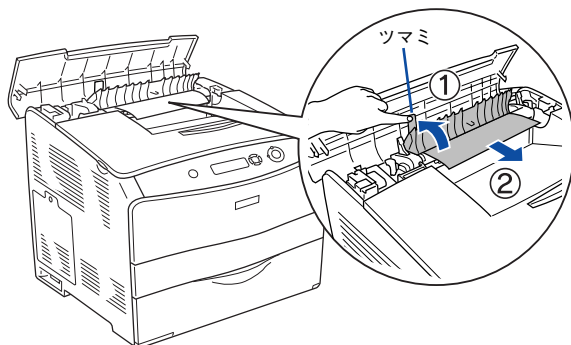
- C カバー /F カバー /E カバーをしっかり閉じてください。
- オプションの両面印刷ユニットを装着している場合は、先に F カバーを閉じてから D カバーをしっかり閉じてください。用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後 D カバーを閉じることで解除されます。

排紙口（C カバー）で用紙が詰まった場合は

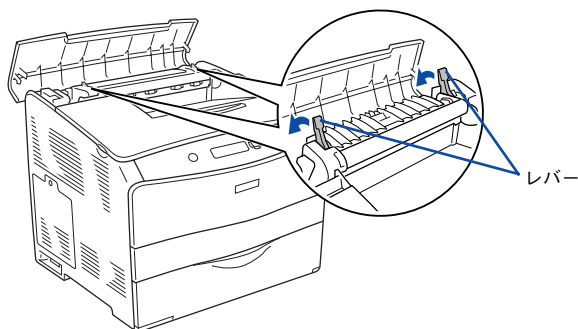
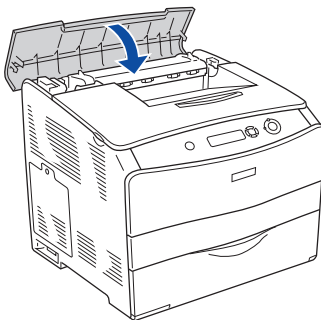
プリンタの排紙口で用紙が詰まった場合、以下のメッセージが表示されます。

表示部	メッセージ
操作パネルの液晶ディスプレイ	カミヅマリ C
EPSON プリンタウィンドウ !3	用紙が詰まりました。 次のカバー付近の用紙を取り除いてください。 C カバー

注 意
E カバー、F カバーで紙詰まりが発生しても、C カバーでの紙詰まりを同時に表示することがあります。表示されたカバーを確かめてから C カバーも確かめてください。
本書 446 ページ「プリンタ内部（E カバー）で用紙が詰まった場合は」
本書 449 ページ「プリンタ内部（F カバー）で用紙が詰まった場合は」

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

1. **C カバーを開けます。**

2. **定着器左右の緑色のレバーを上げます。**

3 緑色のツマミに指を添えて定着器ガイドを開けたまま、詰まった用紙の端を持って破れないようにゆっくり引き抜きます。

参考 ツマミから指を離して、定着器ガイドを閉じてください。

4 定着器左右の緑色のレバーを下げます。

5 Cカバーを閉じます。

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後Cカバーを閉じることで解除されます。詰まった用紙が完全に取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。

参考	Cカバーをしっかりと閉じてください。

増設 1 段カセットユニット（LC/G カバー）で用紙が詰まった場合は

オプション増設 1 段カセットユニットの用紙カセットや G カバーで用紙が詰まった場合、以下のメッセージが表示されます。

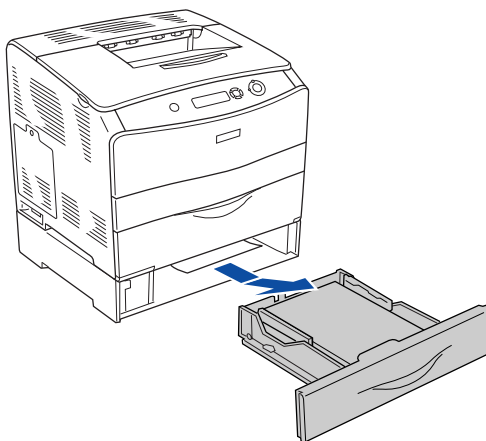
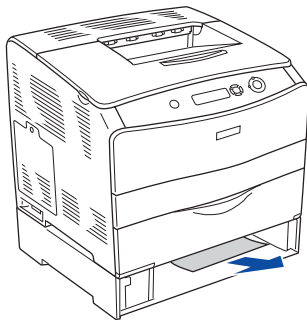
表示部	メッセージ
操作パネルの液晶ディスプレイ	カミヅマリ LC G
EPSON プリンタウィンドウ !3	用紙が詰まりました。 次のカバー付近の用紙を取り除いてください。 用紙カセット G カバー

注 意

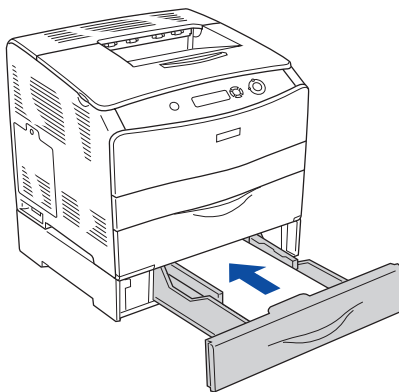
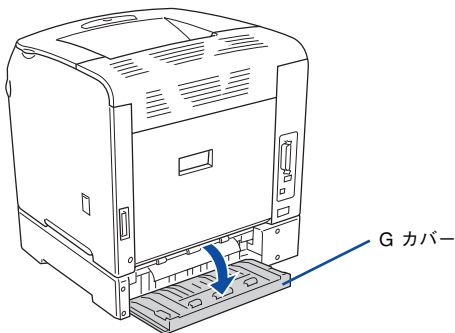
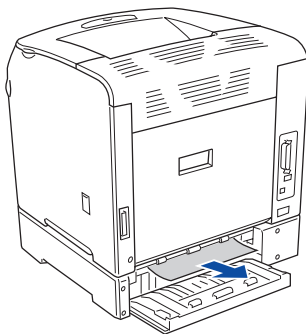
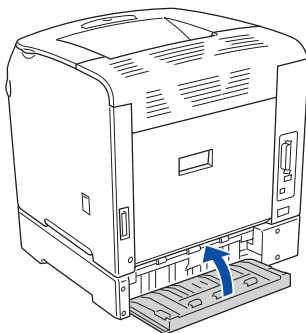
両面印刷ユニットで紙が詰まった場合、用紙カセット（LC）と G カバーでの紙詰まりを同時に表示します。

- 必ず用紙カセット（LC）と G カバーを確認してください。
- 用紙カセットだけで紙が詰まっても、G カバーを開閉しないと印刷は再開されません。

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

1 用紙カセットを増設 1 段カセットユニットから引き抜きます。

2 詰まった用紙が見つかれば用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

注意	増設1段カセットユニットの奥側に詰まった用紙がないか確認してください。

詰まった用紙が見つからない場合や、背面のGカバーで用紙が詰まっていないか確かめるために、さらに次へ進みます。

3 用紙カセットを増設1段カセットユニットに取り付けます。

4 Gカバーを開けます。

5 詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

6 G カバーを閉じます。

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、G カバーを閉じることで解除されます。詰まった用紙が完全に取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。

参考

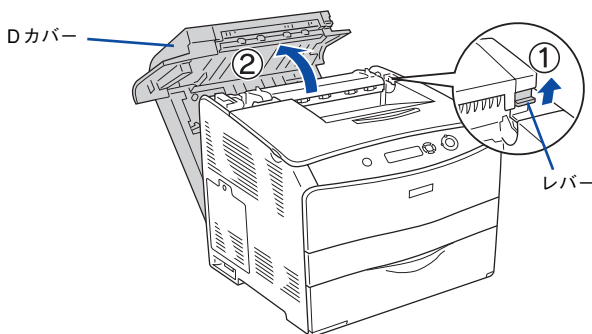
- G カバーをしっかりと閉じてください。
- 用紙カセットが正しくセットされていないと、液晶ディスプレイに「ヨウシナシ　カセット　XX（用紙サイズ表示）」と表示されます。用紙カセットをしっかりと取り付けてください。

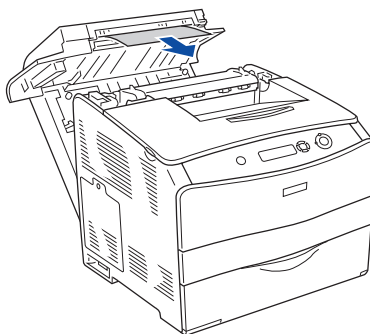
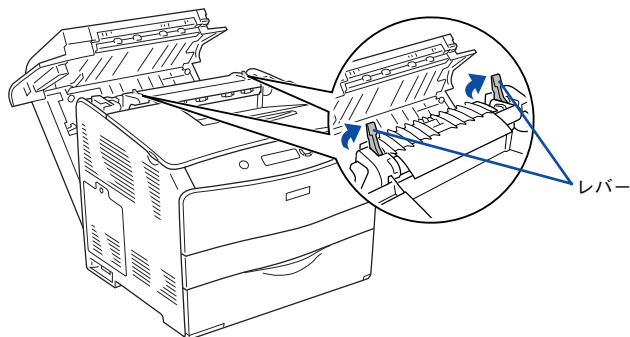
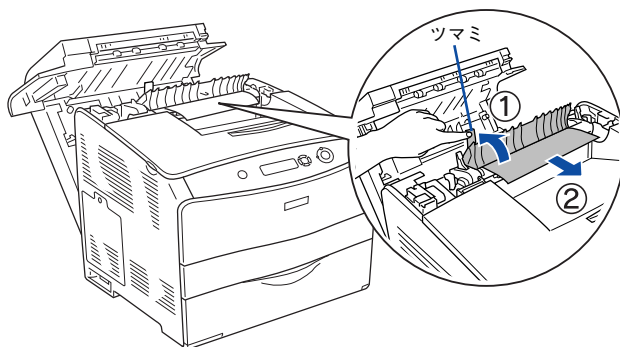
両面印刷ユニット（D カバー）で用紙が詰まった場合は

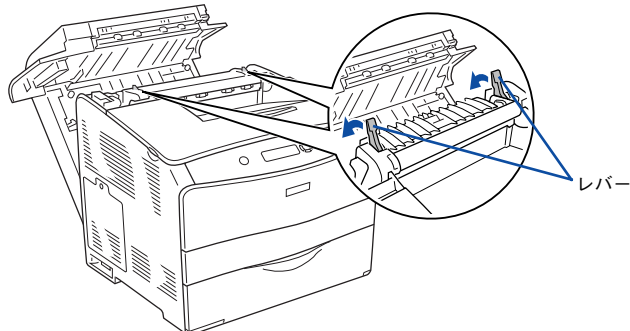
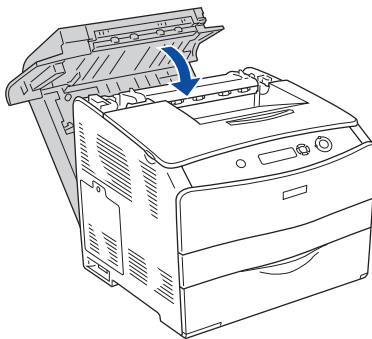
オプション両面印刷ユニット上部の D カバーで用紙が詰まった場合、以下のメッセージが表示されます。

表示部	メッセージ
操作パネルの液晶ディスプレイ	カミヅマリ D
EPSON プリンタウィンドウ !3	用紙が詰まりました。 次のカバー付近の用紙を取り除いてください。 D カバー

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

1. **レバーを押し上げて D カバーを開けます。**

2. **詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。**

- 詰まった用紙が取り除けたら、6 へ進みます。
- 詰まった用紙が D カバーの先端に見えない場合は、次の 3 へ進みます。

3 定着器左右の緑色のレバーを上げます。

4 緑色のツマミに指を添えて定着器ガイドを開けたまま、詰まった用紙の端を持って破れないようにゆっくり引き抜きます。

参考 ツマミから指を離して、定着器ガイドを閉じてください。

5 定着器左右の緑色のレバーを下げます。

6 Dカバーを閉じます。

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後Dカバーを閉じることで解除されます。詰まった用紙が完全に取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。

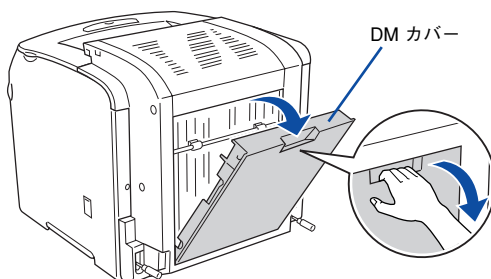
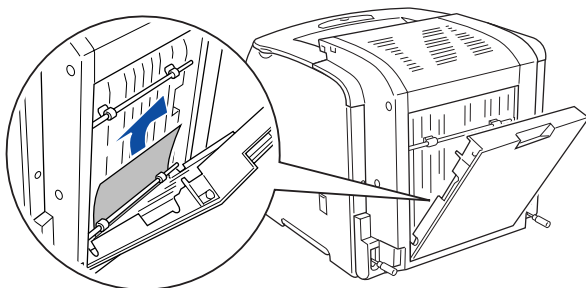
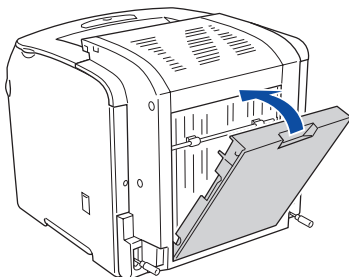
参考	Dカバーをしっかり閉じてください。

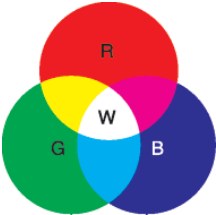
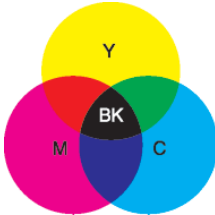
両面印刷ユニット（DM カバー）で用紙が詰まった場合は

オプション両面印刷ユニット背面のDM カバーで用紙が詰まった場合、以下のメッセージが表示されます。

表示部	メッセージ
操作パネルの液晶ディスプレイ	カミヅマリ DM
EPSON プリンタウィンドウ !3	用紙が詰まりました。 次のカバー付近の用紙を取り除いてください。 DM カバー

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

1. DM カバーを開けます。

2. 詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

3 DM カバーを閉じます。

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、DM カバーを閉じることで解除されます。詰まった用紙が完全に取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。

参考	DM カバーをしっかり閉じていないと、液晶ディスプレイに「DM ガアイテイマス」と表示されます。DM カバーをしっかりと閉じてください。

カラー印刷に関するトラブル

カラー印刷ができない

プリンタドライバの設定が、カラー印刷になっていますか？
プリンタドライバの［色］が［モノクロ］に設定されているとカラー印刷ができません。
Windows：本書 30 ページ「［基本設定］ダイアログ」
Windows：本書 46 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
Mac OS 9：本書 163 ページ「［プリント］ダイアログ」
Mac OS 9：本書 170 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
Mac OS X：本書 239 ページ「［基本設定］ダイアログ」
Mac OS X：本書 243 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」

アプリケーションソフトの設定がカラーデータになっていますか？
アプリケーションソフト上でカラーデータになっているか確認してください。

画面表示と色合いが異なる

出力装置（ディスプレイとプリンタ）の違いによる差です。
ディスプレイ表示とプリンタで印刷した時の色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。

ディスプレイで表示する場合	プリンタで印刷する場合
テレビやディスプレイなどでは、赤（R）・緑（G）・青（B）の“光の三原色”と呼ばれる 3 色の組み合わせで様々な色を表現します。どの色も光っていない状態が黒（BK）、3 色全てが光っている状態が白（W）となります。	カラーのグラビア印刷やカラープリンタの印刷は、シアン（C）・イエロー（Y）・マゼンタ（M）の“色の三原色”を組み合わせています。全く色を付けないのが白（W）で、3色を均等に混ぜた状態が黒（BK）になります。

スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画（CMY）→ディスプレイ（RGB）→印刷（CMY）の変更が必要になり、完全に一致させることは難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチング（色の合わせ込み）を行うのが、ICM（Windows NT4.0 を除く）や ColorSync（Macintosh）です。

Macintosh でシステム特性の設定を行いましたか？（ColorSync）

ColorSync が正しく動作するためには、入力機器・使用アプリケーションが ColorSync に対応している必要があります。また、お使いのディスプレイのシステム特性を設定する必要があります。

☞ Mac OS 9：本書 210 ページ「ColorSync について」
☞ Mac OS X：本書 267 ページ「ColorSync について」

プリンタドライバのオートフォトファイン !4 を有効にしていませんか？

オートフォトファイン !4 は、コントラストや彩度が適切でないデータに対して最適な補正を加えて鮮明に印刷できるようにする機能です。そのためオートフォトファイン !4 を有効にしてあると、表示画面と色合いが異なる場合があります。

☞ Windows：本書 46 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9*：本書 170 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

* Mac OS X（v10.2 以降）では設定できません。

普通紙を使用していませんか？

カラー印刷の場合は、使用する用紙によって仕上がりイメージがかなり異なります。最良の印刷結果を得るには、「EPSON 製カラーレーザープリンタ用上質普通紙」の使用をお勧めします。

中間調の文字や、細い線がかすれる

［階調優先］に設定していませんか？

カラー印刷時に細い線や細かい模様などを再現する場合には、［スクリーン］を［自動（解像度優先）］または［解像度優先］に設定してください。

☞ Windows：本書 46 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 170 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 243 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」

色むらが生じる

［解像度優先］に設定していませんか？

カラー印刷時に微妙な色合いを再現する場合には、［スクリーン］を［自動（階調優先）］または［階調優先］に設定してください。

☞ Windows：本書 46 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 170 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 243 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」

印刷品質に関するトラブル

トナーカートリッジおよび感光体ユニットは推奨品（当社純正品）をお使いですか？

本製品は純正トナーカートリッジおよび感光体ユニット使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、プリンタ本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなどプリンタ本体の性能が発揮できない場合があります。トナーカートリッジおよび感光体ユニットは純正品のご使用をお勧めします。また、必ず本製品に合った型番のものをお使いください。本製品で使用できるトナーカートリッジおよび感光体ユニットの当社純正品については、以下のページを参照してください。

本書 399 ページ「トナーカートリッジの交換」
本書 406 ページ「感光体ユニットの交換」

きれいに印刷できない

トナーセーブ機能を使用していませんか？

トナーセーブ機能は、内容確認など印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。

Windows：本書 46 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
Mac OS 9：本書 170 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
Mac OS X：本書 243 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」

［RIT］機能を使用して印刷していますか？

文字をきれいに印刷したい場合は［RIT］機能を使用して印刷してください。ただし、写真など複雑なトーンがあるデータの場合は、［RIT］機能を使用しないほうがきれいに印刷できる場合があります。

Windows：本書 46 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
Mac OS 9：本書 170 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
Mac OS X：本書 243 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」

印刷品質（解像度）が［高品質］（600dpi）に設定されていますか？

印刷品質（解像度）を［標準］（300dpi）ではなく［高品質］（600dpi）に設定して印刷してください。ただし、複雑な印刷データの場合、メモリ不足で印刷できない場合があります。その場合は、印刷品質（解像度）を［標準］（300dpi）に戻してください。どうしても印刷できない場合は、メモリを増設すると印刷できる場合があります。

☞ Windows：本書 43 ページ「［応用設定］ダイアログ」
☞ Windows：本書 46 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 163 ページ「［プリント］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 170 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 239 ページ「［基本設定］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 243 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」

トナーカートリッジまたは感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。

新しいトナーカートリッジまたは感光体ユニットに交換してください。

☞ 本書 399 ページ「トナーカートリッジの交換」
☞ 本書 406 ページ「感光体ユニットの交換」

プリンタの液晶ディスプレイに「カイゾウドヲ　オトシマシタ（解像度を落としました）」というメッセージを表示しましたか？

印刷するのに十分なメモリをプリンタに増設してください。必要なメモリの目安は以下のページを参照してください。

☞ 本書 483 ページ「カラー印刷のポイント」

プリンタ内部がトナーで汚れている可能性があります。

プリンタ内部の清掃を行ってください。

☞ 本書 417 ページ「プリントヘッドの清掃」

印刷データの圧縮方法は適切ですか？

［データ圧縮方法］が［データサイズ優先］または［標準］に設定されていると、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。［画質優先］に設定してみてください。

☞ Windows：本書 68 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 175 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 250 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

印刷の濃淡が思うように印刷できない

トナーセーブ機能を使用していませんか？

トナーセーブ機能は、内容確認など印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。

☞ Windows：本書 46 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 170 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 243 ページ「[詳細設定変更] ダイアログ」

プリンタドライバの［明度］の設定を確認してください。

［詳細設定］ダイアログで［明度］を調整してください。

☞ Windows：本書 46 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 170 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 243 ページ「[詳細設定変更] ダイアログ」

印刷が薄いまたはかすれる

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。

新しい用紙と交換してください。

トナーカートリッジにトナーが残っていますか？

トナー残量を確認して、新しいトナーカートリッジに交換してください。

☞ Windows：本書 79 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
☞ Mac OS 9：本書 203 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
☞ Mac OS X：本書 258 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
☞ 本書 399 ページ「トナーカートリッジの交換」

感光体ユニットは使用できますか？

感光体ユニットのライフ（寿命）を確認して、新しい感光体ユニットに交換してください。

☞ Windows：本書 79 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
☞ Mac OS 9：本書 203 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
☞ Mac OS X：本書 258 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
☞ 本書 406 ページ「感光体ユニットの交換」

感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。

新しい感光体ユニットに交換してください。

☞ 本書 406 ページ「感光体ユニットの交換」

トナーセーブ機能を使用していませんか？

トナーセーブ機能を解除してください。

☞ Windows：本書 46 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 170 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 243 ページ「[詳細設定変更] ダイアログ」

プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？

セットした用紙とプリンタドライバの［用紙種類］の設定が合っていないと（[普通紙] の設定で厚紙に印刷する場合など）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、[用紙種類] を設定してください。

☞ Windows：本書 30 ページ「[基本設定] ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 163 ページ「[プリント] ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 239 ページ「[基本設定] ダイアログ」

プリンタ内部がトナーで汚れている可能性があります。

プリンタ内部の清掃を行ってください。

☞ 本書 417 ページ「プリントヘッドの清掃」

汚れ（点）が印刷される

使用中の用紙は適切ですか？

以下のページを参照し印刷できる用紙を使用してください。

☞ 本書 318 ページ「印刷できる用紙の種類」

感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。

何回か用紙を排紙しても改善されない場合は新しい感光体ユニットに交換してください。

☞ 本書 406 ページ「感光体ユニットの交換」

周期的に汚れがある

プリンタ内の定着器、または用紙経路が汚れていませんか？

用紙を数枚印刷してください。

感光体ユニットまたはトナーカートリッジが劣化または損傷している可能性があります。

何回か用紙を排紙しても改善されない場合は新しい感光体ユニットまたはトナーカートリッジに交換してください。

☞ 本書 399 ページ「トナーカートリッジの交換」
☞ 本書 406 ページ「感光体ユニットの交換」

指でこするとにじむ

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。

新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙は適切ですか？

以下のページをを参照して印刷できる用紙を使用してください。

本書 318 ページ「印刷できる用紙の種類」

プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？

セットした用紙とプリンタドライバ［用紙種類］の設定が合っていないと（［普通紙］の設定で厚紙に印刷する場合など）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を設定してください。

Windows：本書 30 ページ「［基本設定］ダイアログ」
Mac OS 9：本書 163 ページ「［プリント］ダイアログ」
Mac OS X：本書 239 ページ「［基本設定］ダイアログ」

塗りつぶし部分に白点がある

使用中の用紙は適切ですか？

「印刷できる用紙の種類」を参照して、印刷できる用紙を使用してください。

本書 318 ページ「印刷できる用紙の種類」

用紙の表裏が逆にセットされている場合があります。

表（印刷）面を上に向けてセットしてください。

トナーカートリッジが劣化または損傷している可能性があります。

新しいトナーカートリッジに交換してください。

本書 399 ページ「トナーカートリッジの交換」

感光体ユニットが損傷している可能性があります。

新しい感光体ユニットに交換してください。

本書 406 ページ「感光体ユニットの交換」

新しい感光体ユニットに交換してもまだ白点が印刷される場合は、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店へご連絡ください。

用紙が湿気を含んでいるかまたは乾燥しすぎている可能性があります。

新しい用紙と交換してください。用紙は、密閉可能な容器に入れ湿気をさけて保管してください。

用紙全体が塗りつぶされてしまう

感光体ユニットが損傷または劣化している可能性があります。
新しい感光体ユニットに交換してください。
☞ 本書 406 ページ「感光体ユニットの交換」

縦線が印刷される

感光体ユニットが損傷または劣化している可能性があります。
新しい感光体ユニットに交換してください。
☞ 本書 406 ページ「感光体ユニットの交換」
新しい感光体ユニットに交換してもまだ縦線が印刷される場合は、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店へご連絡ください。

何も印刷されない

一度に複数枚の用紙が搬送されている可能性があります。
用紙をよくさばいて、セットし直してください。

トナーカートリッジにトナーが残っていますか？
トナーカートリッジのトナー残量を確認して、新しいトナーカートリッジに交換してください。
☞ Windows：本書 79 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
☞ Mac OS 9：本書 203 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
☞ Mac OS X：本書 258 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
☞ 本書 399 ページ「トナーカートリッジの交換」

感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。
新しい感光体ユニットに交換してください。
☞ 本書 406 ページ「感光体ユニットの交換」

白抜けがおこる

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。
新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙は適切ですか？
適切な用紙を使用してください。
☞ 本書 318 ページ「印刷できる用紙の種類」

トナーセーブ機能を使用していませんか？

トナーセーブ機能を解除してください。

Windows：本書 46 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
Mac OS 9：本書 170 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
Mac OS X：本書 243 ページ「[詳細設定変更] ダイアログ」

プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？

セットした用紙とプリンタドライバの［用紙種類］の設定が合っていないと（[普通紙] の設定で厚紙に印刷する場合など）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、[用紙種類] を設定してください。

Windows：本書 30 ページ「[基本設定] ダイアログ」
Mac OS 9：本書 163 ページ「[プリント] ダイアログ」
Mac OS X：本書 239 ページ「[基本設定] ダイアログ」

裏面が汚れる

用紙経路が汚れていませんか？

数ページ印刷してください。プリンタ内部に通紙することで汚れが取れる場合があります。

画面表示と印刷結果が異なる

画面と異なるフォント / 文字 / グラフィックスで印刷される

プリンタの使用環境に問題はありませんか？

画面と異なるフォントや文字、グラフィックスで印刷される場合は、まず印刷を中止してください。

☞ Windows：本書 128 ページ「印刷の中止方法」
☞ Ma OS 9：本書 212 ページ「印刷の中止方法」
☞ Mac OS X：本書 269 ページ「印刷の中止方法」

再度印刷を実行してみてください。再度同様の現象が発生する場合は、次の点を確認してください。

- 使用環境の仕様に合った推奨ケーブルが正しく接続されていますか。
- お使いのコンピュータは本機の仕様に適合していますか。
- プリンタドライバのテスト印刷やステータス印刷が正常にできますか。

ページの左右で切れて印刷される

印刷データの横幅サイズは、プリンタドライバで設定した用紙サイズに収まりますか？

WEB ブラウザでインターネットの WEB サイトを印刷すると、ページの左右で印刷が切れてしまうことがあります。原因は、プリンタドライバの［用紙サイズ］設定が WEB サイトの横幅サイズと合っていないからです。この場合は、より大きなサイズの用紙をプリンタにセットして、それに合った［用紙サイズ］を選択して印刷してください。

☞ Windows：本書 30 ページ「［基本設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 158 ページ「［用紙設定］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 229 ページ「［ページ設定］ダイアログ」

> **参考**
> アプリケーションソフトによっては、用紙の余白を設定できる場合があります。余白が広く設定されていることが原因で、ページの左右で印刷が切れることが考えられます。例えば、Microsoft Internet Explorer（WEB ブラウザ）の場合は、［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択して、［余白］の値を小さく設定して印刷してみてください。なお、本機では用紙の左右上下とも最低 5mm の余白が必要です。

より大きなサイズの用紙が利用できない場合は、プリンタドライバの［フィットページ］印刷機能を使用すると、使用する用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小して印刷できます。なお、Mac OS X の場合は、印刷の縮小率（%）を指定して印刷してください。

☞ Windows：本書 26 ページ「ページを拡大または縮小して印刷」
☞ Mac OS 9：本書 154 ページ「ページを拡大または縮小して印刷」
☞ Mac OS X：本書 229 ページ「［ページ設定］ダイアログ」

画面と異なる位置に印刷される

アプリケーションソフトで設定した用紙サイズとプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていませんか？

アプリケーションとプリンタドライバの設定を合わせてください。

☞ Windows：本書 30 ページ「[基本設定] ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 158 ページ「[用紙設定] ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 229 ページ「[ページ設定] ダイアログ」

アプリケーションソフトによっては、印刷開始位置の設定が必要になる場合があります。

プリンタドライバで［オフセット］の調整をしてください。

☞ Windows：本書 68 ページ「[拡張設定] ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 175 ページ「[拡張設定] ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 250 ページ「[拡張設定] ダイアログ」

罫線が切れたり文字の位置がずれる

アプリケーションソフトでお使いのプリンタの機種名を使用するプリンタに設定していますか？

各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、使用するプリンタをお使いのプリンタの機種名に設定してください。

画像が用紙端で切れる

オフセット値を変更しましたか？

印刷保証領域外への印刷はできません。印刷保証領域いっぱいに描かれた画像に対してオフセットの値を変更すると、用紙端の画像は印刷されません。

☞ 本書 321 ページ「印刷できる領域」

設定と異なる印刷をする

アプリケーションソフトとプリンタドライバの設定が一致していますか？

印刷条件の設定は、アプリケーションソフト、プリンタドライバそれぞれで設定できます。各設定の優先順位は、お使いの状況により異なりますので、設定と違う印刷をプリンタが行う場合は、各設定を確認してください。

USB 接続時のトラブル

インストールできない（Windows）

お使いのコンピュータは Windows 98/Me/2000/XP/Server 2003 プレインストールマシンまたは Windows 98 がプレインストールされていて Windows Me/2000/XP にアップグレードしたマシンですか？

USB ポートの動作が保証されていないコンピュータは正常に印刷できません。お使いのコンピュータについてはコンピュータメーカーへご確認ください。

本書 494 ページ「Windows システム条件」

印刷できない（Windows）

プリンタドライバの接続先は正しいですか？

新たに USB 対応プリンタを接続し、ドライバをインストールすると、印刷先のポートの設定が変わることがあります。印刷先のポートの設定を確認してください。

1. **Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。**
   - **Windows XP の場合**

     ①［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

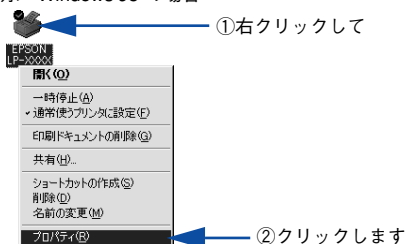
     ②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

     ③［プリンタと FAX］をクリックします。
   - **Windows Server 2003 の場合**

     ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］-［プリンタと FAX］にカーソルを合わせ、2 へ進みます。［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。
   - **Windows 98/Me/2000 の場合**

     ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

2 LP-V500 のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

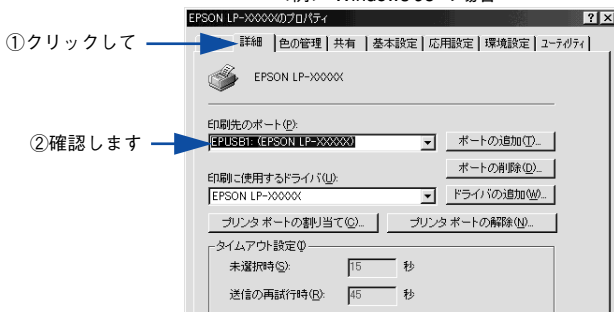
＜例＞ Windows 98 の場合

3 ［詳細］/［ポート］タブをクリックして［印刷するポート］/［印刷先のポート］を確認します。

- **Windows 2000/XP/Server 2003 の場合**

①［ポート］タブをクリックします。
②［印刷するポート］で［USBx］が選択されていることを確認します（x はポート番号を表す数字です）。

- **Windows 98/Me の場合**

①［詳細］タブをクリックします。
②［印刷先のポート］で［EPUSBx: (EPSON LP-V500)］が選択されていることを確認します（x はポート番号を表す数字です）。

＜例＞ Windows 98 の場合

参考

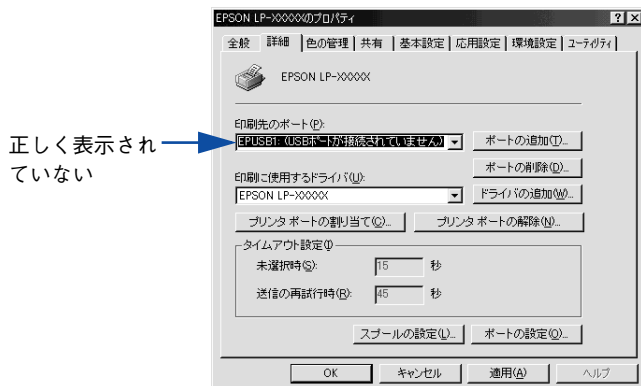
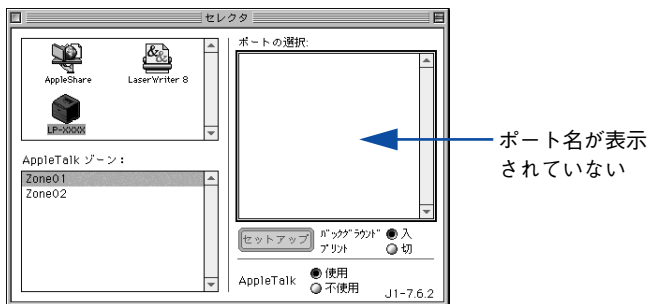
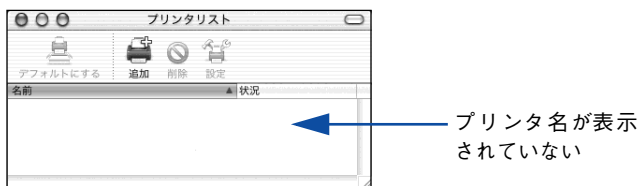
- パラレルケーブルでご利用の場合は、リストボックスから LPT1 を選択します。
- Windows 98/Me をお使いの場合で上記の表示がないときは、USB デバイスドライバがインストールされていないか、正常にインストールされていない可能性があります。プリンタソフトウェアを一旦削除してから再インストールしてください。
本書 130 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」

印刷先のポートに、使用するプリンタ名が表示されない

プリンタの電源がオンになっていますか？

プリンタの電源がオフの状態では、コンピュータがプリンタを認識できないため、ポートが正しく表示されません。プリンタの電源をオンにして、USB ケーブルを一度抜き差ししてください。

Windows の場合

<例> Windows 98 の場合

Mac OS 9 の場合

Mac OS Xの場合

USB ハブに接続すると正常に動作しない

本機を USB ハブの 1 段目以外に接続していますか？

USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、1 段目の接続を推奨します。コンピュータに直接接続された 1 段目以外の USB ハブに本機を接続していて正常に動作しない場合は、USB ハブの 1 段目に接続してお使いください。また、別のハブをお持ちの場合は、ハブを替えて接続してみてください。

Windows が USB ハブを正しく認識していますか？

Windows の［デバイスマネージャ］の＜ユニバーサルシリアルバス＞の下に、USB ハブが正しく認識されているか確認してください。

> **参考**
>
> - 正しく認識されている場合は、コンピュータの USB ポートから、USB ハブをすべて外してから、本機の USB コネクタをコンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。
> - USB ハブの動作に関しては、ハブのメーカーにお問い合せください。

その他のトラブル

印刷に時間がかかる

節電モードになっていませんか？

節電状態から印刷を実行すると、印刷開始の前にウォームアップを行いますので、排紙されるまでに時間がかかる場合があります。

操作パネル上に「プリンタチョウセイチュウ」と表示されていませんか？

良好な印刷品質を保つために、印刷の途中でプリンタが動作を一時的に停止して内部機能の自動調整を行うことがあります。自動調整が完了すると印刷を自動的に再開しますので、そのままお待ちください。

Mac OS 9 をお使いの場合、アプリケーションソフトへのメモリの割り当ては十分ですか？

アプリケーションソフトへのメモリの割り当て量を増やしてください。

Mac OS 9 をお使いの場合、バックグラウンドプリントを［入］にしていませんか？

ご利用の Macintosh によっては、バックグラウンドプリントを［入］にしておくと印刷に時間がかかることがあります。バックグラウンドプリントを［切］に設定して印刷してください。

本書 208 ページ「バックグラウンドプリントを行う」

ファイルサイズの大きな画像データを印刷していませんか？

処理時間のかかる大きなサイズの画像データを印刷する場合は、プリンタのメモリの増設をお勧めします。プリンタのメモリサイズが大きい方が、より効率よく印刷できる場合があります。

割り付け / 部単位印刷を同時に行うと、部単位で用紙を分けられない

Windows アプリケーションソフトとプリンタドライバの両方で部単位印刷を設定していませんか？

アプリケーションソフトとプリンタドライバの両方で部単位印刷を設定すると、一部の Windows アプリケーションソフトは正しく部単位印刷ができない場合があります。プリンタドライバの［拡張設定］ダイアログで［アプリケーションの部単位印刷を優先］を無効（チェックマークなし）にして、アプリケーションソフトではなくプリンタドライバで部単位印刷を設定してください。

本書 68 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
本書 30 ページ「［基本設定］ダイアログ」

Windows 共有プリンタへ印刷すると通信エラーが発生する

プリントサーバの EPSON プリンタウィンドウ !3 の［モニタ設定］ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］にチェックが付いていますか？

プリントサーバにインストールされている本機のEPSON プリンタウィンドウ!3の［モニタ設定］ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］にチェックが付いていないとクライアントからプリンタの状態を取得できないためエラーが発生します。

本書 77 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

周辺の電化製品やパソコン機器に異常が発生する

電源容量は、十分に確保されていますか？

電源容量が十分に確保されていない環境においては、本機と同一の電源ラインに接続されている蛍光灯にチラつきが発生したり、パソコンがリセットするなどの現象が発生する可能性があります。蛍光灯、パソコンなどが接続されている電源ラインと本機を分離してください（分電盤から独立して引かれた電源ラインへの接続をお勧めします）。

どうしても解決しないときは

症状が改善されない場合は、まずプリンタ本体の故障か、ソフトウェアのトラブルかを判断します。その上でそれぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。

操作パネルからステータスシートが印刷できますか？
本書 302 ページ「プリンタの状態や設定値を印刷するには」

印刷できる	印刷できない
プリンタ本体に問題はありません。	プリンタ本体のトラブルです。

（印刷できる場合）プリンタドライバまたはユーティリティからステータスシートが印刷できますか？
Windows：本書 64 ページ「［環境設定］ダイアログ」
Mac OS 9：191 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」
Mac OS X：本書 265 ページ「EPSON リモートパネル!」

（印刷できない場合）保守契約をされていますか？

できる	できない	している	していない
エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。ご相談先は「製品ガイド」の巻末に記載されています。	• ドライバの設定、接続ケーブルの仕様や状態を再確認してください。 • ネットワーク接続でお使いの場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。	保守契約店にご相談ください。	「保守サービスのご案内」をご覧ください。 本書 492 ページ「保守サービスのご案内」 ご相談先は「製品ガイド」の巻末に記載されています。

お問い合わせの際は、ご使用の環境（コンピュータの型番、使用アプリケーションとそのバージョン、その他の周辺機器の型番など）と、本機の名称や製造番号＊などをご確認のうえ、ご連絡ください。

＊ 本機の製造番号は製品ガイド「プリンタの概仕様」の「製造番号の表示位置」を参照してご確認ください。

また、EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、以下のアドレスにてインターネットによる情報の提供を行っています。
アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp

付録

カラー印刷のポイント

8～16色程度のイラストを印刷する場合は、プリンタドライバやアプリケーションソフトでカラー印刷を行う設定さえしておけば、特別な準備や調整は不要です。しかし、本書の出力サンプルや販売店でご覧になった写真のような印刷を行うには、印刷データの調整やパソコン環境の整備が必要です。

印刷解像度について

ディスプレイに表示される画像やプリンタで印刷される画像は、小さなドット（点）で構成されています。印刷解像度は、1インチ（約2.54cm）あたりにいくつの点があるかをdpi（dots per inch）という単位で表現し、この値が大きい方がきめの細かい印刷結果を得ることができます。

本機の印刷解像度は、300dpiまたは600dpiのいずれかを選択することが可能です。［応用設定］ダイアログの［印刷品質］（Windows）/［プリント］ダイアログの［印刷品質］（Macintosh）で［標準］（300dpi）または［高品質］（600dpi）を選択します。600dpiを選択すると、きめの細かいきれいな画像が印刷できますが、印刷時間は長くなります。また扱うデータ量が大きくなるため、メモリの増設が必要になる場合があります。印刷の目的に合わせて印刷解像度を選択してください。

イメージ図

● 300dpi

● 600dpi

スクリーン線数について（解像度優先 / 階調優先）

印刷される画像の色の濃淡は、用紙上のトナーの点の密度を変化させることで表現します。この点の密度をスクリーン線数と呼び、1インチ（約2.54cm）あたりの密度をlpi（lines per inch）という単位で表現し、この値が大きい方が精密な印刷結果を得ることができます。

- プリンタドライバ上で［解像度優先］を選択すると、スクリーン線数を高めに設定して細い線や細かい模様を正確に再現した印刷結果が得られます。
- ［階調優先］を選択すると、スクリーン線数をやや低めに設定して細い線や細かい模様などは正確に再現できない場合がありますが、色調の変化などをよりなめらかに表現した印刷結果が得られます。
- ［自動（解像度優先 / 階調優先）］を選択すると、印刷するデータに対して適したスクリーン線数を自動的に選択して印刷します。

イメージ図

●階調優先

●解像度優先

カラー画像の印刷と必要メモリの関係

カラー画像の印刷には多くのメモリを必要とします。印刷に必要なメモリの量は、画像データのサイズや印刷時の設定によって変わります。必要メモリの量に関係する印刷時の設定は、次の 2 つがあります。

- 印刷サイズ
- 解像度（[標準] 300dpi/ [高品質] 600dpi）

実際の印刷で必要となるプリンタのメモリの量は、印刷データやアプリケーションソフトにより異なりますが、通常使用における目安として下表を参考にしてください。また推奨のメモリサイズをプリンタに実装させることで、印刷速度の改善など、より効率的な印刷が可能になります。なお DTP 出力などで複雑な印刷にご使用の場合は、256MB（最大時）まで増設することをお勧めします。

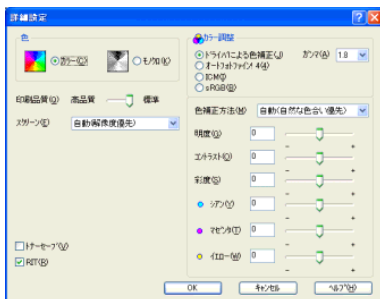
	印刷サイズ	解像度	必要メモリ	推奨メモリ
片面	A4	標準	64MB	64MB
		高品質	64MB	64MB
両面	A4	標準	64MB	64MB
		高品質	64MB	64MB

また、カラー画像のデータサイズは、モノクロデータに比べ大きいものになるため、ご利用のコンピュータのハードディスクの空き領域を十分に確保する必要があります。主な入力装置でのカラー画像データサイズは、下表のようになります。

入力装置／品質		原稿サイズ	画素数（ピクセル）	画像データ容量
デジタルカメラ	350,000 画素	ー	640 × 480	900KB
	870,000 画素	ー	1024 × 768	2.3MB
	1,300,000 画素	ー	1290 × 960	3.52MB
	2,140,000 画素	ー	1600 × 1200	5.5MB
フイルムスキャナ	1200dpi	ー	1700 × 1100	5.4MB
フラットベッドスキャナ	300dpi	4' × 6'	1200 × 1800	6.2MB
		A4	2550 × 3600	26.3MB
	600dpi	4' × 6'	2400 × 3600	24.7MB
		A4	5100 × 7200	105.1MB
	1200dpi	4' × 6'	4800 × 7200	100MB
		A4	10200 × 14000	420MB
Photo CD	BASE	ー	768 × 512	1.1MB
	4BASE	ー	1536 × 1024	4.5MB
	16BASE	ー	3072 × 2048	18.0MB

印刷時のポイント（オートフォトファイン !4）

プリンタドライバの設定モードは、通常［推奨設定］にしておけば、標準的な印刷結果が得られるように色調整されています。しかし、ここで行われる色調整は、一般的かつ一律的なレベルですので、さらに細かく調整をしたい場合には［詳細設定］で微調整（設定変更）を行ってください。

● Windows ドライバ

● Mac OS 9 ドライバ *

* Mac OS X にはオートフォトファイン !4 はありません。

オートフォトファイン !4

オートフォトファイン !4 とは、エプソン独自の画像解析 / 処理技術を用いて自動的に画像を高画質化して印刷する機能です。

一般的に、市場で「きれい」と感じられるデジタル画像には、ほとんどの場合、元データに対して何らかの「補正」がかけられています。通常、このような「補正」はフォトレタッチソフトなどを使用して行いますが、この作業には「色」に関する知識と、豊富な作業経験が要求されます。また、この作業には時間もかかります。

このような難しい補正作業を、人の手に代わって自動的かつ短時間に行う機能が「オートフォトファイン !4」です。（印刷時に補正するだけで、元データに補正は加えません。）この機能は、1 ページ内に複数の画像イメージが存在する場合にも、それぞれのイメージに対して個別の解析を行い、最適な処理を実行します。

参 考

- 画像によって補正の効果は異なります。例えば、すでに適切な補正がかけられている画像などについては効果が薄くなります。
- 256 色などの色数の少ない画像データには有効に機能しないことがあります。
- 画像を解析しながら印刷処理を行うので、処理速度の遅い CPU を搭載しているコンピュータなどでは印刷時間が長くなります。
- ディスプレイ上の表示と印刷結果を合わせたいときは「ICM」（Windows）/「ColorSync」（Macintosh）を使用して印刷してください。
- EPSON 製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン !4 は使用しないでください。

オートフォトファイン!4 を指定して印刷を実行すると、プリンタドライバはまず画像全体の中から主要なオブジェクトを認識します。そして、そのオブジェクトを次のように解析して処理を行います。

RGB カラーバランスの補正	色かぶりが補正されます。オブジェクトの RGB ごとのヒストグラムを分析し、RGB ごとにトーンカーブ補正を行います。
解像度の補正	低解像度の粗い画像をきめ細かく表現します。画像データの解像度が低い場合、擬似的に解像度を上げて印刷します。
明るさの補正	暗すぎる（露出不足）画像などが修正されます。オブジェクトの明るさを分析し、輝度に対して最適なトーンカーブ補正を行います。
コントラストの強調	中間調のコントラストが上がり、メリハリのある画像になります。ヒストグラムの最小値と最大値を、それぞれ最適になるようにダイナミックレンジを拡大し、さらにヒストグラムの分布から、トーンカーブを画像に応じて適切に調整します。
彩度の強調	色あせた画像が鮮やかになります。画像の彩度の程度を分析し、その程度に応じた彩度調整をかけます。

オートフォトファイン !4 での印刷は、1 ページに複数の画像がある場合でも個別に適切な補正を行います。

オートフォトファイン !4 OFF　　イメージ図　　オートフォトファイン !4 ON

明るさの補正

コントラスト・彩度の強調

RGBカラーバランスの補正

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートは次の通りです。

インターネットサービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp

「MyEPSON」

「MyEPSON」とは、EPSON の会員制情報提供サービスです。「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設 * してお役に立つ情報をどこよりも早く、また、さまざまなサービスを提供いたします。

* 「MyEPSON」へのユーザー登録には、インターネット接続環境（プロバイダ契約が済んでおり、かつメールアドレスを保有）が必要となります。

例えば、ご登録いただいたお客様にはこのようなサービスを提供しています。

- お客様にピッタリのおすすめ最新情報のお届け
- ご愛用の製品をもっと活用していただくためのお手伝い
- お客様の「困った！」に安心＆充実のサポートでお応え
- 会員限定のお得なキャンペーンが盛りだくさん
- 他にもいろいろ便利な情報が満載

すでに「MyEPSON」に登録されているお客様へ

「MyEPSON」登録がお済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いいたします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。

「MyEPSON」への新規登録、「MyEPSON」への機種追加登録は、どちらも同梱の『プリンタソフトウェア CD-ROM』から簡単にご登録いただけます。

エプソンインフォメーションセンター

EPSON プリンタに関するご質問やご相談に電話でお答えします。

受付時間	「製品ガイド」巻末の一覧表をご覧ください。
電話番号	「製品ガイド」巻末の一覧表をご覧ください。

ショールーム

EPSON 製品を見て、触れて、操作できるショールームです。（東京・大阪）

受付時間	「製品ガイド」巻末の一覧表をご覧ください。
所在地	「製品ガイド」巻末の一覧表をご覧ください。

パソコンスクール

エプソン製品の使い方、活用の仕方を講習会形式で説明する初心者向けのスクールです。カラリオユーザーには“より楽しく”、ビジネスユーザーには“経費削減”を目的に趣味にも仕事にもエプソン製品を活かしていただけるようにお手伝いします。詳細はエプソン販売（株）のホームページにてご確認ください。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。
エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3 年、4 年、5 年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディな対応：スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単：エプソンサービスパック登録書を FAX するだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、都度修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

最新プリンタドライバの入手方法とインストール方法

弊社プリンタドライバは、アプリケーションソフトのバージョンアップなどに伴い、バージョンアップを行うことがあります。必要に応じて新しいプリンタドライバをご使用ください。プリンタドライバのバージョンは数字が大きいものほど新しいバージョンとなります。

最新のプリンタドライバ入手方法

最新のプリンタドライバは、下記の方法で入手してください。

- インターネットの場合は、次のホームページの［ダウンロード］から入手できます。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp
サービス名	ダウンロードサービス

- CD-ROMでの郵送をご希望の場合は、「エプソンディスクサービス」で実費にて承っております。

各種ドライバの最新バージョンについては、エプソン販売（株）のホームページにてご確認ください。ホームページの詳細については、「製品ガイド」の巻末にてご案内しております。

ダウンロード・インストール手順

ホームページに掲載されているプリンタドライバは圧縮*1ファイルとなっていますので、次の手順でファイルをダウンロードし、解凍*2してからインストールしてください。

*1 圧縮：1つ、または複数のデータをまとめて、データ容量を小さくすること。

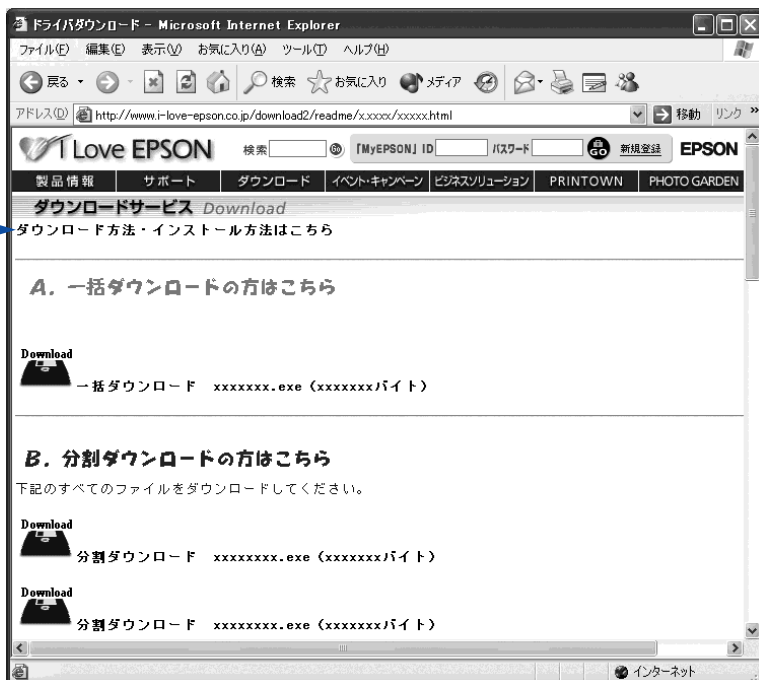
*2 解凍：圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

参考

インストールを実行する前に、旧バージョンのプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。

☞Windows：本書 130 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」
☞Mac OS 9：本書 213 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」
☞Mac OS X：本書 271 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」

1. **ホームページ上のダウンロードサービスから対象の機種を選択します。**

2. **プリンタドライバをハードディスク内の任意のディレクトリへダウンロードし、解凍してからインストールを実行します。**
   手順については、ホームページ上の［ダウンロード方法・インストール方法はこちら］をクリックしてください。

画面はインターネットエクスプローラを使用してエプソン販売のホームページへ接続した場合です。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず本書「困ったときは」をお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の最低保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、製品の製造終了後6 年間です。

保守サービスの受け付け窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンター（「製品ガイド」または「クイックガイド」の裏表紙をご覧ください）
  受付日時 ：月曜日～金曜日（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く）
  受付時間 ：9：00 ～ 17：30

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細については、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターまでお問い合わせください。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張保守	● 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 ● 修理のつど発生する修理代・部品代＊は無償になるため予算化ができて便利です。 ● 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 ＊ 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外となります。	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		● お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。 ● 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。	無償	出張料＋技術料＋部品代 修理完了後 そのつどお支払いください

- 交換寿命による定期交換部品の交換は、保証内外をとわず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。（年間保守契約の場合は、定期交換部品代のみ、有償となります。）
- 当機種は、輸送の際に専門業者が必要となりますので、持込保守および持込修理はご遠慮願います。

仕様

Windows システム条件

プリンタソフトウェアをインストールし、使用するためのシステム条件は下記の通りです（2004 年 12 月現在）。

対象 OS	Windows 98/Me/NT4.0/2000/XP/Server 2003
CPU*	Pentium® 233MHz 以上（Celeron® 633MHz以上を推奨）
RAM*	64MB（128MB 以上を推奨）
空きハードディスク	500MB 以上

* 各 OS の「必要システム」条件を満たしていること（OS の推奨動作環境以上での使用を推奨）。

参 考

- 本機を USB 接続で使用する場合は、以下の条件をすべて満たしている必要があります。
  - ・USB に対応していて、コンピュータメーカーにより USB ポートの動作が保証されているコンピュータ
  - ・Windows 98/Me/2000/XPがプレインストールされているコンピュータ（購入時、すでに Windows 98/Me/2000/XP がインストールされているコンピュータ）または Windows 98 がプレインストールされていて Windows Me/2000/XP にアップグレードしたコンピュータ
- Windows XP のリモートデスクトップ機能* を利用している状態で、移動先のコンピュータに直接接続されたプリンタへ印刷する場合、EPSON プリンタウィンドウ !3 がインストールされていると通信エラーが発生します。ただし、印刷は正常に行われます。
  - * 移動先のモバイルコンピュータなどからオフィスネットワーク内のコンピュータ上にあるアプリケーションやファイルへアクセスし、操作することができる機能
- EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。
  アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp

EPSON プリンタウィンドウ !3 の Windows 動作環境（対象機種）

- DOS/V 仕様機（双方向通信機能 *1 のある機種）*2

*1 ローカル接続でご利用の場合は、お使いのコンピュータのパラレルインターフェイスが双方向通信機能に対応しているかをコンピュータメーカーにお問い合わせください。

*2 パラレルインターフェイスケーブルをご利用の場合は、「PRCB4N」を使用してください。

参 考

- お使いのコンピュータの機種により、プリンタを接続するために使用するケーブルが異なりますのでご注意ください。
- NetBEUI を使用した直接印刷、IPP 印刷、Novell NDPS 印刷の場合は、ネットワークプリンタの監視はできません。
- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、双方向通信やデータ転送が正常にできない場合があります。

Macintosh システム条件

プリンタソフトウェアをインストールし、使用するためのシステム条件は下記の通りです（2004 年 12 月現在）。

コンピュータ		Power PC G3 233MHz 以上搭載機種（G4 500MHz 以上を推奨）
接続方法	USB 接続	下記オプションケーブルまたは USB 接続機器（プリントアダプタなど）をプリンタに取り付けて使用します。 • EPSON USB ケーブル（型番：USBCB2） • 無線プリントアダプタ（型番：PA-W11G）
	AppleTalk 接続	本機のネットワークインターフェイスコネクタにネットワークケーブルを接続して使用します。
システム *		• Mac OS 9.1 ～9.2.x QuickTime Ver. 3.0 以上 Open Transport Ver. 1.1.1 以上 ただし、QuickDraw GX には対応していません（下記注意を参照ください）。 • Mac OS X v10.2 以降（v10.3 対応）
印刷時の空きメモリ（RAM）容量		64MB 以上（128MB 以上を推奨）
空きハードディスク		100MB 以上（200MB 以上を推奨）

* 各 OS の「必要システム」条件を満たしていること（OS の推奨動作環境以上での使用を推奨）。

注 意

Mac OS 9 の QuickDraw GX で本製品を使用することはできません。以下の手順で QuickDraw GX を使用停止にしてください。

①caps lock キーを解除しておきます。
②スペースキーを押したまま Macintosh を起動します（機能拡張マネージャが開きます）。
③QuickDraw GX 拡張機能をクリックして［使用停止］にします（チェック印のない状態になります）。
④機能拡張マネージャを閉じます。

参 考

- Mac OS X v10.2 以降でのご利用においては、OS またはプリンタドライバの制限事項により使用できない機能があります。制限事項の詳細については、以下のホームページにてご確認ください。
  アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp/support
- OS に登録するコンピュータ名は、次の点に注意して必ず設定してください。
  - OS が禁止している文字をコンピュータ名に使用しないでください。
  - プリンタを共有（またはネットワーク接続）している場合、固有のコンピュータ名にしてください。
- 本機を接続した Macintosh がネットワーク環境に接続されていれば、ネットワーク上のほかの Macintosh から本機を共有することができます。設定については「ユーザーズガイド」（PDF）を参照してください。
- EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。
  アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp

プリンタの仕様

基本仕様

プリント方式	半導体レーザービーム走査＋乾式2成分トナー電子写真方式
解像度	600dpi*1
プリント速度	600dpi　：　25.0枚/分（A4、モノクロ片面印刷時）*2 5.0枚/分（A4、カラー片面印刷時）*2
ウォームアップ時間	37秒（温度23度、湿度55%、定格電圧にて）
ファーストプリント	モノクロ片面印刷　：　9.0秒（A4） モノクロ両面印刷　：　17.0秒（A4） カラー片面印刷　：　17.0秒（A4） カラー両面印刷　：　29.0秒（A4）
稼働音 （本体のみ）	待機時　：　約30dB（A）（放出音なし） 稼働時　：　約53dB（A）

*1　dpi：25.4mm｛1インチ｝あたりのドット数　（Dots Per Inch）

*2　印刷中に、良好な画質を得るための画像調整（calibration）を自動的に行うことがあり、そのために上記の印刷速度が出ない場合があります。また、用紙サイズによっては、定着器の安定性保持のために、印刷を一時停止することがあります。

環境基本仕様

消費電力	最大	806W
	電源オフ時	0W
省資源機能	両面印刷機能、割り付け印刷機能、拡大/縮小印刷機能を使用することで、印刷用紙の使用枚数を節約することができます。	
回収リサイクル体制	使用済みトナーカートリッジの回収 資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みのトナーカートリッジの回収にご協力ください。使用済みトナーカートリッジの回収方法については、新しいトナーカートリッジに添付されておりますご案内シートを参照してください。	
修理体制	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、いくつかの保守サービスをご用意しております。詳細につきましては以下をご覧ください。 本書492ページ「保守サービスのご案内」	
補修用性能部品の最低保有期間	製品の製造終了後6年	
消耗品の最低保有期間	製品の製造終了後6年	

用紙関係

用紙を大量に購入する場合、購入前に通紙印字品質チェックをしてください。

<table>
<tr><th colspan="2">給紙方法</th><th colspan="2">用紙種類</th><th>用紙サイズ
（　）内は操作パネルの液晶ディスプレイ上での表記です。</th><th>紙厚</th><th>容量 *2</th></tr>
<tr><td rowspan="15">標準装備の給紙装置</td><td rowspan="15">MP トレイ *1</td><td colspan="2">普通紙（コピー用紙、上質紙、再生紙）</td><td>A4、A5、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Government Letter（GLT）、Executive（EXE）</td><td>64 ～ 105g/m^2</td><td>200 枚 *4</td></tr>
<tr><td colspan="2">EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙</td><td>A4</td><td>82g/m^2</td><td>180 枚 *5</td></tr>
<tr><td rowspan="13">特殊紙</td><td>郵便ハガキ</td><td>100 × 148mm（ハガキ）</td><td rowspan="3">190g/m^2</td><td rowspan="3">75 枚 *5</td></tr>
<tr><td>往復郵便ハガキ</td><td>148 × 200mm（W ハガキ）</td></tr>
<tr><td>4 連郵便ハガキ</td><td>200 × 296mm（Q ハガキ）</td></tr>
<tr><td>封筒</td><td>洋形 0 号、洋形 4 号、洋形 6 号、長形 3 号、長形 4 号、角形 3 号</td><td>75 ～ 105g/m^2</td><td>20 枚 *5</td></tr>
<tr><td>ラベル紙</td><td>A4、Letter（LT）</td><td>91 ～210g/m^2</td><td>75 枚 *5</td></tr>
<tr><td>厚紙</td><td rowspan="3">A4、A5、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Government Letter（GLT）、Executive（EXE）</td><td>106～163g/m^2</td><td rowspan="6">20mm 以下</td></tr>
<tr><td>特厚紙</td><td>164～210g/m^2</td></tr>
<tr><td>コート紙</td><td>105～210g/m^2</td></tr>
<tr><td rowspan="3">不定形紙 *3</td><td rowspan="3">幅：90.0 ～ 220.0mm
長さ：110.0 ～ 297.0mm</td><td>64 ～ 105g/m^2</td></tr>
<tr><td>106～163g/m^2</td></tr>
<tr><td>164～210g/m^2</td></tr>
<tr><td>EPSON カラーレーザープリンタ用コート紙</td><td>A4</td><td>105g/m^2</td><td>180 枚 *6</td></tr>
<tr><td>EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート</td><td>A4</td><td>140g/m^2</td><td>75 枚 *5</td></tr>
<tr><td rowspan="2">オプション</td><td rowspan="2">増設 1段カセットユニット（LPA4CZ1CU2）</td><td colspan="2">普通紙（コピー用紙、上質紙、再生紙）</td><td>A4、Letter（LT）</td><td>64 ～ 105g/m^2</td><td rowspan="2">500 枚 *7</td></tr>
<tr><td colspan="2">EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙</td><td>A4</td><td>82g/m^2</td></tr>
</table>

*1 プリンタの操作パネルとプリンタドライバで用紙サイズを設定する必要があります。
*2 セットできる用紙の高さは用紙ガイド内側の最大セット枚数表示までです。最大セット枚数表示を超えてセットした場合は、給紙不良などの原因となります。
*3 不定形紙に印刷する場合は、プリンタドライバのユーザー定義サイズ / カスタム用紙サイズを設定してから印刷してください。
*4 64g/m^2 で200 枚、80g/m^2 で 180 枚、または総厚20mm までセット可能。
*5 または総厚 20mm までセット可能。用紙の製造会社によってセットできる枚数は異なります。
*6 または総厚 20mm までセット可能。使用環境によって異なります。
*7 または総厚 56mm までセット可能。用紙の製造会社によってセットできる枚数は異なります。

排紙容量	最大250 枚（普通紙 64g/m2）

用紙の種類	● 普通紙、EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙、 一般に適用しているコピー用紙、再生紙、色つき、レターヘッド ● 特殊紙 郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、4 連郵便ハガキ、封筒、ラベル紙、厚紙、不定形紙、EPSON カラーレーザープリンタ用コート紙、EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート、

用紙サイズと給紙方法

用紙サイズ			MP トレイ（標準）	用紙カセット *1（オプション）	両面印刷	用紙のセット方向
A4		210.0 × 297.0mm	○	○	○	縦長
A5		148.0 × 210.0mm	○	×	×	縦長
B5		182.0 × 257.0mm	○	×	○	縦長
Letter（LT）		8.5 × 11.0 インチ（215.9 × 279.4mm）	○	○	○	縦長
Half-Letter（HLT）		5.5 × 8.5 インチ（139.7 × 215.9mm）	○	×	×	縦長
Executive（EXE）		7.25 × 10.5 インチ（184.2 × 266.7mm）	○	×	○	縦長
Government Letter（GLT）		8.0 × 10.5 インチ（203.2 × 266.7mm）	○	×	×	縦長
不定形紙		用紙幅 90.0 ～ 220.0mm 用紙長 110.0 ～ 297.0mm	○ *2	×	×	登録した用紙サイズの向き *3
郵便ハガキ		100.0 × 148.0mm	○	×	×	縦長
往復郵便ハガキ		148.0 × 200.0mm	○	×	×	縦長
4 連郵便ハガキ		200.0 × 296.0mm	○	×	×	縦長
ラベル紙		A4：210.0 × 297.0mm	○	×	×	縦長
コート紙		A4：210.0 × 297.0mm	○	×	×	縦長
OHP シート		A4：210.0 × 297.0mm	○	×	×	縦長
封筒	洋形 0 号	120.0 × 235.0mm	○	×	×	縦長
	洋形 4 号	105.0 × 235.0mm	○	×	×	縦長
	洋形 6 号	98.0 × 190.0mm	○	×	×	横長
	長形 3 号	120.0 × 235.0mm	○	×	×	縦長
	長形 4 号	90.0 × 205.0mm	○	×	×	縦長
	角形 3 号	216.0 × 277.0mm	○	×	×	縦長

○：使用可能　　×：使用不可能

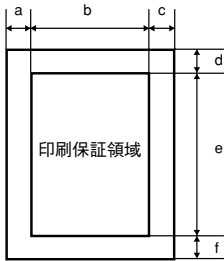
*1 オプションの増設 1 段カセットユニットに装着する用紙カセットから給紙できる用紙サイズを表します。

*2 アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は印刷できません。

*3 不定形紙の用紙のセット方向は、登録した用紙サイズ（用紙長 / 幅）によって異なります。

☞ 本書 344 ページ「不定形紙への印刷」

印刷保証領域

印刷保証領域は、印刷の実行と印刷結果の画質を保証する領域です。用紙の各端面から5mm を除く領域の印刷を保証します。

定形紙 （単位：ドット、600dpi）

名　称		a	b	c	d	e	f
A4		120	4720	120	120	6776	120
A5		120	3256	120	120	4720	120
B5		120	4060	120	120	5832	120
Letter（LT）		120	4860	120	120	6360	120
Half Letter（HLT）		120	3060	120	120	4860	120
Executive（EXE）		120	4110	120	120	6060	120
Government Letter（GLT）		120	4560	120	120	6060	120
郵便ハガキ		120	2122	120	120	3256	120
往復郵便ハガキ		120	3256	120	120	4484	120
4 連郵便ハガキ		120	4484	120	120	6752	120
封筒	洋形 0 号	120	2594	120	120	5310	120
	洋形 4 号	120	2240	120	120	5310	120
	洋形 6 号	120	4248	120	120	2074	120
	長形 3 号	120	2594	120	120	5310	120
	長形 4 号	120	1886	120	120	4602	120
	角形 3 号	120	4862	120	120	6304	120

不定形紙

名称	a	b	c	d	e	f
最小サイズ	120	1886	120	120	2358	120
最大サイズ	120	4956	120	120	6776	120

参 考　アプリケーションソフトで任意の用紙長を指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。

電気関係

定格電圧	AC100V ± 10%	
定格電流	8.5A	
周波数	50/60Hz ± 3Hz	
消費電力	最大	：806W
	カラー印刷時	：平均 178W
	モノクロ印刷時	：平均 269W
	待機時	：平均 60W（ヒーターオン時）
	低電力モード時	：平均 14W 以下（ヒーターオフ時）

環境使用条件

動作時	温度	：5 ～ 32 度
	湿度	：15 ～ 85%（ただし結露しないこと）
	気圧（高度）	：65 ～ 101kPa（3100m 以下）
	水平度	：前後差：5mm 以下 左右差：10mm 以下
	照度	：3000lx 以下（ただし直射日光を照射させないこと）
	周囲スペース	：上方 260mm、左側方 100mm、右側方 300mm、 前方 165mm*、後方 280mm * オプション増設 1 段カセットユニット装着時は 400mm
保存・輸送時	温度	：0 ～ 35 度
	湿度	：15 ～ 80%（ただし結露しないこと）

コントローラ基本仕様

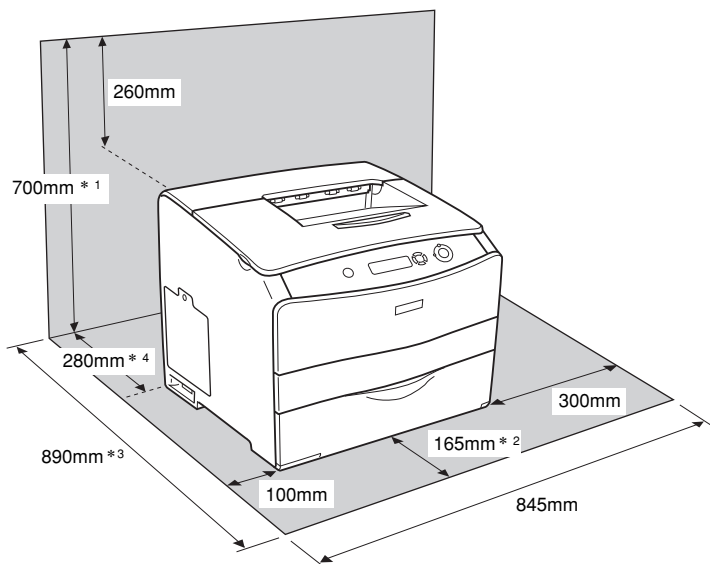
RAM	標準	：32MB
	オプション増設時	：最大256MB（1 ソケット）
インターフェイス	標準	：パラレル IEEE1284 準拠双方向 （コンパチブル、ニブルモード、ECP モード） USB（Rev. 1.1 および2.0 対応） 10Base-T/100Base-TX

プリンタ外形寸法 / 重量

外形寸法	幅445mm ×奥行き 445mm ×高さ 439mm（小数点以下四捨五入）
重量	約25kg （消耗品を含まない）

オプションの外形寸法 / 重量

外形寸法	増設 1 段カセットユニット： 幅440mm ×奥行き 446mm ×高さ 130mm（小数点以下四捨五入） 両面印刷ユニット： 幅434mm ×奥行き 210mm ×高さ 470mm（小数点以下四捨五入）
重量	増設 1 段カセットユニット：約8kg 両面印刷ユニット：約4kg

設置スペース

オプションの増設 1 段カセットユニットを取り付けた場合は以下の寸法となります。
*1 830mm
*2 400mm
*3 1125mm
オプションの両面印刷ユニットを取り付けた場合は以下の寸法となります。
*1 830mm
*4 400mm

索引

数字

A

B

C

D

E

G

I

J

K

う

え

お

か

き

く

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

と

に

ね

の

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

む

め

も

ゆ

よ

ら

り

れ

わ

Ver.	日付	改訂ページ	改訂内容
00	2004/10/29	—	新版